

業績目録 (平成28年度)

微生物感染症学分野	2
生体組織再生工学分野	3
予防歯科学分野	5
う蝕学分野	8
小児歯科学分野	11
生体歯科補綴学分野	14
顎顔面口腔外科学分野	18
口腔解剖学分野	25
口腔生理学分野	28
口腔生化学分野	29
歯周診断・再建学分野	30
歯科矯正学分野	36
摂食・嚥下リハビリテーション学分野	41
硬組織形態学分野	51
口腔病理学分野	55
歯科薬理学分野	57
包括歯科補綴学分野	58
組織再建口腔外科学分野	63
顎顔面放射線学分野	68
歯科麻酔学分野	70
高度口腔機能教育研究センター	73
口腔生命福祉学科	78
歯科総合診療部	88
インプラント治療部	90
顎関節治療部	98

微生物感染症学分野

【著書】

- 1) Takenaka S, Oda M, Domon H, Wakamatsu R, Ohsumi T, Terao Y, Noiri Y: Adverse Influences of Antimicrobial Strategy against Mature Oral Biofilm. *Microbial Biofilms - Importance and Applications* (Dharumadurai Dhanasekaran, Nooruddin Thajuddin), Chapter 18, InTech, 2016.

【論文】

- 1) Nagai K, Domon H, Oda M, Shirai T, Ohsumi T, Terao Y, Arai Y: Antimicrobial activity of ethylene-vinyl acetate containing bioactive filler against oral bacteria. *Dent Mater J*, in press.
- 2) Kajikawa T, Maekawa T, Hajishengallis E, Moss K, Chavakis T, Hajishengallis G: MFG-E8 inhibits periodontitis in non-human primates and its gingival crevicular fluid levels can differentiate periodontal health from disease in humans. *J Clin Periodontol*. 2017. in press.
- 3) Maekawa T, Kulwattanaporn P, Hosur K, Domon H, Oda M, Terao Y, Maeda T, Hajishengallis G: Differential expression and roles of secreted frizzled-related protein 5 (Sfrp5) and the wingless homolog Wnt5a in periodontitis. *J Dent Res*, in press.
- 4) Domon H, Oda M, Maekawa T, Nagai K, Takeda W, Terao Y: *Streptococcus pneumoniae* disrupts pulmonary immune defence via elastase release following pneumolysin-dependent neutrophil lysis. *Sci Rep*, 6: 38013, 2016.
- 5) Takenaka S, Oda M, Domon H, Ohsumi T, Suzuki Y, Ohshima H, Yamamoto H, Terao Y, Noiri Y: Vizantin inhibits bacterial adhesion without affecting bacterial growth and causes *Streptococcus mutans* biofilm to detach by altering its internal architecture. *Biochem Biophys Res Commun*, 480: 173-179, 2016.

【総説】

- 1) 寺尾 豊, シリーズバイオセーフティ (これから微生物学系研究室を立ち上げる3つのポイント), *BMSA ジャーナル*, NPO 法人 BMSA 研究会出版部, 10月号 28巻3号 99-103, 2016.
- 2) 寺尾 豊, 黒澤美絵, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (人食いバクテリア), *感染・炎症・免疫*, 医学の門社, 7月号, 76-78, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 寺尾 豊: 好中球免疫系の作動機序の統合的解明と細菌由来分子による好中球免疫の制御方法の検索. 日

本学術振興会科学研究費補助金基金 基盤研究(B), 26293390, (2014年4月~2017年3月)

- 2) 寺尾 豊: MRSAの薬剤耐性アンチバイオグラム進化パターンのグローバル調査解析. 日本学術振興会科学研究費補助金基金 基盤研究(B) 海外学術調査, 6305034, (2014年4月~2018年3月)
- 3) 寺尾 豊: コメ由来プロテアーゼ阻害剤を用いた誤嚥性肺炎重症化制御法の検索. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的萌芽研究, 16K15785, (2016年4月~2018年3月)
- 4) 寺尾 豊: レンサ球菌の感染制御に関する研究. 小林製薬株式会社, (2016年10月~)
- 5) 小田真隆: 機能性糖脂質を利用した細菌性肺炎の制御法探索とその分子メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 15H05017, (2015年4月~2018年3月)
- 6) 土門久哲: 誤嚥性肺炎における肺組織傷害・重症化メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 16K11439, (2016年4月~2019年3月)
- 7) 土門久哲: 食品由来ペプチドを用いた誤嚥性肺炎感染制御法の検索, 新潟大学 U-go グラント, 2016.
- 8) 前川知樹: 内因性 De1-1 分子に着目した炎症制御のメカニズム解析と応用研究, 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(A), 16H06272, (2016年4月~2019年3月)
- 9) 前川知樹: De1-1 の分子メカニズム解析に基づく Keystone 細菌制御の研究. 公益財団法人 武田科学振興財団・医学奨励研究助成金, J15G0116, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 前川知樹: 内因性 De1-1 分子による炎症性骨吸収の制御メカニズム解析とサルへの応用研究. 第19回骨代謝研究会, 東京, 2016年11月26日.
- 2) 前川知樹: Keystone 細菌と生体の相互作用. 第69回日本細菌学会関西支部総会, 大阪, 2016年11月19日, 第69回日本細菌学会関西支部総会予稿集:16頁, 2016.
- 3) 寺尾 豊, 土門久哲: *Streptococcus pneumoniae* の肺組織障害におけるカスケード機構の解析. 第48回レンサ球菌研究会, 長崎, 2016年7月9日, 第48回レンサ球菌研究会 開催プログラム・抄録集:10頁, 2016.

【学会発表】

- 1) Maekawa T, Kulwattanaporn P, Hosur K, Domon H, Terao Y, Maeda T, Hajishengallis G: Differential Expression and Roles of Sfrp5 and Wnt5a in Periodontitis. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017.3.24, Abstracts & Program book: no2228, 2017.

- 2) Maekawa T, Maeda T, Hajishengallis E: Inhibition of periodontitis in non-human primates by a locally administered complement C3 inhibitor. 94th General Session & Exhibition of the IADR, Seoul, Korea, 2016. 6. 22-25. Abstracts & Program book: no2019, 2016.
- 3) 土門久哲, 前川知樹, 永井康介, 寺尾 豊: 肺炎球菌感染時における好中球エラストラーゼの *in vitro* 機能解析. 第 90 回日本細菌学会総会, 仙台, 2017 年 3 月 20 日, 第 90 回日本細菌学会プログラム集: 37 頁, 2017.
- 4) 毛利泰士, 住友倫子, 松岡悠美, 本多真理子, 山口雅也, 寺尾 豊, 中田匡宣, 川端重忠: *Streptococcus pyogenes* による皮膚病変の形成機構に関する解析. 第 69 回日本細菌学会関西支部総会・学術講演会, 大阪, 2016 年 11 月 19 日, 第 69 回日本細菌学会関西支部総会予稿集: 15 頁, 2016.
- 5) 土門久哲, 小田真隆, 川端重忠, 寺尾 豊: 肺炎球菌性肺炎の重症化メカニズムの分子解析. 第 65 回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 新潟, 2016 年 10 月 27 日, プログラム・抄録集: 154 頁, 2016.
- 6) 竹中彰治, 小田真隆, 黒澤美絵, 土門久哲, 大墨竜也, 寺尾 豊, 野杵由一郎: 結核表層糖脂質誘導体の *Streptococcus mutans* バイオフィーム形成に与える影響. 日本歯科保存学会 2016 年度秋期学術大会, 松本, 2016 年 10 月 27 日, 日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会 (第 145 回) プログラムおよび講演抄録集: 60 頁, 2016.
- 7) 黒澤美絵, 小田真隆, 土門久哲, 齊藤一誠, 早崎治明, 寺尾 豊: A 群レンサ球菌の PI3K/Akt 活性化因子を介した咽頭上皮細胞株への付着・侵入メカニズムの解析. 第 58 回歯科基礎医学会, 札幌, 2016 年 8 月 25 日, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会 プログラム・抄録集: 373 頁, 2016.
- 8) 前川知樹, 前田健康, 寺尾 豊: *Porphyromonas gingivalis* は補体 C5a と TLR を利用して免疫系から回避する. 第 58 回歯科基礎医学会, 札幌, 2016 年 8 月 25 日, 第 58 回歯科基礎医学会学術大会 プログラム・抄録集: 364 頁, 2016.
- 9) 坂上雄樹, 土門久哲, 小田真隆, 竹中彰治, 大墨竜也, 寺尾 豊, 野杵由一郎: *Streptococcus mutans* バイオフィームに対する厚朴由来抽出物の殺菌効果. 第 30 回日本バイオフィーム学会学術集会, 東京都, 2016 年 7 月 2 日, プログラム: 11 頁, 2016.
- 10) 前川知樹, 前田健康: サル自然発症歯周炎に対する補体 C3 インヒビターの治療効果について. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20 日, 日本歯周病学会会誌第 58 巻春期特別号: 135 頁, 2016.

【研究会発表】

- 1) 土門久哲: ブラジル産プロポリスエタノール抽出物を用いた誤嚥性肺炎制御法の検索. (株)山田養蜂場 第 8 回みつばち研究基金成果発表会, 岡山市, 2017 年 3 月 2 日.
- 2) 土門久哲: 誤嚥性肺炎に対する新規感染制御法の開発に向けた多次元解析. 第 1 回 D³ 研究交流会, 新潟, 2017 年 1 月 24 日.
- 3) 前川知樹: 血管が作り出す生体由来の分子による歯周病マーカーの開発と応用研究. 第 1 回 D³ 研究交流会, 新潟, 2017 年 1 月 24 日.
- 4) 土門久哲: 食品由来ペプチドを用いた 誤嚥性肺炎感染制御法の検索. 第 1 回 U-go サロン, 新潟, 2016 年 12 月 5 日.
- 5) 前川知樹, 前田健康, 寺尾 豊: *Porphyromonas gingivalis* は補体 C5a と TLR を利用して免疫系から回避する. 第 4 回四大学・口腔微生物研究会, 千歳, 2016 年 8 月 26 日.
- 6) 永井康介, 土門久哲, 小田真隆, 寺尾 豊: 自己溶菌に漏出する *Streptococcus pneumoniae* 染色体 DNA の病原性解析, 第 4 回四大学・口腔微生物研究会, 千歳, 2016 年 8 月 26 日.
- 7) 土門久哲, 小田真隆, 寺尾 豊: 肺炎球菌の自己融解に起点を發する肺傷害のカスケード機構, 第 55 回新潟化学療法研究会, 新潟, 2016 年 7 月 2 日.

【受賞】

- 1) 前川知樹: 平成 28 年度 岩垂育英会賞, 一般財団法人岩垂育英会, 2017 年 3 月 18 日.
- 2) 土門久哲: 肺炎球菌性肺炎の重症化メカニズムの分子解析. 平成 28 年度日本感染症学会東日本地方会奨励賞 (基礎), 2016 年 10 月 28 日.
- 3) 前川知樹: Antagonistic effects of IL-17 and D-resolvins on endothelial Del-1 expression through a GSK-3 β -C/EBP β pathway. 日本歯周病学会奨励賞, 第 59 回春季日本歯周病学会, 2016 年 5 月 20 日.

生体組織再生工学分野

【著書】

- 1) Smith M, Izumi K, Feinberg SE: Chapter 2.11 TISSUE ENGINEERING in Operative Oral and Maxillofacial Surgery, 3rd Edition. (Eds by Langdon J, Patel M, Ord R, Brennan P), CRC Press, Abingdon, UK, 2017, in press.

【論文】

- 1) Uenoyama A, Kakizaki I, Shiomi A, Saito N, Hara Y, Saito T, Ohnuki H, Kato H, Takagi R, Maeda T, Izumi K: Effects of C-xylopyranoside derivative on epithelial regeneration in an in vitro 3D oral mucosa model. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 80(7): 1344-1355, 2016.
- 2) 金谷 貢, 金谷桂子: 華岡青洲の門人・小田順亭(魯庵)による華岡流麻酔法を用いた手術事例. *日医史誌*, 印刷中.
- 2) Kato H, Sugimoto M, Hara Y, Saito N, Shiomi A, Izumi K: Metabolomic profile of human oral keratinocytes under hypoxic culture condition. *Tissue Niches & Resident Stem Cells in Adult Epithelia*, Gordon Research Conference, The Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong, China, 2016. 8. 7-12, Program Book: 10, 2016.
- 3) 野村章子, 金谷 貢: 低エネルギー電子線照射を含む3つの滅菌法によるチタン表面への影響. 明倫短期大学学会第15回記念学術大会, 新潟, 2016年12月17日, 明倫短期大学学会第15回記念学術大会プログラム・抄録集: 15頁, 2016. 明倫短期大学紀要20(1), 2017. 印刷中.

【研究費獲得】

- 1) 加藤寛子(研究代表者): HIF-1・発現による口腔粘膜上皮細胞の低酸素応答解析と再生医療応用への基盤構築. (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B), 15K20476, 2016.
- 2) 泉 健次(研究代表者): 低酸素発光プローブを利用した培養口腔粘膜作成過程に最適な低酸素ニッチ環境の確立. (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)「一般」, 26293420, 2016.
- 3) 宇尾基弘, 泉 健次: 量子ビームを用いた生体組織中の微量元素・微細構造解析技術の開発と診断への応用. (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)「一般」, 16H02688E, 2016.
- 4) 加来 賢, 泉 健次: 歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発. (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)「一般」, 26293407, 2016.
- 5) 芳澤享子, 泉 健次: 口腔粘膜上皮前駆/幹細胞による粘膜再生機構の解明—血管新生の意義—. (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 26463059, 2016.
- 4) 齋藤直朗, 小島 拓, 須田大亮, 原 タ子, 芳澤享子, 小林正治: 骨分化誘導と低酸素処理併用によるラット間葉系細胞の多面的骨誘導促進効果の検討. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2016年11月25-27日. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集: 290頁, 2016.
- 5) 原 タ子, 加藤寛子, 塩見 晶, 高木律男, 泉 健次: コラーゲンゲル内で3次元培養したヒト口腔粘膜線維芽細胞の低酸素応答. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016. 11. 5, 新潟歯学会雑誌46(2): 114頁, 2016.
- 6) 大川成剛, 金谷 貢: CAD/CAM用レジンとポリエーテルエーテルケトン(PEEK)の切削と研磨. 第38回日本歯科技工学会学術大会, 奈良, 2016年9月10日, 日本歯科技工学会雑誌37特別号: 106頁, 2016.
- 7) 金谷 貢, 金谷桂子: 華岡青洲の無名の弟子・小田順亭(魯庵)が華岡流麻酔法を用いて行った手術の事例. 第117回日本医史学会総会・学術大会, 広島, 2016年5月22日, *日医史誌* 62(2): 178頁, 2016.
- 8) 大川成剛, 高 昇将, 金谷 貢, 泉 健次: 繊維強化PEEK(polyether ether ketone)の研磨特性. 第67回日本歯科理工学会学術講演会, 福岡, 2016年4月17日, *日歯理工誌* 35(2): 169頁, 2016.
- 9) 金谷 貢, 野村章子, 泉 健次: 低エネルギー電子線照射滅菌が純チタン表面におよぼす影響: オートクレーブと低温ガスプラズマ滅菌との比較. 第67回日本歯科理工学会学術講演会, 福岡, 2016年4月17日, *日歯理工誌* 35(2): 161頁, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Izumi K: A novel approach to identify oral keratinocyte stem cells. The 39th annual scientific meeting of association for dental sciences of the republic of china, Taipei, Taiwan, 2016. 9. 2-4, Abstract Book: p. 22, 2016.
- 2) 泉 健次: うろこコラーゲンを足場とする培養口腔粘膜作成. 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016, 福岡, 2016年11月21-22日, 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2016予稿集: 88頁, 2016.

【学会発表】

- 1) Hara Y, Shiomi A, Kato H, Izumi K: Hypoxic response of oral mucosa fibroblasts in a 3D collagen lattice. 2016 TERMIS – Americas Conference & Exhibition, San Diego, CA, 2016. 12. 11-14, *Tissue Eng. Part A* 22: S-14, 2016.

【研究会発表】

- 1) Izumi K, Kato H, Kawakami T, Hori A, Itagaki K: Development of a tissue-engineered oral mucosa equivalent using a scaffold manufactured from fish collagen. The 27th CDN Meeting, Body Surface Tactics, Kobe, 2016. 11. 14-15, Program book: p. 64, 2016.

- 2) 加藤寛子：微小環境・代謝リプログラミングを標的とした抗がん治療法開発。第1回D³研究交流会。新潟，2017年1月24日。
- 3) 大川成剛，泉健次：生体材料としてのポリエーテルエーテルケトン（PEEK）－切削および研磨特性。日本歯科理工学会中部地方会平成28年度夏季セミナー，犬山，2016年8月26日。
- 4) 原 夕子，加藤寛子，塩見 晶，高木律男，泉 健次：異なる培養環境において低酸素が口腔粘膜線維芽細胞の増殖活性に及ぼす影響の検討。第4回低酸素研究会，東京，2016年7月23日，P-10，2016。

【その他-特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次，加藤寛子，前田 竜，河上貴宏，山口 勇：培養口腔粘膜作成に最適な魚コラーゲン製材のトポロジー開発。国内特許出願中（出願人：新潟大学，多木化学株式会社），2016年2月23日出願。

【その他-講演】

- 1) 金谷 貢：「高齢者並びに要介護高齢者に関わる欠損補綴物の将来需要」，歯科技工士生涯研修-教養課程，厚生労働省後援，金沢，2016年11月27日，2016。
- 2) 金谷 貢：「情報システムの活用事例と各種事業を成功に導く重要因子の考察」，歯科技工士生涯研修-専門課程，厚生労働省後援，金沢，2016年11月27日，2016。

予防歯科学分野

【著書】

- 1) 小川祐司，眞木吉信，宮崎秀夫，山本龍生：口腔診査法第5版 -WHOによるグローバルスタンダード-（小川祐司監訳），口腔保健協会，東京，1-135，2016。
- 2) 宮崎秀夫：第1編 第1章 序論，第6章 口臭の発生要因，第2編 第3章 口臭の予防，口腔保健・予防歯科学（安井利一，宮崎秀夫ほか編），医歯薬出版，東京，2-9，64-68，148-151，2017。
- 3) 小川祐司：第3編 国際口腔保健，口腔保健・予防歯科学（安井利一，宮崎秀夫ほか編），医歯薬出版，東京，274-280，2017。

【論文】

- 1) Wang Y, Sugita N, Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H: PPAR γ gene polymorphism, C-reactive protein level, BMI and periodontitis in post-menopausal Japanese women. *Gerodontology*, 33(1): 44-51, 2016.

- 2) Senpuku H, Miyazaki H, Yoshihara A, Yoneda S, Narisawa N, Kawarai T, Nakagawa N, Miyachi M, Tada A, Yoshida G, Shimada M, Ohashi M, Nishimuta M, Kimura Y, Yoshitake Y: CD56dimCD16high and CD56brightCD16- cell percentages associated with maximum knee extensor strength and incidence of death in elderly. *SpringerPlus*, 1; 5: 244, 2016.
- 3) Iwasaki M, Sato M, Yoshihara A, Miyazaki H: Effects of periodontal diseases on diabetes-related medical expenditure. *Curr Oral Health Rep*, 3: 7-13, 2016.
- 4) Iwasaki M, Yoshihara A, Ito K, Sato M, Minagawa K, Muramatsu K, Watanabe R, Manz MC, Ansai T, Miyazaki H: Hyposalivation and dietary nutrient intake among community-based older Japanese. *Geriatr Gerontol Int*, 16(4): 500-507, 2016.
- 5) Iwasaki M, Minagawa K, Sato M, Kaneko N, Imai S, Yoshihara A, Miyazaki H: Serum antibody to *Porphyromonas gingivalis* in metabolic syndrome among an older Japanese population, *Gerodontology*, 33(2): 193-200, 2016.
- 6) McKenna G, Tada S, Woods N, Hayes M, DaMata C, Allen PF: Tooth replacement for partially dentate elders: A willingness-to-pay analysis. *J Dent*, 53: 51-56, 2016.
- 7) Sato M, Iwasaki M, Yoshihara A, Miyazaki H: Association between periodontitis and medical expenditure in elderly people: a 33-month follow-up study. *Geriatr Gerontol Int*, 16(7): 856-864, 2016.
- 8) Sato N, Ono T, Kon H, Sakurai N, Kohno S, Yoshihara A, Miyazaki H: Ten-year longitudinal study on the state of dentition and subjective masticatory ability in community-dwelling elderly people. *J Prosthodont Res*, 60(3): 177-184, 2016.
- 9) Iwasaki M, Yoshihara A, Sato N, Sato M, Taylor GW, Ansai T, Ono T, Miyazaki H: Maximum bite force at age 70 years predicts all-cause mortality during the following 13 years in Japanese men. *J Oral Rehabil*, 43(8): 565-574, 2016.
- 10) Iwasaki M, Taylor GW, Sato M, Nakamura K, Yoshihara A, Miyazaki H: Cystatin C-based estimated glomerular filtration rate and periodontitis. *Gerodontology*, 33(3): 328-334, 2016.
- 11) Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K. Bidirectional relationship between renal function and periodontal disease in older Japanese women. *J Clin Periodontol*, 43(9): 720-726, 2016.
- 12) Iwasaki M, Yoshihara A, Kimura Y, Wada T, Sakamoto, Ishimoto T, Fukutomi E, Chen W, Imai L, Fuzisawa M, Okumiya K, Taylor GW, Ansai T, Miyazaki

H: Longitudinal relationship of severe periodontitis with cognitive decline in older Japanese. *J Periodont Res*, 51(5): 681-688, 2016.

- 1 3) Iwasaki M, Yoshihara A, Ogawa H, Sato M, Mutamatsu K, Watanabe R, Ansai T, Miyazaki H: Longitudinal association of dentition status with dietary intake in Japanese adults aged 75 to 80 years. *J Oral Rehabil*, 43(10): 737-744, 2016.
- 1 4) Inomata C, Ikebe K, Okubo H, Takeshita H, Mihara Y, Hatta, Tada S, Enoki K, Ogawa T, Matsuda K, Gondo Y, Masui Y, Kamide K, Takahashi R, Arai Y, Maeda Y: Dietary intake is associated with occlusal force rather than number of teeth in 80-y-old Japanese. *JDR Clin Transl Res*, 2(2): 187-197, 2016.
- 1 5) Takiguchi T, Yoshihara A, Takano N, Miyazaki H. Oral Health and Depression in older Japanese people. *Gerodontology*, 33(4): 439-446, 2016.
- 1 6) Iwasaki M, Kimura Y, Ogawa H, Wada T, Sakamoto R, Ishimoto Y, Fujisawa M, Okumiya K, Ansai T, Miyazaki H, Matsubayashi K: The association between dentition status and sarcopenia in Japanese adults aged ≥ 75 years. *J Oral Rehabil*, 44(1): 51-58, 2017.
- 1 7) Iwasaki M, Sato M, Yoshihara A, Ansai T, Miyazaki H: Association between tooth loss and medical costs related to stroke in healthy elderly aged over 75 years in Japan. *Geriatr Gerontol Int*, 17(2): 202-210, 2017.
- 1 8) Razanamihaja N, Makino Y, Ogawa H, Ikeda N, Miyazaki H: The assessment of status of tobacco smoking among urban primary schoolchildren in Madagascar. *Health Promot Int*, in press, 2017.
- 1 9) Ito K, Takamatsu K, Nohno K, Sugano A, Funayama S, Katsura K, Kaneko N, Ogawa M, Meurman JH, Inoue M: Factors associating with mucosal dryness in multiple regions and skin -a web-based study in women. *J Obstetrics Gynaecology Res*, in press, 2017.
- 2 0) Yoshihara A, Sugita N, Iwasaki M, Wang Y, Miyazaki H, Yoshie H, Nakamura K: Relationship between renal function and periodontal disease in community-dwelling elderly women with different genotypes, *J Clin Periodontol*, in press, 2017.
- 2 1) 深井稜博, 古田美智子, 相田 潤, 嶋崎義浩, 安藤雄一, 宮崎秀夫, 神原正樹, 住友雅人, 佐藤 徹, 山科 透, 大久保満男: 歯科患者の口腔内状態および全身の健康状態 8020 推進財団歯科医療による健康増進効果に関する研究, *日歯医学会誌*, 35: 39-50, 2016.

【商業誌その他】

- 1) 綾部誠也, 吉武 裕, 田中宏暁, 宮崎秀夫: 85 歳超高齢者のメンタルヘルスの確保に必要な 70 歳代の 10 年間の日常身体活動に関する研究 加速度計を用いた日常身体活動のタイミングの客観的評価に基づいた後ろ向き調査, 若手研究者のための健康科学研究助成成果報告書, 31: 6-10, 2016.
- 2) 宮崎秀夫: 保健・医療・介護・福祉をつなぐための歯科からの提言~2025 年問題に対する歯科界の挑戦~ 口腔保健からの提言 オーラルフレイルサイクルにおける口腔保健戦略, *Quintessence*, 35(9): 87, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 葭原明弘, 宮崎秀夫, 中村和利: 肥満・糖尿病・歯周疾患への遺伝的背景と環境・代謝要因の相互作用に対する包括的解析: 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(B), 15H050560001, 2016.
- 2) 宮崎秀夫, 葭原明弘: 口腔機能改善と平衡機能を含む運動器機能改善に関する無作為化比較試験: 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 15K114110003, 2016.
- 3) 濃野 要: 縦断研究による高齢者の唾液流量に関する回帰モデルの作成, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 16K11884, 2016.
- 4) 金子 昇: ソブリス菌の遺伝子検査法の開発, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 26463159, 2016.
- 5) 山賀孝之: 補綴物を含めた咬合が冠動脈性心疾患・脳血管疾患の発症および原因死に与える影響, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 15K11410, 2016.
- 6) 多田紗弥夏: 歯列欠損拡大のリスク因子の解明と予後予測モデルの構築<多施設共同研究>, 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 16K20495, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Miyazaki H: Surveillance and Monitoring. FDI Lucerne Conference, Lucern (Switzerland), 2016 年 5 月 3-5 日.
- 2) Miyazaki H: Oral Health Surveillance and Monitoring. The 9th Asian Chief Dental Officers' Meeting, アルカディア市ヶ谷 (東京), 2016 年 5 月 24-26 日.
- 3) Miyazaki H: Surveillance and monitoring in an aging society. Symposium 「Oral Health for an Ageing Population」, FDI Annual World Dental Congress, Poznan (Poland), 2016 年 9 月 7-11 日.
- 4) Tada S: Evidence-based Risk Assessment for RPD Treatment: Tertiary Preventive Approach. Human

Resource Development towards International Initiative, Manathai Koh Samui (Thailand), 2017年2月19日.

- 5) Ogawa H: Strategies for oral disease prevention and health promotion -WHO perspectives-. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 144, 2016.
- 6) Miyazaki H: Oral-systemic health linkage and oral health strategy in aged society. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 148, 2016.
- 7) 小川祐司: NCD 予防対策における栄養と口腔保健の連携の必要性 栄養と口腔保健の連携 NCD 予防対策を踏まえて. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 179, 2016.
- 8) 宮崎秀夫: NCDs と口腔保健との関連を示すエビデンス, 第23回日本歯科医学会総会シンポジウム, 福岡国際会議場(福岡市), 2016年9月21-23日.
- 9) 宮崎秀夫: 歯を残すことは健康寿命の延伸に貢献するか? 第19回フォーラム8020シンポジウム「超高齢社会における8020運動」, 日本歯科医師会館(東京), 2016年11月19日.
- 10) 金子昇, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 職域における歯科健診と保健指導による行動変容, 職域における歯科口腔保健の課題と今後の展望～厚生労働省労災疾病臨床研究の結果から～, 東京医科歯科大学(東京), 2017年2月4日.

【学会発表】

- 1) Che Y, Sugita N, Takahashi N, Yoshihara A, Hanai Y, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H: Macrophage erythroblast attacher gene polymorphism and periodontitis in postmenopausal women. 94th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, Seoul (Korea), 2016年6月22-25日.
- 2) Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K: Bidirectional relationship between renal function and periodontal disease in older Japanese women. 94th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, Seoul (Korea), 2016年6月22-25日.
- 3) Hamasaki T, Sakai R, Iwasaki M, Kakuta S, Soh A, Yoshihara A, Ansai H, Miyazaki H: Nutritional status changes in elderly: results of a 2-year study. 94th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition, Seoul (Korea), 2016年6月22-25日.
- 4) Kubota Y, Jareonpitak S, Narksawat K, Satitvipawee P, Durward CS: Dental caries status, knowledge, attitudes and practices among 12-18 years old orphaned children

in an NGO dental clinic in Phnom Penh, Cambodia. 48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health, Tokyo (Japan), 2016年9月16-19日.

- 5) Tada S, Kanazawa M, McKenna G, Iwaki M, Miyayasu A, Minakuchi S, Miyazaki H: Conventional vs Immediate loaded 2-Implant Overdenture: a Willingness-To-Pay Analysis. Human Resource Development towards International Initiative, Manathai Koh Samui (Thailand), 2017年2月18日.
- 6) 西川敦子, 山賀孝之, 小川祐司, 宮崎秀夫: フィリピン共和国マンドラウエ市における社会経済状況別にみた学童の齲蝕罹患状況、口腔衛生習慣、身体発育状況および食生活状況. 平成28年度新潟歯学会総会, 新潟大学歯学部, 2016年4月23日, 新潟歯学会誌, 46(1): 49-50, 2016.
- 7) 根本康子, 久保田健彦, 両角俊哉, 濃野 要, 根津新, 吉江弘正: エナメル基質タンパク、脱タンパクウシ骨基質を用いた歯周組織再生療法におけるコラーゲン膜の有効性の検討. 第59回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市, 2016年5月20-21日, 日本歯周病学会会誌, 58巻春季特別: 139, 2016.
- 8) 秋山理加, 濱寄朋子, 酒井理恵, 岩崎正則, 角田聡子, 邵 仁浩, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 安細敏弘: 在宅高齢者における簡易嚙下状態評価(EAT-10)と2年後の健康状態との関連. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 217, 2016.
- 9) 濱寄朋子, 酒井理恵, 岩崎正則, 角田聡子, 邵 仁浩, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 安細敏弘: 在宅高齢者における体重変化と歯数および栄養素摂取量との関係簡易嚙下状態評価(EAT-10)と2年後の健康状態との関連. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 218, 2016.
- 10) 木本一成, 田口千恵子, 山本武夫, 田浦勝彦, 宮崎秀夫, 境 脩: 日本における集団応用でのフッ化物洗口に関する実態調査(2014)(第2報) フッ化物洗口実施状況. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 264, 2016.
- 11) 金子昇, 濃野 要, 山賀孝之, 葭原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫: *Streptococcus sobrinus* 臨床分離株の *gtfI* 遺伝子における多様性の検討. 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016年5月27-29日, 口腔衛生会誌, 66(2): 284, 2016.
- 12) 尾崎和歌子, 蓮田賀子, 埴岡 隆, 原田有理子, 竹内研時, 小川祐司: WHO の簡易禁煙介入プログラムと日本の歯科禁煙教育モデルの比較. 第65回日

本口腔衛生学会・総会，東京都，2016年5月27-29日，口腔衛生会誌，66(2)：293，2016.

- 1 3) 木村友美，岩崎正則，奥宮清人，和田泰三，藤澤道子，坂本龍太，石本恭子，大塚邦明，宮崎秀夫，松林公蔵：地域在住高齢者の食欲不振と栄養・口腔状況およびQOLとの関連. 2016年度日本老年医学会学術集会，金沢市，2016年6月8-10日，日本老年医学会雑誌，53(Suppl)：88，2016.
- 1 4) 伊藤加代子，船山さおり，金子 昇，濃野 要，池 真樹子，高野綾子，井上 誠：くちのかわき外来受診者における治療および転帰に関する検討. 日本老年歯科学会第27回総会・学術大会，徳島，2016年6月18-19日，老年歯科医学，31(2)：272-273，2016.
- 1 5) 浅野佐和子，金子絵里奈，十川 視，中村彬彦，石田陽子，小川祐司：国際保健における歯科医師のありかた WHO 口腔保健部での研修から. 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会，吹田市，2016年7月1-2日，日本歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集，162，2016.
- 1 6) 笹嶋真嵩，葭原明弘，宮崎秀夫：職域における歯科疾患と従業務内容との関連について. 第27回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会，金沢市，2016年7月30日，口腔衛生会誌，67(2)：印刷中，2017.
- 1 7) Kubota Y, Ooka T, Haino T, Hironaka S: Effects on orofacial growth by gastric infusion in weaning rats. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，新潟市，2016年9月23日.
- 1 8) 篠原千鶴子，伊藤加代子，高松 潔，小川真理子，濃野 要，船山さおり，片倉 朗，野村武史，井上 誠：婦人科受診患者における口腔乾燥をもたらす因子に関する検討. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，新潟市，2016年9月23日.
- 1 9) 山崎梨恵，深井浩一，加藤まり，宮崎秀夫：咬合圧の分散と低減を要した侵襲性歯周炎患者の一症例. 第59回秋期日本歯周病学会学術大会，新潟市，2016年10月6-8日，日本歯周病学会会誌，58巻秋季特別：155，2016.

【受賞】

- 1) Kubota Y: Poster Award, 48th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health, 2016年9月16-19日.

【その他】

- 1) 瀧口知彌：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年4月13日.
- 2) 笹嶋真嵩：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活

習慣病教室，新潟市，2016年5月18日.

- 3) 瀧口知彌：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年6月15日.
- 4) 宮崎秀夫：口腔保健学セミナー「歯科保健医療は高齢者の心身の健康保持増進に大きく貢献している」，九州歯科大学（北九州市），2016年7月1日.
- 5) 宮崎秀夫：第22回口腔保健シンポジウム「生活習慣病と口腔のケア」，読売大手町ホール（東京），2016年7月9日.
- 6) 瀧口知彌，久保田 悠：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年7月13日.
- 7) 金子 昇：むし歯予防、歯と口の健康のお手伝い，口蓋裂診療班母親教室，新潟市，2015年7月26日.
- 8) 笹嶋真嵩：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年8月10日.
- 9) 宮崎秀夫教授：お口の健康ネットワーク講演「お口の健康が元気で長生きの秘訣」，朱鷺メッセ（新潟市），2016年9月4日.
- 1 0) 瀧口知彌：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年9月7日.
- 1 1) 野々村絢子：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2015年10月5日.
- 1 2) 皆川久美子：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年11月2日.
- 1 3) 笹嶋真嵩：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2016年12月7日.
- 1 4) 宮本 茜：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2017年1月18日.
- 1 5) 宮本 茜：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2017年2月15日.
- 1 6) 宮本 茜：新潟大学医歯学総合病院 糖尿病・生活習慣病教室，新潟市，2017年3月15日.

う蝕学分野

【著書】

- 1) 吉羽邦彦：生物学的にみたMTAの有効性—MTAの生物学的特性と直接覆髄後の歯髄反応. HYORONブックレット MTA その基礎と臨床：生体材料としての現状と展望（興地隆史 編著），35-43頁，ヒョーロン・パブリッシャーズ，東京，2016.
- 2) 牛窪敏博，山本信一，神戸 良：診査・診断に関する迷信，根管拡大・形成に関する迷信，外科的歯内療法に関する迷信. 歯内療法の迷信と真実 論文から学ぶ成功へのヒント，32-36頁，40-60頁，144-152頁，クインテッセンス出版株式会社，東京，2017.

【論文】

- 1) Takenaka S, Noiri Y.: Limitations and adverse influences of antimicrobial strategy for the control of oral biofilm. J Dent Oral Biol 2(3): 1-5, 2017.
- 2) Takenaka S, Oda M, Domon H, Ohsumi T, Suzuki Y, Ohshima H, Yamamoto H, Terao Y, Noiri Y.: Vizantin inhibits bacterial adhesion without affecting bacterial growth and causes *Streptococcus mutans* biofilm to detach by altering its internal architecture. Biochem Biophys Res Commun 480(2): 173-179, 2016.
- 3) Han L, Okiji T: An ion extract obtained from mineral trioxide aggregate induced dentin remineralization and dentinal tubule occlusion in artificially demineralized bovine dentin. Am J Dent 29 (3): 166-170, 2016.
- 4) Shigetani Y, Ohkura N, Yoshiba K, Ohshima H, Hosoya A, Yoshiba N, Okiji T: GaAlAs laser-induced pulp mineralization involves dentin matrix protein 1 and osteopontin expression. Oral Disease 22(5): 399-405, 2016.
- 5) Edanami N, Yoshiba N, Ohkura N, Takeuchi R, Tohma A, Noiri Y, Yoshiba K: Characterization of Dental Pulp Myofibroblasts in Rat Molars after Pulpotomy. J Endod: 2017 (In press).
- 6) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Kaneko R, Okiji T: Implantation of Endothelial Cells with Mesenchymal Stem Cells Accelerates Dental Pulp Tissue Regeneration/Healing in Pulpotomized Rat Molars. J Endod: 2017 (In press).
- 7) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Effect of lipopolysaccharide stimulation on stem cell-associated marker-expressing cells in rat incisors. Int Endod J: 2017 (In press).
- 8) Yamamoto S, Han L, Noiri Y, Okiji T: Evaluation of the Ca ion release, pH and surface apatite formation of a prototype tricalcium silicate cement. Int Endod J: 2017 (In press).
- 9) Ohkura M, Ohkura N, Yoshiba N, Yoshiba K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito I, Okiji T: Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I2/PGI2-receptor/TRPV1 pathway-related gene expression in rat molars. Odontology: 2017 (in press).
- 10) Wake N, Asahi Y, Noiri Y, Hayashi M, Motooka D, Nakamura S, Gotoh K, Miura J, Michi H, Iida T, Ebisu S: Temporal dynamics of bacterial microbiota in human oral cavity determined using an in situ model of dental biofilms. Doi: 10.1038/npjbiofilms2016.18 npj Biofilms & Microbiomes: 2: 1-9, 2016.
- 11) Nagai K, Domon H, Oda M, Shirai T, Ohsumi T, Terao Y, Arai Y: Antimicrobial activity of ethylene-vinyl acetate containing bioactive filler against oral bacteria. Dental Materials Journal:2017 (In press).
- 12) Sugawara S, Shigetani Y, Kenmotsu S, Okiji T, Oshima H: Evaluation of a new mouse model for studying dental pulpal responses to GaAlAs laser irradiation. JOB: 59(1): 38-43, 2017.
- 13) 韓 臨麟, 興地隆史: 試作 S-PRG filler 含有根管貼薬材に関する研究 -根管壁象牙細管封鎖効果及び元素の取り込みについて-. 日歯保存誌 59(3): 279-285, 2016.
- 14) 韓 臨麟: フッ化物, fTCP配合ハミガキによるエナメル質耐酸性及び象牙細管封鎖性に関する研究. 歯科保存誌 59 (2): 228-235, 2016.
- 15) 山本信一, 韓 臨麟, 興地隆史: S-PRG フィラー抽出液によるヒト象牙質切削面の細管封鎖と元素の移行. 日歯内療法誌 37: 31-37, 2016.

【商業誌】

- 1) 大倉直人: 健康ワンポイント①. とかちちゃん 2月号: 7, 2017.
- 2) 大倉直人: 健康ワンポイント②. とかちちゃん 3月号: 12, 2017

【研究費獲得】

- 1) 野杵由一郎: 小動物のマイクロエンドモデルの確立と新規根管治療法や根管治療薬の開発に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 15H05021, 2015.
- 2) 野杵由一郎(研究分担者): 難治性根尖性歯周疾患の原因追及に関する多面的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) (研究代表者: 永山智崇)
- 3) 野杵由一郎(研究分担者): 口腔バイオフィルムにおける菌体外マトリックスの時空間的動態のinsitu解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) (研究代表者: 朝日陽子)
- 4) 吉羽邦彦(研究代表者): 象牙質・歯髄複合体の創傷治癒・再生過程における幹細胞の誘導と分化機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 16H05516, 2016.
- 5) 吉羽邦彦(研究分担者): 転写因子Gli1陽性歯髄幹細胞の象牙質再生に対する機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C) (研究代表: 細矢明宏) 16K11664, 2016.
- 6) 吉羽邦彦, 吉羽永子(研究分担者): ラット切歯歯髄幹細胞による臼歯歯髄の再生: 自己幹細胞移植に

よる歯髄再生への展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B) (研究代表者: 興地隆史), 15K15699, 2016.

- 7) 吉羽永子: α -SMA 陽性に転化した細胞の動態から歯髄組織修復・再生メカニズムの解明に挑む. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 16K11546, 2016.
- 8) 竹中彰治: バイオフィーム制御の概念転換の必要性の提示とマトリックスを標的とした制御戦略開発. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 26462876, 2015.
- 9) 大倉直人: 歯髄創傷治癒におけるプロスタグランジン E2 の役割: 輸送担体発現と受容体の機能解析. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 16K20450, 2017.
- 10) 大墨竜也: 抗菌成分のストレス応答による複合バイオフィーム形成亢進機構の解明. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究 B, 16K20451, 2016

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Noiri Y: Refractory periapical periodontitis and biofilms. A novel strategy for treatment of refractory endodontic pathogens. The 14th JEA-KAE Joint Scientific Meeting, November 19, 2016, Soul, Korea. Abstract, Page 79.
- 2) 野杻由一郎: バイオフィームと対峙して 4 半世紀. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016 年 11 月 5 日.
- 3) 野杻由一郎: 実験病理学的根管治療モデルの開発と新規根管治療法や根管治療薬の開発. 東北大学大学院歯学研究科インターフェイス口腔健康科学第 103 回学術フォーラム東北大学, 仙台, 2017 年 3 月 17 日.

【学会発表】

- 1) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Lipopolysaccharide Induces Proliferation and CD146-upregulation of Dental Pulp Stem Cell. IADR/APR General Session & Exhibition, Seoul, Korea, June 22-25, 2016.
- 2) Yoshida N, Yoshida K, Ohkura N, Edanami N, Takeuchi R, Tohma A, Oda Y, Hosoya A, Nakamura H, Okiji T: Fibrillin-1 microfibrils influence human dental pulp regeneration. IADR Pulp Biology and Regeneration Group (PBRG) Symposium, June 26-28, 2016, Nagoya. Program and Abstract Book, Page 77.
- 3) Edanami N, Yoshida N, Ohkura N, Takeuchi R, Tohma A, Yoshida K: Myofibroblasts in dental pulp healing after pulpotomy with mineral trioxide aggregate (MTA) in rat

molars. IADR Pulp Biology and Regeneration Group (PBRG) Symposium, June 26-28, 2016, Nagoya. Program and Abstract Book, Page 80.

- 4) Sueyama Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Implantation of Stem Cells with Endothelial Cells Accelerates Tissue Regeneration. JADR Hatton Award 2017, September 2, 2016, Tokyo.
- 5) Takenaka S, Hasegawa T, Noiri Y: Effect of hypochlorite on polymicrobial biofilm. The 14th JEA-KAE Joint Scientific Meeting, November 19, 2016, Soul, Korea. Abstract, Page 95.
- 6) Maezono H, Noiri Y, Shen Y, Ebisu S, Hayashi M, Haapasalo M: Effect of sodium hypochlorite on polymicrobial biofilm. The 14th JEA-KAE Joint Scientific Meeting, November 19, 2016, Soul, Korea. Abstract, Page 96.
- 7) 韓 臨麟, 山本信一: 生体機能性材料 S-PRG filler に関する研究 -抽出液の塗布による根面象牙質耐酸性の向上効果について-. 第 67 回日本歯科理工学会学術大会, 九州大学, 2016 年 4 月 16-17 日, プログラム 118: 46 頁, 2016.
- 8) 坂上雄樹, 土門久哲, 小田真隆, 竹中彰治, 大墨竜也, 寺尾豊, 野杻由一郎: *Streptococcus mutans* バイオフィームに対する厚朴由来抽出物の殺菌効果. 第 49 回新潟歯学会総会, 新潟, 2016 年 4 月 23 日.
- 9) 末山有希子, 金子友厚, 伊藤崇史, 興地隆史: 歯髄幹細胞に対する lipopolysaccharide 刺激の影響. 第 49 回新潟歯学会総会, 新潟, 2016 年 4 月 23 日.
- 10) 米田直道, 野杻由一郎, 呉本勝隆, 松井沙織, 恵比須繁之, 石本卓也, 中野貴由, 林美加子: 感染根管治療後のラット根尖病変の三次元的および病理組織学的検索. 日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会 (第 144 回), 栃木, 2016 年 6 月 9-10 日, プログラムおよび講演抄録集 144 回: 63 頁, 2016.
- 11) 遠間愛子, 大倉直人, 枝並直樹, 竹内亮祐, 吉羽永子, 吉羽邦彦: ラット臼歯における MTA による直接覆髄後の Glucose Transporter-2 の免疫組織化学および遺伝子発現の解析. 日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会 (第 144 回), 宇都宮, 2016 年 6 月 9-10 日, プログラムおよび講演抄録集 144 回: 111 頁, 2016.
- 12) 竹内亮祐, 大倉直人, 枝並直樹, 遠間愛子, 吉羽永子, 吉羽邦彦: ラット臼歯における Mineral trioxide aggregate による直接覆髄後の Glucose Transporter-1 の免疫局在および遺伝子発現解析. 日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会 (第 144 回), 宇都宮, 2016 年 6 月 9-10 日, プログラムおよび講演抄録集 144 回: 112 頁, 2016.

- 13) 大倉直人, 枝並直樹, 竹内亮祐, 遠間愛子, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 小田陽平, 興地隆史: 培養ヒト歯髄に対する prostaglandin EP2 レセプターアゴニストの影響. 日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会 (第 144 回), 栃木, 2016 年 6 月 9-10 日, プログラムおよび講演抄録集 144 回: 124 頁, 2016.
- 14) 坂上雄樹, 土門久哲, 小田真隆, 竹中彰治, 大墨竜也, 寺尾豊, 野杵由一郎: *Streptococcus mutans* バイオフィームに対する厚朴由来抽出物の殺菌効果. 第 30 回日本バイオフィーム研究学会学術集会, 東京, 2016 年 7 月 2 日, 同集会抄録集: 44 頁, 2016.
- 15) 大倉直人, 山本信一, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: 再治療の歯根尖切除術 ~ マイクロスコープを使用して ~. 第 37 回日本歯内療法学会学術大会, 愛知, 2016 年 7 月 23-24 日, プログラム: 60 頁, 2016.
- 16) 山本信一, 韓臨麟, 野杵由一郎, 興地隆史: In vitro における試作ケイ酸カルシウム系セメントの生体機能評価. 第 37 回日本歯内療法学会学術大会, 愛知, 2016 年 7 月 23-24 日, プログラム: 65 頁, 2016.
- 17) 末山有希子, 金子友厚, 伊藤崇史, 興地隆史: 間葉系幹細胞と血管内皮細胞の混合移植はラット臼歯冠部歯髄の再生を促進する. 第 37 回日本歯内療法学会学術大会, 愛知, 2016 年 7 月 23-24 日.
- 18) 吉羽邦彦, 枝並直樹, 日向 剛, 韓 臨麟, 竹内亮祐, 遠間愛子, 大倉直人, 武井絵梨花, 吉羽永子, 興地隆史: 各種ケイ酸カルシウム系セメントの生体機能性と直接覆髄後の歯髄反応. 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月 21-23 日, 日本歯科医師会雑誌 69(5):454.
- 19) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 小田陽平, 興地隆史: 培養ヒト歯髄に対する prostaglandin EP4 レセプターアゴニストの影響. 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月 21-23 日, プログラム・抄録集: 94 頁, 2016.
- 20) 竹中彰治, 小田真隆, 黒澤美絵, 土門久哲, 大墨竜也, 寺尾豊, 野杵由一郎: 結核菌表層糖脂質誘導体の *Streptococcus mutans* バイオフィーム形成に与える影響. 日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会 (第 145 回), 松本市, 2016 年 10 月 27-28 日, プログラムおよび講演抄録集 145 回: 20 頁, 2016.
- 21) 松井沙織, 呉本勝隆, 米田直道, 恵比須繁之, 湯本浩通, 的場一成, 石本卓也, 中野貴由, 野杵由一郎, 林美加子: 新規開発したラット根管治療モデルを用いた電磁波根尖療法の評価. 日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会 (第 145 回), 松本, 2016 年 10 月 27-28 日, プログラムおよび講演抄録集 145 回: 38 頁, 2016.
- 22) 細矢明宏, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 鷺尾絢子, 諸富孝彦, 北村知昭, 山本昭夫, 中村浩彰: 象牙芽細胞分化におけるポリコーム群タンパク質 Bmi1 の機能. 日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会 (第 145 回), 松本, 2016 年 10 月 27-28 日, 学術大会プログラムおよび講演抄録集 145 回: 43 頁, 2016.
- 23) 末山有希子, 金子友厚, 伊藤崇史, 興地隆史: ラット切歯歯髄組織の幹細胞関連因子発現および MAP1B/CD146 発現細胞に対する LPS 刺激の影響. 日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会 (第 145 回), 松本, 2016 年 10 月 27-28 日, プログラムおよび講演抄録集 145 回: 103 頁, 2016.
- 24) 大倉麻里子, 大倉直人, 野杵由一郎, 齋藤功: 実験的歯の移動によるラット臼歯歯髄内 prostaglandin I2 合成酵素と IP 受容体の時空間的解析. 第 75 回日本矯正歯科学会大会, 徳島, 2016 年 11 月 7-9 日, プログラムおよび抄録集: 203 頁, 2016.

【受賞】

- 1) 坂上雄樹: *Streptococcus mutans* に対する厚朴由来抽出物の殺菌ならびに抗バイオフィーム効果. 平成 28 年度新潟歯学会 奨励賞, 2017 年 2 月 8 日.

【その他】

- 1) 竹中彰治: 歯科衛生士の予防歯科知識を高める! 口腔ケア用品選択. 日本デンタルショー, 2016 年 7 月 16 日.

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 齊藤一誠: 4 『食べる』を支える歯学. 『食べる』と成長. 21 世紀は『食べる』時代 『食べる』を考えたことありますか? (新潟大学歯学部編), 120-123 頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2016.
- 2) 齊藤一誠, 早崎治明: 小児の咀嚼運動の特徴. よくわかる顎口腔機能 (日本顎口腔機能学会編), 245-248 頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2017.

【論文】

- 1) Saitoh I, Sato M, Soda M, Inada E, Iwase Y, Murakami T, Ohshima H, Hayasaki H, Noguchi H: Tissue-specific stem cells obtained by reprogramming of non-obese diabetic (NOD) mouse-derived pancreatic cells confer insulin production in response to glucose, PLoS One 23:11(9): e0163580, 2016.
- 2) Morizono K, Takemoto Y, Inada E, Murakami D, Saitoh

- I, Sato H, Iwasaki T, Yamasaki Y: Simultaneous evaluation of three-dimensional lip kinetics and tongue pressure during swallowing, *Int J Dent Oral Health* 2(2): doi <http://dx.doi.org/10.16966/2378-7090.169>, 2016.
- 3) Inada E, Saitoh I, Kubota N, Murakami T, Soda M, Sawami T, Yamasaki Y, Sato M: Alkaline phosphatase and OCT-3/4 as useful markers for predicting susceptibility of human deciduous teeth-derived dental pulp cells to reprogramming factor-induced iPS cells, *J Invest Clin Dent* doi: 10.1111/jicd.12236, 2016.
 - 4) Sato M, Maeda K, Koriyama M, Inada E, Saitoh I, Ohtsuka M, Nakamura S, Sakurai T, Watanabe S, Miyoshi K. The piggyBac-based gene delivery system can confer successful production of cloned porcine blastocysts with multigene constructs, *Int J Mol Sci* 30:17(9), 2016.
 - 5) Sato M, Saitoh I, Inada E: Efficient CRISPR/Cas9-based gene correction in induced pluripotent stem cells established from fibroblasts of patients with sickle cell disease, *Stem Cell Investigation* 3(78): doi: 10.21037/sci.2016.11.05, 2016.
 - 6) Miyagi-Shiohira C, Kobayashi N, Saitoh I, Watanabe M, Noguchi Y, Matsushita M, Noguchi H: Comparison of purification solutions with different osmolality for porcine islet purification, *Cell Med* 9(1-2): 53-59, 2017.
 - 7) Miyagi-Shiohira C, Kobayashi N, Saitoh I, Watanabe M, Noguchi Y, Matsushita M, Noguchi H. Evaluation of islet purification methods using large bottles to make continuous density gradient. *Cell Med* 9(1-2): 45-51, 2017.
 - 8) Miyagi-Shiohira C, Kobayashi N, Saitoh I, Watanabe M, Noguchi Y, Matsushita M, Noguchi H: Evaluation of serum-free, xeno-free cryopreservation solutions for human adipose-derived mesenchymal stem cells. *Cell Med* 9(1-2): 15-20, 2017.
 - 9) Iwasaki T, Sato H, Suga H, Takemoto Y, Inada E, Saitoh I, Kakuno E, Kanomi R, Yamasaki Y: Relationships between nasal resistance, adenoids, tonsils, and tongue posture and maxillofacial form in Class II and Class III children, *American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics* (in press).
 - 10) Miyagi-Shiohira C, Kurima K, Kobayashi N, Saitoh I, Watanabe M, Noguchi Y, Matsushita M, Noguchi H: Cryopreservation of adipose-derived mesenchymal stem cells (Review). *Cell Med* (in press).
 - 11) Saitoh I, Fukumoto S, Iwase Y, Hayasaki H, Youichi Yamasaki: Unilateral open-bite caused by impacted tooth of deciduous molar with the ankylosis: A Case Report, *Pediatric Dental Journal* (in press).
- 【商業誌など】**
- 1) 寺尾 豊, 黒澤美絵: 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (人食いバクテリア). *感染・炎症・免疫* 46(2): 76-78, 2016.
 - 2) 齊藤一誠: 准講会の活動について. *新潟大学歯学部ニュース*, 平成 28 年度第 2 号, 2016.
- 【研究費獲得】**
- 1) 齊藤一誠, 齊藤陽子, 佐藤正宏 他: 乳歯歯髓由来ヒト iPS 細胞からの歯形成細胞への分化誘導制御. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 25293418, 2016.
 - 2) 齊藤一誠, 佐藤正宏, 野口洋文 他: xeno-free ヒト iPS 細胞樹立のための高機能歯髓由来 feeder 細胞の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 26670883, 2016.
 - 3) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 意図的歯根切除と抗菌性薬剤が歯の再植後の歯髓・歯根膜治癒過程に及ぼす影響について. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26463111, 2016.
 - 4) 齊藤陽子, 齊藤一誠, 澤味 規, 早崎治明 他: 笑気吸入鎮静法とデクスメドトミジン添加リドカインを併用した行動調整法. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25463176, 2016.
 - 5) 稲田絵美, 齊藤一誠, 野口洋文: 独自の視点からのヒト歯髓幹細胞の同定、選択的濃縮および特定解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 25463192, 2016.
 - 6) 鹿児島暁子, 齊藤一誠 他: 次世代型標的遺伝子破壊法 CRISPR/Cas9 システムの歯学領域への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11362, 2016.
 - 7) 野口洋文, 齊藤一誠: iPS 細胞作製技術を応用したヒト人工臍幹細胞、人工肝幹細胞の樹立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 16H05404, 2016.
 - 8) 窪田直子, 齊藤一誠 他: マウス歯根形成端周囲組織への直接的遺伝子導入法 (GTPT) の開発と応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 16K11810, 2016.
 - 9) 村上大輔, 齊藤一誠 他: 口呼吸小児における口唇閉鎖訓練の有効性の検討とスクリーニング法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 16K11809, 2016.
 - 10) 村上智哉: 乳歯歯髓由来ヒト iPS 細胞からの歯髓幹細胞への分化誘導制御. 日本学術振興会科学研究費

補助金 特別研究奨励費, 15J03924, 2016.

- 11) 齊藤一誠, 稲田絵美, 海原康孝, 澤味規: 小児の咬合平面と顎顔面軟組織との関連性に関する研究. 一般社団法人日本小児歯科学会“町田賞”研究奨励賞, 2016.
- 12) 稲田絵美, 齊藤一誠, 余 永: 口唇運動と舌圧の3次元動態解析による新しい嚥下評価方法の確立と嚥下の負担が少ない食品性状の検討. やずや食と健康研究所 2014 年度助成研究, 2016.
- 13) 中島 努: 三次元運動計測システムを用いたセルフ磨きと仕上げ磨きの動作解析. 公益財団法人富徳会研究者助成金, 2016.
- 14) 村上 望: 一食を通じての食事量および食事動作の観察. 平成 28 年度新潟大学ライフイベント復帰支援制度, 2016.

【学会発表】

- 1) Nogami Y, Saitoh I, Inada E, Kaihara Y, Murakami D, Takemoto Y, Sawami T, Nosou M, Sakurai K, Matsumoto N, Soda M, Nakajima T, Kozai K, Yamasaki Y, Hayasaki H: Does lip-closing strength develop in parallel to age in children?. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan), 2016 年 5 月 26-28 日. The Japanese Journal of Pediatric Dentistry, 54(2) : 332 頁, 2016.
- 2) Nakajima T, Saitoh I, Iwase Y, Nogami Y, Matsueda K, Hayasaki H : Reconsidering the treatment plan for traumatized teeth – a case of lateral luxation with severe displacement -. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan), 2016 年 5 月 26-28 日, The Japanese Journal of Pediatric Dentistry 54(2) : 271 頁, 2016.
- 3) Murakami T, Saitoh I, Sato M, Inada E, Soda M, Iwase Y, Sawami T, Suzuki A, Ohshima H, Hayasaki H: The genetic engineering-based isolation of lymphoid enhancer-binding factor-1 (LEF1) positive stem-like cells from human deciduous tooth cell-derived iPSCs. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan), 2016 年 5 月 26-28 日, The Japanese Journal of Pediatric Dentistry 54(2) : 355 頁, 2016.
- 4) Hanasaki M, Nakakura-Ohshima K, Nogami Y, Nakajima T, Kagoshima A, Murakami N, Hayasaki H: Gender differences of tooth brushing motion and force in self-brushing and caregiver's brushing. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan) 2016 年 5 月 26-28 日, The Japanese Journal of Pediatric Dentistry 54(2) : 271 頁, 2016.
- 5) Kurosawa M, Saitoh I, Nagai H, Fujii T, Nakakura-Ohshima K, Iwase Y, Hayasaki H, Shirakawa T: A case of very early onset Crohn's disease with intractable gingivitis, cheilitis and gastrointestinal aphthous ulcers. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan) 2016 年 5 月 26-28 日, The Japanese Journal of Pediatric Dentistry 54(2) : 265 頁, 2016.
- 6) Iwasaki T, Sato H, Suga H, Takemoto Y, Inada E, Saitoh I, Kakuno E, Kanomi R, Yamasaki Y: Relationships between nasal resistance, adenoids, tonsils, and tongue posture and maxillofacial dentition in Class II and Class III Children. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan) 2016 年 5 月 26-28 日, The Japanese Journal of Pediatric Dentistry 54(2) : 321 頁, 2016.
- 7) Inada E, Saitoh I, Oku T, Murakami D, Kaihara Y, Takemoto Y, Morizono K, Kubota N, Hayasaki H, Yamasaki Y: Morphological characteristics of facial soft tissue of mouth-breathing children. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, Tokyo (Japan) 2016 年 5 月 26-28 日, The Japanese Journal of Pediatric Dentistry 54(2) : 324 頁, 2016.
- 8) 中島 努, 野上有紀子, 花崎美華, 大島邦子, 早崎治明: 母親と歯科衛生士におけるセルフブラッシングと仕上げ磨きの三次元運動解析. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016 年 7 月 9 日, 新潟歯学会誌 46(2) : 50 頁, 2016.
- 9) 村上 望, 中村由紀, 中島 努, 村上智哉, 岩瀬陽子, 齊藤一誠, 早崎治明: 一食を通じての食事量および食事動作の観察. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016 年 7 月 9 日, 新潟歯学会誌 46(2) : 49-50 頁, 2016.
- 10) 近藤淳子, 野上有紀子, 葎原明弘: 新潟県における新たな住民参加型歯科保健活動 は～もに～プロジェクトの取り組み. 第 11 回日本歯科衛生学会学術大会, 広島, 2016 年 9 月 17-18 日, 日本歯科衛生学会雑誌 11(1) : 118 頁, 2016.
- 11) 早崎治明, 中村由紀, 大島邦子, 岩瀬陽子, 澤味 規, 鹿児島暁子, 黒澤美絵, 村上 望, 君 雅水, 中島 努, 花崎美華, 左右田美樹, 鈴木絢子, 野上有紀子, 齊藤一誠: 某小児療育センター歯科診療室における歯科診療実態とその臨床的検討. 第 33 回日本障害者歯科学会大会, 大宮, 2016 年 9 月 30 日-10 月 2 日, 障歯誌 37(3) : 278 頁, 2016.
- 12) 永井正志, 豊里 晃, 石黒千代栄, 山田亮子, 有松美紀子, 大島邦子, 島田路征, 大橋 誠, 小笠原 正, 江草正彦, 宮城 敦: 2016 年度第 6 回スペシャルオ

リンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟一第1報 スペシャルスマイルズの活動概要一. 第33回日本障害者歯科学会大会, 大宮, 2016年9月30日-10月2日, 障歯誌 37(3):390頁, 2016.

- 13) 豊里 晃, 永井正志, 石黒千代栄, 山田亮子, 有松美紀子, 大島邦子, 島田路征, 大橋 誠, 荒井節男, 小笠原 正, 江草正彦, 宮城 敦: 2016年度第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟一第2報 第5回参加アスリートの口腔内状況との比較一. 第33回日本障害者歯科学会大会, 大宮, 2016年9月30日-10月2日, 障歯誌 37(3):390頁, 2016.
- 14) 大橋 誠, 永井正志, 豊里 晃, 石黒千代栄, 山田亮子, 有松美紀子, 大島邦子, 島田路征, 高橋靖之, 荒井節男, 小笠原 正, 江草正彦, 宮城 敦: 2016年度第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟一第3報 ボランティアへのアンケート一. 第33回日本障害者歯科学会大会, 大宮, 2016年9月30日-10月2日, 障歯誌 37(3):391頁, 2016.
- 15) 鹿兒島暁子, 中村 由紀, 近藤 淳子, 澤味 規, 岩瀬 陽子, 大島 邦子, 齊藤 一誠, 早崎 治明: Evidence Based Dentistry in Pediatric Dentistry (8) 外傷による乳歯完全脱臼への対応. 第34回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 新潟, 2016年10月9日, 小児歯科学雑誌 55(1):77-8頁, 2017.
- 16) 辻井利弥, 稲田絵美, 村上大輔, 齊藤一誠, 中島 努, 野上有紀子, 白澤良執, 窪田直子, 武元嘉彦, 森園 健, 早崎治明, 山崎要一: 小児における口呼吸と食べ方の関連性について. 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会, 宮崎, 2016年10月30日, 2016.
- 17) 野上有紀子, 岩瀬陽子, 葭原明弘, 大内章嗣, 高橋英樹, 中川兼人, 早崎治明: 一時保護児童のう蝕状況に関する実態調査. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, 新潟歯学会誌 46(2):116-7頁, 2016.
- 18) 花崎美華, 中島 努, 野上有紀子, 大島邦子, 早崎治明: セルフブラッシングと介助磨きの動作解析 一性差の観点から一. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, 新潟歯学会誌 46(2):61頁, 2016.
- 19) 君 雅水, 齊藤一誠, 澤味規, 野上有紀子, 中島 努, 岩瀬陽子, 中村由紀, 早崎治明: 小児における仮想咬合平面評価システムの開発. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, 新潟歯学会誌 46(2), 117-8頁, 2016.
- 20) 佐藤正宏, 稲田絵美, 齊藤一誠, 三浦浩美, 大塚正

人, 中村伸吾, 桜井敬之, 渡部 聡: マウスすい臓内への piggyBac 系を介した直接生体内遺伝子導入は外来遺伝子の長期発現を可能とする. 第39回日本分子生物学会年会, 横浜市, 2016年11月30日-12月2日, 2016.

【研究会発表】

- 1) 松枝一成, 岩瀬陽子, 鹿兒島暁子, 中島 努, 早崎治明: 医療連携を活用した障害者歯科治療への取り組み. 第7回北信越障害者歯科臨床研究会, 富山市, 2016年6月26日.
- 2) 野上有紀子, 岩瀬陽子, 鹿兒島暁子, 齊藤一誠, 中村由紀, 早崎治明: 新潟県の一時保護児童における虫歯の罹患状況に関する報告. 第55回新潟県小児保健研究会, 新潟, 2016年10月5日, 抄録集4-5頁, 2016.
- 3) 齊藤一誠: 乳歯を用いた再生医療の確立と歯の発生・形態異常の解明. 第1回 D3 研究交流会, 新潟市, 2017年1月24日.
- 4) 齊藤一誠: 当院でのHPP症例に関する歯科的所見および口腔内管理について. 新潟県低ホスファターゼ症談話会, 新潟市, 2017年2月24日.

【受賞】

該当なし

【その他】

- 1) 大島邦子: 障害のある子もいない子も集まれ, 新潟歯科衛生士会研修会, 新潟, 2016年6月19日.
- 2) 齊藤一誠: 小児の口呼吸と口唇閉鎖機能. Mouth breathing and lip-closing function in children. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia Luncheon meeting, Tokyo (Japan) 2016年5月27日.
- 3) 齊藤一誠: 口呼吸と口唇閉鎖〜りっぷるくんの臨床. 第34回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 ランチョンセミナー, 宮崎市, 2016年10月30日.
- 4) 齊藤一誠: 口呼吸と口唇閉鎖〜りっぷるくんの臨床. 第35回日本小児歯科学会中四国地方会大会及び総会 ランチョンセミナー, 岡山市, 2016年11月6日.

生体歯科補綴学分野

【著書】

- 1) 魚島勝美他: 冠橋義歯補綴学テキスト第2版, 11-24, 225-232. 2017年3月16日

- 2) 魚島勝美他: よくわかる口腔インプラント学第3版, 173-174, 2017年2月10日

【論文】

- 1) 魚島勝美、玉井克人、秋山謙太郎、西村正宏: 幹細胞研究の現状と将来展望. 日補綴会誌. 8 (4) : 340-355, 2016.
- 2) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 小林哲夫, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 藤井規孝: 歯科医師臨床研修に関するインシデントレポートの分析と対策. 日本歯科医学教育学会雑誌 32 巻1号: 29-36 頁, 2016.
- 3) 鶴田潤, 熊谷直太, 魚島勝美, 木本克彦: 補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか? -欧米のプログラムに学ぶ-. 日補綴会誌. 9 (1) : 16-32, 2017.
- 4) Kaku M, Komatsu Y: Functional Diversity of Ciliary Proteins in Bone Development and Disease. *Curr Osteoporos Rep* 2017 in press.
- 5) Kaku M, Kitami M, Rosales Rocabado JM, Ida T, Akiba Y, Uoshima K: Recruitment of bone marrow-derived cells to the periodontal ligament via the stromal cell-derived factor-1/C-X-C chemokine receptor type 4 axis. *J Periodontal Res* 2017 in press.
- 6) Kuroshima S, Kaku M, Matsuura T, Atsuta I, Ayukawa Y, Sawase T: Medication-related osteonecrosis of the jaw; what should we do as prosthodontists? *J Prosthodont Res* Oct;60(4):229-230, 2016.
- 7) Kaku M: Prosthodontics: A multidisciplinary field in dentistry. *J Prosthodont Res* Jul;60(3):143-4, 2016.
- 8) Ohyama Y, Lin JH, Govitvattana N, Lin IP, Venkitapathi S, Alamoudi A, Husein D, An C, Hotta H, Kaku M, Mochida Y: FAM20A binds to and regulates FAM20C localization. *Sci Rep* Jun 13;6:27784, 2016.
- 9) Noda K, Kitami M, Kitami K, Kaku M, Komatsu Y: Canonical and noncanonical intraflagellar transport regulates craniofacial skeletal development. *Proc Natl Acad Sci U S A* May 10;113(19):E2589-97, 2016.
- 10) Kitami M, Kaku M, Rocabado JM, Ida T, Akiba N, Uoshima K: Prolonged Survival of Transplanted Osteoblastic Cells Does Not Directly Accelerate the Healing of Calvarial Bone Defects. *J Cell Physiol* Sep;231(9):1974-82, 2016.
- 11) Kaku M, Rosales Rocabado JM, Kitami M, Ida T, Akiba Y, Yamauchi M, Uoshima K: Mechanical Loading Stimulates Expression of Collagen Cross-Linking Associated Enzymes in Periodontal Ligament. *J Cell Physiol* Apr;231(4):926-33, 2016.
- 12) Takano R, Nagasawa M, Kitami M, Rosales Rocabado JM, Kaku M, Stegaroiu R, Uoshima K: Correlation Between Stress Distributions and Biological Reactions in Bone Surrounding Implants That Support Cantilevers in Supraocclusal Contact in Rats. *Implant Dent* Apr;25(2):204-13, 2016.
- 13) Terajima M, Taga Y, Chen Y, Cabral WA, Hou-Fu G, Srisawasdi S, Nagasawa M, Sumida N, Hattori S, Kurie JM, Marini JC, Yamauchi M: Cyclophilin-B modulates collagen cross-linking by differentially affecting lysine hydroxylation in the helical and telopeptidyl domains of tendon type I collagen. *J Biol Chem.* 291(18):9501-12, 2016.
- 14) Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K.: Biological Evaluation of Implant Drill Made from Zirconium Dioxide. *Clinical Implant Dentistry and Related Research.* 2016 in press
- 15) 秋葉陽介、渡邊恵、峯篤史、池戸泉美、二川浩樹: 歯科金属アレルギーの現状と展望. 日補綴会誌 8:327-339. 2016.

【商業誌】

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美: 骨質(コラーゲン)が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 26293408, 2016.
- 2) 加来 賢: 歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 26293407, 2016.
- 3) 加来 賢: 歯根膜の血行性幹細胞供給とその分化過程を追跡するイメージングシステムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金, 15KK0337, 2016.
- 4) 加来 賢: 幹細胞の分化制御を指向した高架橋コラーゲン・スキャフォールドの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 15K15704, 2016.
- 5) JM Rosales Rocabado: Role of intra and extracellular miRNAs in stem cell-based bone regeneration, 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 16K20492, 2016.
- 6) 井田貴子: コラーゲンの2次構造が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズム探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 15J03831, 2016.
- 7) 長澤麻沙子: 骨髄細胞の機能を介した局所の破骨細胞分化制御機構の探索. 日本学術振興会科学研究

費補助金, 若手研究(B), 代表, 15K20431, 2016.

- 8) 江口香里: IGFBP-3 を起点とする骨代謝制御を介した新規骨増生法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22879564, 2016.
- 9) 秋葉陽介: 多機能性エピジェネティクス低分子化合物を用いた骨増成機構への多面的アプローチ. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C)26462915, 2016

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 魚島勝美: 補綴装置の術後管理—装着後に発生する問題とその対応—日本補綴歯科学会関西支部専門医研修会, 大阪, 2017年1月22
- 2) 魚島勝美: 日本歯科医学教育学会の国際化について. 第35回日本歯科医学教育学会シンポジウム, 大阪, 2016年7月2日
- 3) 魚島勝美: 補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか—欧米のプログラムに学ぶ—第125回日本補綴歯科学会学術大会委員会セミナー, 金沢, 2016年7月8日
- 4) 魚島勝美: 補綴治療のコンセプト—天然歯とインプラント—. 矯正歯科医セミナー例会, 東京, 2016年4月11日
- 5) 加来 賢: 骨質研究がもたらす歯科補綴の治療インベーション. 第125回日本補綴歯科学会学術大会, 金沢, 2016年7月8日, 同学術大会プログラム・抄録集: 103頁, 2016.
- 6) 秋葉陽介: 新潟大学における治療計画立案演習とシミュレーションソフトの活用. 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラムFD, 広島大学, 2017年2月15日
- 7) 秋葉陽介: 新潟大学における治療計画立案演習とシミュレーションソフトの活用. 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラムFD, 東北大学, 2017年2月22日
- 8) 秋葉陽介: 新潟大学における治療計画立案演習とシミュレーションソフトの活用. 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラムFD, 新潟大学, 2017年2月23日
- 9) Nagasawa M, Uoshima K, Suliman M, Mizushima K, Cooper LF: Bone marrow cells are mediating osteoclast differentiation around dental implant in vivo. The International Collaborative Symposium 2017 (Niigata University, Japan – Prince of Songkla University, Thailand, February 11, 2017, Program book: 44, 2017.
- 10) Mizushima K, Nagasawa M, Uoshima K, Suliman M, Farah Al Omari: Collagen Cross-link deficiency might influence osseointegration of the implant in rat. The

International Collaborative Symposium 2017 (Niigata University, Japan – Prince of Songkla University, Thailand, February 11, 2017, Program book: 43, 2017.

- 11) Kaori Eguchi: IGFBP3 effects osteoblast differentiation independent of IGF signaling. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Samui, Thailand, Feb 11, 2017.
- 12) Takaoka Y, Akiba Y, Nagasawa M, Aoyagi Y, Uoshima K: Analysis of metal allergy patients visited Niigata University Medical and Dental Hospital. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Samui, Thailand, Feb 12, 2017.
- 13) Akiba Y: Acceleration of osteogenesis through cell recruitment and angiogenesis. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Samui, Thailand, Feb 11, 2017.

【学会発表】

- 1) 魚島勝美, 星名秀行, 山田一穂, 小川信, 清水太郎, 上松晃也, 荒井良明, 小林正治: 新潟大学歯学総合病院インプラント治療部開設後の治療実績: 10年間の外来および入院患者. 第46回日本口腔インプラント学会, 名古屋, 2016年9月18日.
- 2) 上松晃也, 星名秀行, 山田一穂, 小川信, 永田昌毅, 荒井良明, 高木律男, 小林正治, 魚島勝美: 新潟大学歯学総合病院インプラント治療部における骨増生の臨床的検討. 第20回日本顎顔面インプラント学会, 東京, 2016年12月3日.
- 3) 河村篤志, 秋葉陽介, 長澤麻沙子, 高嶋真樹子, 永井康介, 山崎裕太, 荒井良明, 魚島勝美: 加熱によるデンタルインプラント除去法の有効性検証. 第46回日本口腔インプラント学会, 名古屋, 2016年9月18日.
- 4) 浜谷桂佑, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 新潟大学歯学総合病院冠ブリッジ診療科における歯根破折治療の報告. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2016年11月6日
- 5) A.Kawamura, M Nagasawa, Y.Akiba, M.Takashima, Y.Arai, K.Uoshima: Validation of an Implant Removal Method by Local Heating. EAO Congress 2016.Paris, 2016. 9.30.
- 6) Katsumi Uoshima, Nami Akiba, Kazuhiro Ono, Takeyasu Maeda, Yasuhisa Tekauchi, Taichi Tenkumo, Keiichi Sasaki, Kazuhiro Tsuga, Motoyuki Sugai: A newly developed technical assessment of dental students in Japan. ADEE2016, Barcelona, 2016.8.26

- 7) JM Rosales Rocabado, Kaku M, Nozaki K, Ida T, Uoshima K: Influence of bone morphology over the bone mechanical properties of Osteoporotic rat models. 30th ASBMR 2016 Annual Meeting, Atlanta, Sep 19, Program book: 195, 2016.
- 8) Kaori Eguchi, Yosuke Akiba, Nami Akiba, Masako Nagasawa, Lyndon F. Cooper, Katsumi Uoshima: IGFBP-3 Suppresses Osteoblast Differentiation Through BMP-2 Signaling. 94th General Session & Exhibition of the IADR. Seoul, Korea, June 22-25, 2016.
- 9) 加来 賢, 北見恩美, JM Rosales Rocabado, 井田貴子, 秋葉陽介, 魚島勝美: SDF-1/CXCR4 による歯根膜への骨髄由来細胞の誘導, 第 125 回日本補綴歯科学会学術大会, 金沢, 2016 年 7 月 8 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 237 頁, 2016.
- 10) JM Rosales Rocabado, 加来 賢, 野崎浩佑, 井田貴子, 魚島勝美: Fracture Strength of Femoral Bone Increased by Gain of Cortical Bone Volume on Ovariectomized Rats, 第 125 回日本補綴歯科学会学術大会, 金沢, 2016 年 7 月 8 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 262 頁, 2016.
- 11) 北見公平, 北見恩美, 加来 賢, 小松義広, 齋藤功: がん抑制遺伝子 BRCA1 は顎顔面骨の形態形成に必須である, 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016 年 11 月 5 日, 同学会プログラム: 1 頁, 2016.
- 12) 青柳裕仁, 高 昇将, 中野将人, 木村龍弥, 魚島勝美: SiC 繊維の含有量が SiC 繊維強化型コンポジットレジンの機械的強度に及ぼす影響. 平成 28 年度日本補綴歯科学会関越支部総会・学術大会, 2016 年 11 月 6 日, プログラム・抄録集: 15 頁, 2016.
- 13) 高 昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 中野将人, 魚島勝美: SiC 繊維のシラン処理濃度が機械的強度に及ぼす影響. 平成 28 年度日本補綴歯科学会関越支部総会・学術大会, 2016 年 11 月 6 日, プログラム・抄録集: 14 頁, 2016.
- 14) 江口香里, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 長澤麻沙子, リンドン F. クーパー, 魚島勝美: IGFBP-3 は BMP-2 シグナルを介して IGF 非依存的に骨形成を抑制する, 日本補綴歯科学会第 125 回学術大会, 2016 年 7 月 8 日~10 日, 石川, 同学術大会プログラム・抄録集: 259 頁, 2016.
- 15) Suliman M, Nagasawa M, Mizushima K, Uoshima K: The influences of collagen crosslink in bone matrix on adjacent tissue reactions. 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2016 年 9 月 18 日, 同学術集会プログラム: 56 頁, 2016.
- 16) 秋葉陽介, 江口香里, 秋葉奈美, 魚島勝美: 機能特化プライミング細胞カクテル移植による骨再生法, 日本補綴歯科学会第 125 回学術大会, 2016 年 7 月 8 日~10 日, 石川, 同学術大会プログラム・抄録集: 321 頁, 2016.
- 17) 秋葉奈美, 小野和宏, 吉羽邦彦, 加来咲子, 竹石龍右, 魚島勝美, 前田健康: 疾患統合モデルを用いた卒業時歯科臨床技能評価方法の開発. 第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会, 2016 年 7 月 2 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 135 頁, 2016
- 18) 田地 豪, 天雲太一, 竹内裕尚, 秋葉奈美, 三村純代, 首藤崇裕, 二川浩樹, 津賀一弘, 小野和宏, 吉羽邦彦, 魚島勝美, 前田健康, 佐々木啓一, 菅井基行: 標準化された病態顎モデルを用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発—第 3 報—第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会, 2016 年 7 月 2 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 82 頁, 2016
- 19) 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 三村純代, 首藤崇裕, 石田陽子, 秋葉奈美, 魚島勝美, 小野和宏, 佐々木啓一, 菅井基行, 前田健康: 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム—平成 26~27 年度の実績—2016 年 7 月 2, 3 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 99 頁, 2016

【研究会発表】

- 1) 加来 賢, 井田貴子, 魚島勝美: コラーゲン架橋による骨関連細胞の分化制御, 第 5 回あしなが予防医学研究会, 新潟, 2017 年 2 月 18 日.
- 2) 井田貴子, 加来 賢, 水越 優, 魚島勝美: 歯根膜の部位特異的な細胞増殖活性の解析, 第 6 回補綴若手研究会, 山口, 2017 年 3 月 11 日, 同研究会プログラム: 6 頁, 2016.
- 3) 江口香里, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 魚島勝美: IGFBP-3 による骨芽細胞分化制御機構の解析. 第 6 回補綴若手研究会, 山口, 2017 年 3 月 11 日, 同研究会プログラム: 8 頁, 2017.

【受賞】

【その他】

- 1) 加来 賢: 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員
- 2) 加来 賢: 日本補綴歯科学会 JPR 編集委員会委員
- 3) 加来 賢: 日本補綴歯科学会評議員
- 4) 加来 賢: Journal of Prosthodontic Research, Editor
- 5) 秋葉奈美: 医療系大学間共用試験実施評価機構臨床実習後 OSCE 準備検討委員会歯学系 WG 委員

- 6) 魚島勝美：日本学術振興会科学研究費補助金審査委員
- 7) 魚島勝美：医療系大学間共用試験実施評価機構臨床実習後 OSCE 準備検討委員会歯学系 WG 委員
- 8) 魚島勝美：日本補綴歯科学会教育問題検討委員会委員
- 9) 魚島勝美：日本補綴歯科学会評議員
- 10) 魚島勝美：日本歯科医学教育学会評議員
- 11) 魚島勝美：日本歯科医学教育学会国際化推進委員会委員
- 12) 魚島勝美：新潟歯学会評議員
- 13) 魚島勝美：口腔病学会評議員
- 14) 魚島勝美：歯科技工士試験委員
- 15) 長澤麻沙子：日本歯科放射線学会診療ガイドライン委員会委員

顎顔面口腔外科分野

【論文】

- 1) Madachi K, Takagi R, Asahito T, Kodama Y Oominato R, Iida A, Ono K, Saito I : Clinical Evaluation after Two-Stage Palatoplasty Combined with Hotz's plate : A Comparison of Furlow's versus Perko's Method . International journal of Oral and Maxillofacial Surgery 46(5) : 539-547, 2017.
- 2) Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Xu B, Babkair H, Sumita Y, Cheng J, Yamamoto T, Saku T : Proteomic and histopathological characterization of the interface between oral squamous cell carcinoma invasion . Experimental and Molecular Pathology 102(2):327-336, 2017.
- 3) Shingaki M, Nikkuni Y, Katsura K, Ikeda N, Maruyama S, Takagi R, Hayashi T : The clinical significance of the intraoral strain elastography in early stage tongue carcinoma . doi : 10.1007/s11282-016-0269-1 . Oral radiology, 2016.
- 4) Saito T, Iida A, Kobayashi T, Ohnuki H, Narimatsu K, Ohnishi M : Secondary peripheral ameloblastic carcinoma of the palate : a case report and literature review. JOMSMP 28 : 429-433, 2016.
- 5) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Portaveetus T, Oommen S, Blackburn J, Nagai T, Kitamura A, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P T, Ohazama A : Spatio-temporal expression of Sox genes in murine palatogenesis. Gene Expr Patterns 21(2) : 111-118, 2016.
- 6) Kawasaki M, Kawasaki K, Oommen S, Blackburn J, Watanabe M, Nagai T, Kitamura A, Maeda T, Liu B, Schmidt-Ullrich R, Akiyama T, Inoue J, Hammond NL, Sharpe PT, Ohazama A : Regional regulation of filiform tongue papillae development by Ikko/Irf6. ev Dyn 245(9) : 937-946, 2016.
- 7) Kawase T, Okuda K, Nagata M, Tsuchimochi M, Yoshie H, Nakata K : Non-invasive, quantitative assessment of the morphology of γ -irradiated human mesenchymal stem cells and periosteal cells using digital holographic microscopy. Int J Radiat Biol 92(12) : 796-805, 2016.
- 8) Kawase T, Hayama K, Tsuchimochi M, Nagata M, Okuda K, Yoshie H, Burns DM, Nakata K : Evaluating the Safety of Somatic Periosteal Cells by Flow-Cytometric Analysis Monitoring the History of DNA Damage. Biopreserv Biobank 14(2) : 129-137, 2016.
- 9) Babkair H, Yamazaki M, Uddin MS, Maruyama S, Abé T, Essa A, Sumita Y, Ahsan MS, Swelam W, Cheng J, Saku T : Aberrant expression of the tight junction molecules claudin-1 and zonula occludens-1 mediates cell growth and invasion in oral squamous cell carcinoma. Hum Pathol 57 : 51-60, 2016.
- 10) 池田順行, 小原彰浩, 弦巻 立, 瀬尾憲司, 齋藤 功, 高木律男. 顎矯正手術を行った筋緊張性ジストロフィーに伴う顎変形症の 1 例. 日口外誌 62(12) : 612-617, 2016.
- 11) 大貫尚志, 飯田明彦, 小林孝憲, 山田瑛子, 木口哲郎 : 頬粘膜憩室様病変の 1 例. 日口外誌 62(12) : 633-637, 2016.
- 12) 永井孝宏, 児玉泰光, 黒川 亮, 西川 敦, 山田瑛子, 田邊嘉也, 高木律男 : HIV 感染者における歯科観血的処置の臨床的検討. 新潟歯学会誌 46(2) : 13-19, 2016.
- 13) 渡部桃子, 池田順行, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男 : 側頭部蜂窩織炎後の癒痕形成により開口障害が持続した 1 例. 新潟歯学会誌 46(2) : 33-38, 2016.
- 14) 大貫尚志, 児玉泰光, 北村 厚, 本多忠幸, 遠藤 裕, 高木律男 : 過去 10 年間における顎顔面骨骨折の臨床的検討～高次救命災害治療センター開設前後での比較～. 日口外傷誌 15(1, 2) : 1-6, 2016.
- 15) 山田一穂, 星名秀行, 勝見祐二, 上杉崇史, 小川 信, 魚島勝美, 高木律男 : 顎関節脱臼を伴う上下顎無歯顎患者の下顎骨骨折治療に対するインプラントシミュレーションソフトの応用. 日口腔インプラント誌 29(3) : 173-179, 2016.
- 16) 齋藤太郎, 笠井直栄, 高木律男 : 下顎歯肉に発症したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の 1 例. 日口内誌 22(1) : 24-28, 2016.
- 17) 大湊 麗, 小林孝憲, 児玉泰光, 小山貴寛, 五十嵐友樹, 飯田明彦, 小野和宏, 永田昌毅, 高木律男 :

粘膜下口蓋裂の臨床統計的検討 第1報：診断と病態. 日口蓋誌 41(1) : 24-30, 2016.

- 18) 大湊 麗, 小林孝憲, 児玉泰光, 小山貴寛, 五十嵐友樹, 飯田明彦, 小野和宏, 永田昌毅, 高木律男: 粘膜下口蓋裂の臨床統計的検討 第2報: 言語成績. 日口蓋誌 41(3) : 173-180, 2016.
- 19) 稲野辺紫己, 荒井良明, 高嶋真樹子, 河村篤志, 永井康介, 山崎裕太, 高木律男: 歯科衛生士による咀嚼筋痛障害患者に対する行動変容法の効果. 日顎誌 28(2) : 135-143, 2016.
- 20) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 小林哲夫, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 藤井規孝: 歯科医師臨床研修に関するインシデントレポートの分析と対策. 日歯教誌 32(1) : 29-36, 2016.
- 21) 西川 敦, 児玉泰光, 永井孝宏, 北村 厚, 高木律男: 小児口腔外科手術における予防的抗菌薬適正使用への取り組み ~手術部位感染と抗菌薬関連下痢症を用いた検討~. 小児口外 26(1) : 3-8, 2016.

【研究費獲得】

(継続)

- 1) 星名秀行: 培養骨膜細胞が再生骨にもたらす骨代謝促進の 3D-CT 精密画像解析による質的検出. 平成 26-28 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 26462967, 2014.
- 2) 三古谷忠 (研究分担者 高木律男) : 低侵襲化をめざした口唇口蓋裂治療体系の開発と多施設比較による有効性の検証. 平成 26-29 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 26462991, 2014.
- 3) 児玉泰光: p53 ノックアウトマウス人工授精凍結胚を用いた口蓋裂発生メカニズムの解析. 平成 27-29 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 15K1123, 2015.
- 4) 小山貴寛: より均一な口腔粘膜上皮前駆/幹細胞による凍結培養粘膜の開発. 平成 27-29 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 15K11239, 2015.
- 5) 小川 信: 培養骨膜細胞による骨代謝活性促進効果の臨床的有効性の検証. 平成 27-29 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究(B), 15K20477, 2015.
- 6) 大湊 麗: 二段階口蓋形成法における早期硬口蓋閉鎖の有用性: 音声言語と音響特性による言語成績. 平成 27-30 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究(B), 15K16352, 2015.
- 7) 上松晃也: 骨膜シートの骨髄細胞局所誘導能の増強は骨再生効果の飛躍的向上につながる. 平成 27-28 年度 日本学術振興会研究補助金. 研究活動スター

ト支援, 15H06228, 2015.

- 8) 永田昌毅: 高精度分子診断に基づく高播種性・難治性口腔扁平上皮癌に対する個別化化学療法による再発および遠隔転移制御に関する研究. 平成 27-28 年度 新潟大学医歯学総合病院臨床研究サポート事業, 2015.

(新規)

- 1) 勝見祐二: インプラント手術における口底部静脈のリスク評価と動脈走行の予測. 平成 28-30 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 若手研究(B), 16K20535, 2016.
- 2) 高木律男: fNIRS を用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する. 平成 28-30 年度 日本学術振興会科学研究補助金 挑戦的萌芽, 16K12927, 2016.
- 3) 高木律男: p53 遺伝子欠損コンソミックマウスを用いた口蓋裂発症メカニズム解析. 平成 28-31 年度 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究(B), 16H05539, 2016.
- 4) 池田順行: 顎関節滑膜組織内での疼痛伝達機序の解明-滑膜表層細胞と神経ペプチドに着目して-. 平成 28-30 年度 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 16K11680, 2016.
- 5) 齋藤太郎: 骨髄由来間葉系幹細胞の局所投与による BRONJ に対する新規治療法の効果検証. 平成 28-30 年度 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 16K20562, 2016.
- 6) 高木律男: ミャンマーにおける口唇口蓋裂児の新しい破裂形態記録システムの開発. 平成 28 年度 新潟大学科研費支援プログラム, 2016.
- 7) 高木律男: エイズ患者・HIV 感染者の歯科医療体制整備に向けた調査研究. 平成 28 年度 新潟県受託研究費, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Nagata M, Takagi R : Knowledge from a clinical trial of the use of cultured autogenous periosteal cells in gnathic bone regeneration and challenges for the future. The Special Lecture of our 3rd International Symposium in Kyung Hee University, Seoul, Korea, 2016. 6. 25.
- 2) 高木律男: 「薬剤関連顎骨壊死の up to date」 - 骨粗鬆症治療における医科・歯科連携の取り組みについて -. 第 6 回再骨折予防研修会 (新潟市医師会主催), 新潟市, 2017 年 2 月 23 日.
- 3) 高木律男: 医療安全対策セミナー「BRONJ から MRONJ へ」. 平成 28 年度新潟県歯科医学大会, 新潟市, 2016 年 11 月 6 日.
- 4) 高木律男: 教育セミナー「顎関節キャダヴァーワー

クシヨップによる顎関節手術手技研修」 Cadaver を用いた顎関節腔穿刺. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会, 箱根町, 2016 年 7 月 17-18 日.

【学会発表】

- 1) Sumita Y, Maruyama S, Yamazaki M, Abe T, Takagi R: Cytoplasmic expression of SOX9 as a poor prognostic factor for oral squamous cell carcinoma. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017.2.11-12, Abstracts OP-006, p45, 2017.
- 2) Kitamura A, Nagai T, Momoko W, Maeda T, Takagi R, Ohazama A: The role of the primary cilia in mandibular development. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017.2.11-12, Symposist 4, p20, 2017.
- 3) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T, Kitamura A, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Ohazama A: *Ift88* is Essential Molecule for Palate Development. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017.2.11-12, Symposist 3, p19, 2017.
- 4) Takagi R, Iida S, Imai T, Kobayashi S, Sakai T, Susami T, Suda N, Miyawaki T, Nakamura N, Suzuki S: A survey on the team care for patients with cleft lip and/or palate in Japan in 2014. 13th International Congress of Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies, Chennai, India, 2017.2.8-11. Oral/Poster Presentation Programme 46, 2017.
- 5) Takagi R, Kodama Y, Koyama T, Nagata M, Saito I, Iida A: How does the lateral incisor work after a two-stage palatoplasty with Hotz's plate? 13th International Congress of Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies, Chennai, India, 2017.2.8-11. Oral / Poster Presentation Programme 22, 2017.
- 6) Hara Y, Kato H, Shiomi A, Takagi R, Izumi K: Hypoxic response of oral mucosa fibroblasts in a 3D collagen lattice. TERMIS-AM conference 2016, San Diego, USA, 2016.12.11-14. Tissue Engineering Part A. 22(S1): S-14, 2016.
- 7) Katsumi Y, Kodama Y, Hayashi T, Takagi R: The relationship between mandibular bone quality/density and post-operative paresthesia caused by extraction of impacted lower third molars. 12th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Manila, Philippines, 2016.11.9-16.
- 8) Kodama Y, Kobayashi T, Abé T, Saku T, Hayashi T, Takagi R: A case of IgG4-related disease with oral symptoms associated with chronic sclerosing sialadenitis. 12th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Manila, Philippines, 2016.11.9-16.
- 9) Sumita Y, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Babkair H, Takagi R, Cheng J: SOX9 expression in oral epithelial lesions and squamous cell carcinoma. 15th International Association of Oral Pathologists, Chennai India, 2016.9.8-11. Programs and Abstract 187, 2016.
- 10) Kato H, Sugimoto M, Hara Y, Saito N, Shiomi A, Izumi K: Metabolomic Profile of Human Oral Keratinocytes Under Hypoxic Culture Condition. Tissue Niches & Resident Stem Cells in Adult Epithelia. Gordon Research Conference, The Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong, China, 2016.8.7-12.
- 11) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T, Kitamura A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P, Ohazama A: *Ift88* is essential for downregulation of the palatal shelf through *Shh* signaling. Society for Developmental Biology (SDB) International Society of Differentiation, Boston, USA, 2016.8.4-8.
- 12) Nagai T, Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Kitamura A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P, Hindges R, Ohazama A: Mesenchymal microRNAs are involved in the expression of *Dkk2* to control eyelid development. Society for Developmental Biology (SDB) International Society of Differentiation, Boston, USA, 2016.8.4-8.
- 13) 中谷暢佑, 岡本圭一郎, 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 藤井規孝, 高木律男, 山村健介: 急性および慢性情動ストレスが咬筋の侵害受容に及ぼす影響. 第94回日本生理学会大会, 浜松市, 2017年3月28-30日. 第94回日本生理学会大会プログラム・抄録集255頁, 2017.
- 14) 児玉泰光, 丹原 惇, 藤田 瑛, 結城龍太郎, 永井孝宏, 上松晃也, 大貫尚志, 西川 敦, 勝見祐二, 黒川 亮, 星名秀行, 齋藤 功, 高木律男: 有限要素解析を用いた下顎水平埋伏智歯抜歯の神経損傷リスク検討. 第21回口腔顔面神経機能学会, 岡山市, 2017年3月4日. 第21回口腔顔面神経機能学会抄録集14頁, 2017.
- 15) 黒川 亮, 児玉泰光, 池田順行, 勝見祐二, 西川 敦, 木口哲郎, 高木律男: 抜歯後に大動脈解離を呈したマルファン症候群の1例. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 金沢市, 2017年3月3-5日. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会抄録

- 集107頁, 2017.
- 16) 結城龍太郎, 黒川 亮, 永井孝宏, 西川 敦, 勝見祐二, 児玉泰光, 高木律男: 全身麻酔下、多数歯抜歯が必要であったSturge-Weber症候群の1例. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 金沢市, 2017年3月3-5日. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会抄録集143頁, 2017.
 - 17) 新垣元基, 鶴巻 浩, 上野山敦士: 大腿骨近位部骨折患者に対する歯科治療と栄養状態に関する実態調査. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 金沢市, 2017年3月3-5日. 第26回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会抄録集149頁, 2017.
 - 18) 吉田謙介, 西川 敦, 児玉泰光, 高木律男: 歯科領域における周術期患者の予防的抗菌薬の費用対効果分析. 第32回日本環境感染学会総会・学術集会, 神戸市, 2017年2月24-25日. 第32回日本環境感染学会総会・学術集会264頁, 2017.
 - 19) 小玉直樹, 永田昌毅, 池田順行, 小山貴寛, 勝見祐二, 新垣元基, 原 夕子, 丸山 智, 山崎 学, 程 瑠, 西山秀昌, 林 孝文, 星名秀行, 高木律男: 舌下腺に生じ経過不良な転帰を辿った唾液腺悪性腫瘍の1例. 第35回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡市, 2017年1月26-27日. 第35回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会抄録集144頁, 2017.
 - 20) 田中恵子, 勝良剛詞, 増子正義, 中井恵美, 曾我麻里恵, 黒川 亮, 杉田典子, 高木律男: 同種造血幹細胞移植治療における口腔粘膜炎・咽頭痛と口腔汚染度との関係. 第2回日本がん口腔支持療法学会学術集会, 静岡市, 2016年12月17日. 日本がん口腔支持療法学会第2回学術大会・抄録集41頁, 2016.
 - 21) 大貫尚志, 児玉泰光, 池田順行, 小玉直樹, 西川 敦, 永井孝宏, 北村 厚, 高木律男: 当科における小児顎顔面口腔外傷の臨床的検討. 第224回日本小児科学会新潟地方会, 新潟市, 2016年12月10日.
 - 22) 鶴巻 浩, 新垣元基: 新潟中央病院歯科口腔外科におけるインプラント治療に関する病診連携の実態調査. 第20回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 文京区, 2016年12月3-4日. 第20回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会プログラム・抄録集173頁, 2016.
 - 23) 小山貴寛, 児玉泰光, 小野和宏, 丹原 惇, 齋藤 功, 高木律男: 顎裂部骨移植時における裂部側切歯の状態と咬合への関与. 第101回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2016年12月2日.
 - 24) 上野山敦士, 飯田明彦, 小林孝憲, 成松花弥, 五十嵐友樹, 齋藤太郎, 山田瑛子: 上顎洞原発神経内分泌癌の2例. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2016年11月25-27日. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集164頁, 2016.
 - 25) 勝見祐二, 児玉泰光, 結城龍太郎, 西川 敦, 新垣元基, 林 孝文, 高木律男: 下顎埋伏智歯周囲の骨質と骨密度が抜歯術後の知覚異常に及ぼす影響. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2016年11月25-27日. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集254頁, 2016.
 - 26) 小山貴寛, 児玉泰光, 永田昌毅, 池田順行, 小野和宏, 丹原 惇, 齋藤 功, 飯田明彦, 高木律男: 顎裂部骨移植時における裂部側切歯の状態と咬合への関与. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2016年11月25-27日. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集264頁, 2016.
 - 27) 大貫尚志, 児玉泰光, 池田順行, 永田昌毅, 星名秀行, 高木律男: 粘表皮癌の臨床統計. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2016年11月25-27日. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム・抄録集327頁, 2016.
 - 28) 丹原 惇, 藤田 瑛, 児玉泰光, 池 真紀子, 齋藤 功: 有限要素解析を用いた下顎枝垂直骨切り術施行後の術後変化予測. 第75回日本矯正歯科学会大会, 徳島市, 2016年11月7-9日. 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集178頁, 2016.
 - 29) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次朗, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: クラスタ分析による骨格性下顎前突症例における正貌パターンの分類. 第75回日本矯正歯科学会大会, 徳島市, 2016年11月7-9日. 第75回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集136頁, 2016.
 - 30) 原 夕子, 加藤寛子, 塩見 晶, 高木律男, 泉 健次: コラーゲンゲル内で3次元培養したヒト口腔粘膜線維芽細胞の低酸素応答. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2016年11月5日. 平成28年度新潟歯学会第2回例会抄録集11頁, 2016.
 - 31) 永井孝宏, 渡部桃子, 川崎真依子, 川崎勝盛, 北村厚, 児玉泰光, 高木律男, 前田健康, 大峽 淳: 間葉のMicroRNAは眼瞼発生を制御する. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2016年11月5日. 平成28年度新潟歯学会第2回例会抄録集12頁, 2016.
 - 32) 成松花弥, 飯田明彦, 小林孝憲, 上野山敦士, 山田瑛子, 大貫尚志, 齋藤太郎, 安楽純子, 高木律男: 最近5年間に於ける長岡赤十字病院歯科口腔外科新患患者の臨床統計的検討. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟市, 2016年11月5日. 平成28年度新潟歯学会第2回例会抄録集18頁, 2016.

- 33) 根津 新, 久保田健彦, 丸山 智, 永田昌毅, 堀水 慎, 濃野 要, 保莉崇大, 両角俊哉, 朔 敬, 吉江弘正: 歯周炎罹患歯肉組織におけるネプリライシンの遺伝子発現レベルと免疫組織局在の解析. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2016 年 11 月 5 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会抄録集 12 頁, 2016.
- 34) 齋藤太郎, 小山貴寛, 黒川 亮, 西川 敦, 原 夕子, 清水志保, 丸山 智, 程 瑠, 高木律男: 新潟大学歯学総合病院顎顔面口腔外科における口腔扁平苔癬患者の臨床統計的検討. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2016 年 11 月 5 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会抄録集 17 頁, 2016.
- 35) 工藤武久, 新垣元基, 小柳広和, 鶴巻 浩: 新潟中央病院歯科口腔外科を受診した認知症患者に対する実態調査. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2016 年 11 月 5 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会抄録集 18 頁, 2016.
- 36) 池 真樹子, 小林太一, 黒川 亮, 坂井幸子, 中山美和, 新國 農, 西山秀昌, 高木律男, 林 孝文: 単純 CT 検査において脳底動脈の圧迫による三叉神経痛が疑われた 1 例. 第 21 回臨床画像大会, 文京区, 2016 年 10 月 28-30 日. 第 21 回臨床画像大会プログラム・抄録集 31 頁, 2016.
- 37) 大貫尚志, 児玉泰光, 池田順行, 小玉直樹, 西川 敦, 永井孝宏, 北村 厚, 高木律男: 当科における小児顎顔面口腔外傷の臨床的検討. 第 28 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 10 月 28-29 日. 第 28 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会抄録集 97 頁, 2016.
- 38) 山田瑛子, 高木律男: 抗 HIV 薬 3 剤の血中と唾液中の経時的薬剤濃度を確認した 1 例. 第 9 回日本口腔検査学会総会・学術大会, 郡山市, 2016 年 10 月 1-2 日. 第 9 回日本口腔検査学会総会・学術大会プログラム・予稿集 7 頁, 2016.
- 39) 木口哲郎, 柿原嘉人, 山崎 学, 永田昌毅, 高木律男, 佐伯万騎男: リボソーム合成制御因子 R2TP の口腔扁平上皮癌進展における作用機序の解析. 第 67 回日本薬理学会北部会, 札幌市, 2016 年 9 月 30 日. 第 67 回日本薬理学会北部会プログラム・抄録集 64 頁, 2016.
- 40) Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Babkair H, Sumita Y, Cheng J, Saku T: Proteome profiling at the lateral interface of oral squamous cell carcinoma / carcinoma in-situ. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 8 月 10-12 日. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集 85 頁, 2016.
- 41) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, バブカール ハムザ, 隅田賢正, 程 瑠: 口腔表在性病変における P53 免疫組織化学的検索の取り組み. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 8 月 10-12 日. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集 182 頁, 2016.
- 42) 隅田賢正, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, バブカール ハムザ, 高木律男, 程 瑠: 口腔扁平上皮癌における SOX9 発現様式の解析. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 8 月 10-12 日. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集 187 頁, 2016.
- 43) Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Babkair H, Sumita Y, Cheng J: Apoptotic cell clearance upregulates cancer cell activities in oral squamous cell carcinoma. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 8 月 10-12 日. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集 192 頁, 2016.
- 44) 西川 敦, 児玉泰光, 北村 厚, 永井孝宏, 大貫尚志, 高木律男: 顎骨骨折症例における観血的整復固定術後の SSI 発生状況. 第 18 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会, 千代田区, 2016 年 7 月 31 日. 第 18 回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会抄録集 76 頁, 2016.
- 45) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村 厚, 中谷暢佑, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸引による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った 1 例. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会, 箱根町, 2016 年 7 月 17-18 日. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集 136 頁, 2016.
- 46) 山崎裕太, 荒井良明, 河村篤志, 高嶋真樹子, 永井康介, 高木律男: 日本顎関節学会の顎関節症病態分類を用いた臨床統計学的検討. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会, 箱根町, 2016 年 7 月 17-18 日. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集 141 頁, 2016.
- 47) 渡部桃子, 川崎勝盛, 川崎真依子, 永井孝宏, 北村厚, 児玉泰光, 前田健康, 高木律男, 大峯 淳: *Ofd1* は口蓋突起の下方伸長に必須である. 新潟歯学会, 新潟市, 2016 年 7 月 9 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会抄録集 10 頁, 2016.
- 48) 深井真澄, 大湊 麗, 児玉泰光, 永田昌毅, 今井信行, 小野和宏, 小林正治, 高木律男: 口蓋裂患者における口蓋裂言語の心理的受容過程. 新潟歯学会, 新潟市, 2016 年 7 月 9 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会抄録集 11 頁, 2016.

- 49) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 小山貴寛, 五十嵐友樹, 小林孝憲, 飯田明彦, 永田昌毅, 高木律男: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討—言語機能による分析—. 新潟歯学会, 新潟市, 2016年7月9日. 平成28年度新潟歯学会第1回例会抄録集12頁, 2016.
- 50) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 片側性の下顎頭吸収による開咬に対し顎間牽引を行った1例. 第100回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2016年7月9日.
- 51) 新國 農, 大貫尚志, 池 真樹子, 西山秀昌, 林 孝文: 歯周炎が原因と示唆され、外側翼突筋に膿瘍形成がみられた1例. 日本歯科放射線学会第223回関東地方会・第36回北日本地方会・第24回合同地方会, 札幌市, 2016年7月2日. 日本歯科放射線学会第223回関東地方会・第36回北日本地方会・第24回合同地方会学術講演プログラム3頁, 2016.
- 52) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次朗, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における顎矯正手術前後の正貌硬組織変化と正貌輪郭変化の関係. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 千代田区, 2016年6月24-25日. 日本顎変形症学会雑誌プログラム・抄録集141頁, 2016.
- 53) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における脳頭蓋底の三次元形態分析. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 千代田区, 2016年6月24-25日. 日本顎変形症学会雑誌プログラム・抄録集141頁, 2016.
- 54) 小山貴寛, 清水志保, 池田順行, 小玉直樹, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男: 筋突起部に著明な骨膜反応を呈した慢性下顎骨骨髓炎の1例. 第54回日本口腔科学会北日本地方部会, 山形市, 2016年6月18-19日. 第54回日本口腔科学会北日本地方部会プログラム・抄録集29頁, 2016.
- 55) 成松花弥, 飯田明彦, 小林孝憲, 山田瑛子, 大貫尚志: 下顎骨内側に生じた周辺性骨腫の2例. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 山形市, 2016年6月18-19日. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム・抄録集37頁, 2016.
- 56) 上野山敦士, 鶴巻 浩, 児玉泰光: 下顎骨に生じた周辺性骨腫の2例. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 山形市, 2016年6月18-19日. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム・抄録集39頁, 2016.
- 57) 山田瑛子, 飯田明彦, 小林孝憲, 成松花弥: 下歯槽神経血管束が歯根を貫通した下顎第三大臼歯の2例. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 山形市, 2016年6月18-19日. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム・抄録集48頁, 2016.
- 58) 鈴木剛史, 前田卓哉, 藤倉雄二, 山田瑛子, 原 伸子, 加藤真吾, 川名明彦, 曾根原 亘: ART 療法をうけるHIV患者の唾液中の薬剤濃度と血液中の薬剤濃度の関連についての検討. 第33回日本TDM学会・学術大会, 栃木市, 2016年5月26-27日. TDM研究33(2): 140, 2016.
- 59) 児玉泰光, 大湊 麗, 深井真澄, 渡部桃子, 永井孝宏, 小山貴寛, 永田昌毅, 小野和宏, 高木律男: 粘膜下口蓋裂を伴うNoonan 症候群の1例. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 大阪市, 2016年5月26-27日. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会プログラム・抄録集141頁, 2016.
- 60) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 小山貴寛, 五十嵐友樹, 小林孝憲, 飯田明彦, 永田昌毅, 高木律男: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討—言語機能による分析—. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 大阪市, 2016年5月26-27日. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会プログラム・抄録集116頁, 2016.
- 61) 丹原 惇, 高橋功次朗, 市川佳弥, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤 功: 矯正単独で最終咬合治療を開始した完全唇顎口蓋裂の第Ⅱ期治療に関する調査. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 大阪市, 2016年5月26-27日. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会プログラム・抄録集136頁, 2016.
- 62) 渡部桃子, 永井孝宏, 児玉泰光, 大峽 淳, 高木律男: *Ofd1l*はShhシグナルを介して口蓋発生を調節する. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪市, 2016年5月26-27日. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会プログラム・抄録集159頁, 2016.
- 63) 高木律男, 飯田征二, 今井智子, 小林眞司, 阪井丘芳, 須佐美隆史, 鈴木茂彦: 本学会学術調査委員会による2014年(第2回)口唇裂・口蓋裂チーム医療体制実態調査. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 大阪市, 2016年5月26-27日. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会プログラム・抄録集159頁, 2016.
- 64) 朔 敬, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, バブカイール ハムザ, 隅田賢正, 程 珺: 口腔粘膜乳頭腫は粘液腺導管開口部に発生する. 第105回日本病理学会総会, 仙台市, 2016年5月12-14日. 第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集410頁, 2016.
- 65) 阿部達也, 丸山 智, 山崎 学, 許 波, バブカイール ハムザ, 隅田賢正, 程 珺, 山本 格, 朔 敬: 口

腔表在癌と非癌部粘膜上皮との界面における細胞競合現象の解析. 第105回日本病理学会総会, 仙台市, 2016年5月12-14日. 第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集421頁, 2016.

- 66) 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, バブカイル ハムザ, 隅田賢正, 程 瑠, 朔 敬: Inflammatory but not developmental histopathogenesis of intraoral lymphoepithelial cyst. 第105回日本病理学会総会, 仙台市, 2016年5月12-14日. 第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集424頁, 2016.
- 67) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, バブカイル ハムザ, 隅田賢正, 程 瑠, 朔 敬: 唾液腺多形腺腫細胞は低酸素環境下でHF-1 α -MYC相互作用によってエネルギー代謝を制御している. 第105回日本病理学会総会, 仙台市, 2016年5月12-14日. 第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集468頁, 2016.
- 68) 大貫尚志, 阿部達也, 児玉泰光, 勝見祐二, 西川 敦, 黒川 亮, 木口哲郎, 程 瑠, 林 孝文, 高木律男: Le Fort I型骨切り術後に生じた正中上顎骨嚢胞の1例. 第70回日本口腔科学会学術集会, 福岡市, 2016年4月15-17日, 第70回日本口腔科学会学術集会抄録集197頁, 2016.
- 69) 深井真澄, 大湊 麗, 児玉泰光, 永田昌毅, 今井信行, 小野和宏, 小林正治, 高木律男: 口蓋裂患者における口蓋裂言語の心理的受容過程. 第70回日本口腔科学会学術集会, 福岡市, 2016年4月15-17日, 第70回日本口腔科学会学術集会抄録集224頁, 2016.

【研究会発表】

- 1) 井口清太郎, 鈴木 翼, 黒川 亮, 藤澤純一, 小泉 健, 長谷川隆志, 鈴木榮一: オール新潟による『次世代医療人』の養成. 新潟大学・新潟医療福祉大学・新潟薬科大学 第1回文部科学省未来医療研究人材養成拠点事業 ミニフォーラム「大学における総合診療医の養成～成果の共有と課題の克服～」, 長崎市, 2017年1月29日.
- 2) 山田瑛子, 高木律男: 北関東甲信越地区在住の一般人1092名におけるエイズ/HIVに関するアンケート結果: 日本HIV歯科医療研究会, 千代田区, 2017年1月8日.
- 3) 井口清太郎, 鈴木 翼, 黒川 亮, 藤澤純一, 小泉 健, 長谷川隆志, 鈴木榮一: 新潟大学・新潟医療福祉大学・新潟薬科大学「オール新潟による『次世代医療人』の養成」平成28年度までの成果と今後の展望. 文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業テーマB リサーチマインドを持った総合診療医の養成 第4回公開フォーラム, 津市, 2016年11月18日.

- 4) 小玉直樹: 根治切除不能な口腔癌の治療方針. 第79回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2016年11月17日. 第79回新潟口腔外科麻酔科集談会プログラムおよび抄録集4-5頁, 2016.
- 5) 永田昌毅: 培養自家骨膜を用いた歯槽骨再生療法. 新潟再生歯学研究会, 三条市, 2016年11月8日.
- 6) 永田昌毅: 培養自家骨膜細胞シートによる顎骨歯槽骨再生. 第1回新潟再生医療コンソーシアム会議, 新潟市, 2016年10月19日.
- 7) 原 夕子, 加藤寛子, 塩見 晶, 高木律男, 泉 健次: 異なる培養環境において低酸素が口腔粘膜線維芽細胞の増殖活性に及ぼす影響の検討. 第4回低酸素研究会, 新宿区, 2016年7月23日. 第4回低酸素研究会プログラム集1頁, 2016.
- 8) 永田昌毅, 栗田 浩, 高木律男: 口腔扁平上皮癌バイオマーカー診断の有効性に関するランダム化比較試験. その後の進展について. 第76回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2016年7月23日.
- 9) 小林孝憲, 飯田明彦, 上野山敦士, 成松花弥, 堀野一人: 口腔領域に発生した悪性黒色腫5例の臨床病理学的検討. 第76回新潟癌治療研究会, 新潟市, 2016年7月23日. 第76回新潟癌治療研究会抄録集11頁, 2016.
- 10) 木口哲郎: 嚥下障害が残遺した喉頭癌放射線治療歴を有する頸部壊死性筋膜炎の1例. 第78回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2016年5月12日. 第78回新潟口腔外科麻酔科集談会プログラムおよび抄録集4-5頁, 2016.

【受賞】

- 1) Sumita Y, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Babkair H, Takagi R, Cheng J: SOX9 expression in oral epithelial lesions and squamous cell carcinoma. 15th International Association of Oral Pathologists, The best scientific presentation in the session, Chennai, India, 2016. 9. 8-11.
- 2) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村 厚, 中谷暢佑, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った1例. 第29回日本顎関節学会総会・学術大会優秀ポスター賞, 箱根町, 2016年7月17-18日.
- 3) 渡部桃子, 永井孝宏, 児玉泰光, 大峯 淳, 高木律男: *Ofd1* は Shh シグナルを介して口蓋発生を調節する. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会優秀ポスター賞, 大阪市, 2016年5月26-27日.

【その他】

- 1) 黒川 亮：平成 28 年度新潟大学ラジオ公開講座「お口が支えるがん治療：薬剤関連顎骨壊死とお口の関係」BSN ラジオ，新潟市，2017 年 3 月 26 日。
- 2) 永田昌毅：インプラント患者の歯槽骨再生細胞療法の実際について。第 16 回日本再生医療学会イブニングセミナー，仙台市，2017 年 3 月 7 日。
- 3) 高木律男：平成 28 年度新潟大学ラジオ公開講座「お口が支えるがん治療：お口とがん治療」BSN ラジオ，新潟市，2017 年 2 月 19 日。
- 4) 山田瑛子，高木律男：北関東甲信越地区在住の一般人 1092 人の AIDS/HIV に関するアンケート結果。北関東甲信越ブロック ブロック代表者情報交換会&講演会ランチョンセミナー，新潟市，2016 年 10 月 16 日。
- 3) Kawasaki M, Kawasaki K, Oommen S, Blackburn J, Watanabe M, Nagai T, Kitamura A, Maeda T, Liu B, Schmidt-Ullrich R, Akiyama T, Inoue J, Hammond NL, Sharpe PT, Ohazama A: Regional regulation of Filiform tongue papillae development by Ikka/Irf6. *Dev. Dyn.*, 245: 937-946, 2016.
- 4) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Portaveetus T, Oommen S, Blackburn J, Nagai T, Kitamura A, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe PT, Ohazama A: Spatio-temporal expression of Sox genes in murine palatogenesis. *Gene Expr. Patterns*, 21: 111-118, 2016.
- 5) Navein AE, Cooke EJ, Davies JR, Smith TG, Wells LHM, Ohazama A, Healy C, Sharpe PT, Evans SL, Evans BAJ, Votruba M, Wells T: Disrupted mitochondrial function in the Opa3L122P mouse model for Costeff Syndrome impairs skeletal integrity. *Hum. Mol. Genet.*, 25; 2404-2416, 2016
- 6) Nozawa-Inoue K, Harada F, Magara J, Ohazama A, Maeda T: Contribution of synovial lining cells to synovial vascularization of the rat temporomandibular joint. *J. Anat.*, 228: 520-529, 2016.

口腔解剖学分野

【著書】

- 1) Ohazama A, Sharpe PT: Development of epidermal appendages; teeth and hair. In: Epstein's Inborn Errors of Development. The molecular basis of clinical disorders of morphogenesis. Third Edition (Eds by Erickson RP, Wynshaw-Boris A), Oxford University Press, Oxford, New York, pp. 205-220, 2016.
- 2) Kawasaki M, Kawasaki K, Blackburn J, Ohazama A: Molecular mechanisms regulating tooth number. *Innovative Research on Biosis-Abiosis Intelligent Interface* (Eds by Sasaki K, Suzuki O, Takahashi N), Springer, Singapore, 2016 in press.
- 3) 須田立雄，横瀬敏志，大峽 淳：四肢の原基の構造と三つの体軸の決定。新 骨の科学(須田立雄，小澤英浩，高橋榮明 編)，57-63 頁，医歯薬出版，東京，2016 年。5 月
- 4) 須田立雄，大峽 淳，横瀬敏志：歯の発生を制御する分子メカニズム。新 骨の科学(須田立雄，小澤英浩，高橋榮明 編)，79-83 頁，医歯薬出版，東京，2016 年。

【翻訳】【総説】なし

【原著】

- 1) Tanasubsinn N, Sittiwangkul R, Pongprot Y, Kawasaki K, Ohazama A, Sastraruji T, Kaewgahya M, Kantaputra PN, TFAP2B mutation and dental anomalies, *J Hum Genet.* In Press
- 2) Porntaveetus T, Srichomthong C, Ohazama A, Suphapeetiporn K, Shotelersuk V. A novel GJA1 mutation in oculodentodigital dysplasia with extensive loss of enamel. *Oral Dis*, In Press

【商業誌等】

【科学研究費補助金等】所属教員で書き方を変えています(同じ科研を含みます)

- 1) 大峽 淳(研究代表者)：幹細胞の分化制御機構の解明の基盤研究～NF- κ B からの解析～。平成 28 年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金(基盤(B)「一般」)，455 万円(うち直接経費 350 万)，課題番号 26293421
- 2) 大峽 淳(研究分担者)：ヘッジホッグシグナル伝達系は末梢神経再生を誘導する。平成 28 年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金(基盤(B)「一般」)，(研究代表者：瀬尾憲司)，403 万円(うち直接経費 310 万，うち分担金 20 万)，課題番号 15H05041
- 3) 大峽 淳(研究分担者)：ヒト顎関節オルガノイド作製への挑戦。平成 28 年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽)，(研究代表者：井上佳世子)，156 万円(うち直接経費 120 万，うち分担金 10 万)，課題番号 15K15674
- 4) 大峽 淳(研究分担者)：p53 ノックアウトマウス人工授精凍結胚を用いた口蓋裂発生メカニズムの解析。平成 28 年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金(基盤(C))，(研究代表者：児玉泰光)，143 万円(うち直接経費 110 万円，うち

- 分担金 631,495 円), 課題番号 15K11237
- 5) 大峽 淳, 川崎真依子(研究分担者): 歯の再生療法に向けた幹細胞分化制御機構の解明～毛との相同性, 異同性に着目して～. 平成 28 年度(新規) 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 前田健康), 663 万円(うち直接経費 510 万, うち分担金 万), 課題番号 16H05532
 - 6) 大峽 淳(研究分担者): p53 遺伝子欠損コンソミックマウスを用いた口蓋裂発症メカニズム解析. 平成 28 年度(新規) 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 高木律男), 364 万円(うち直接経費 280 万, うち分担金 140 万), 課題番号 16H05539
 - 7) 大峽 淳, 川崎真依子(研究分担者): 遺伝子改変マウスを用いた歯誘導メカニズムの網羅的解析. 平成 28 年度(新規) 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤(C)), (研究代表者: 原田史子), 169 万円(うち直接経費 130 万円, うち分担金 万), 課題番号 16K11783
 - 8) 大峽 淳(研究分担者): 分子解析による赤唇発生機構の解明～再生に向けた展開研究～. 平成 28 年度(新規) 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽), (研究代表者: 前田健康), 208 万円(うち直接経費 160 万, うち分担金 60 万), 課題番号 16K15773

【講演・シンポジウム】

- 1) Ohazama A: The role of NF-κB in tooth development. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016. 1. 9-11, Abstracts & Program book: 6, 2016.
- 2) Ohazama A: Molecular mechanisms regulating tooth number. Innovative Research for Biosis-Abiosis Intelligent Interface Symposium, International Symposium for Interface Oral Health Science, Sendai, 2016. 1. 18-19, Program and Abstracts: 42, 2016.
- 3) Ohazama A: The genetic basis of disorders in tooth development. 10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia, 54th Annual Conference of the Japanese Society of Pediatric Dentistry, Tokyo, 2016. 5. 26-28, Program Book: 75-76, 2016.
- 4) Yamada Y, Ohazama A, Maeda T, Seo K, Activation of Shh signal in Schwann cells regulates inferior alveolar nerve regeneration. International Symposium on

Development of Human Resources in Practical Oral Health and treatment, 11-12 February 2017, Samui, Thailand

- 5) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T, Kitamura A, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Ohazama A; Ift88 is essential for palate development. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and treatment, 11-12 February 2017, Samui, Thailand
- 6) Kitamura A, Nagai T, Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Maeda T, Takagi R, Ohazama A. The role of the primary cilia in mandibular development. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and treatment, 11-12 February 2017, Samui, Thailand
- 7) Suda D, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T. The relationship of condylar bone resorption with bone mass and architecture after rat mandibular distraction. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and treatment, 11-12 February 2017, Samui, Thailand
- 8) Ohazama A, The role of micro-RNAs in craniofacial Development, International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and treatment, 11-12 February 2017, Samui, Thailand
- 9) 大峽 淳: ミステリアスな旅の謎に挑む. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2):, 2016 印刷中.

【国際学会発表】

- 1) Suda D, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T: Influences of acceleration of bone loss on the mandibular condylar bone following mandibular distraction in a rat model. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016. 1. 9-11, Abstracts & Program book: 58, 2016.
- 2) Kawasaki K, Kawasaki M, Maeda T, Ohazama A: The role of primary cilia in amelogenesis. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016. 1. 9-11, Abstracts & Program book: 60, 2016.
- 3) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T,

Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Ohazama A: Ofd1 is essential for initiation of palatal shelf through shh signaling. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016. 1. 9-11, Abstracts & Program book: 61, 2016.

- 4) Nagai T, Kawasaki M, Kawasaki K, Watanabe M, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Ohazama A: The role of miRNA in orofacial development. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016. 1. 9-11, Abstracts & Program book: 62, 2016.
- 5) Yamada Y, Maeda T, Ohazama A, Seo K: The possibility of involvement of the hedgehog signaling pathway in the regeneration of inferior alveolar nerve. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Lombok, Indonesia, 2016. 1. 9-11, Abstracts & Program book: 67, 2016.
- 6) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T, Kitamura A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P, Ohazama A: "Ift88" is essential for downregulation of the palatal shelf through Shh signaling. Society for Developmental Biology 75th Annual Meeting/International Society of Differentiation 19th International Conference, Boston, MA. 2016. 8. 4-8, 2016, Program Book: 37, 2016.
- 7) Nagai T, Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Kitamura A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P, Hindges R, Ohazama A: Mesenchymal microRNA are involved in the expression of Dkk2 to control eyelid development. Society for Developmental Biology 75th Annual Meeting/International Society of Differentiation 19th International Conference, Boston, MA. 2016. 8. 4-8, 2016, Program Book: 36, 2016.
- 8) Suda D, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T: The relation between bone strength and mandibular condylar resorption following mandibular distraction in a rat model. 23rd Congress of the European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery, London, UK, 2016. 9. 13-16. EACMFS 2016 App: 16a-14, 2016.
- 9) Yamada Y, Maeda T, Ohazama A, Seo K: Axonal regeneration requires activation of Sonic hedgehog signaling pathway in peripheral nerve injury. 46th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, San

Diego, CA, 2016. 11. 12-16. Program No. 675.19. 2016 Neuroscience Meeting Planner, 2016.

【国内学会発表】

- 1) 渡部桃子, 永井孝宏, 児玉泰光, 大峽 淳, 高木律男: Ofd1 は Shh シグナルを介して口蓋発生を調節する. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪, 2016. 5. 26-27, 抄録集:159, 2016.
- 2) 山田友里恵, 大峽 淳, 前田健康, 瀬尾憲司: 下歯槽神経再生における Sonic Hedgehog シグナルの機能に関する検討. 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2):, 2016 印刷中.
- 3) 渡部桃子, 川崎勝盛, 川崎真依子, 永井孝宏, 北村 厚, 児玉泰光, 前田健康, 高木律男, 大峽 淳: Ofd1 は口蓋突起の下方伸長に必須である. 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2):, 2016 印刷中.
- 4) 須田大亮, 大峽 淳, 前田健康, 小林正治: ラット下顎骨延長モデルにおける下顎頭吸収と骨質の関連性について. 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2):, 2016 印刷中.
- 5) 永井孝宏, 渡部桃子, 川崎真依子, 川崎勝盛, 北村 厚, 児玉泰光, 高木律男, 前田健康, 大峽 淳: 間葉の MicroRNA は眼瞼発生を制御する. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016. 11. 5, 新潟歯学会雑誌, 46(2):, 2016 印刷中.

【研究会発表】

- 1) 大峽 淳: 歯の発生生物学の今. 山形県西村山地区歯科医師会学術研修会, 寒河江市, 2016. 9. 15.
- 2) 大峽 淳: 発生生物学の今. 駿台会学術研修会, 新潟市, 2017. 2. 23.
- 3) 大峽 淳: 顎顔面の分子発生メカニズム. 矯正分野研修会, 新潟市, 2017. 3. 2.

【受賞・その他】

- 1) 渡部桃子, 永井孝宏, 児玉泰光, 大峽 淳, 高木律男: Ofd1 は Shh シグナルを介して口蓋発生を調節する. 優秀ポスター賞, 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪, 2016. 5. 26-27, 抄録集:159, 2016.

【非常勤講師】

【公的委員】

【Editorial Board】

【その他】

口腔生理学分野

【著書】

- 1) 岡本圭一郎：神経障害性疼痛 第2章 痛みの病態生理学，口腔顔面痛の診断と治療 第2版（日本口腔顔面痛学会編），44-46頁，医歯薬出版，東京，2017.

【論文】

- 1) Kurose M, Imbe H, Nakatani Y, Hasegawa M, Fujii N, Takagi R, Yamamura K, Senba E, Okamoto K: Bilateral increases in ERK activation at the spinomedullary junction region by acute masseter muscle injury during temporomandibular joint inflammation in the rats. *Exp Brain Res* 235(3): 913-921, 2017.
- 2) Hiraki K, Yamada Y, Kurose M, Ofusa W, Sugiyama T, Ishida R: Application of a barometer for assessment of oral functions: Donders space. *J Oral Rehabil* 44(1): 65-72, 2017.
- 3) Rahman M, Shiozaki K, Okamoto K, Thompson R, Bereiter DA: Trigeminal brainstem modulation of persistent orbicularis oculi muscle activity in a rat model of dry eye. *Neuroscience* 349: 208-219, 2016.
- 4) Yoshikawa H, Yamada Y, Kurose M, Yamamura K, Maeda T, Seo K: Peripheral Brain-Derived Neurotrophic Factor Modulates Regeneration Following Inferior Alveolar Nerve Injury in Rats. *J Oral Facial Pain Headache* 30(4): 346-354, 2016.
- 5) Yamamura K, Kurose M, Okamoto K: Chemical sensing regulates mastication/swallowing. *Curr Pharm Des* 22(15): 2279-84, 2016.
- 6) Hitomi S, Kross K, Kurose M, Porreca F, Meng ID: Activation of dura-sensitive trigeminal neurons and increased c-Fos protein induced by morphine withdrawal in the rostral ventromedial medulla. *Cephalalgia* 6. pii: 0333102416648655, 2016.
- 7) 山村健介：神経生理から見た咀嚼。日本咀嚼学会雑誌 26(1)：2-8，2016.
- 8) 峯村昌子，山村健介：ホルモン補充療法(HRT)の日本での普及と情報源の関係 働く女性への質問紙調査から。更年期と加齢のヘルスケア 15(1)：70-80，2016.

【研究費獲得】

- 1) 岡本圭一郎(研究代表者)：ストレスが顎関節痛を増強させる脳神経メカニズム。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，16K11679，2016.
- 2) 黒瀬雅之(研究代表者)：「渴き」への爽快感のある「潤い」は是が非か？。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，26463181，2016.
- 3) 山田好秋，黒瀬雅之(分担研究者)：気圧センサを用いた口腔・咽頭機能の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，15K11055，2016.
- 4) 高木律男，山村健介(分担研究者)：fNIRSを用いて口蓋裂言語を光脳機能学的に解析する。日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究，16K12927，2016.
- 5) 倉田行伸，山村健介(分担研究者)：下歯槽神経の神経障害性疼痛における神経虚血の関与 - MRA とNIRSでの血流検索 -。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，16K12927，2016.
- 6) 松山美和，山村健介(分担研究者)：サルコペニアによる摂食・嚥下機能低下の予防を目的とした電氣的筋肉刺激装置の開発。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)，25463000，2016.

【学会発表】

- 1) Yosuke Nakatani, Keiichiro Okamoto, Masayuki Kurose, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Ritsuo Takagi, Kensuke Yamamura: Effect of repeated and acute psychophysical stress on masseter muscle nociception in the trigeminal subnucleus caudalis region of the rats. 第94回日本生理学会大会，札幌，2017年3月28-30日，第94回日本生理学会大会プログラム・抄録集，2017.
- 2) 長谷川真奈，山田好秋，黒瀬雅之，岡本圭一郎，山村健介：大気圧センサを用いた健常者の嚥下時咽頭内圧変化の測定。日本咀嚼学会第27回学術大会，広島，2016年11月4-6日，日本咀嚼学会第27回学術大会プログラム・抄録集，2016.
- 3) Keiichiro Okamoto, Masayuki Kurose, Hiroki Imbe, Emiko Senba, Kensuke Yamamura: Bilateral Increases in ERK Activation at the Spinomedullary Junction Region and Orofacial Nocifensive Behavioral Activity by Masseter Muscle Stimulation During Temporomandibular Joint Inflammation in the Rat. Yokohama, 2016年9月26-30日，16th World Congress on Pain. 2016. プログラム・抄録集，2016.
- 4) 岡本圭一郎：photophobia(羞明)の神経機構。第21回日本口腔顔面痛学会学術大会。2016年9月24-25日。第21回日本口腔顔面痛学会学術大会プ

ログラム・抄録集, 2016.

- 5) Mana Hasegawa, Keiichiro Okamoto, Masayuki Kurose, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue, Noritaka Fujii, Yoshiaki Yamada, Kensuke Yamamura: Measurements of Pharyngeal Barometric Pressure During Swallowing in the Healthy Subjects. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016 年 9 月 23 日-24 日, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集, 2016.
- 6) 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 長谷川真奈, 中谷暢佑, 藤井規孝, 山田好秋, 佐藤義英, 山村健介, 増田裕次: 口唇随意運動時の脳活動の変化 fNIRS による分析. 第 58 回 歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日, 歯科基礎医学会学術大会プログラム・抄録集, 2016.
- 7) 岡本圭一郎, 黒瀬雅之, 中谷暢佑, 長谷川真奈, 藤井規孝, 高木律男, 山村健介: 持続性の顎関節炎が両側性の咬筋に痛覚過敏を引き起こす中枢メカニズム. 第 58 回 歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日, 歯科基礎医学会学術大会プログラム・抄録集, 2016.
- 8) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 黒瀬雅之, 山田好秋, 藤井規孝, 山村健介: 大気圧センサを用いた咽頭内圧測定システムによる嚥下機能の評価. 第 58 回 歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日, 歯科基礎医学会学術大会プログラム・抄録集, 2016.

【研究会発表】

- 1) 岡本圭一郎, 中谷暢佑, 黒瀬雅之, 山村健介: 日本酒によるストレス・痛みの軽減効果と脳機能. 新市場創出を目指した技術シーズプレゼンテーション-新潟のお米、食、健康で新たなビジネスチャンス-. 新潟, 2017 年 3 月 14 日.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Amaya Y, Miura S, Nakai T: Evolutionally well-conserved region in the signal peptide of parathyroid hormone-related protein is critical for its dual localization through the regulation of ER translocation J. Biochem 159(4): 393-406, 2016.
- 2) Kishikawa S, Sato S, Kaneto S, Uchino S, Kohsaka S, Nakamura S, Kiyono H.: Allograft inflammatory factor 1 is a regulator of transcytosis in M cells. Nat Commun. Feb 22; 8:14509,2017.

【商業誌】

- 1) 岸川咲吏, 清野宏: 粘膜免疫-口は免疫の門-. 日本歯科東洋医学会誌. 35 巻, 第 1・2 号, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂 (研究代表者): 脳内アンモニア代謝に関わる新規分子の研究. 公益財団法人アステラス病態代謝研究会 研究助成金, 2016.
- 2) 照沼美穂 (研究代表者): 神経細胞保護作用のある GABA_B 受容体の発現調節メカニズムの解明. 公益財団法人東京生化学研究会 研究奨励金, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Terunuma M: Navigating your research challenges to maximize your career success. Early Career Development Seminar, University of Leicester, Leicester, United Kingdom, 2016.5.16.
- 2) Terunuma M: Mechanisms of brain homeostasis: from molecular biology to clinical significance. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Prince of Songkla University - Niigata University, Manathai Koh Samui, (Koh Samui) Thailand, 2017.2.11-13.
- 3) Kishikawa S, Sato S, Nakamura S, Kiyono H: Allograft inflammatory factor 1 is a transcytosis regulator for M cells. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Prince of Songkla University - Niigata University, Manathai Koh Samui, (Koh Samui) Thailand, 2017.2.11-13.
- 4) 照沼美穂: GABA って何? 抑制性神経伝達物質が担う脳恒常性維持の仕組み. 新潟大学医歯学総合研究科新領域開拓センターセミナー. 新潟大学医学部 (新潟県・新潟市), 2016 年 11 月 11 日.
- 5) Terunuma M: Neuroprotective role of GABA_B receptors against ischemia. 第 90 回日本薬理学会年会. 長崎ブリックホール (長崎県・長崎市), 2017 年 3 月 15-17 日.

【研究会発表】

- 1) 照沼美穂: プリン受容体によるアストロサイトの GABA_B 受容体の機能調節メカニズム. 第 20 回 Japan Purine Club. 東京慈恵会医科大学 (東京都・港区), 2016 年 10 月 26-27 日.
- 2) 照沼美穂: GABA 受容体の研究からわかる脳の恒常

性の仕組み. 新潟脳神経研究会 第309回例会, 新潟大学脳研究所(新潟県・新潟市), 2016年12月13日.

【その他】

- 1) 照沼美穂: GABA を食べて心も体も健康に. シーズプレゼンテーション, 新潟大学歯学部・大学院限定FD, 新潟医療人育成センター(新潟県・新潟市), 2016年11月25日.

歯周診断・再建学分野

【著書】

- 1) Kazuhisa Yamazaki: Chapter 15 New paradigm in the relationship between periodontal disease and systemic diseases, effects of oral bacteria on the gut microbiota and metabolism: The Human Microbiota and Chronic Disease: Dysbiosis as a Cause of Human Pathology. P 243-261 (Edited by Luigi Nibali and Brian Henderson), John Wiley & Sons, Inc, Oxford, UK, 2016.
- 2) 吉江弘正, 小林哲夫, 栗原英見, 應原一久: 第1部臨床研究からのエビデンス 4) 歯周病と関節リウマチ, 「歯周病と全身の健康」(特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編), 54-67 頁, 医歯薬出版, 東京, 2016.
- 3) 山崎和久, 高橋直紀, 五味一博: 第1部臨床研究からのエビデンス 1) 歯周病と血管障害, 「歯周病と全身の健康」(日本歯周病学会 編), 10-26 頁, 日本歯周病学会, 東京, 2016.
- 4) 山崎和久, 梅田 誠, 吉成伸夫: 第2部細胞・分子レベルのメカニズム 2) 歯周炎と動脈硬化症の関連メカニズム, 「歯周病と全身の健康」(日本歯周病学会 編), 92-95 頁, 日本歯周病学会, 東京, 2016.
- 5) 吉江弘正, 奥田一博: 6. 『食べる』ための再生治療, File 4 『食べる』を支える歯学, 「新潟大学歯学部創立 50 周年記念誌 21 世紀は『食べる』時代 『食べる』を考えたことありますか?」(前田健康, 花田晃治 編), 138-141 頁, 医歯薬出版, 東京 2016.
- 6) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 中園 清, 吉江弘正: 関節リウマチに及ぼす歯周病原菌感染由来タンパクシトルリン化の影響, 「膠原病と慢性炎症」(三森経世 監修), 129-132 頁, 北隆館, 東京, 2016.

【論文】

- 1) Shimada A, Kobayashi T, Ito S, Okada M, Murasawa A,

Nakazono K, Yoshie H: Expression of anti-*Porphyromonas gingivalis* peptidylarginine deiminase immunoglobulin G and peptidylarginine deiminase-4 in patients with rheumatoid arthritis and periodontitis. *J Periodontol Res* 51(2): 103-111, 2016.

- 2) Kobayashi T, Ito S, Kobayashi D, Shimada A, Narita I, Murasawa A, Nakazono K, Yoshie H: Serum Immunoglobulin G Levels to *Porphyromonas gingivalis* Peptidylarginine Deiminase Affect Clinical Response to Biological Disease-Modifying Antirheumatic Drug in Rheumatoid Arthritis. *PLoS ONE* 11(4):e0154182, 2016.
- 3) Kitamura M, Akamatsu M, Kawanami M, Furuichi Y, Fujii T, Mori M, Kunimatsu K, Shimauchi H, Ogata Y, Yamamoto M, Nakagawa T, Sato S, Ito K, Ogasawara T, Izumi Y, Gomi K, Yamazaki K, Yoshie H, Fukuda M, Noguchi T, Takashiba S, Kurihara H, Nagata T, Hamachi T, Maeda K, Yokota M, Sakagami R, Hara Y, Noguchi K, Furuuchi T, Sasano T, Imai E, Ohmae M, Koizumi H, Watanuki M, Murakami S: Randomized placebo-controlled and controlled non-inferiority phase III trials comparing trafermin, a recombinant human fibroblast growth factor 2, and enamel matrix derivative in periodontal regeneration in intrabony defects. *J Bone Miner Res* 31(4): 806-14, 2016.
- 4) de Jong PR, Taniguchi K, Harris AR, Bertin S, Takahashi N, Duong J, Campos AD, Powis G, Corr M, Karin M, Raz E: ERK5 signalling rescues intestinal epithelial turnover and tumour cell proliferation upon ERK1/2 abrogation. *Nat Commun* 17(7): 11551, 2016.
- 5) Kojima A, Kobayashi T, Ito S, Murasawa A, Nakazono K, Yoshie H: Tumor necrosis factor-alpha gene promoter methylation in Japanese adults with chronic periodontitis and rheumatoid arthritis. *J Periodontol Res* 51(3): 350-358, 2016.
- 6) Bertin S, Aoki-Nonaka Y, Lee J, de Jong PR, Kim P, Han T, Yu T, To K, Takahashi N, Boland BS, Chang JT, Ho SB, Herdman S, Corr M, Franco A, Sharma S, Dong H, Akopian AN, Raz E: The TRPA1 ion channel is expressed in CD4+ T cells and restrains T-cell-mediated colitis through inhibition of TRPV1. *Gut* 20: 310710, 2016.
- 7) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, de Jong PR, Bertin S, Tabeta K, Yamazaki K: Neuronal TRPV1 activation regulates alveolar bone resorption by suppressing osteoclastogenesis via CGRP. *Sci Rep* 6: 29294, 2016.
- 8) Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Matsuda Y, Sato K, Takahashi N, Nakajima T, Yamazaki K: Brazilian propolis mitigates impaired glucose and lipid metabolism

- in experimental periodontitis in mice. *BMC Complement Altern Med* 16: 329, 2016.
- 9) Kobayashi T, Ishida K, Yoshie H: Increased expression of interleukin-6 (IL-6) gene transcript in relation to IL-6 promoter hypomethylation in gingival tissue from patients with chronic periodontitis. *Arch Oral Biol* 69: 89-94, 2016.
 - 10) Kawase T, Okuda K, Nagata M, Tsuchimochi M, Yoshie H, Nakata K: Non-invasive, quantitative assessment of the morphology of γ -irradiated human mesenchymal stem cells and periosteal cells using digital holographic microscopy. *Int J Radiat Biol* 29: 1-10, 2016.
 - 11) Matsuda Y, Kato T, Takahashi N, Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Sato K, Ohno H, Yamazaki K: Ligature-induced periodontitis in mice induces elevated levels of circulating IL-6 but shows only weak effects on adipose and liver tissues. *J Periodont Res* 51(5): 639-646, 2016.
 - 12) Nakayama Y, Ogata Y, Hiromatsu Y, Imamura K, Suzuki E, Saito A, Shirakawa S, Nagano T, Gomi K, Morozumi T, Watanabe K, Akiishi K, Yoshie H: Clinical usefulness of a novel immunochromatographic detection device for *Porphyromonas gingivalis* in evaluating the effects of scaling and root planing and local antimicrobial therapy. *Periodontol* 87: 1238-1247, 2016.
 - 13) Ogata Y, Nakayama Y, Tatsumi J, Kubota T, Sato S, Nishida T, Takeuchi Y, Onitsuka T, Sakagami R, Nozaki T, Murakami S, Matsubara N, Tanaka M, Yoshino T, Ota J, Nakagawa T, Ishihara Y, Ito T, Saito A, Yamaki K, Matsuzaki E, Hidaka T, Sasaki D, Yaegashi T, Yasuda T, Shibutani T, Noguchi K, Araki H, Ikumi N, Aoyama Y, Kogai H, Nemoto K, Degichi S, Takiguchi T, Yamamoto M, Inokuchi K, Ito T, Kado T, Furuichi Y, Kanazashi M, Gomi K, Takagi Y, Kubokawa K, Yoshinari N, Hasegawa Y, Hirose T, Sase T, Arita H, Kodama T, Shin K, Izumi Y, Yoshie H: Prevalence and risk factors for peri-implant diseases in Japanese adult patients. *J Oral Sci* 59 (1): 1-11, 2017.
 - 14) Morozumi T, Nakagawa T, Nomura Y, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobayashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K, Sekino S, Numabe Y, Fukaya C, Yoshinari N, Fukuda M, Noguchi T, Kono T, Umeda M, Fujise O, Nishimura F, Yoshimura A, Hara Y, Nakamura T, Noguchi K, Kakuta E, Hanada N, Takashiba S, Yoshie H: Salivary pathogen and serum antibody to assess the progression of chronic periodontitis: a 24-mo prospective multicenter cohort study. *J Periodont Res* 51: 768-778, 2016.
 - 15) Kakuta E, Nomura Y, Morozumi T, Nakagawa T, Nakamura T, Noguchi K, Yoshimura A, Hara Y, Fujise O, Nishimura F, Kono T, Umeda M, Fukuda M, Noguchi T, Yoshinari N, Fukaya C, Sekino S, Numabe Y, Sugano N, Ito K, Kobayashi H, Izumi Y, Takai H, Ogata Y, Takano S, Minabe M, Makino-Oi A, Saito A, Abe Y, Sato S, Suzuki F, Takahashi K, Sugaya T, Kawanami M, Hanada N, Takashiba S, Yoshie H: Assessing the progression of chronic periodontitis using subgingival pathogen levels: a 24-month prospective multicenter cohort study. *BMC Oral Health* 17 (1): 46, 2017.
 - 16) Watanabe T, Isobe K, Suzuki T, Kawabata H, Nakamura M, Tsukioka T, Okudera T, Okudera H, Uematsu K, Okuda K, Nakata K, Kawase T: An evaluation of the accuracy of the subtraction method used for determining platelet counts in advanced platelet-rich fibrin and concentrated growth factor preparations. *Dent J* 5, 7: doi:10.3390/dj5020016, 2017.
 - 17) Yoshihara A, Sugita N, Iwasaki M, Wang Y, Miyazaki H, Yoshie H, Nakamura K: Relationship between renal function and periodontal disease in community-dwelling elderly women with different genotypes. *J Clin Periodontol* in press, doi: 10.1111/jcpe.12708, 2017.
 - 18) Nezu A, Kubota T, Maruyama S, Nagata M, Nohno K, Morozumi T, Yoshie H: Expression of neprilysin in periodontitis-affected gingival tissues. *Arch Oral Biol* 79: 35-41, 2017.
 - 19) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 小林哲夫, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 藤井規孝: 歯科医師臨床研修に関するインシデントレポートの分析と対策. *日本歯科医学教育学会雑誌* 32(1): 29-36, 2016.
 - 20) 小林哲夫, 伊藤 聡, 島田惇史, 村澤 章, 中園 清, 吉江弘正: 関節リウマチ患者の活動度に及ぼす歯周炎併発の影響. *日本歯科保存学雑誌* 59(3): 266-272, 2016.
 - 21) 両角俊哉, 中川種昭, 野村義明, 吉江弘正: 歯周炎進行を唾液細菌検査と血清抗体価検査から予知する～SPT 期治癒判定プロジェクト最終報告書～. *日本歯周病学会会誌* 58 (4): 254-258, 2016.
- 【商業誌】**
- 1) 山崎和久: 歯周病と全身疾患の関連ー口腔細菌による腸内細菌叢への影響ー. *化学と生物* 54(9) 633-639, 2016.
- 【研究費獲得】**

- 1) 吉江弘正：歯周炎・糖尿病・リウマチの共通リスクサイトカイン遺伝子の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A), 25253104, 2016.
 - 2) 吉江弘正：リウマチ併発歯周炎患者の JAK 分子標的・抗菌療法と機能検証。日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 15K15764, 2016.
 - 3) 山崎和久：口腔-腸管連関を基盤としたペリオドンタルメディスン病因論の統合的解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A), 15H02578, 2016.
 - 4) 山崎和久：病態可視化マウスを用いた新規歯周病病因論の探索。日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 15K15763, 2016.
 - 5) 奥田一博：移植治療用細胞の遺伝的不安定性の指標となるマーカーの探索。日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 15K12567, 2016.
 - 6) 小林哲夫：シトルリン化プロファイルによる歯周炎とリウマチの共通発症メカニズムの解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26463130, 2016.
 - 7) 杉田典子：エネルギー代謝調節遺伝子 UCP の閉経後女性歯周炎・糖尿病・肥満・骨粗鬆症への関与。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11384, 2016.
 - 8) 久保田健彦：歯周炎組織中におけるアルツハイマー病原因分子のネットワーク解析。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11382, 2016.
 - 9) 多部田康一：高付加価値型歯周炎ワクチン-DNA オリガミとイミダゾキノリンによる IgA 誘導一。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 15H05052, 2016.
 - 10) 両角俊哉：スケーリング後の菌血症が生体応答に及ぼす影響と光エネルギー応用の効果。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26463132, 2016.
 - 11) 両角俊哉：慢性歯周炎患者における抗菌的光線力学療法の生物学的変化および治癒効果。新潟大学医歯学総合病院臨床研究サポート事業, 介入研究, 2016.
 - 12) 高橋 直紀：歯周炎病態形成における TRP チャネルを介した神経-骨代謝ネットワークの解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 16K11827, 2016.
 - 13) 野中由香莉：歯周病原細菌感染に対するビタミンDによる新規の予防・治療効果の検討。日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 15K20619, 2016.
 - 14) 宮沢春菜：歯周病原細菌は腸管透過性亢進に関与するか？。日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 16K20667, 2016.
- 【講演・シンポジウム】**
- 1) Yamazaki K: Connection between periodontal disease and systemic diseases: A novel mechanism conceived from clinical findings and experimental studies. IDEM Singapore, April 10, Singapore, 2016.
 - 2) Yamazaki K: New Paradigm Linking Periodontal Disease and Systemic Diseases. 94th General session of the IADR, Seoul, June 22-25, 2016.
 - 3) Yoshie H: Clinical application of cultured human periosteum for Periodontitis patients. 102th Annual meeting American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
 - 4) 山崎和久：歯周病と全身疾患の新たな関連メカニズム。シンポジウム 23 口腔内と腸内細菌から全身の健康を考える, 第 16 回日本抗加齢医学会総会, 横浜, 2016 年 6 月 10-12 日.
 - 5) 山崎和久：歯周病原細菌の腸内細菌叢に及ぼす影響：動脈硬化性疾患との関連。シンポジウム 2 歯周炎と動脈硬化性血管疾患の関連, 第 48 回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 東京, 2016 年 7 月 14-15 日.
 - 6) 山崎和久：歯周病と糖尿病の相互作用。第 2 回糖尿病と合併症研究会, 新潟, 2016 年 7 月 2 日.
 - 7) 山崎和久：歯周病と糖尿病の相互作用, 糖尿病の治療戦略～合併症を含めたトータルケア～. 上越地区学術講演会, 新潟, 2016 年 7 月 21 日.
 - 8) 山崎和久：歯周疾患が及ぼす全身への影響。会津方部歯学研究会特別講演, 福島, 2016 年 9 月 20 日.
 - 9) 山崎和久：歯周病学研究における今後の展望を探る, 「学内外の動向から探る今後の口腔科学研究の潮流」. 第 302 回東京歯科大学学会シンポジウム, 東京, 2016 年 10 月 15 日.
 - 10) 吉江弘正:歯周病と関節リウマチの治療効果。シンポジウム 7 もっと知りたい全身と歯周病の関係～歯周医学の最前線～, 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月 22 日.
 - 11) 山崎和久：歯周病と全身疾患の関連メカニズムー腸内細菌叢攪乱からの視点ー。シンポジウム 7 もっと知りたい全身と歯周病の関係～歯周医学の最前線～, 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月 21-23 日.
 - 12) 山崎和久：歯周病菌の全身への影響。第 53 回日本細菌学会中部支部総会特別講演, 新潟, 2016 年 10 月 29 日.

- 13) 山崎和久：歯周病と糖尿病の相互作用。平成 28 年度魚沼地域歯科保健研修会特別講演，新潟，2016 年 11 月 10 日。
- 14) 小林哲夫：口腔内細菌と歯科治療に伴う菌血症。第 44 回日本関節病学会特別講演，大分，2016 年 11 月 12 日。
- 15) 山崎和久：ペリオドンタルメディスン研究の新展開。大阪大学大学院歯学研究科セミナー，吹田，2016 年 11 月 24 日
- 16) 山崎和久：歯周疾患が及ぼす全身への影響。平成 28 年度二季会特別講演，新潟，2016 年 12 月 1 日。
- 17) 山崎和久：歯周病と全身疾患の新たな関連メカニズム 歯学研究に於ける重要な発見とその可能性。日本歯科医学会・国際歯科研究学会日本部会(JADR)，2016 年 12 月 17 日。
- 18) 山崎和久：歯周病をとりまく課題を再考する。福島県歯科医師会会津方部会新年学会特別講演，会津若松，2017 年 1 月 15 日。
- 19) 山崎和久：ペリオドンタルメディスン研究の新展開。広島大学大学院医歯薬保健学研究科セミナー，広島，2017 年 1 月 17 日。
- 20) 山崎和久：歯周病と非感染性疾患・慢性疾患との関連。シンポジウム 腸内フローラの最新の話，第 27 回生物試料分析科学会，新潟，2017 年 2 月 12 日。
- 21) 山崎和久：歯周病学の立場からみた口腔・腸内相関。神奈川歯科大学第 7 回第 8 回合同開催研究談話会，横須賀，2017 年 2 月 23 日。
- 22) 山崎和久：歯周疾患治療における課題（検査）を再考する。第 2 回歯科臨床研究推進会議，広島，2017 年 3 月 3 日。
- 23) 奥田一博，川瀬知之，永田昌毅，高木律男，中田光，吉江弘正：培養骨膜シートおよび培養骨膜細胞による歯周組織・顎骨の再生療法と今後の課題。シンポジウム「歯周組織・顎骨の再生治療の最先端研究と今後の課題」，第 16 回日本再生医療学会総会，仙台，2017 年 3 月 8 日。
- March 22-25, 2016.
- 3) Sato K, Takahashi N, Nakajima M, Kato T, Matsuda Y, Yokoji M, Yamada M, Ohno H, Yamazaki K: Periodontopathic bacteria increases the risk of rheumatoid arthritis by affecting gut immune system. International Congress of Immunology 2016, Melbourne, August 21-26, 2016.
- 4) Okuda K, Nakajima Y, Kawase T, Kobayashi M, Kamiya M, Horimizu M, Wolff LF, Yoshie H: Platelet-rich fibrin with beta-tricalcium phosphate for treatment of periodontal defects. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
- 5) Kubota T, Nemoto Y, Nohno K, Morozumi T, Nezu A, Yoshie H: Clinical outcomes following combination of periodontal regenerative therapy using a deproteinised bovine bone mineral, enamel matrix derivative with or without collagen membrane – A sprit mouth study –. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
- 6) Nemoto Y, Kubota T, Nohno K, Nezu A, Morozumi T, Yoshie H: Effectiveness of collagen membrane in periodontal regenerative therapy using enamel matrix derivative with deproteinized bovine bone mineral. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
- 7) Nezu A, Kubota T, Maruyama S, Nagata M, Horimizu M, Nohno K, Hokari T, Morozumi T, Saku T, Yoshie H: Expression of neprilysin in periodontitis-affected gingival tissue. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
- 8) Hokari T, Morozumi T, Komatsu Y, Yoshino T, Shimizu T, Tanaka M, Tanaka Y, Kubota T, Yoshie H: Biological effects of a-PDT and LDDS in chronic periodontitis. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016. March 22-25, 2017. March 22-25, 2017. March 22-25, 2017. 小林哲夫，伊藤 聡，小林大介，成田一衛，村澤 章，中園 清，吉江弘正：関節リウマチ患者における *Porphyromonas gingivalis* PAD 血清抗体価と biologic DMARDs 反応性との関連性。第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会，横浜，2016 年 4 月 21-23 日，日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集：355 頁，2016。
- 15) 松田由実，高橋直紀，中島麻由佳，佐藤圭祐，多部田康一，中島貴子，山崎和久：結紮誘導歯周炎

【学会発表】

- 1) Sugita N, Takahashi N, Che Y, Yoshie H: Regulation of UCP2 by *Porphyromonas gingivalis* LPS in THP-1 macrophages. 94th General Session & Exhibition of the IADR, Soul, March 22-25, 2016.
- 2) Che Y, Sugita N, Takahashi N, Yoshihara A, Hanai Y, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H: Macrophage erythroblast attacher gene polymorphism and periodontitis in postmenopausal Japanese women. 94th General Session & Exhibition of the IADR, Soul,

- モデルマウスにおける全身への影響とそのメカニズムの解析. 第 49 回新潟歯学会総会, 新潟, 2016 年 4 月 23 日, プログラム・抄録集: 10 頁, 2016.
- 16) 松下正人, 小林哲夫, 岡田 萌, 吉江弘正, 葛谷健太郎, 松岡秀俊, 清水 隆, 新居卓郎, 原田芳徳, 勅使川原 悟, 田中枝里子, 辻 総一郎, 橋本 淳, 大島至郎, 佐伯行彦: 関節リウマチ患者における生物学的製剤治療反応性への歯周病菌 *Porphyromonas gingivalis* 感染の影響 (2 種類の血清抗体価からの検討). 第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 横浜, 2016 年 4 月 21-23 日, 日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集: 634 頁, 2016.
- 17) 奥田一博, 中島 悠, 小林美登, 神谷真菜, 堀水慎, 川瀬知之, 吉江弘正: 自己血由来多血小板フィブリン膜と β -TCP による歯周組織再生効果: 症例シリーズ. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 139 頁, 2016.
- 18) 小林哲夫, 島田惇史, 吉江弘正: *Porphyromonas gingivalis* PAD 血清抗体価のサイトカイン標的療法反応性への影響. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 134 頁, 2016.
- 19) 両角俊哉, 八島章博, 五味一博, 氏家優子, 和泉雄一, 水谷幸嗣, 高松秀行, 三邊正人, 秋月達也, 宮内里美, 吉野敏明, 田中真喜, 田中良枝, 保苺崇大, 吉江弘正: One-Stage Full-Mouth SRP 後の生体応答と臨床効果. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 121 頁, 2016.
- 20) 伊藤晴江, 中島貴子, 奥井隆文, 中島麻由佳, 本田朋之, 島田靖子, 多部田康一, 山崎和久: 歯周病安定期治療中の活動性歯周ポケットに対する経口抗菌療法の細菌学的、臨床的效果 (第 3 報). 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 129 頁, 2016.
- 21) 根本康子, 久保田健彦, 両角俊哉, 濃野 要, 根津 新, 吉江弘正: エナメル基質タンパク, 脱タンパクウシ骨基質を用いた歯周組織再生療法におけるコラーゲン膜の有効性の検討. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 139 頁, 2016.
- 22) 保苺崇大, 両角俊哉, 小松康高, 清水太郎, 吉野敏明, 田中真喜, 田中良枝, 久保田健彦, 吉江弘正: 慢性歯周炎に対する抗菌的光線力学療法と局所薬物配送システムの生物学的効果. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 122 頁, 2016.
- 23) 黒木 歩, 杉田典子, 葭原明弘, 小林哲夫, 吉江弘正: 佐渡市在住の成人における歯槽骨吸収度と血液肝機能マーカーとの関連性について. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 134 頁, 2016.
- 24) 佐藤圭祐, 高橋直紀, 中島麻由佳, 松田由実, 山田実生, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久, *Porphyromonas gingivalis* 口腔投与のコラーゲン誘導性関節炎増悪メカニズムの解析. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 116 頁, 2016.
- 25) Che Y, Sugita N, Hanai Y, Yoshihara A, Wang Y, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H: The relationship between macrophage erythroblast attacher (MAEA) gene polymorphism and periodontitis in postmenopausal Japanese women. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 112 頁, 2016.
- 26) 八島章博, 両角俊哉, 氏家優子, 吉江弘正, 保苺崇大, 和泉雄一, 水谷幸嗣, 高松秀行, 三邊正人, 秋月達也, 宮内里美, 吉野敏明, 田中真喜, 田中良枝, 五味一博: Azithromycin を用いた One-Stage Full-Mouth SRP 後の生体応答と臨床効果. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 121 頁, 2016.
- 27) 中山洋平, 小方頼昌, 廣松勇樹, 今村健太郎, 高山沙織, 齋藤 淳, 白川 哲, 長野孝俊, 五味一博, 両角俊哉, 秋石和宏, 渡辺香里, 吉江弘正: SRP および LDDS 前後における *Porphyromonas gingivalis* 検出キット (DK13-PG-001) の有用性に関する多施設共同研究. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会誌 第 58 巻 春季特別号: 121 頁, 2016.
- 28) 小林哲夫, 島田惇史, 吉江弘正: 歯周炎併発と関節リウマチ活動度との関連性の解析. 第 144 回日本歯科保存学会春季学術大会, 宇都宮, 2016 年 6 月 9-10 日, 学術大会プログラムおよび講演抄録集: 164 頁, 2016.
- 29) 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 多部田康一, 吉江弘正, 山崎和久: TRPV1 受容体の活性化は神経ペプチド産生を介して歯槽骨吸収を抑制する. 第 144

- 回日本歯科保存学会春季学術大会, 宇都宮, 2016年6月9-10日, 学術大会プログラムおよび講演抄録集: 65頁, 2016.
- 30) 松田由実, 皆川高嘉, 高橋直紀, 佐藤圭祐, 横地麻衣, 山田実生, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: 外傷性咬合により誘導される歯槽骨吸収に対するResveratrolの影響. 第144回日本歯科保存学会春季学術大会, 宇都宮, 2016年6月9-10日, 学術大会プログラムおよび講演抄録集: 27頁, 2016.
- 31) 小林哲夫, 石田光平, 吉江弘正: 慢性歯周炎罹患歯肉組織におけるIL-6プロモーター低メチル化と遺伝子転写発現亢進. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 113頁, 2016.
- 32) 両角俊哉, 久保田健彦, 保苺宗大, 奥田一博, 吉江弘正: 広汎型重度慢性歯周炎患者においてOne-stage Full-mouth SRPと歯周組織再生療法により改善を認めた一症例. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 141頁, 2016.
- 33) 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 多部田康一, 山崎和久, 前田健康: カプサイシン受容体TRPV1の活性化が歯槽骨吸収におよぼす影響. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 124頁, 2016.
- 34) 山宮かの子, 奥田一博: 骨移植術およびGTR法を用いて再生療法を行った広汎型重度慢性歯周炎患者の6年経過症例. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 151頁, 2016.
- 35) 清水太郎, 久保田健彦, 奥田一博, 吉江弘正: 広汎型重度慢性歯周炎に歯根膜を応用して包括的治療を行った一症例. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 151頁, 2016.
- 36) 野中由香利, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: コメ由来抗菌ペプチドの抗炎症作用と創傷治癒作用の解析. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 121頁, 2016.
- 37) 山田実生, 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: 口腔細菌脂質代謝に由来する機能的脂肪酸HYAは歯肉上皮バリア機能の低下を抑制する. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 112頁, 2016.
- 38) 米澤大輔, 小出浩貴, 有賀彩乃, 高橋駿介, 堤武志, 熊谷信平, 中島貴子, 山崎和久: 成人健診データにおける歯槽骨吸収量と動脈硬化症リスクの関連解析. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 133頁, 2016.
- 39) 野口和行, 原宜興, 木下淳博, 小林哲夫, 菅谷勉, 町頭三保, 谷岡正行: 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 120頁, 2016.
- 40) 北村信隆, 山崎和久: 咬合性外傷を伴う広汎型重度慢性歯周炎に対して包括的歯周治療を行った一症例. 第59回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016年10月7-8日, 日本歯周病学会会誌 第58巻秋季特別号: 150頁, 2016.
- 41) 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 多部田康一, 前田健康, 山崎和久: 実験的歯周炎モデルマウスの歯槽骨吸収におけるTRPV1チャネルタンパクの関与. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-23日, プログラム・抄録集: 127頁, 2016.
- 42) Okuda K, Nakajima Y, Kawase T, Kobayashi M, Kamiya M, Horimizu M, Yoshie H: Platelet-Rich Fibrin Membrane Combined with Beta-Tricalcium Phosphate for Treatment of Infrabony Defects in Chronic Periodontitis. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-23日, 第23回日本歯科医学会総会プログラム・事前抄録集: 152頁, 2016.
- 43) 小林哲夫, 島田惇史, 吉江弘正: *Porphyromonas gingivalis* PAD IgG抗体価と関節リウマチ治療応答性との関連. 第145回日本歯科保存学会秋季学術大会, 松本, 2016年10月27-28日, 学術大会プログラムおよび講演抄録集: 40頁, 2016.
- 44) 横地麻衣, 多部田康一, 宮沢春菜, 野中由香利, 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 山田実生, 伊藤晴江, 中島貴子, 山崎和久. 細菌抗原によるPCSK9産生の誘導機構. 第145回日本歯科保存学会秋季学術大会, 松本, 2016年10月27-28日, 学術大会プログラムおよび講演抄録集: 145頁, 2016.
- 45) 根本康子, 久保田健彦, 濃野要, 根津新, 両角俊哉, 吉江弘正: エナメル基質タンパク、脱タンパクウシ骨基質を用いた歯周組織再生療法におけるコラーゲン膜の有効性の検討. 平成28年度新潟歯学会第2回例会 新潟, 2016年11月5日, プログラム・抄録集: 13頁, 2016.
- 46) 佐藤圭祐, 高橋直紀, 中島麻由佳, 松田由実, 山田実生, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* 口腔投与のコラーゲン誘導性関節炎増悪メカニズムの解析. 平成28

年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, プログラム・抄録集: 13頁, 2016.

- 47) 根津 新, 久保田健彦, 丸山 智, 永田昌毅, 堀水慎, 濃野 要, 保苺崇大, 両角俊哉, 朔 敬, 吉江弘正: 歯周炎罹患歯肉組織におけるネプリライシンの遺伝子発現レベルと免疫組織局在の解析. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, プログラム・抄録集: 12頁, 2016.
- 48) 田中恵子, 勝良剛詞, 増子正義, 中井恵美, 曾我麻里恵, 黒川亮, 杉田典子, 高木律男: 同種造血幹細胞移植治療における口腔粘膜炎・咽頭痛と口腔汚染度との関係. 第2回日本がん口腔支持療法学会学術集会, 静岡, 2016年12月17-18日, 2016.
- 49) 川瀬知之, 奥田一博, 永田昌毅, 土持 眞, 吉江弘正, 中田 光: デジタルホログラフィック顕微鏡による非接触的細胞品質評価の試み. 第16回日本再生医療学会総会, 仙台, 2017年3月7日, 第16回日本再生医療学会総会プログラム・抄録集: 271頁, 2017.

【受賞】

- 1) 久保田健彦: ホエイペプチド配合免疫調整流動食経口摂取が歯周炎患者における歯肉溝滲出液の炎症性サイトカインに与える影響. 日本歯科保存学会歯周病学分野最優秀論文賞, 第144回日本歯科保存学会春季学術大会, 2016年6月9-10日.
- 2) 久保田健彦: SPT期におけるテトラサイクリン・エピジヒドロコレステリン含有軟膏の塗布塗擦の有効性評価—予備的検討. 日本歯周病学会2015年度最優秀論文賞, 第59回日本歯周病学会秋季学術大会, 2016年10月7-8日.
- 3) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, Tabeta K, Yamazaki K, Maeda T: Neuronal TRPV1 activation inhibits alveolar bone resorption via neuropeptide release. 2017 IADR Johnson & Johnson Joseph Lister Award Regional Finalist, 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, March 22-25, 2017.

【その他】

- 1) 久保田健彦: お口の健康について. 新潟県中途視覚障害者連絡会主催健康講演会, 新潟, 2016年7月18日.
- 2) 吉江弘正: 「歯周治療: 40年でかわったこと」「歯周病と関節リウマチの治療効果」「高齢者社会における歯周治療」. 富山三二会 学術講演会, 富山, 2016年11月13日.

【著書】

- 1) 齋藤 功: 美しいスマイルと『食べる』. 前田健康, 花田晃治編; 21世紀は『食べる』時代—食べるを考えたことありますか?, 114-119頁, 医歯薬出版株式会社, 新潟, 2016.

【論文】

- 1) Ohkura M, Ohkura N, Yoshida N, Yoshida K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Saito I, Okiji T: Orthodontic force application upregulated pain-associated prostaglandin-I₂/PGI₂-receptor/TRPV1 pathway-related gene expression in rat molars. *Odontology*, 2017. In press.
- 2) Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masuda Y, Takahashi K, Otake M, Saito I, Kitagawa J: Inhibition of the degrading of 2-arachidonoylglycerol (2-AG) attenuated orofacial neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. *J Oral Sci*, 2017. in press.
- 3) Madachi K, Takagi R, Oominato R, Kodama Y, Iida A, Ono K, Asahito T, Saito I: Cephalometric Evaluation after Two-Stage Palatoplasty Combined with Hotz's plate: A comparative study between modified Furlow's and Widmaier-Perko's Methods. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 46(5):539-547, 2017.
- 4) Otake M, Kurose M, Uchida Y, Haegawa M, Yamada Y, Saito I, Yamamura K: The interactions between different tastes on initiation of reflex swallow elicited by electrical stimulation in human. *Odontology* 104(3): 282-290, 2016.
- 5) Sakaue K, Fukui T, Sasakura C, Hori K, Ono T, Saito I.: Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism. *J Oral Rehabil*. 43(5):348-55, 2016.
- 6) Nishino K, Kohara A, Yakita A, Ochi K, Hayashi T, Takagi R, Kobayashi T, Terada K, Saito I; Three-dimensional analysis of facial changes in skeletal Class III patients following mandibular setback surgery. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol* 28(6): 481-487, 2016.
- 7) Fukui T, Kano H, Saito I: Nonsurgical treatment of adult with an open bite and large lower anterior facial height with the edgewise appliance and temporary anchorage devices. *Am J Orthod Dentofacial Orthop* 149: 889-898,

- 2016.
- 8) Akiba Y, Mizuta A, Kakihara Y, Nakata J, Nihara J, Saito I, Egusa H, Saeki M: The inhibitors of cyclin-dependent kinases and GSK-3 β enhance osteoclastogenesis. *Biochemistry and Biophysics Reports* 5: 253-258, 2016.
 - 9) Kurabe K, Kojima T, Kato Y, Saito I, Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on oral health-related quality of life in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg* 45: 1513-1519, 2016.
 - 10) Saito D, Mikami T, Oda Y, Hasebe D, Nishiyama H, Saito I, Kobayashi T: Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties, and bone metabolic markers in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg* 45: 985-991, 2016.
 - 11) Noda K, Kitami M, Kitami K, Kaku M, Komatsu Y: Canonical and noncanonical intraflagellar transport regulates craniofacial skeletal development. *Proc Natl Acad Sci* 113:E2589-E2597, 2016.
 - 12) 高橋功次朗, 丹原 惇, 森田修一, 小林正治, 池田順行, 林 孝文, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症例における下顎単独後退術の下顎後退量の左右差と正中中部移動量との関係. *日顎変形誌* 27(1), 2017. (印刷中)
 - 13) 佐藤知弥子, 八巻正樹, 渡辺和子, 八木 稔, 齋藤功: 歯列に対する自己評価および客観的評価と矯正歯科治療の動機づけとの関連性. *Orthodontic Waves-Jpn* Ed76(1):17-29, 2017.
 - 14) 坂上 馨, 高橋功次朗, 丹原 惇, 森田修一, 齋藤 功: 最近 10 年間の新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における歯数異常症例の臨床統計調査. *新潟歯学会誌* 46(2) : 83-88, 2016.
 - 15) 池田順行, 小原彰浩, 鶴巻 立, 瀬尾憲司, 齋藤 功, 高木律男: 顎矯正手術を行った筋緊張性ジストロフィーに伴う顎変形症の 1 例. *日口外誌* 62(12) : 612-617, 2016.
 - 16) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次朗, 森田修一, 齋藤功: 日本人を対象とした矯正歯科治療前後の赤唇に関する形態学的研究-小臼歯抜去により治療したアングル I 級上下顎前突症例における矯正歯科治療前後の赤唇形態変化. *Orthod Waves-Jpn* Ed 75(2) : 97-105, 2016.
 - 17) 福井忠雄, 齋藤 功: 新潟大学の矯正臨床は今 -そして近未来の治療戦略-. *甲北信越矯歯誌* 24(1) : 3-10, 2016.
 - 18) 越知佳奈子, 山添清文, 森田修一, 齋藤 功: 歯周疾患を伴う成人 Angle Class II subdivision 叢生症例. *甲北信越矯歯誌* 24(1) : 83-91, 2016.
 - 19) 小島 拓, 加藤祐介, 船山昭典, 三上俊彦, 倉部華奈, 原 省司, 朝日藤寿一, 八巻正樹, 齋藤 功, 小林正治: 著しい長顔を呈する顎変形症患者に対し馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術を施行した 1 例. *新潟歯学会雑誌* 46(1) : 21-26, 2016.
 - 20) 竹山雅規, 池元太郎, 森田修一, 山田秀樹: 成人女性における顎顔面構造の経年的変化. *Monog Clin Orthod.* 37 : 39-47, 2016.
- 【研究費獲得】**
- 1) 齋藤 功, 槇宏太郎, 丹原 惇: 顎骨内応力解析を用いた成長シミュレーションによる顎変形症診断システムの開発. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 26463090, 2016.
 - 2) 越知佳奈子, 齋藤 力, 齋藤 功: 機械学習理論を実装した顎変形症診断支援データベースシステムの開発とその臨床応用. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 26463091, 2016.
 - 3) 大竹正紀: 加齢に伴う三叉神経領域における異常疼痛の発症機序の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究(B), 15K20639, 2016.
 - 4) 大倉麻里子: 矯正歯の移動におけるプロスタグランジン I₂ に着目した疼痛メカニズム解析. 平成 28 年度年度研究活動スタート支援, 16H06818, 2016.
- 【招待講演・シンポジウム】**
- 1) Saito I: “Morphological and functional aspects before and after orthognathic surgery in dentofacial deformities”; International Session Symposium A3 “A new paradigm of orthodontics in the world: Evidence-based clinical orthodontics”. The 23rd general meeting of the Japanese association for dental science, Fukuoka, 23th-25th October, 2016.
 - 2) Saito I: Postoperative changes in hard and soft tissues for various types of orthognathic patients and swallowing aspect in mandibular prognathism patients. The 22nd Malaysian association of orthodontists scientific conference, Malaysia, 23th-25th April 2016, abstract book: p11, 2016.
 - 3) Saito I: Collaborative treatment in adult orthodontic patients -Remedies combined with orthognathic surgery and /or tooth auto transplantation-. The 22nd Malaysian association of orthodontists scientific conference, Malaysia, 23th-25th April 2016, abstract book: p11, 2016.
 - 4) 齋藤 功: スタンダードエッジワイズ装置を基本に据えた矯正歯科治療と臨床教育. 第 75 回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016 年 11 月 7 日-9 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 98 頁, 2016.

- 5) 齋藤 功: 臨床セミナー3「マルチブラケットシステムの治療の効率性と安定性」コーディネーター・座長. 第75回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016年11月7日-9日, 同学会大会プログラム・抄録集: 97-101頁, 2016.
- 6) 齋藤 功: 教育講演「矯正歯科の現在」コーディネーター・座長. 日本歯科審美学会第27回学術大会, 北海道, 2016年8月26日-28日, 同学会抄録集: 48-49頁, 2016.
- 7) 丹原 惇: 招待講演「矯正歯科領域における生体モデルを想定したFEA」. CAE利用技術研究会2016, 東京, 2016年8月5日, プログラム抄録集: 136頁, 2016.
- 8) 齋藤 功, 佐々木朗: シンポジウム3「逆カントを呈する顔面非対称症例への対応」コーディネーター・座長. 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016年6月24日-25日, 日本顎変形症学会雑誌26(2): 77-83頁, 2016.
- 9) 齋藤 功: 外科的矯正治療に係わる教育の現状(教える立場から). 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016年6月24日-25日, 日本顎変形症学会雑誌26(2): 98-99頁, 2016.
- 10) 齋藤 功: シンポジウムI「第二期矯正治療の結果から治療管理システムを考察する一片側性唇顎口蓋裂を対象として」コーディネーター・座長. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪, 2016年5月26日-27日, 日本口蓋裂学会雑誌41(2): 67-69頁, 2016.
- 11) 齋藤 功: 矯正歯科治療とは?—特殊性とその意義—. 日本の歯科の力・明るい歯科医療の未来を創る, 東京, 2016年5月14日-15日, プログラム・抄録集: 13頁, 2016.
- investigation on the relationship between tongue pressure during deglutition and antero-posterior skeletal discrepant mandibular prognathism. The 92nd congress of European orthodontic society, Sweden, 11th-16th June 2016.
- 4) Ochi-Yamazoe K, Yamazoe K, Nishino K, Morita S, Saito I: A new system for analyzing the coordination of dentoalveolar morphologies. The 92nd congress of European orthodontic society, Sweden, 11th-16th June 2016.
- 5) Ishii K, Yoshizawa M, Yoshizawa M, Funato A, Ihyo C, Furusato M, Hayashida T, Ishii N: A review of eight autotransplanted teeth with complete root formation. The 1st congress on tooth transplantation, Poland, 20th-22th May 2016.
- 6) Kitami K, Kitami M, Komatsu Y; BRCA1 is critical for craniofacial skeletal development. Bone disease program of Texas, 13th Annual scientific retreat, Houston, 6th May 2016, abstract book: p14, 2016.
- 7) 小山貴寛, 児玉泰光, 永田昌毅, 池田順行, 小野和宏, 丹原 惇, 齋藤 功, 飯田明彦, 高木律男: 顎裂部骨移植時における裂部側切歯の状態と咬合への関与. 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2016年11月25日-27日, 日本口腔外科学会雑誌62: 264頁, 2016.
- 8) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次郎, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: クラスタ分析による骨格性下顎前突症例における正貌パターンの分類. 第75回日本矯正歯科学会大会, 徳島, 2016年11月7日-9日, 同学会大会プログラム・抄録集: 136頁, 2016.
- 9) 大森裕子, 丹原 惇, 高橋功次郎, 森田修一, 齋藤功. 小臼歯抜去により治療したAngle Class III下顎前突における矯正治療前後の赤唇形態の変化. 第75回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016年11月7日-9日, 同学会大会プログラム・抄録集: 146頁, 2016.
- 10) 丹原 惇, 藤田 瑛, 池真樹子, 児玉泰光, 齋藤 功: 有限要素法を用いた下顎枝垂直骨切り術施行後の術後変化予測. 第75回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016年11月7日-9日, 同学会大会プログラム・抄録集: 178頁, 2016.
- 11) 北見公平, 北見恩美, 齋藤 功, 小松義広: がん抑制遺伝子BRCA1は口蓋形成に必須である. 第75回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016年11月7日-9日, 同学会大会プログラム・抄録集: 193頁, 2016.
- 12) 大倉麻里子, 大倉直人, 野杵由一郎, 齋藤

【学会発表】

- 1) Kojima T, Kurabe K, Kato Y, Hasebe D, Takatsuji H, Katagiri W, Saito I, Kobayashi T: A questionnaire study after orthognathic surgery in patients with jaw deformities. The 55th congress of the Korean association of maxillofacial plastic and reconstructive surgeons, Korea, 4th -6th November 2016, abstract book: p47, 2016.
- 2) Kitami K, Kitami M, Komatsu Y; Gene regulatory network via BRCA1 and BRCA2 is critical for craniofacial bone development. ASBMR annual meeting 2016, Atlanta, 16th-19th September 2016, abstract book: p285, 2016.
- 3) Fukui T, Sakaue K, Hori K, Ono T, Saito I: An

- 功:実験的歯の移動時におけるラット臼歯歯髄内 Prostaglandin I₂合成酵素とIP受容体の発現解析.第75回日本矯正歯科学会学術大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:203頁,2016.
- 13) 佐藤知弥子,丹原 惇,八巻正樹,渡辺和子,八木 稔,齋藤 功:総合大学新入生における矯正歯科治療経験者の矯正治療に対する認識度の検討.第75回日本矯正歯科学会学術大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:219頁,2016.
- 14) 眞館幸平,大澤知朗,深町直哉,水越 優,高橋功次朗,丹原 惇,森田修一,齋藤 功:新潟大学歯学総合病院矯正歯科における過去10年間の新規登録患者の臨床統計調査.第75回日本矯正歯科学会学術大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:224頁,2016.
- 15) 坂上 馨,高橋功次朗,大森裕子,中田樹里,新島綾子,村上智子,阿部 遼,網谷季莉子,市川佳弥,栗原加奈子,藤田 瑛,森田修一,齋藤 功:新潟大学歯学総合病院矯正歯科における歯数以上症例の統計調査.第75回日本矯正歯科学会学術大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:226頁,2016.
- 16) 八巻正樹:歯科矯正用アンカースクリューおよび矯正用インプラントアンカー(仮称)併用時の改良型負荷装置の考案.第75回日本矯正歯科学会大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:233頁,2016.
- 17) 大竹正紀,丹原 惇,大竹正人,高橋功次朗,森田修一,齋藤 功:混合歯列期に歯列弓拡大を行った症例における大白歯間幅径の長期的変化-第2報-.第75回日本矯正歯科学会学術大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:252頁,2016.
- 18) 西野和臣,市川佳弥,越知佳奈子,丹原惇,森田修一,齋藤 功:矯正治療前後における下顎歯槽部形態の三次元的変化について-Pilot study-.第75回日本矯正歯科学会大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:253頁,2016.
- 19) 須佐美隆史,府川俊彦,宮崎晴代,坂本輝男,森下格,佐藤嘉晃,金野吉晃,倉田和之,渡邊佳一郎,朝日藤寿一,齋藤 功:症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症患者に対するチーム医療の実態調査-矯正歯科医による多施設共同研究-.第75回日本矯正歯科学会大会,徳島,2016年11月7日-9日,同学会大会プログラム・抄録集:266頁,2016.
- 20) 上村藍太郎,ザキルホサイン,高橋功次朗,大竹正紀,北川純一,山村健介,齋藤 功:三叉神経領域の神経障害性疼痛に対する内因性カンナビノイドの鎮痛作用.平成28年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2016年11月5日,抄録集:10頁,2016.
- 21) 北見公平,北見恩美,加来 賢,小松義広,齋藤 功:がん抑制遺伝子BRCA1は顎顔面骨の形態形成に必須である.平成28年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2016年11月5日,抄録集:10頁,2016.
- 22) 浅井佑介,長谷部大地,小島 拓,齋藤 功,小林正治:顎矯正手術が鼻咽腔気道に及ぼす影響について.平成28年度新潟歯学会第2回例会,新潟,2016年11月5日,抄録集:16頁,2016.
- 23) 坂上 馨,福井忠雄,栗原加奈子,堀 一浩,小野高裕,齋藤 功:骨格性下顎前突症患者の嚥下時舌圧発現様相.第23回日本歯科医学会総会,福岡,2016年10月21日-23日,同学会大会プログラム・抄録集:280頁,2016.
- 24) 中田樹里,柿原嘉人,秋葉陽介,丹原 惇,齋藤 功,佐伯万騎男:破骨細胞分化に影響を与える薬剤のスクリーニングとその作用機序の解析.第34回日本骨代謝学会学術集会,大阪,2016年07月21-23日,同学会大会プログラム・抄録集:207頁,2016.
- 25) 大森裕子,丹原 惇,高橋功次朗,森田修一,齋藤 功:日本人を対象とした小白歯抜去を適用した矯正歯科治療前後の赤唇形態の変化.平成28年度新潟歯学会第1回例会,新潟,2016年7月9日,抄録集:11頁,2016.
- 26) 竹山雅規,八巻正樹,福井忠雄,齋藤 功:多数歯先天性欠如を伴う不正咬合に対する矯正治療.第31回甲北信越矯正学会大会,新潟,2016年7月3日,同学会大会プログラム・抄録集:35頁,2016.
- 27) 坂上 馨,高橋功次朗,丹原 惇,森田修一,齋藤 功:新潟大学歯学総合病院矯正歯科における歯数異常症例の臨床統計調査.第31回甲北信越矯正学会大会,新潟,2016年7月3日,同学会大会プログラム・抄録集:36頁,2016.
- 28) 篠倉千恵,福井忠雄,齋藤 功:非抜歯により治療した成長期アングルI級叢生症例.第31回甲北信越矯正学会大会,新潟,2016年7月3日,同学会大会プログラム・抄録集:52頁,2016.
- 29) 大竹正紀,森田修一,齋藤 功:上顎切歯の唇側傾斜を伴うAngle Class II division 1上顎前

突症例. 第 31 回甲北信越矯正学会大会, 新潟, 2016 年 7 月 3 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 53 頁, 2016.

- 30) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村 厚, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った 1 例. 第 29 回日本顎関節学会・学術大会, 神奈川, 2016 年 7 月 17-18 日, 同学会大会プログラム・抄録集: 136 頁, 2016.
- 31) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 片側性の下顎頭吸収による開咬に対し顎間牽引を行った 1 例. 第 100 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2016 年 7 月 11 日.
- 32) 倉部華奈, 隅田好美, 小島 拓, 加藤祐介, 齋藤功, 小林正治: 外科的矯正治療による顎変形症患者の心理・社会的変化の過程. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 109 頁, 2016.
- 33) 小林正治, 加藤祐介, 新美奏恵, 長谷部大地, 池元太郎, 齋藤 功: 馬蹄形 Le Fort I 型骨切り術による上顎骨後方移動. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 129 頁, 2016.
- 34) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次朗, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における顎矯正手術後の正貌輪郭の変化. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 141 頁, 2016.
- 35) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症における脳頭蓋底の三次元形態分析. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 141 頁, 2016.
- 36) 坂上 馨, 福井忠雄, 栗原加奈子, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚙下時舌圧発現様相の分析. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 156 頁, 2016.
- 37) 阿部 遼, 福井忠雄, 坂上 馨, 林 孝文, 齋藤

功: 嚙下時舌機能評価における超音波断層法の有用性. 第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24 日-25 日, 日本顎変形症学会雑誌 26(2): 156 頁, 2016.

- 38) 丹原 惇, 高橋功次朗, 市川佳弥, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤功: 矯正単独で最終咬合治療を開始した完全唇顎口蓋裂の第 II 期治療に関する調査. 第 40 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2016 年 5 月 26 日-27 日, 日本口蓋裂学会雑誌 41(2): 136 頁, 2016.

【研究会発表】

- 1) Kitami K: BRCA1 regulates craniofacial bone development. University of Texas pediatric research center annual research retreat, Houston, 16th June 2016.
- 2) Kitami K: BRCA1 regulates intramembranous ossification during embryogenesis. Developmental Genetics Meeting, Houston, April 8, 2016.
- 3) 上村藍太郎, ザキルホサイン, 高橋功次朗, 大竹正紀, 北川純一, 山村健介, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤を用いた神経障害性疼痛における鎮痛効果の検討. 第 10 回三叉神経領域の感覚-運動統合機能研究会, 長野, 2016 年 11 月 26-27 日, 抄録集: 11 頁, 2016.
- 4) 福井忠雄: 成人上顎前突・開咬症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 5) 福井忠雄: 叢生を伴う成長期上顎前突症例 (ハイアングル症例). 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 6) 福井忠雄: 右側唇顎裂を伴う成長期上顎前突症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 7) 竹山雅規: 成長期の過蓋咬合症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.
- 8) 竹山雅規: 上顎両側第二小臼歯埋伏、下顎左側第二小臼歯の先天性欠如を伴う上突咬合症例. 第 38 回与五沢矯正研究会, 福島, 2016 年 4 月 18 日.

【受賞】

- 1) 北見公平, 北見恩美, 齋藤 功, 小松義広: がん抑制遺伝子 BRCA1 は口蓋形成に必須である. 優秀ポスター賞, 第 75 回日本矯正歯科学会大会・学術大会, 2016 年 11 月 9 日.
- 2) 北見公平, 北見恩美, 加来 賢, 小松義広, 齋藤 功: がん抑制遺伝子 BRCA1 は顎顔面骨の形態形成に必須である. 平成 28 年度新潟歯学会賞. 平成 28 年度第

2回新潟歯学会例会、2016年11月5日。

- 3) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村厚, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った1例. 優秀ポスター賞, 第29回 日本顎関節学会・学術大会, 2016年7月17-18日.
- 4) 坂上 馨, 福井忠雄, 栗原加奈子, 堀 一浩, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚥下時舌圧発現様相の分析. 優秀ポスター賞, 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 2016年6月25日.
- 5) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症における脳頭蓋底の三次元形態分析. 優秀ポスター賞, 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 2016年6月25日.

【その他】

- 1) 福井忠雄: 成長期上下顎前突症例. 第4回 国際歯科シンポジウム, 東京, 2016年11月13日.
- 2) 福井忠雄: 成長期上顎前突症例. 第4回 国際歯科シンポジウム, 東京, 2016年11月13日.
- 3) 竹山雅規: 成長期の上顎歯列が前突した咬合, 叢生. 第4回国際歯科シンポジウム, 東京, 2016年11月13日.
- 4) 竹山雅規: 成人の上顎歯列が前突した咬合, 叢生. 第4回国際歯科シンポジウム, 東京, 2016年11月13日.
- 5) 大倉麻里子: 矯正力を付与されたラット臼歯におけるProstaglandin I₂合成酵素, IP受容体およびTRPV1の発現の変動: 免疫組織化学的検索および遺伝子発現解析. 学位研究紹介, 新潟, 2016年7月20日, 新潟歯学会雑誌 46(1):41-42頁, 2016.
- 6) 北見公平: 繊毛内輸送タンパクは、古典的経路と非古典的経路の双方を介して頭蓋顔面骨格の発生を制御する, 日本骨代謝学会ホームページ「1st Author」解説, http://www.jsbmr.jp/1st_author_mkitami.html
- 7) 丹原 惇: 医工連携事例インタビュー「歯科矯正医療への数値シミュレーション活用」. 株式会社JSOLホームページ掲載 <https://cae.jsol.co.jp/product/tool/simpleware/cases/case102/>

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 井上 誠: 摂食嚥下障害とリハビリテーション. 高齢者骨粗鬆症患者への多職種協働アプローチによる包括ケア, 印刷中, 株式会社医薬ジャーナル社, 2017.
- 2) 井上 誠: 摂食嚥下のリハビリテーション. コメディカル専門基礎科目シリーズ「リハビリテーション概論・リハビリテーション医学」, 印刷中, 理工図書株式会社, 2017.
- 3) 伊藤加代子, 松木貴彦: 総論編 HRTに期待される作用・効果 歯科口腔系, ホルモン補充療法ガイドライン (日本産婦人科学会・日本女性医学学会編), 印刷中, 日本産科婦人科学会事務局, 東京, 2017.
- 4) 松木貴彦, 伊藤加代子: 各論編 舌痛症, ホルモン補充療法ガイドライン (日本産婦人科学会・日本女性医学学会編), 印刷中, 日本産科婦人科学会事務局, 東京, 2017.
- 5) 井上 誠: 嚥下運動 (171-173), 嚥下運動の制御機構 (174-177), 嚥下障害 (178). 新よくわかる顎口腔機能 (日本顎口腔機能学会編集), 医歯薬出版株式会社, 2017.
- 6) 真柄 仁, 井上 誠: 嚥下障害の検査. 新よくわかる顎口腔機能 (日本顎口腔機能学会編集), 179-182, 医歯薬出版株式会社, 2017.
- 7) 辻村恭憲, 井上 誠: 嚥下障害への対応. 新よくわかる顎口腔機能 (日本顎口腔機能学会編集), 183-184, 医歯薬出版株式会社, 2017.
- 8) 井上 誠: 摂食嚥下と呼吸. 摂食嚥下リハビリテーション (才藤栄一他編集), 92-93, 医歯薬出版, 2016.
- 9) 井上 誠: 「100歳」までおいしく食べたい. 新潟大学歯学部創立50周年記念誌「食べる」文化をみつめて, 124-129, 医歯薬出版, 2016.

【論文】

- 1) Tsujimura T, Sakai S, Suzuki T, Ujihara I, Tsuji K, Magara J, BJ Canning, Inoue M: Central inhibition of initiation of swallowing by systemic administration of diazepam and baclofen in anaesthetized rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol* in press, 2017.
- 2) Ito K, Takamatsu K, Nohno K, Yamada A, Funayama S, Katsura K, Kaneko N, Ogawa M, Meurman JH, Inoue M: Factors associating with mucosal dryness in multiple regions and skin - a web-based study in women, *JOGR*, in press, 2017.
- 3) Tsukada S, Ito K, Stegaroiu R, Shibata S, Ohuchi A: An oral health and function screening tool for nursing personnel of long-term care facilities to identify the need for dentist referral without preliminary training. *Gerodontology*, 1-8. doi: 10.1111/ger.12255

- 4) Tejima Y, Ito K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Impact of oral ingestion on oral health condition in dysphagic inpatients. *Oral Health and Dental Management* 16(1):1-9, 2017.
- 5) Ohnishi Y, Ito K, Kitamura R, Funayama S, Hori K, Inoue M : Importance of professional oral hygiene in preventing medication-related osteonecrosis of the jaw, *IJOMS*, 15:85-92, 2016.
- 6) Magara J, Michou E, Raginis-Zborowska A, Inoue M, Hamdy S: Exploring the effects of synchronous pharyngeal electrical stimulation with swallowing carbonated water on cortical excitability in the human pharyngeal motor system. *Neurogastroenterol Motil* 28(9):1391-400, 2016. Issue online:26 August 2016
- 7) Tsujimura T, Tsuji K, Magara J, Sakai S, Suzuki T, Nakamura Y, Nozawa-Inoue K, Inoue M : Differential response properties of peripherally and cortically evoked swallows by electrical stimulation in anesthetized rats. *Brain Res Bull* 122:12-8, 2016.
- 8) Shimohata T, Aizawa N, Nakayama H, Taniguchi H, Ohshima Y, Okumura H, Takahashi T, Yokoseki A, Inoue M, Nishizawa M: Mechanisms and prevention of sudden death in multiple system atrophy. *Parkinsonism Relat Disord* 30:1-6, 2016.
- 9) Shiino Y, Sakai S, Takeishi R, Hayashi H, Watanabe M, Tsujimura T, Magara J, Ito K, Tsukada T, Inoue M : Effect of body posture on involuntary swallow in healthy volunteers. *Physiology and Behavior* 155:250-9, 2016
- 10) Emilia Michou, Alicja Raginis-Zborowska, Masahiro Watanabe, Taha Lodhi, Shaheen Hamdy: Repetitive transcranial magnetic stimulation ; a novel approach for treating oropharyngeal dysphagia. *Curr Gastroenterol Rep*, 18, 1-9, 2016.
- 11) Kishimoto N, Stegaroiu R, Shibata S, Ito K, Inoue M, Ohuchi A: Changes in the Oral Moisture and the Amount of Microorganisms in Saliva and Tongue Coating after Oral Ingestion Resumption: a Pilot Study. *The Open Dentistry Journal*, 10: 79-88, 2016.
- 12) Iwasaki M, Yoshihara A, Ito K, Sato M, Minagawa K, Muramatsu K, Watanabe R, Manz M, Ansai T, Miyazaki H: Hyposalivation and dietary nutrient intake among community-based older Japanese, *Geriatrics Gerodontology*, 16(4):500-7, 2016.
- 13) 山口智子, 渡邊令子, 藤村 忍, 井上 誠, 城斗志夫, 谷口正之, 西海理之, 門脇基二: 新潟の食の魅力を通して, 大学生の食と健康への関心を高める教育プログラム. 新潟大学高等教育研究, 印刷中, 2017.
- 14) 安保俊秀, 塚田 徹, 井上 誠: 神経難病患者の最大舌圧と嚥下機能との関連. 竹田総合病院医学雑誌, 印刷中, 2016.
- 15) 有永 靖, 岩崎正則, 栗野秀慈, 伊藤加代子, 吉田明弘, 角田聡子, 郁 仁浩, 安細敏弘: 透析患者における唾液分泌量低下と健康関連 QualityOf Life の関連, 口腔衛生学会誌, inpress
- 16) 井上 誠: 摂食嚥下障害のリハビリテーションの臨床と技術への期待. バイオメカニズム学会誌, Vol. 40(4), 228-234, 2016.
- 17) 井上 誠: 高齢者の嚥下障害の評価とリハビリテーション. 特集高齢者の嚥下障害の実態. *Journal of Clinical Rehabilitation* 25(8):742-752, 2016.
- 18) 井上 誠: 食品製造業の新たな市場開拓を目指したセミナー開催の紹介 ~次世代プロモーションフード~. *日本咀嚼学会雑誌* 26(1):28-32, 2016.
- 19) 井上 誠: 介護食品開発への期待と課題. 連載 No14 新しい高齢者食品・介護食品の開発. *食品と開発* 51(9):74-76, 2016.
- 20) 船山さおり, 伊藤加代子, 堀 一浩, 谷口広重, 辻村恭憲, 中村由紀, 真柄 仁, 渡邊賢礼, 林 宏和, 辻 光順, 酒井翔悟, 井上 誠: 研修歯科医に対する介護保険施設での口腔ケアおよび摂食指導研修. *日摂食嚥下リハ会誌* 20(2) : 80-85, 2016年8月.
- 【商業誌】**
- 1) 渡邊賢礼: 食育 ?子どもの咀嚼?. *小児内科* 49 巻 3号 : 359-362, 東京医学社, 2017.
- 2) 井上 誠: 咀嚼の重要性を再考する. *歯界展望*, Vol1128 (3): 435-449, 医歯薬出版, 2016.
- 3) 井上 誠: 食事箋作成で嚥下障害の検査方法. 質疑応答, *日本医事新報*, 4823:66-67, 日本医事新報社, 2016.
- 4) 井上 誠: 超高齢社会における歯科医療音あり方と新潟大学での取り組み. 講演録&質疑応答録隔月報, No. 30: 1-22, 健康医学産学研究会, 2016.
- 【研究費獲得】**
- 1) 井上 誠 (提案申請者) : Dental and orofacial research required in a super aged society. 平成 28 年度さくらサイエンスプラン, 国立研究開発法人科学技術振興機構, 2017.
- 2) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者), 辻 光順 (分担研究者) : カプサイシンによる嚥下機能改善メカニズムの解明. 山崎香辛料振興財団平成 28 年度助成金. 2016.
- 3) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 伊藤加代子 (分担研究者) : 摂食運動に関わる咀嚼と嚥下の機能連関. 平成 28

- 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 16H05522, 2016.
- 4) 井上 誠 (実施代表者), 辻村恭憲 (実施分担者), 真柄 仁 (実施分担者), 白石 成 (実施分担者), 辻 光順 (実施分担者): 食べることの複雑なしくみ〜舌の不思議を体験しよう〜. ひらめき☆ときめきサイエンス〜ようこそ大学の研究室へ〜KAKEN (研究成果の社会還元・普及事業), 日本学術振興会, 2016.
 - 5) 井上 誠 (分担研究者): レトロネーザルを応用した咽頭残留の定量評価〜咽頭残留に影響する因子〜. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号: 15K11194, 2016.
 - 6) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 舌機能障害が嚥下に及ぼす影響. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究 (B), 課題番号 26870207, 2016.
 - 7) 井上 誠 (分担研究者): ピエゾセンサーを用いた嚥下機能評価の臨床応用. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号: 15K01362, 2016.
 - 8) 真柄 仁 (研究代表者): 咽頭電気刺激の嚥下誘発機構と神経・筋機構の解明. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 26861630, 2016.
 - 9) 白石 成 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者) 辻村恭憲 (分担研究者): マルチチャンネルレコーディングシステムを利用した摂食嚥下機能時の大脳皮質活動記録. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号: 16K11589, 2016.
 - 10) 渡邊 賢礼 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者) 真柄仁 (分担研究者): 末梢複合刺激がもたらす嚥下機能変調効果. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号: 16K11885, 2016.
 - 11) 辻 光順 (研究代表者): 舌咽神経誘発嚥下を標的とした咀嚼嚥下メカニズム解明. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究 (B), 課題番号 16K20491, 2016.
 - 12) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (分担研究者): 自発性異常味覚の評価にマグネシウムは応用できるか?. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 26463182, 2016.
 - 13) 伊藤加代子 (分担研究者): 「渇き」への爽快感のある「潤い」は是が非か?. 平成 28 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 26468131, 2016.
 - 14) 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費 (新潟県歯科医師会), 2016.
 - 15) 炭酸飲料の嚥下促進効果の検証に関する研究 (共同研究費, アサヒ飲料株式会社), 2016.
 - 16) 摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成 (恵風園), 2016.
 - 17) 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究助成 (にいがた摂食嚥下障害サポート研究会), 2015.
 - 18) 舌ブラシの形態・材質が舌苔除去およびブラシの附着菌数に与える影響に関する研究 (四季園), 2016.
 - 19) 新市場創出・米加工技術等開発事業, 2016.
 - 20) 酒井翔悟 (研究代表者): 摂食運動時における口腔感覚の変調. 平成 28 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 研究活動スタート支援, 課題番号 16H06816, 2016.
 - 21) 伊藤加代子 (研究代表者): 研究助成(一社)日本口腔衛生学会 Strategie 助成金, 2016.
- 【招待講演・シンポジウム】**
- 1) Magara J, Inoue M: The effect of sensory stimulation on swallowing motor system - therapeutical strategy for dysphagic patients -. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Prince of Songkla University - Niigata University, Manathai Koh Samui, (Koh Samui) Thailand, 2017.2.11-13.
 - 2) Tsujimura T, Inoue M: The mechanism of swallowing pressure generation in anesthetized rats, International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Manathai Koh Samui, (Koh Samui) Thailand, 2017.2.11-12.
 - 3) Suzuki T, Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Modulation of jaw reflex responses during peripherally and centrally-evoked swallow. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Manathai Koh Samui, (Koh Samui) Thailand, 2017.2.11-12.
 - 4) Yoshihara M, Suzuki T, Tsuji K, Tsujimura T, Inoue M: Effect of continuous laryngeal stimulation on initiation of swallowing in anesthetized rats. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Manathai Koh Samui, (Koh Samui) Thailand, 2017.2.11-12.
 - 5) Magara J, Inoue M, Hamdy S: Effects of synchronous pharyngeal electrical stimulation with swallowing carbonated water on the human pharyngeal motor system. The Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Japan-Korea Joint Symposium, Toki Messe Niigata

Convention Center, 2016.9.22. (abstract book, page 8).

- 6) 井上 誠：口腔機能と摂食嚥下機能の関係. 第 94 回日本生理学会大会教育プログラム「生理学モデル講義」, アクトシティ浜松 (静岡県・浜松市), 2017 年 3 月 29 日.
- 7) 井上 誠：Dysphagia and its treatment strategies. 第 90 回日本薬理学会年会企画シンポジウム薬理学会「口腔ブレインサイエンス」に学ぶ健康長寿, 長崎新聞文化ホール (長崎県・長崎市), 2017 年 3 月 17 日.
- 8) 井上 誠：摂食嚥下リハビリテーションの新たななる挑戦に向けて. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日.
- 9) 辻村恭憲, 井上 誠：皮質誘発嚥下と末梢誘発嚥下の異なる応答特性. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日.
- 10) 井上 誠, 辻村恭憲, 真柄 仁, 辻 光順：From understanding mechanisms of swallowing to treatment strategy of dysphagia. 第 58 回歯科基礎医学会サテライトシンポジウム, 札幌コンベンションセンター (北海道・札幌市), 2016 年 8 月 24 日.
- 12) 井上 誠：歯科における摂食嚥下リハビリテーションへの関わり-これまでとこれから-. 第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会合同シンポジウム 3 摂食嚥下リハビリテーションの新戦略. 京都国際会館 (京都府・京都市), 2016 年 6 月 10 日.
- 13) 井上 誠：機能と形態をつなぐ摂食嚥下障害の臨牀的視点. 日本顎顔面補綴学会第 33 回総会・学術大会, 新潟大学医歯学総合病院医療人育成センター (新潟県・新潟市), 2016 年 6 月 3 日.

【招待講演・シンポジウム (学術大会以外)】

- 1) 伊藤加代子：介護認定審査会委員の役割, 新潟市歯科医師会, 新潟市口腔保健福祉センター (新潟県・新潟市), 2017 年 3 月 16 日.
- 2) 辻村恭憲：摂食嚥下障害の評価と対応～美味しく安全な食を目指して～, ゆきぐに大和病院 (新潟県・南魚沼市), 2017 年 3 月 10 日.
- 3) 竹石龍右：連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム, 大学間連携共同教育推進事業 シンポジウム in 金沢～その成果と今後～, 金沢東急ホテル (石川県・金沢市), 2017 年 2 月 28 日.
- 4) 井上 誠：真に求められる摂食嚥下リハビリテーション. 福岡県歯科保険医協会講演会, 小倉歯科医師会館 (福岡県・北九州市), 2017 年 2 月 18 日.
- 5) 井上 誠：摂食嚥下リハビリテーションについて.

摂食嚥下リハビリテーション勉強会, 新潟南病院 (新潟県・新潟市), 2017 年 2 月 6 日.

- 6) 辻村恭憲：摂食嚥下スクリーニング検査, 江南区口腔ケアと摂食嚥下を考える会, さらたびあ (新潟県・新潟市), 2017 年 1 月 17 日.
- 7) 伊藤加代子：口腔ケア研修～口腔ケア・食事介助の基礎を学ぶ～, 新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ (新潟県・新潟市), 2016 年 12 月 5 日.
- 8) 辻村恭憲：安全に美味しく食べるために ～嚥下障害の評価・対応と口腔ケア～, 新潟県介護老人保健施設協会, 新潟ユニゾンプラザ (新潟県・新潟市), 2016 年 12 月 5 日.
- 9) 井上 誠：歯科における摂食嚥下リハビリテーションへの関わり. 平成 28 年度新潟大学医学部第二内科同窓会・集談会, ホテルオークラ新潟 (新潟県・新潟市), 2016 年 12 月 3 日.
- 10) 竹石龍右：3 大学共同講義「先端歯科医療概論」, 大学間連携共同教育推進事業 (平成 24 年度採択)「連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム」最終成果公開シンポジウム, ホテルオークラ新潟 (新潟県・新潟市), 2016 年 12 月 2 日.
- 11) 伊藤加代子：更年期女性にみられる口腔症状～ドライマウスを中心に～, 旭川歯科医師会学術大会, トーヨーホテル (北海道・旭川市), 2016 年 11 月 27 日.
- 12) 高地いづみ：「口から食べる」を再考する. 神戸市立医療センター中央市民病院第 130 回 NCM 講演会, 神戸市立医療センター中央市民病院, (兵庫県・神戸中央区), 2016 年 10 月 20 日.
- 13) 井上 誠：一般歯科医の摂食嚥下への介入の仕方～何ができて, 何ができないのか～. 小松歯科医師会講演会, 小松市民病院 (石川県・小松市), 2016 年 10 月 9 日.
- 14) 伊藤加代子：「お口の乾きの原因とその治療法は?」, 市民公開講座, 新潟日報メディアシップ (新潟県・新潟市), キッセイ薬品工業株式会社, 2016 年 10 月 8 日.
- 15) 井上 誠：摂食嚥下障害に関わる歯科医の役割. 大阪府歯科保険医協会講演会, マイドームおおさか (大阪府・大阪市), 2016 年 10 月 2 日.
- 16) 高地いづみ：歯科医師からみた摂食嚥下の基礎知識. 灘区歯科医師会講演会, 灘区歯科医師会館 (兵庫県・神戸市灘区), 2017 年 9 月 30 日.
- 17) 飯泉 智子：高齢期の摂食嚥下機能低下への介入. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 24 日.
- 18) 井上 誠：要介護高齢者の口腔環境改善に対する経口摂取の重要性. 歯科保健事業報告会・公募研究発

- 表会, 歯科医師会館 (東京都・千代田区), 2016年9月17日.
- 19) 井上 誠: 摂食嚥下障害に対する歯科の関わり. 新潟大学歯学部同窓会栃木県支部講演会, ホテル丸治 (栃木県・宇都宮市), 2016年8月28日.
 - 20) 渡邊賢礼: こどもの摂食嚥下ハビリテーション. 東新潟特別支援学校摂食嚥下に関する講演会, 東新潟特別支援学校 (新潟県・新潟市), 2016年8月2日.
 - 21) 辻村恭憲: 美味しく安全な食支援, 国立病院機構新潟病院 (新潟県・柏崎市), 2016年7月22日
 - 22) 伊藤加代子: 更年期世代の女性に多い口腔症状と女性ホルモンとの関連, 新潟市歯科医師会, 2016年7月9日.
 - 23) 井上 誠: 症例から学ぶ食支援のあり方. 竹田総合病院 NST 委員会主催特別講演会, 竹田総合病院竹田ホール (福島県・会津若松市), 2016年6月27日.
 - 24) 井上 誠: 医科歯科連携による摂食嚥下リハビリテーション. 石川県保険医協会主催講演会, 金沢ホテル (石川県・金沢市), 2016年6月19日.
 - 25) 井上 誠: 在宅歯科診療に役立つ摂食嚥下と口腔ケアの基礎と臨床. 山形県歯科医師会主催在宅歯科医師等養成講習会, 山形県歯科医師会館 (山形県・山形市), 2016年5月28日.
 - 26) 伊藤加代子: 歯科におけるカウンセリングの紹介, 新潟県カウンセリング協会会員研修, ユニゾンプラザ (新潟県・新潟市), 2016年5月8日.
 - 27) 井上 誠: 超高齢社会における歯科医療のあり方と新潟大学での取り組み. 健康医学産学研究会講演会, イタリア軒 (新潟県・新潟市), 2016年4月4日.
- 4) Suzuki T, Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Effects of peripherally and centrally-evoked swallow on the jaw reflex responses. The Dysphagia Research Society 25th Annual Meeting, Hilton & Executive Tower (Portland), USA, 2017.3.2-4.
- 5) Yasuda M, Magara J, Obata H, Uehara A, Izumi T, Inoue M: Relation between locomotion and oral/swallowing function in frail elderly patients. The Dysphagia Research Society 25th Annual Meeting, Hilton & Executive Tower (Portland), USA, 2017.3.2-4.
 - 6) Tsujimura T, Sakai S, Suzuki T, Tsuji K, Magara J, Inoue M: Central inhibition of initiation of swallowing by systemic administration of diazepam and baclofen in anaesthetized rats. Society for Neuroscience, San Diego Convention Center (San Diego), USA, 2016.11.12-16.
 - 7) Tsuji K, Sakai S, Suzuki T, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Role of capsaicin sensitive nerves in initiation of swallows evoked by carbonated water stimulation in rats. Society for Neuroscience, San Diego Convention Center (San Diego), USA, 2016.11.12-16.
 - 8) Suzuki T, Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Effects of electrical stimulation of the superior laryngeal nerve and cortical swallowing areas on the jaw-opening reflex. Society for Neuroscience, San Diego Convention Center (San Diego), USA, 2016.11.12-16.
 - 9) Kobayashi T, Katsura K, Nakayama M, Nikkuni Y, Ito K, Hayashi T: A study on the determination of ultrasonographic diagnostic criteria for Sjögren's syndrome. The 11th ACOMFR Asian Congress of Oral and Maxillo Facial Radiology, Empress Hotel and Convention Centre (Ching Mai), Thailand, 2016.11.10-12.
 - 10) Watanabe M, Michou E, Raginis-Zborowska A, Inoue M, Hamdy S: Non-invasive cerebellar neurostimulation with high-frequency rTMS reverses cortical suppression of the human pharyngeal motor system induced by a virtual lesion. 6th ESSD congress, Università degli Studi Di Milano (Milan) Italy, 2016.10.14-15.
 - 11) Magara J, Tsuji K, Watanabe M, Tsujimura T, Hori K, Inoue M: Relationship between tongue pressure and pharyngeal residues in dysphagic patients. 6th European Society for Swallowing Disorders Congress, Università degli Studi Di Milano (Milan) Italy, 2016.10.14-15.
 - 12) Inoue M, Sakai S, Suzuki T, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T: Modulation of excitability of trigeminal interneurons during electrical stimulation of the superior laryngeal nerve in anesthetized rabbits. 10th FENS Forum of Neuroscience, Bella Center (Copenhagen),
- 【学会発表】**
- 1) Iizumi T, Tsujimura T, Magara J, Inoue M: Effect of body posture on chewing behaviors in healthy volunteers. The Dysphagia Research Society 25th Annual Meeting, Hilton & Executive Tower (Portland), USA, 2017.3.2-4.
 - 2) Shiraiishi N, Avivi-Arber L, Lever T, Inoue M, Ross C, Takahashi K: Development of a rat model for studying the relationship between oral environmental changes and alterations in mastication/swallowing patterns. 25th Anniversary Annual Meeting Dysphagia Research Society, Hilton & Executive Tower (Portland), USA, 2017.3.2-4.
 - 3) Murakami K, Hori K, Minagi Y, Fujiwara S, Tokuda Y, Inoue M, Ono T, Maeda Y: Quantitative evaluation of hyoid-laryngo excursion during swallowing by using bend sensor system. The Dysphagia Research Society 25th Annual Meeting, Hilton & Executive Tower (Portland), USA, 2017.3.2-4.

- Denmark, 2016.7.2-6.
- 13) Tsujimura T, Tsuji K, Sakai S, Suzuki T, Jin M, Inoue M : Role of ENaC in initiation of swallows in anesthetized rats. the 17th International Symposium on Olfaction and Taste , Yokohama(Kanagawa), Japan, 2016.6.5-9.
 - 14) Tsuji K, Tsujimura T, Sakai S, Suzuki T, Magara J, Inoue M: Blockade of swallow initiation evoked by capsaicin following co-application of QX-314 and capsaicin in anesthetized rats, 17th International Symposium on Olfaction and Taste, PACIFICO Yokohama (Yokohama) , Japan, 2016.6.5-9.
 - 15) Funayama S, Ito K, Inoue M : `What causes bitter taste phantoms? `17th International Symposium on Olfaction and Taste, Yokohama(Kanagawa), Japan, 2016.6.5-9.
 - 16) Hamdy S, Magara J, Michou E, Inoue M: Does combining pharyngeal electrical stimulation with simultaneous swallowing of carbonated liquids enhance the cortical swallowing motor system? Digestive Disease Week Annual Meeting 2016, San Diego Convention Center (San Diego), USA, 2016. 5. 21-24.
 - 17) Hamdy S, Magara J, Michou E, Inoue M: Exciting the human swallowing motor system by combination stimuli: effects of pharyngeal stimulation and carbonated liquids. The British Society of Gastroenterology Annual Meeting 2016, ACC (Liverpool), UK, 2016.6.20-23.
 - 18) Shimohata T, Taniguchi H, Nakayama H, Hori K, Inoue M, Nishizawa M: Esophageal Involvement in Multiple System Atrophy. 68th Annual Meeting of American Academy of Neurology, Vancouver Convention Centre (Vancouver), Canada, 2016.4.15-21.
 - 19) 真柄 仁, 渡邊賢礼, 酒井翔悟, 鈴木 拓, 辻村恭憲, 井上 誠 : 口腔内への温度刺激がもたらす咽頭皮質延髄路の変調. 第 40 回日本嚥下医学会総会並びに学術講演会, 学術総合センター・一橋講堂 (東京都・千代田区) , 2017 年 2 月 24-25 日.
 - 20) 保田麻里, 真柄 仁, 井上 誠 : 歩行機能と摂食機能の比較—身体的フレイル患者における検討—. 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 京都市国際交流会館 (京都府・京都市) , 2016 年 11 月 19-20 日.
 - 21) 岩森 大, 井上 誠, 宮岡洋三 : ころみ調整食品における適切な調整方法の検討. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市) , 2016 年 11 月 5 日.
 - 22) 飯泉智子, 竹石龍右, 鈴木 拓, 酒井翔悟, 井上 誠 : 姿勢による咀嚼運動様式の違い. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市) , 2016 年 11 月 5 日.
 - 23) 保田麻里, 真柄 仁, 小幡裕明, 上原彰史, 和泉 徹, 井上 誠 : フレイルリスク患者における歩行機能と口腔・嚥下機能との関連. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市) , 2016 年 11 月 5 日.
 - 24) 篠原千鶴子, 伊藤加代子, 高松 潔, 小川真里子, 濃野 要, 船山さおり, 片倉 朗, 野村武史, 井上 誠 : 婦人科受診患者における口腔乾燥をもたらす因子に関する検討, 第 31 回日本女性医学学会学術集会, ウェスティン都ホテル京都 (京都府・京都市) , 2016 年 11 月 4 日, 日女医会誌, 24 Suppl : 112, 2016
 - 25) 大西淑美, 平岡慎一郎, 伊藤加代子, 白石由美, 近藤敬秀, 外川健史, 西野 仁, 正元洋介, 石本俊介, 大槻浩一, 天野克比古, 古郷幹彦, 東山聖彦 : がん化学療法中のインプラント周囲炎予防の意義～周術期口腔機能管理の重要性～. 第 54 回日本癌治療学会学術集会, パシフィコ 横浜 (神奈川県・横浜市) , 2016 年 10 月 20-22 日.
 - 26) 渡邊賢礼, 真柄 仁, 井上 誠 : 小脳高頻度磁気刺激はヒト摂食機能の回復をもたらすか. 日本顎口腔機能学会第 57 回学術大会, 東北大学星陵オーデトリウム (宮城県・仙台市) , 2016 年 10 月 1-2 日.
 - 27) 鈴木 拓, 酒井翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠 : 嚥下時の顎反射の変調. 日本顎口腔機能学会第 57 回学術大会, 東北大学星陵オーデトリウム (宮城県・仙台市) , 2016 年 10 月 1-2 日.
 - 28) 竹石龍右, 鈴木 拓, 佐藤 茜, 里田隆弘, 津賀一弘, 小野高裕, 井上 誠 : 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラムにおける摂食機能に関する相互乗り入れ講義の取組, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市) , 2016 年 9 月 22-23 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集 : 608, 2016.
 - 29) 羽尾直仁, 辻村恭憲, 小杉英樹, 戸田和郁子, 戸田厚子, 佐藤直幸, 真柄仁, 松島一雄, 井上誠 : 多職種連携による摂食嚥下リハビリテーション体制の構築—地域中核病院における取り組み—, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市) , 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集 : 605, 2016.
 - 30) 岩森 大, 宮岡里美, 井上 誠, 宮岡洋三 : 飲料におけるころみ付与の違いと攪拌操作が及ぼす影響. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市) , 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集 : 586, 2016.
 - 31) 大口蘭美, 辻村恭憲, 上村由紀子, 井上 誠 : 低酸素脳症による非経口摂取患者における摂食嚥下リハ

- ビリテーションの効果, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 563, 2016.
- 32) 大平 匡徹, 田村 浩平, 渡辺 昌崇, 真柄 仁, 辻村 恭憲, 井上 誠: 種々の条件刺激がもたらす嚥下機能の変化. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 544, 2016.
- 33) 伊藤加代子, 山野井澄江, 別府 茂, 秋元幸平, 田辺英児, 佐藤 茜, 保田麻里, 井上 誠: 「食の支援ステーション」来訪者の実状とニーズに関する調査, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 529, 2016.
- 34) 辻 光順, 鈴木 拓, 酒井翔悟, 渡邊賢礼, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 当院摂食嚥下機能回復部における過去 5 年間の患者統計. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 529, 2016.
- 35) 高井 晃, 平澤貴典, 永井正志, 土屋信人, 上原達明, 野澤太郎, 小林智美, 井上 誠: 開業歯科医を含む地域に根差した摂食嚥下障害サポート体制の構築, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 504, 2016.
- 36) Hasegawa M, Okamoto K, Kurose M, Tsujimura T, Inoue M, Yamada Y, Fujii N, Yamamura K: Measurements of pharyngeal barometric pressure during swallowing in the healthy subjects, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 442, 2016.
- 37) Suzuki T, Sakai S, Tsuji K, Magara J, Tsujimura T, Inoue M: Modulation of oral sensory transmission during swallowing. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 435, 2016.
- 38) 尾崎康子, 辻村恭憲, 井上誠: 現在の食形態に不満を持つ入所者に対して、多職種連携で対応した 1 症例, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 428, 2016.
- 39) 酒井翔悟, 辻村恭憲, 辻 光順, 白石 成, 伊藤加代子, 真柄 仁, 井上 誠: 施設入所者における食事状況と摂食機能との関係. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 424, 2016.
- 40) 保田麻里, 真柄 仁, 石田雅樹, 下條由衣, 上原彰史, 渡部 裕, 和泉 徹, 井上 誠: 身体的フレイル患者における歩行機能と口腔・嚥下機能との関連. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 423, 2016.
- 41) 佐藤 茜, 上村由紀子, 林 宏和, 真柄 仁, 井上誠: 舌強化訓練により, 嚥下機能改善を認めた一例. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 391, 2016.
- 42) 手嶋謡子, 辻村恭憲, 真柄 仁, 伊藤加代子, 井上誠: 嚥下障害患者の経口摂取が口腔環境に与える影響. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 379, 2016.
- 43) 渡邊賢礼, 真柄仁, 井上誠, Hamdy Shaheen: ヒト仮想病変における小脳への磁気刺激が嚥下機能に与える効果. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 366, 2016.
- 44) 船山さおり, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄 仁, 辻光順, 酒井翔悟, 鈴木 拓, 井上 誠: 地域一般住民を対象とした摂食嚥下セミナー受講者アンケート調査. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 22-23 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 347, 2016.
- 45) 上村由紀子, 辻村恭憲, 辻光順, 林和宏, 井上誠: 気管カニューレ抜去後に一部経口摂取可能となった下顎歯肉癌術後の一例, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 344, 2016.
- 46) 真柄 仁, 辻 光順, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上誠: 舌圧発現の疾患別特徴と咽頭残留との関係. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 332, 2016.
- 47) 曾川裕一郎, 木村慎二, 張替 徹, 豊里 晃, 櫻井直樹, 井上 誠: 嚥下時ピエゾセンサー波形と食塊移動との時間的関連. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ学会抄録集: 317, 2016.
- 48) 村上和裕, 堀 一浩, 小野高裕, 皆木祥伴, 藤原茂弘, 徳田佳嗣, 井上 誠: 屈曲センサを用いた液体

- 嚥下時における舌骨移動の定量的評価. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 23-24 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 273, 2016.
- 49) 伊藤加代子, 張替 徹, 木村慎二, 辻村恭憲, 真柄仁, 辻 光順, 竹石龍右, 井上 誠: N 県における摂食嚥下リハビリテーション実施および連携に関する実態調査, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2016 年 9 月 22-23 日, 日摂食嚥下リハ会抄録集: 241, 2016.
- 50) 大西淑美, 伊藤加代子: がん治療とインプラント周囲炎の関連について-周術期口腔機能管理の効果, 日本歯科衛生学会第 11 回学術大会, 広島国際会議場 (広島県・広島市), 2016 年 9 月 17-19 日, 日歯衛会誌, 11 (1) : 91, 2016
- 51) 平 大樹, 小出博義, 中村茂巳, 岡田豊子, 石関一則, 山口将史, 腰山節子, 小熊哲也, 伊藤加代子, 船山さおり, 駒瀬裕子, 森田真也, 西口工司, 中野恭幸, 寺田智祐: 吸入剤の適正使用に向けた吸入パターン測定装置の開発と応用, 第 2 回日本医薬品安全性学会学術大会, 長良川国際会議場 (岐阜県・岐阜市), 2016. 7. 23-24.
- 52) 真柄 仁: 固定性補綴装置によりアンテリアガイダンスを修復して咬合再構成を行った一症例. 日本補綴歯科学会第 125 回学術大会, 石川県立音楽堂 (石川県・金沢市), 2016 年 7 月 10 日, 日補綴会誌 8・125 回特別号: 354, 2016.
- 53) 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 三村純代, 首藤崇裕, 石田陽子, 秋葉奈美, 魚島勝美, 小野和宏, 高橋信博, 二川浩樹, 佐々木啓一, 菅井基行, 前田健康: 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム-平成 26~27 年度の実績-, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 99, 2016.
- 54) 加来咲子, 石田陽子, 竹石龍右, 天雲太一, 竹内裕尚, 三村純代, 首藤崇裕, 小野和宏, 佐々木啓一, 菅井基行, 前田健康: 大学間連携機能を利用した相互乗り入れ講義の取り組み, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 100, 2016.
- 55) 首藤崇裕, 二川浩樹, 三村純代, 田地 豪, 石田陽子, 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携機能を活用したバイオデンタル教育の標準化 1. 細胞培養基礎, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 102, 2016.
- 56) 首藤崇裕, 二川浩樹, 三村純代, 田地 豪, 石田陽子, 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携機能を活用したバイオデンタル教育の標準化 2. ME 機器学, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 103, 2016.
- 57) 三村純代, 二川浩樹, 首藤崇裕, 田地 豪, 石田陽子, 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携機能を活用したバイオデンタル教育の標準化 3. デジタルデンティストリー, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 103, 2016.
- 58) 秋葉奈美, 小野和宏, 吉羽邦彦, 加来咲子, 竹石龍右, 魚島勝美, 前田健康: 疾患統合モデルを用いた卒業時歯科臨床技能評価方法の開発, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 135, 2016.
- 59) 新井萌生, 小海由佳, 滋野翔太, 渡邊陽輝, 渡辺昌崇, 奥山道代, 松田きよら, 佐原真理子, 趙 継美, 初田星菜, 大内 学, 佐藤友美, 石田陽子, 竹石龍右, 岡 広子, 洪 光, 前田健康: タイ・チェンマイでの地域口腔保健推進活動から学んだこと, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 161, 2016.
- 60) 佐藤友美, 大内学, 竹内裕尚, 天雲太一, 斎藤恵一, 洪 光, 岡 広子, 竹石龍右, 石田陽子, 佐々木啓一: 海外短期派遣プログラムに参加した学生として東北被災地のために我々ができること, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪大学・吹田キャンパス (大阪府・吹田市), 2016 年 7 月 1-2 日, 日歯科医学教育学会抄録集: 163, 2016.
- 61) 堀川奈穂美, 堀 一浩, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄 仁, 船山さおり, 酒井翔悟, 小野高裕, 井上 誠: 口腔ケア介入患者の肺炎発症に関係する因子. 日本老年歯科医学会第 27 回総会・学術大会, アスティとくしま (徳島県・徳島市), 2016 年 6 月 18-19 日.
- 62) 伊藤加代子, 船山さおり, 金子 昇, 濃野 要, 池真樹子, 高野綾子, 井上 誠: くちのかわき外来受診者における治療および転帰に関する検討, 日本老年歯科医学会第 27 回総会・学術大会, アスティとく

しま（徳島県・徳島市），2016年6月18-19日．

- 63) 高地いづみ，山本信祐，平井雄三，谷池直樹，竹信俊彦：球麻痺が疑われた顎関節脱臼の1例．第27回日本老年歯科医学会総会・学術集会，アスティとくしま（徳島県・徳島市）2016年6月19-20日．
- 64) 小林太一，曾我麻里恵，坂井幸子，中山美和，池真樹子，新国農，勝良剛詞，西山秀昌，伊藤加代子，林秀文：シェーグレン症候群の超音波診断基準に関する検討，日本歯科放射線学会第57回学術大会・第13回定例総会，大阪国際会議場（大阪府・大阪市），2016年6月18-19日，歯科放射線，56増刊：71，2016．
- 65) 有永靖，岩崎正則，栗野秀慈，片岡正太，角田聡子，邵仁浩，伊藤加代子，濱寄朋子，吉田明弘，安細敏弘：透析患者における健康関連 Quality of Life と唾液分泌量との関連，第65回日本口腔衛生学会・総会，東京医科歯科大学（東京都），2016年5月27-29日，口衛会誌66（2）：275，2016．
- 66) 真柄仁，井上誠：嚥下関連神経ネットワークに対する末梢感覚刺激の併用効果．第7回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会，神戸国際会議場（兵庫県・神戸市），2016年5月21日．

【研究会発表】

- 1) 辻村恭憲，辻光順，Canning BJ，井上誠：食道への酸持続投与がもたらす嚥下誘発減弱，第18回日本咳嗽研究会，京都，2016年10月29日．

【受賞】

- 1) 辻村恭憲，辻光順，Canning BJ，井上誠：食道への酸持続投与がもたらす嚥下誘発減弱，第18回日本咳嗽研究会優秀演題賞，京都，2016年10月29日．
- 2) 渡邊賢礼，真柄仁，辻村恭憲，井上誠：小脳高頻度磁気刺激はヒト摂食機能の回復をもたらすか．日本顎口腔機能学会第57回学術大会優秀賞，仙台，2016年10月1日．
- 3) 新井萌生，小海由佳，滋野翔太，渡邊陽輝，渡辺昌崇，奥山道代，松田きよら，佐原真理子，趙継美，初田星菜，大内学，佐藤友美，石田陽子，竹石龍右，岡広子，洪光，前田健康：タイ・チェンマイでの地域口腔保健推進活動から学んだこと，第35日本歯科医学教育学会学術大会優秀賞，大阪，2016年7月1-2日．
- 4) 佐藤友美，大内学，竹内裕尚，天雲太一，斎藤恵一，洪光，岡広子，竹石龍右，石田陽子，佐々木啓一：海外短期派遣プログラムに参加した学生として東北被災地のために我々ができること，第35日本歯科医学教育学会学術大会優秀賞，大阪，2016年7月1-2日．

【その他】

- 1) 船山さおり，佐藤茜：口腔乾燥症、味覚障害．2016年度摂食嚥下セミナー，新潟大学医歯学総合病院（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 2) 辻村恭憲，鈴木拓，吉原翠，酒井翔悟，辻光順，真柄仁，井上誠：食べる機能を科学する～生理学的・組織学的・薬理学的アプローチ～，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 3) 真柄仁，井上誠：食べる機能に関わる神経を評価する，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ2階 日報ホール（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 4) 伊藤加代子，井上誠：唾液分泌を促す食品および保湿剤開発の可能性，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ2階 日報ホール（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 5) 伊藤加代子，井上誠：唾液分泌を促す食品および保湿剤開発の可能性，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ2階 日報ホール（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 6) 伊藤加代子，井上誠：粥食品を対象とした新たな介護食の基準作成に向けた取り組み，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ2階 日報ホール（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 7) 白石成，井上誠：新規チタン合金を用いたデンタルインプラントの開発，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 8) 船山さおり，伊藤加代子，井上誠：自発性異常味覚の診断に有用な食品の探索，にいがた食と健康に関するマッチングフォーラム，新潟日報メディアシップ2階 日報ホール（新潟県・新潟市），2017年3月14日．
- 9) 白石成，鈴木拓：口腔ケア．2016年度摂食嚥下セミナー，新潟大学医歯学総合病院（新潟県・新潟市），2017年2月28日．
- 10) 酒井翔悟，佐藤茜：介護食品，食器具の紹介，食支援．2016年度摂食嚥下セミナー，新潟大学医歯学総合病院（新潟県・新潟市），2016年2月14日．
- 11) 渡邊賢礼，船山さおり：摂食嚥下の訓練，食支援．2016年度摂食嚥下セミナー，新潟大学医歯学総合病院（新潟県・新潟市），2017年1月24日．

- 12) 辻村恭憲, 酒井翔悟: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2017年1月10日.
- 13) 老いを健やかに あんしんネット 17. 嚥下, 新潟日報 2017年1月5日.
- 14) 酒井翔悟: 学位研究紹介. 新潟歯学誌 46(2):101-102, 2016.
- 15) 伊藤加代子, 船山さおり, 辻村恭憲, 真柄 仁, 辻光順, 鈴木 拓, 井上 誠: 地域一般住民を対象とした摂食嚥下セミナーの紹介, 新潟歯学誌, 46(2): 95-96, 2016.
- 16) 船山さおり, 伊藤加代子: 口腔乾燥症、味覚障害. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年12月27日.
- 17) 白石 成, 船山さおり: 口腔ケア. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年12月13日.
- 18) 井上 誠: 摂食嚥下障害の臨床に関わる歯科基礎医学. 第357回大学院セミナー, 松本歯科大学(長野県・塩尻市), 2016年12月8日.
- 19) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催 2016年度第2回講演会, 新潟大学歯学部(新潟県・新潟市), 2016年12月4日.
- 20) 白石 成, 井上 誠: 新規チタン合金の歯科材料への応用について, シーズプレゼンテーション, 新潟大学歯学部・大学院限定 FD, 新潟医療人育成センター(新潟県・新潟市), 2016年11月25日.
- 21) 辻村恭憲, 鈴木 拓, 吉原 翠, 酒井 翔悟, 辻 光順, 真柄 仁, 井上 誠: 食べる機能を科学する～生理学的・組織学的・薬理的アプローチ～, シーズプレゼンテーション, 新潟大学歯学部・大学院限定 FD, 新潟医療人育成センター(新潟県・新潟市), 2016年11月25日.
- 22) 真柄 仁, 井上 誠: ヒトの摂食嚥下機能に関わる神経活動を評価する, シーズプレゼンテーション, 新潟大学歯学部・大学院限定 FD, 新潟医療人育成センター(新潟県・新潟市), 2016年11月25日.
- 23) 伊藤加代子, 船山さおり, 井上 誠: 口腔乾燥症の診断および治療の現状と今後の展望, シーズプレゼンテーション, 新潟大学歯学部・大学院限定 FD, 新潟医療人育成センター(新潟県・新潟市), 2016年11月25日.
- 24) 船山さおり, 伊藤加代子, 井上 誠: 現在に増える味覚異常の診断にむけて, シーズプレゼンテーション, 新潟大学歯学部・大学院限定 FD, 新潟医療人育成センター(新潟県・新潟市), 2016年11月25日.
- 25) 渡邊賢礼, 船山さおり: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年11月22日.
- 26) 辻 光順, 鈴木 拓: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年11月8日.
- 27) 酒井翔悟, 佐藤 茜: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年10月25日.
- 28) 船山さおり, 酒井翔悟: 口腔乾燥症、味覚障害. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年10月11日.
- 29) 白石 成, 伊藤加代子: 口腔ケア. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年9月27日.
- 30) 第4回 摂食嚥下機能評価実習研修会, 新潟大学歯学部(新潟県・新潟市), 2016年9月25日.
- 31) 渡邊賢礼, 白石 成: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年9月13日.
- 32) 井上 誠: 食べる前に磨くか食べてから磨くか. ゆう WAVE, BSN ラジオ, 2016年9月5日.
- 33) 伊藤加代子, 井上 誠: 新潟日報 つなぐ命 2016年9月2日朝刊.
- 34) 伊藤加代子, 認定医を取得して, 日本歯科東洋医学会誌, 35(1): 79, 2016.
- 35) 渡邊賢礼, 船山さおり: 摂食嚥下の訓練, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年8月23日.
- 36) 酒井翔悟, 渡邊賢礼: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年8月9日.
- 37) 井上 誠: 食べることの大切さを知る. 新潟大学歯学部オープンキャンパス, 新潟大学歯学部(新潟県・新潟市), 2016年8月9-10日.
- 38) 大平 匡徹, 田村 浩平, 渡辺 昌崇, 真柄 仁: 学部学生による研究成果発表会 - Student Clinician Research Program, SCRPに参加しよう! - 新潟大学歯学部オープンキャンパス, 新潟大学歯学部(新潟県・新潟市), 2016年8月9-10日.
- 39) 井上 誠: 摂食嚥下障害とその治療. 新潟高校課題研究, 新潟大学歯学部(新潟県・新潟市), 2016年8月3日.
- 40) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会: ばりあふり～お食事会. ホテルオークラ新潟(新潟県・新潟市), 2016年7月31日.
- 41) 鈴木 拓, 船山さおり: 口腔ケア. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新

- 潟市), 2016年7月12日.
- 42) 酒井翔悟, 渡邊賢礼: 介護食品, 食器具の紹介, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年6月28日.
 - 43) 辻村恭憲, 渡邊賢礼: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年6月14日.
 - 44) 井上 誠: 食べる機能を知ること・支援すること. FOOMA JAPAN 2016 アカデミックプラザ, 東京ビックサイト(東京都・江東区), 2016年6月8日.
 - 45) 新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野: スマイルケア食への期待と課題-2025年に向けた高齢者用食品の対応と課題-. FOOMA JAPAN 2016 アカデミックプラザ, 東京ビックサイト(東京都・江東区), 2016年6月7-10日.
 - 46) 辻 光順, 酒井翔悟: 摂食嚥下の仕組み, 食支援. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年5月24日.
 - 47) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会主催 2016年度第1回講演会, 新潟大学有壬記念館(新潟県・新潟市), 2016年5月15日.
 - 48) 酒井翔悟, 船山さおり: 口腔ケア. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年4月26日.
 - 49) 船山さおり, 鈴木 拓: 口腔乾燥症、味覚障害. 2016年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院(新潟県・新潟市), 2016年4月12日.
 - 50) 井上 誠: 平成28年度新潟県フレイル対策検討会.
 - 51) 真柄 仁: 平成28年度新潟県フレイル対策検討会, 同WG.
 - 52) 酒井翔悟: 大学院に行こう. 歯学部ニュース(平成28年度第一号), 42, 新潟大学歯学部広報委員会, 2016.
 - surgery. *Clin Implant Dent Relat Res* 18(5): 1023-1033, 2016.
 - 3) Kasahara N, Tanaka R, Hayashi T, Kenmotsu S, Ohshima H: The relationship of the maxillary sinus with the superior alveolar nerves and vessels as demonstrated by cone-beam CT combined with μ -CT and histological analyses. *Anat Rec (Hoboken)*. 299(5): 669-678, 2016.
 - 4) Ida-Yonemochi H, Otsu K, Ohshima H, Harada H: The glycogen metabolism via Akt signaling is important for the secretion of enamel matrix in tooth development. *Mech Dev* 139: 18-30, 2016.
 - 5) Shigetani Y, Ohkura N, Yoshiba K, Ohshima H, Hosoya A, Yoshiba N, Okiji T: GaAlAs laser-induced pulp mineralization involves dentin matrix protein 1 and osteopontin expression. *Oral Dis* 22(5): 399-405, 2016.
 - 6) Saito K, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Osteopontin is essential for type I collagen secretion in reparative dentin. *J Dent Res* 95(9): 1034-1041, 2016.
 - 7) Morita W, Morimoto N, Ohshima H: Exploring metameric variation in human molars: a morphological study using morphometric mapping. *J Anat* 229(3): 343-355, 2016.
 - 8) Goto N, Fujimoto K, Fujii S, Ida-Yonemochi H, Ohshima H, Kawamoto T, Noshiro M, Shukunami C, Kozai K, Kato Y: Role of MSX1 in osteogenic differentiation of human dental pulp cells. *Stem Cells Int* 2016: 8035759.
 - 9) Saitoh I, Sato M, Soda M, Inada E, Iwase Y, Murakami T, Ohshima H, Hayasaki H, Noguchi H: Tissue-specific stem cells obtained by reprogramming of non-obese diabetic (NOD) mouse-derived pancreatic cells confer insulin production in response to glucose. *PLoS One*. 11(9): e0163580, 2016.
 - 10) Takenaka S, Oda M, Domon H, Ohsumi T, Suzuki Y, Ohshima H, Yamamoto H, Terao Y, Noiri Y: Vizantin inhibits bacterial adhesion without affecting bacterial growth and causes *Streptococcus mutans* biofilm to detach by altering its internal architecture. *Biochem Biophys Res Commun* 480(2): 173-179, 2016.
 - 11) Li L, Tang Q, Nakamura T, Suh JG, Ohshima H, Jung HS: Fine tuning of Rac1 and RhoA alters cuspal shapes by remodeling the cellular geometry. *Sci Rep* 6:37828, 2016.
 - 12) Otsu K, Ida-Yonemochi H, Fujiwara N, Harada H: The Semaphorin 4D-RhoA-Akt signal cascade regulates enamel matrix secretion in coordination with cell polarization during ameloblast differentiation. *J Bone Miner Res* 31(11): 1943-1954, 2016.

硬組織形態学分野

【著書】

- 1) 大島勇人, 本田雅規: 第13章「歯」. 佐藤陽治 監修: 再生医療・細胞治療のための細胞加工物評価技術. シーエムシー出版, 東京, p. 134-147, 2016.

【論文】

- 1) Ohshima H: Oral biosciences: The annual review 2016. *J Oral Biosci* 59(1), 1-5, 2017.
- 2) Katsumi Y, Takagi R, Ohshima H: The occurrence rate and diameter of arteries traveling near the mandible and an assessment of the relative hemorrhage risk in implant

- 13) Sugawara S, Shigetani Y, Kenmotsu S, Okiji T, Ohshima H: Evaluation of a new mouse model for studying dental pulpal responses to GaAAs laser irradiation. *J Oral Biosci* 59(1): 38-43, 2017.
- 14) Makishi S, Saito K, Ohshima H: Osteopontin-deficiency disturbs direct osteogenesis in the process of achieving osseointegration following immediate placement of endosseous implants. *Clin Implant Dent Relat Res*. 2016 Dec 12. doi: 10.1111/cid.12467. [Epub ahead of print].
- 15) Ida-Yonemochi H, Yamada Y, Yoshikawa H, Seo K. Locally produced BDNF promotes sclerotic change in alveolar bone after nerve injury. *PLoS One*. 2017 12(1):e0169201.

【商業誌等】

- 1) 高見寿子, 大島勇人, 佐藤雅彦: 表情筋・咀嚼く筋モデル. 品番: J-01. 医学モデル工業, 新潟, 2016年1月発売.
 - 2) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 世界初 表情筋の立体模型 新潟大 産学連携で開発, 読売新聞, 2016年1月16日.
 - 3) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 顔の筋肉精密に再現 新大など 産学連携で模型製作, 新潟日報, 2016年1月19日.
 - 4) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 顔の筋肉理解へ立体模型 新潟大など エステでの活用も視野, 朝日新聞, 2016年1月23日.
 - 5) 高見寿子, 佐藤雅彦, 大島勇人: 新潟のチカラ 脱シワの切り札に 世界初顔の筋肉模型を発売, BSN テレビ「Nスタにいがた」, 2016年2月1日.
 - 6) 高見寿子, 佐藤雅彦, 大島勇人: 世界初顔面筋肉模型完成 製作した女性驚きのきっかけ, TBS テレビ「日刊3 コマニユース」, 2016年2月7日.
 - 7) 大島勇人: キャリア・デザイン特集「若手研究者へ送るメッセージ: 研究者として大切なこと」, *Anthropological Letters* 5(1): 2-9, 2016.
 - 8) 大島勇人: (巻頭言) 歯科再生医療の推進に向けて. *再生医療* 15(2): 1, 2016.
 - 9) 大島勇人, 齋藤浩太郎: 虫歯後の新たな象牙質形成に必要なタンパク質解明, 新潟日報, 2016年6月4日.
 - 10) 齋藤浩太郎: オステオポンチンは修復象牙質形成におけるI型コラーゲン分泌に必須である, 日本骨代謝学会 1st Author, 2016年12月.
 - 11) 大島勇人: (私の道具箱) リアルすぎる「表情筋・咀嚼く筋モデル」, *ザ・クインテッセンス* 36(3): 128, 2017.
- 【研究費獲得】**
- 1) 依田浩子, 武内恒成, 柴田俊一: プロテオグリカンを介した歯胚細胞外環境の構築機序の解明と新規歯胚組織再生法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26462777, 2016.
 - 2) 齋藤浩太郎: 修復象牙質形成過程におけるオステオポンチンの機能の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 15K20359, 2016.
 - 3) 大島邦子, 大島勇人ほか: 意図的歯根切除と抗菌性薬剤が歯の再植後の歯髄・歯根膜治癒過程に及ぼす影響について. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26463111, 2016.
 - 4) 興地隆史, 大島勇人ほか: ラット切歯歯髄幹細胞による臼歯歯髄の再生: 自己幹細胞移植による歯髄再生への展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 26293405, 2016.
 - 5) 竹中彰治, 大島勇人ほか: バイオフィルム制御の概念転換の必要性の提示とマトリックスを標的とした制御戦略開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26462876, 2016.
 - 6) 齊藤一誠, 大島勇人ほか: 乳歯歯髄由来ヒト iPS 細胞からの歯形成細胞への分化誘導制御. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 25293418, 2016.
 - 7) 武内恒成, 依田浩子ほか: 脊髄損傷修復に向けた再生阻害機構制御—コンドロイチン硫酸を制御する新素材開発—. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26462232, 2016.
 - 8) 武藤徳子, 大島勇人ほか: 感染歯髄へのMTA直接覆髄後のデンティンブリッジ形成機構の解明とOPNの役割. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11136, 2016.
 - 9) 柴田俊一, 依田浩子ほか: 歯胚形成におけるヒアルロン酸の発現と機能に関する研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 15K11005, 2016.
 - 10) 高野吉郎, 大島勇人ほか: 歯根象牙質を介した外向きドラッグデリバリーによる新たな歯周組織再生スキームの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 16K11458, 2016.
 - 11) 佐藤拓一, 大島勇人ほか: 根管内細菌叢メタゲノム解析に基づく、新しい根尖性歯周炎の臨床診断法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 26462869
 - 12) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 平成28年度共同研究, 2016.
 - 13) 依田浩子: 糖尿病が顎顔面発育に及ぼす影響の解明. 平成28年度TSOD(肥満・糖尿病)マウス研究会研究助成. J16G0231, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 原田英光, 依田浩子, 佐原資謹, 大島勇人, 藤原尚樹, 大津圭史: 成熟期エナメル芽細胞での V-ATPase の機能と高度石灰化との関連. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会メインシンポジウム, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016, p. 80, 2016.
- 2) 依田浩子: 成熟期エナメル芽細胞の分化制御と糖代謝の役割. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会メインシンポジウム, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016, p. 81, 2016.
- 3) 大島勇人: 若手研究者のための Author Workshop: 学術論文作成に必要な出版倫理と画像処理について. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会ランチョンセミナー (主催: エルゼビア・ジャパン株式会社), 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016, p. 87, 2016.
- 4) 大島勇人: 歯科再生医療推進ネットワーク協議会立ち上げの経緯について, 第 16 回日本再生医療学会総会シンポジウム「歯科再生医療推進ネットワーク協議会の立ち上げと歯科再生医療の今後の展開」, 仙台, 2017 年 3 月 7-9 日.
- 5) 大津圭史, 依田浩子, 藤原尚樹, 大島勇人, 原田英光: エネルギー代謝を介したエナメル芽細胞分化制御機構. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会シンポジウム, 長崎, 2017 年 3 月 27 日, 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 100, 2017.

【学会発表】

- 1) Ida-Yonemochi H, Harada H, Ohshima H: Functional significance of sodium-dependent glucose transporters during murine ameloblast differentiation. 12th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation (TMD) 2016, Porvoo, Finland, 2016. 6. 13-18. Abstracts p.16.
- 2) Morita W, Morimoto N, Ohshima H: Testing odontogenetic models in human molars: quantifying metameric variation by morphometric mapping. 12th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation (TMD) 2016, Porvoo, Finland, 2016. 6. 13-18. Abstracts p. 76.
- 3) Ishikawa Y, Nakatomi M, Ohshima H: Quiescent adult stem cells in murine teeth are regulated by Shh signaling. 12th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation (TMD) 2016, Porvoo, Finland, 2016. 6. 13-18. Abstracts p. 80.
- 4) Otsu K, Ida-Yonemochi H, Fujiwara N, Harada H: The Semaphorin 4D-RhoA-Akt signal cascade regulates enamel matrix secretion in coordination with cell polarization during ameloblast differentiation. 12th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation (TMD) 2016, Porvoo, Finland, 2016. 6. 13-18. Abstracts p.82.
- 5) Saito K, Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Interplay of osteopontin and dentin matrix protein 1 in reparative dentinogenesis. 12th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation (TMD) 2016, Porvoo, Finland, 2016. 6. 13-18. Abstracts p. 87.
- 6) Nakatomi C, Ishikawa Y, Saito K, Nakatomi M, Jimi E, Ohshima H: Stem cell niche and enamel knot-like structure in mouse incisors. Enamel Symposium 2016 – Enamel9, Harrogate, United Kingdom, 2016. 10. 30-3. Enamel 9 Programme and Abstracts p. 18.
- 7) Nakatomi M, Ida-Yonemochi H, Nakatomi C, Saito K, Ohshima H: Msx2 deficiency induces the dedifferentiation of the outer enamel epithelium. Enamel Symposium 2016 – Enamel9, Harrogate, United Kingdom, 2016. 10. 30-3. Enamel 9 Programme and Abstracts p. 20.
- 8) Harada H, Ida-Yonemochi H, Sahara Y, Ohshima H, Fujiwara N, Matsumoto N, Nakanishi-Matsui M, Otsu K: The V-H+-ATPase- α 3-subunit contributes to elaborate highly calcifying enamel during amelogenesis. Enamel Symposium 2016 – Enamel9, Harrogate, United Kingdom, 2016. 10. 30-3. Enamel 9 Programme and Abstracts p. 26.
- 9) 大津圭史, 依田浩子, 藤原尚樹, 原田英光: Semaphorin 4D-RhoA-Akt シグナルはエナメル芽細胞分化において amelogenin 分泌と細胞極性を協調的に制御する. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016, p. 205, 2016.
- 10) 斎藤浩太郎, 大島勇人: マウス臼歯舌下移植後の歯髄治癒過程における IGF binding protein 5 の役割について. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016, p. 346, 2016.
- 11) 依田浩子, 森田航, 柴田俊一, 大島勇人: コンドロイチン硫酸は頭蓋顔面形態形成を制御している. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016, p. 466, 2016.
- 12) 中富満城, Quispe-Salcedo Angela, 依田浩子, 大島勇人: 象牙芽細胞における Nestin 遺伝子の発現制御機構. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日. J Oral Biosci Suppl 2016,

p. 471, 2016.

- 13) 大島勇人, 真喜志佐奈子, 小林太一, 林 孝文, 田中 礼: 前・中・後上歯槽神経・脈管は1本の上歯槽管へと収束する. 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎, 2016年3月28-30日, 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 127, 2017.
- 14) 依田浩子, 大津圭史, 原田英光, 大島勇人: エナメル芽細胞分化過程におけるAMP-activated protein kinase (AMPK) の発現と機能. 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎, 2016年3月28-30日, 第122回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 165, 2017.

【研究会発表】

- 1) 堀米洋二, 依田浩子, 小松雅明: 軟骨細胞分化におけるオートファジーの役割. 第10回オートファジー研究会・第4回新学術「オートファジー」班会議, 湯沢町, 2016年11月13-15日.
- 2) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 世界初! 一表層と深層の筋相互の関係を三次元的に表現—表情筋・咀嚼く筋模型の開発. 第40回峠の会(形態学セミナー), 田沢湖, 2016年7月29日.
- 3) Ohshima H: The relationship between the positional and ultrastructural changes of pulp capillaries and the deposition and calcification of dentin matrix in rat molars. 2016年度フロンティアミーティング(日本女子大学主催), 東京, 2017年2月11-12日.
- 4) 大島勇人: インプラント臨床に役立つマクロ解剖学: 上顎洞を考える. 日本橋インプラントセンター研修会, 東京, 2017年2月23日.

【表彰】

- 1) 監物新一: 平成28年度医学教育等関連業務功労賞.
- 2) キスペ サルセド アンヘラ: 歯科基礎医学会第2回(平成28年)ベストペーパー賞: Quispe-Salcedo A, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: The effects of enzymatically synthesized glycogen on the pulpal healing process of teeth with intentionally delayed replantation in mice. *J Oral Biosci* 57(2): 124-130, 2015.
- 3) 斎藤浩太郎: 歯科基礎医学会第2回(平成28年)ベストペーパー賞: Saito K, Ida-Yonemochi H, Ushiki T, Ohshima H: Responses of pulp vasculature to cavity preparation in rat molars. *J Oral Biosci* 57(3): 157-164, 2015.

【その他】

- 1) Ohshima H: Editor-in-Chief, *Journal of Oral*

Biosciences

- 2) Ohshima H: Advisory Editor, *Dental Materials Journal*
- 3) Ohshima H: Section Editor, *Regenerative Therapy*
- 4) 大島勇人: Quiescent adult stem cells in murine teeth are regulated by Shh signaling. 歯の発生と再生に関する国際セミナー, 仙台, 2016年4月1-2日.
- 5) 大島勇人: インプラント臨床に役立つマイクロ解剖学: 動物実験で明らかになったオッセオインテグレーション獲得過程, 東京形成歯科研究会主催、日本口腔インプラント学会認定「講演会」, 東京, 2016年4月24日.
- 6) 大島勇人, 斎藤浩太郎: 世界初! 一歯が修復されるメカニズムを解明—修復象牙質形成の必須因子の発見(プレスリリース5月27日, 於: 新潟大学).
- 7) 大島勇人: 平成28年度SCRP日本代表選抜大会審査員, 東京, 2016年8月19日.
- 8) 大島勇人: エンドドンティクス. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2016年9月6日.
- 9) 大島勇人: 修復象牙質形成の必須因子の発見: 修復象牙質形成とオッセオインテグレーション獲得過程におけるオステオポンチンの役割に注目して, 松本歯科大学大学院特別セミナー, 塩尻, 2016年9月14日.
- 10) 大島勇人: 修復象牙質形成の必須因子の発見: 修復象牙質形成過程におけるオステオポンチンの役割, NOA-METS 新潟医療技術科学オープンアトリエ第8回講演会, 新潟, 2016年10月14日.
- 11) 大島勇人: 表層と深層の筋相互の関係を三次元的に表現した表情筋・咀嚼く筋模型の開発, 新大産学連携交流フェスタ, 新潟, 2016年10月18日.
- 12) 大島勇人: (企画) 第21回産学連携フォーラム(歯科再生医療産学連携会議主催), 福岡, 2016年10月21日.
- 13) 大島勇人: 歯髄幹細胞の特性解明と再生医療への展開, 再生医療を推進する議員の会総会, 東京, 2016年11月16日.
- 14) 大島勇人: 歯髄生物学的観点から象牙質成長線を考える. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2017年2月2日.
- 15) 大島勇人: (企画) 第16回日本再生医療学会総会シンポジウム「歯科再生医療推進ネットワーク協議会の立ち上げと歯科再生医療の今後の展開」: (座長) 中島美砂子・大島勇人, 1. 大島勇人『歯科再生医療推進ネットワーク協議会立ち上げの経緯について』, 2. 井上 孝『日本歯科医学会との連携について』, 3. 柴田敏之『ヒト歯髄細胞の再生医療への活用』, 4. 栗原英見『歯周組織再生の今後の展開』, 5. 江草 宏『再生医療の補綴歯科治療

への展開』, 6. 朝比奈 泉『口腔インプラント治療における再生医療』, 第 16 回日本再生医療学会総会, 仙台, 2017 年 3 月 7-9 日.

- 16) 依田浩子, 大津圭史: (企画) 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会シンポジウム「細胞特性を決める細胞外微小環境と代謝システム」: (座長) 依田浩子, 大津圭史, 1. 福島敦史『代謝システムを解き明かすメタボロミクスとデータマイニングの現状』, 2. 三好圭子『口腔粘膜線維芽細胞の代謝と細胞の特性〜トランスクリプトーム解析からのアプローチ〜』, 3. 増山律子『細胞内外のカルシウム恒常性と骨代謝制御』, 4. 大津圭史, 依田浩子, 藤原尚樹, 大島勇人, 原田英光『エネルギー代謝を介したエナメル芽細胞分化制御機構』, 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 長崎, 2017 年 3 月 28-30 日. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, p. 99-100, 2017.

口腔病理学分野

【論文】

- 1) Hashimoto K, Hayashi R, Mukaigawa T, Yamazaki M, Fujii S: Concomitant expression of ezrin and HER2 predicts distant metastasis and poor prognosis of patients with salivary gland carcinomas. *Human Pathology* 63: 110-119, 2017.
- 2) Hara H, Misawa T, Ishii E, Nakagawa M, Koshiishi S, Amemiya K, Oyama T, Tomonaga K, Cheng J, Tanaka A, Saku T: Differential diagnosis of well-differentiated squamous cell carcinoma from non-neoplastic oral mucosal lesions: new cytopathologic evaluation method dependent on keratinization-related parameters but not nuclear atypism. *Diagnostic Cytopathology* 45 (5): 406-417, 2017.
- 3) Nezu A, Kubota T, Maruyama S, Nagata M, Nohno K, Morozumi T, Yoshie H: Expression of neprilysin in periodontitis-affected gingival tissues. *Archives of Oral Biology* 79: 35-41, 2017.
- 4) Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Xu B, Babkair H, Sumita Y, Cheng J, Yamamoto T, Saku T: Proteomic and histopathological characterization of the interface between oral squamous cell carcinoma invasion fronts and non-cancerous epithelia. *Experimental and Molecular Pathology* 102 (2): 327-336, 2017.

- 5) Shingaki M, Nikkuni Y, Katsura K, Ikeda N, Maruyama S, Takagi R, Hasashi T: Clinical significance of intraoral strain elastography for diagnosing early stage tongue carcinoma: a preliminary study. *Oral Radiology* 2016 Epub ahead of print. doi: 10.1007/s11282-016-0269-1
- 6) Babkair H, Yamazaki M, Uddin MS, Maruyama S, Abé T, Essa A, Sumita Y, Ahsan MS, Swelam W, Cheng J, Saku T: Aberrant expression of the tight junction molecules claudin-1 and zonula occludens-1 mediates cell growth and invasion in oral squamous cell carcinoma. *Human Pathology* 57: 51-60, 2016.
- 7) Hara Y, Ikeda N, Takagi R, Horino K, Iida A, Nishiyama H, Hayashi T, Cheng J, Saku T: Basaloid squamous cell carcinoma of the uvula: Report of a case and review of the literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 28 (3): 234-238, 2016.
- 8) Hasegawa M, Cheng J, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Babkair H, Saito C, Saku T: Differential immunohistochemical expression profiles of perlecan-binding growth factors in epithelial dysplasia, carcinoma in-situ, and squamous cell carcinoma of the oral mucosa. *Pathology - Research and Practice* 212 (5): 426-436, 2016.
- 9) Essa AAM, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Babkair H, Raghieb AM, Megahed EMED, Cheng J, Saku T: Tumor-associated macrophages are recruited and differentiated in the neoplastic stroma of oral squamous cell carcinoma. *Pathology* 48 (3): 219-227, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 朔 敬: ミャンマーにおける噛みタバコ習慣関連口腔がん発症に関する分子病理疫学的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 26305032, 2016.
- 2) 朔 敬: 口腔扁平上皮癌細胞におけるヘモグロビン誘導性角化機序と角化細胞死への経路. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究, 15K15693, 2016.
- 3) 程 瑠: アジア民族間の口腔表在性癌発症背景の分子病理疫学的比較研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 25305035, 2016.
- 4) 丸山 智: 唾液腺腫瘍の低酸素レベル細胞外環境におけるエネルギー代謝調節機構. 日本学術振興

会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11069, 2016.

- 5) 山崎 学: 同種アポトーシス死細胞貪食によって誘導される口腔扁平上皮癌の細胞活性化機序. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11006, 2016.
- 6) 阿部達也: 口腔扁平上皮癌の浸潤界面における細胞競合現象のプロテオーム解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 15K20384, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 丸山 智: 「免疫組織化学的検索による客観的病理組織診断—新潟大学医歯学総合病院 歯科病理検査室での取り組み—」, 中越病院歯科協議会平成 28 年度総会・学術講演会, 長岡市, 2016 年 11 月 16 日.
- 2) 丸山 智: 「口腔癌早期病変の客観的病理組織診断: 免疫組織化学をもちいた診断の均霑化をめざして」, 分科会プログラム「口腔粘膜早期癌の診断」第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡市, 2016 年 10 月 21-23 日.

【学会発表】

- 1) Sumita Y, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Takagi R, Cheng J: Cytoplasmic expression of SOX9 as a poor prognostic factor for oral squamous cell carcinoma. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, February 11-12, 2017. Programs and Abstract: 45, 2017.
- 2) Shimada S, Xu B, Abé T, Hirao Y, Saito S, Guoshy AE, Quadery AF, Yamamoto K, Yamamoto T: Proteomic analysis of the oral squamous cell carcinoma. 15th Human Proteome Organization World Congress. Taipei, Taiwan, September 18-22, 2016. Programs and Abstract: 574, 2016.
- 3) Sumita Y, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Babkair H, Takagi R, Cheng J: SOX9 expression in oral epithelial lesions and squamous cell carcinoma. 18th International Association of Oral and Maxillofacial Pathologists, Chennai, India, September 8-11, 2016. Programs and Abstract: 187, 2016.
- 4) 丸山 智, 長谷川剛: 顎下部腫瘍の 1 例. 第 84 回日本病理学会東北支部学術集会. 仙台市,

2017 年 2 月 18-19 日. 第 84 回日本病理学会東北支部学術集会プログラム抄録集: 19, 2017.

- 5) 三上俊彦, 船山昭典, 金丸祥平, 小田陽平, 山崎 学, 丸山 智, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治: 前舌腺に発生した腺癌 NOS の 1 例. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡市, 2017 年 1 月 26-27 日. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集: 174, 2017.
- 6) 小玉直樹, 永田昌毅, 池田順行, 小山貴寛, 勝見祐二, 新垣元基, 原 夕子, 丸山 智, 山崎 学, 程 瑠, 西山秀昌, 林 孝文, 星名秀行, 高木律男: 舌下腺に生じ経過不良な転帰を辿った唾液腺悪性腫瘍の 1 例. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡市, 2017 年 1 月 26-27 日. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会プログラム・抄録集: 144, 2017.
- 7) 齋藤太郎, 小山貴寛, 黒川 亮, 西川 敦, 原夕子, 清水志保, 丸山 智, 程 瑠, 高木律男: 新潟大学医歯学総合病院顎顔面口腔外科における口腔扁平苔癬患者の臨床統計的検討. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2016 年 11 月 5 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会抄録集: 17, 2016.
- 8) 根津 新, 久保田健彦, 丸山 智, 永田昌毅, 堀水 慎, 濃野 要, 保苅崇大, 両角俊哉, 朔 敬, 吉江弘正: 歯周炎罹患歯肉組織におけるネプリライシンの遺伝子発現レベルと免疫組織局在の解析. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2016 年 11 月 5 日. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会抄録集: 12, 2016.
- 9) 木口哲郎, 柿原嘉人, 山崎 学, 永田昌毅, 高木律男, 佐伯万騎男: リボソーム合成制御因子 R2TP の口腔扁平上皮癌進展における作用機序の解析. 第 67 回日本薬理学会北部会, 札幌市, 2016 年 9 月 30 日. 第 67 回日本薬理学会北部会プログラム・抄録集: 64, 2016.
- 10) Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Babkair H, Sumita Y, Cheng J: Apoptotic cell clearance upregulates cancer cell activities in oral squamous cell carcinoma. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 8 月 10-12 日. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集: 192, 2016.
- 11) 隅田賢正, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, バブカイール ハムザ, 高木律男, 程 瑠: 口腔扁平上皮癌における SOX9 発現様式の解析. 第 27

- 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会，広島市，2016年8月10-12日．第27回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集：187，2016.
- 12) 丸山 智，山崎 学，阿部達也，バブカイル ハムザ，隅田賢正，程 珺：口腔表在性病変における P53 免疫組織化学的検索の取り組み．第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会，広島市，2016年8月10-12日．第27回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集：182，2016.
- 13) 長塚 仁，小川郁子，栢森 高，岸野万伸，草深公秀，久保勝俊，佐藤由紀子，橋本和彦，松本直行，丸山 智，森 泰昌，柳下寿郎：口腔癌，特に上皮内癌を中心とする境界病変の診断で用いられている病理診断名とその概念の現状を把握するためのアンケート調査．第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会，広島市，2016年8月10-12日．第27回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集：181，2016.
- 14) Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Babkair H, Sumita Y, Cheng J, Saku T: Proteome profiling at the lateral interface of oral squamous cell carcinoma/carcinoma in-situ. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会，広島市，2016年8月10-12日．第27回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集：85，2016.
- 15) 山崎 学，丸山 智，阿部達也，近藤英作，程 珺：がん細胞による死細胞処理：その生物学的意義．第 13 回日本病理学会カンファレンス，神戸市，2016年7月29-30日．第13回日本病理学会カンファレンスプログラム・抄録集：42，2016.
- 16) 丸山 智，山崎 学，阿部達也，バブカイル ハムザ，隅田賢正，程 珺，朔 敬：唾液腺多形性腺腫細胞は低酸素環境下で HIF-1 α -MYC 相互作用によってエネルギー代謝を制御している．第 105 回日本病理学会総会，仙台市，2016年5月12-14日．第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集：468，2016.
- 17) 山崎 学，丸山 智，阿部達也，バブカイル ハムザ，隅田賢正，程 珺，朔 敬：Inflammatory but not developmental histopathogenesis of intraoral lymphoepithelial cyst. 第 105 回日本病理学会総会，仙台市，2016年5月12-14日．第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集：424，2016.
- 18) 阿部達也，丸山 智，山崎 学，許 波，Hamzah Babkair，隅田賢正，程 珺，山本格，朔 敬：口腔表在性癌と非癌部粘膜上皮との界面における細胞競合現象の解析．第 105 回日本病理学会総会，仙台市，2016年5月12-14日．第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集：421，2016.
- 19) 朔 敬，丸山 智，山崎 学，阿部達也，バブカイル ハムザ，隅田賢正，程 珺：口腔粘膜乳頭種は粘液腺導管開口部に発生する．第 105 回日本病理学会総会，仙台市，2016年5月12-14日．第105回日本病理学会総会プログラム・抄録集：419，2016.
- 20) 大貫尚志，阿部達也，児玉泰光，勝見祐二，西川敦，黒川 亮，木口哲郎，程 珺，林 孝文，高木律男：Le Fort I 型骨切り術後に生じた正中上顎骨嚢胞の 1 例．第 70 回日本口腔科学会学術集会，福岡市，2016年4月15-17日，第70回日本口腔科学会学術集会抄録集：197，2016.

【受賞】

- 1) Sumita Y, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Babkair H, Takagi R, Cheng J: SOX9 expression in oral epithelial lesions and squamous cell carcinoma. 18th International Association of Oral and Maxillofacial Pathologists, The best scientific presentation in the session, Chennai, India, September 8-11, 2016. Programs and Abstract: 187, 2016.
- 2) 阿部達也：Proteome profiling at the lateral interface of oral squamous cell carcinoma/carcinoma in-situ. 第 27 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会ポスター賞，広島市，2016年8月10-12日．第27回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集：85，2016.

歯科薬理学分野

【論文】

- 1) Shiono, Y., Miyazaki, N., Murayama, T., Koseki, T., Harizon, Katja, D.G., Supratman, U., Nakata, J., Kakihara, Y., Saeki, M., Yoshida, J., Uesugi, S., Kimura, K.: GSK-3b inhibitory activities of novel dichlororesorcinol derivatives from *Cosmospora vilior* isolated from a mangrove plant. *Phytochemistry Letters*. 18, 122-127. (2016)

- 2) Akiba Y, Mizuta A, Kakihara Y, Nakata J, Nihara J, Saito I, Egusa H, Saeki M : The inhibitors of cyclin-dependent kinases and GSK-3 β enhance osteoclastogenesis. *BB reports* 5, 253-258. (2016)
- 3) Yu, G., Okawa, H., Okita, K., Kamano, Y., Wang, F., Saeki, M., Yatani, H., and Egusa, H.: Gingival Fibroblasts as Autologous Feeders for Induced Pluripotent Stem Cells. *J Dent Res* 95(1), 110-8. (2016)
- 4) Ogawa S, Hoshina H, Nakata K, Yamada K, Uematsu K, Kawase T, Takagi R, Nagata M. High resolution three-dimensional computed tomography analysis of the clinical efficacy of cultured autogenous periosteal cells in sinus lift bone grafting. *Clin Implant Dent Relat Res* 18(4):707-716. (2016)
- 5) Yamaguchi H, Tsuchimochi M, Hayama K, Kawase T, Tsubokawa N. Dual-labeled near-infrared/^{99m}Tc imaging probes using PAMAM-coated silica nanoparticles for the imaging of HER2-expressing cancer cells. *Int J Mol Sci* doi:10.3390/ijms17071086. (2016)

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 佐伯万騎男:骨吸収性疾患の治療ターゲットとしての $\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体. 第 58 回歯科基礎医学会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日

【学会発表】

- 1) 柿原嘉人、中田樹里、清川裕貴、山下直行、佐藤宏樹、佐伯万騎男 : The screening of physiologically-functional ingredients that prevent osteoporosis. 健康と食品に関する新潟国際会議 2016、新潟、2016 年 11 月 10 - 11 日
- 2) 中田樹里、柿原嘉人、秋葉陽介、丹原惇、齋藤功、佐伯万騎男 : 破骨細胞分化に影響を与える薬剤のスクリーニングとその作用機序の解析. 第 34 回日本骨代謝学会学術集会, 大阪, 2016 年 7 月 21-23 日
- 3) 柿原嘉人、山崎学、木口哲郎、佐伯万騎男:口腔扁平上皮癌進展における分子シャペロン R2TP の作用機序の解析. 第 58 回歯科基礎医学会, 札幌, 2016 年 8 月 24-26 日
- 4) 木口哲郎、柿原嘉人、山崎学、永田昌毅、高木律男、佐伯万騎男: リボソーム合成制御因子 R2TP の口腔扁平上皮癌進展における作用機序の解析. 第 67 回日本薬理学会北部会, 札幌, 2016 年 9 月 30 日
- 5) Kawase T, Isobe K, Watanabe T, Okudera T, Kitamura Y, Watanabe T, Okudera H, Uematsu K, Okuda K, Tanaka T. Mechanical properties of advanced platelet-rich fibrin (A-PRF) and concentrated growth factors (CGF) membranes. *Academy of Osseointegration 2017 Annual*

meeting, (Orlando, FL, 2017.3.15-18. Orange County Convention Center)

【研究費獲得】

- (継続) 日本学術振興会科学研究費 挑戦的萌芽 (～2016) 佐伯万騎男「急がば回れ」の骨再生: 骨吸収促進薬を用いた新規骨疾患治療薬の探索 #15k15683

包括歯科補綴学分野

【著書】

- 1) 吉川峰加, 小野高裕, 津賀一弘: 舌圧検査. / 新よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 141-142, 医歯薬出版, 東京, Feb 2017.
- 2) 昆はるか, 佐藤直子, 小野高裕: 咀嚼と頭部運動. / 新よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 160-163, 医歯薬出版, 東京, Feb 2017.
- 3) 長谷川陽子, 小野高裕: 咀嚼と循環応答. / 新よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 164-166, 医歯薬出版, 東京, Feb 2017.
- 4) 藤原茂弘, 小野高裕: 臼歯ガイダンス. / 新よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 229-230, 医歯薬出版, 東京, Feb 2017.
- 5) 金田 恒, 小野高裕. 咬合面形態と咀嚼. / 新よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 239-241, 医歯薬出版, 東京, Feb 2017.
- 6) 堀 一浩, 小野高裕. 歯列・咬合欠損. / 新よくわかる顎口腔機能 咬合・摂食嚥下・発音を理解する, 256-258, 医歯薬出版, 東京, Feb 2017.
- 7) 小野高裕: 21 世紀は「食べる」時代 「食べる」を考えたことがありますか? / 老いと「食べる」, 130-133, 新潟大学歯学部, 新潟, 2016.

【論文】

- 1) Funami T, Matsuyama S, Ikegami A, Nakauma M, Hori K, Ono T. Measurement of swallowing by monitoring thyroid cartilage movement in healthy subjects using thickened liquid samples and its comparison with sensory evaluation. *Journal of Texture Studies*, [Epub ahead of print] 12:e0173475, Apr 2017.
- 2) Hasegawa Y, Tachibana Y, Ono T, Kishimoto H. Flavour-enhanced cortisol release during gum chewing. *Plos One*, Feb 2017.
- 3) Kikui M, Ono T, Kokubo Y, Kida M, Kosaka T, Yamamoto M, Nokubi T, Watanabe M, Maeda Y, Miyamoto Y: Relationship between metabolic syndrome

- and objective masticatory performance in a Japanese general population: The Suita study. *J Dent.* 56:53-57, Jan 2017
- 4) Schimmel M, Ono T, Lam O, Müller F. Oro-facial impairment in stroke patients. *J Oral Rehabil* 44:313-326, Apr 2017.
 - 5) Matsuka Y, Hagiwara Y, Tamaki K, Takeuchi H, Fujisawa M, Ono T, Tsukiyama Y, Nagao K, Tsuga K, Aita H, Kondo H, Fueki K, Tsukasaki H, Nishigawa K, Ozawa S, Kuwatsuru R, Minakuchi H, Inuma T, Matsuura T, Ishibashi K, Fujii S, Hirai T, Sasaki K, Yatani H, Igarashi Y, Sato Y, Ichikawa T, Yamamori T, Kuboki T, Baba K, Koyano K, Sato H, Hideo Matsumura H. Reliability and validity of the patient disability-oriented diagnostic nomenclature system for prosthetic dentistry. *J Prosthodont Res.* 61:20-33, Jun 2017.
 - 6) Ohnishi Y, Ito K, Kitamura R, Funayama S, Hori K, Inoue M: Importance of professional oral hygiene in preventing medication-related osteonecrosis of the jaw. *IJOMS* 15:85-92, 2016.
 - 7) Izuno H, Hori K, Sawada M, Fukuda M, Hatayama C, Ito K, Nomura Y, Inoue M: Physical fitness and oral function in community-dwelling older people: A pilot study. *Gerodontology* 33:470-479, Dec 2016
 - 8) Kon H, Kobayashi H, Sakurai N, Watanabe K, Yamaga Y, Ono T: Personal computer versus personal computer/mobile device combination users' preclinical laboratory e-learning activity. *J Invest Clin Dent* [Epub ahead of print] Nov 2016
 - 9) Kikui M, Kokubo Y, Ono T, Kida M, Kosaka T, Yamamoto M, Watanabe M, Maeda Y, Miyamoto Y: Relationship between metabolic syndrome components and periodontal disease in a Japanese general population: The Suita study. *J Atheroscler Thromb.* 24:495-507, May 2016.
 - 10) Iwasaki M, Yoshihara A, Sato N, Sato M, Taylor GW, Ansai T, Ono T, Miyazaki H: Maximum bite force at age 70 years predicts all-cause mortality during the following 13 years in Japanese men. *J Oral Rehabil.* 43:565-574, Aug 2016
 - 11) Tamaki K, Ishigaki S, Ogawa T, Oguchi H, Kato T, Suganuma T, Shimada A, Sadamori S, Tsukiyama Y, Nishikawa Y, Masumi S, Yamaguchi T, Aita H, Ono T, Kondo H, Tsukasaki H, Fueki K, Fujisawa M, Matsuka Y, Baba K, Koyano K.: Japan Prosthodontic Society position paper on "occlusal discomfort syndrome". *J Prosthodont Res.* 60:156-66, Jul 2016
 - 12) Hirose T, Ono T, Maeda Y: Influence of wearing a scuba diving mouthpiece on the stomatognathic system - considerations for mouthpiece design. *Dent Traumatol* 32:219-224, Jun 2016
 - 13) Fujio T, Sato F, Tachibana Y, Kato T, Tomita A, Higashiyama K, Ono T, Maeda Y, Yoshida A: Revisiting the supratrigeminal nucleus in the rat. *Neuroscience* 324:307-320, Jun 2016
 - 14) Sato N, Ono T, Kon H, Sakurai N, Kohno S, Yoshihara A, Miyazaki H: Ten-year longitudinal study on the state of dentition and subjective masticatory ability in community-dwelling elderly people. *J Prosthodont Res.* 60:177-184, Jun 2016
 - 15) Kosaka T, Ono T, Kida M, Kikui M, Yamamoto M, Yasui S, Nokubi T, Maeda Y, Kokubo Y, Watanabe M, Miyamoto Y: A multi-factorial model of masticatory performance: the Suita study. *J Oral Rehabil* 43: 340-347, May 2016.
 - 16) Sakaue K, Fukui T, Sasakura C, Hori K, Ono T, Saito I: Tongue pressure production during swallowing in patients with mandibular prognathism. *J Oral Rehabil.* 43:348-55, May 2016
 - 17) 小野高裕, 堀一浩:舌接触補助床(Palatal Augmentation Prosthesis). *日本歯科医歯学会雑誌* 69(1付録):14-17
 - 18) 村上和裕, 皆木祥伴, 藤原茂弘, 橋本栄, 宮本哲郎, 山本雅章, 小野高裕, 前田芳信: 骨肉腫の治療後に生じた顎顔面欠損に対して口蓋床付きエビテーゼを適用し口腔機能改善を試みた症例. *顎顔面補綴* 39:86-93, Dec 2016.
 - 19) 堀一浩: 長期経過における機能変化への対応を考える. *顎顔面補綴* 39:95-97, Dec 2016
 - 20) 船山さおり, 伊藤加代子, 堀一浩, 谷口広重, 辻村恭憲, 中村由紀, 真柄仁, 渡邊賢礼, 林宏和, 辻光順, 酒井翔悟, 井上誠: 研修歯科医に対する介護保険施設での口腔ケアおよび摂食指導研修. *日摂食嚥下リハ会誌* 20:80-85, Dec 2016.
 - 21) 田中みか子, 三上絵美, 江尻貞一: 総説 骨粗鬆症と口腔 ①基礎的検証 卵巣摘出サルで検証した下顎皮質骨の粗鬆化の実態. *日本骨粗鬆症学会雑誌* 2: 235-238, 2016.
 - 22) 澤井明香, 田中章弘, 岡本裕子, 工藤典代, 藤井仁, 小野高裕, 野首孝祠. 高齢者通所施設における検査用グミゼリーを用いた咀嚼能率測定: *日本咀嚼学会雑誌* 26:50-61, Nov 2016.
 - 23) 堀一浩: 第4回International Conference on Food Oral Processingに参加して. *日咀嚼誌* 26:74-77, 2016

- 24) 服部 佳功, 枝広 あや子, 渡邊 裕, 平野 浩彦, 古屋 純一, 中島 純子, 田村 文誉, 北川 昇, 堀 一浩, 原 哲也, 吉川 峰加, 西 恭宏, 永尾 寛, 市川 哲雄, 櫻井 薫, 一般社団法人日本老年歯科医学会ガイドライン委員会: 認知症患者の歯科治療に対する疑問と問題点 Clinical Question調査から. 老年歯科医学 31:3-8, Jun 2016
- 25) 小野高裕, 安井 栄, 金田 恒, 菊地さつき, 來田百代, 高阪貴之, 菊井美希, 前田芳信, 野首孝詞: 半量グミゼリーによる咀嚼能率スコア法の開発. 日本咀嚼学会雑誌 26:9-13, May 2016

【商業誌】

- 1) 小野高裕, 堀一浩, 金田恒, 山鹿義郎, 菊地さつき: 補綴の底力(第1回) 咀嚼・嚥下と補綴治療 機能を「診る」ことから始まるアプローチ. 補綴臨床 49:414-428, Jul 2016
- 2) 小野高裕: 医局紹介 研究プロジェクトの精鋭たち 新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野 咀嚼・嚥下機能評価による補綴イノベーションをめざして. / ザ・クインテッセンス 35:1608, Jul 2016.

【研究費獲得】

- 1) 小野高裕: 咀嚼・嚥下機能に基づく要介護者用食品の物性評価. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究, 16K15799, 2016-2017.
- 2) 堀 一浩: レトロネーザルを応用した咽頭残留の定量評価～咽頭残留に影響する因子～ (国際共同研究強化). 文部科学省科学研究費補助金 国際共同研究加速基金, 15KK0300, 2016.
- 3) 堀 一浩: レトロネーザルを応用した咽頭残留の定量評価～咽頭残留に影響する因子～. 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11194, 2015-2017.
- 4) 田中みか子: 歯科用 CBCT 像上の顎骨と頸椎の骨梁構造変化を指標とした新規骨粗鬆症診断法の開発. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 15K11154, 2015-2017
- 5) 藤原茂弘: 咀嚼嚥下動態評価による安全な介護食の開発. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 (B), 15K20436, 2015-2016.
- 6) 佐藤直子: 体幹角度と食事姿勢が咀嚼時下顎・頭部運動に及ぼす影響—高齢者の快適な食事のために. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11193, 2015-2017.
- 7) 小野高裕: 都市部一般住民の口腔健康と動脈硬化性疾患の関係についての前向きコホート研究. 日本学

- 術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (B), 26293411, 2014-2016.
- 8) 昆 はるか: 在宅療養患者の咀嚼機能向上に寄与する, 食支援のための簡便な食事姿勢探索法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 26861629, 2014-2016.
- 9) 櫻井直樹: ICT (情報通信技術) とピエゾセンサーを融合した在宅嚥下機能評価訓練システム開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25462990, 2013-2016.
- 10) 金田 恒: 在宅療養にも応用できる, 難症例に対する簡便な全部床義歯製作システムの確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 25462989, 2013-2016.
- 11) 三上絵美: 抜歯窩の骨の治癒に影響する骨代謝因子の解明—インプラント植立時期の指標策定へ—. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 25861837, 2014-2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Takahiro Ono: Prosthodontic approach for elderly patients with dysphagia. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Symposium 2 "Geriatric dentistry", 2017/2/11, Samui, Feb 11 2017
- 2) Ono T: Prosthodontic approach in dysphagia rehabilitation. International Indonesian Prosthodontic Meeting 2016, Solo, Sep 15, 2016
- 3) 堀一浩: 舌接触補助床 (PAP) による嚥下機能の回復. 第2回補綴歯科臨床研鑽会プロソ' 16, 東京, 2016年12月10日
- 4) 小野高裕: 有床義歯機能検査. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部診療報酬改定セミナー, 新潟, 2016年12月4日
- 5) 小野高裕: よい”そしゃく”は元気の素. 平成28年度日本補綴歯科学会東海支部市民フォーラム「高齢者の口腔機能と健康」, 松本, 2016年11月12日
- 6) 小野高裕: 咀嚼 能率スコア法の活用—いつでも・どこでも・誰にでも—. 第27回日本咀嚼学会学術大会シンポジウム, 広島, 2016年11月6日
- 7) 小野高裕: 有床義歯治療に咀嚼機能評価をどう活かすか. 第33回アルペン口腔科学フォーラム, 富山, 2016年11月3日
- 8) 小野高裕: 舌接触補助床の臨床応用. 平成28年度日本補綴歯科学会中国・四国支部専門医研修会「嚥下機能の評価と機能回復を見据えて」, 岡山, 2016年10月16日
- 9) 堀一浩: センサシートで診る舌の動き. 第23回日本

- 歯科医学会総会 シンポジウム「機能を測る」ことで始まる臨床イノベーション, 福岡, 2016年10月23日
- 10) 小野高裕: 摂食嚥下における舌圧の意味, 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会パネルディスカッション「舌圧検査を使いこなそう!-臨床から研究まで, 新潟, 2016年9月23日
 - 11) 堀一浩: Tongue pressure measurement and rehabilitation using palatal augmentation prosthesis for glossectomy patients. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 日韓合同シンポジウム, 新潟, 2016年9月22日
 - 12) 小野高裕: 舌接触補助床と舌圧検査. 平成28年度日本補綴歯科学会東京支部生涯学習公開セミナー「保険導入された舌圧検査」, 東京, 2016年9月24日
 - 13) 小野高裕: 発音(構音)と諸器官・組織 言葉から評価する口腔機能. 日本歯科衛生士会「口腔機能管理」研修会, 福岡, 2016年9月4日
 - 14) 小野高裕: 補綴治療による咀嚼の回復. 第17回健康咀嚼指導士認定研修会, 東京, 2016年8月21日
 - 15) 小野高裕: 発音(構音)と諸器官・組織 言葉から評価する口腔機能. 日本歯科衛生士会「口腔機能管理」研修会, 大宮, 2016年7月31日
 - 16) 小野高裕: 最後まで人間らしく生きるために 一口の機能は大切か?-. 日本補綴歯科学会第125回学術大会 市民フォーラム, 金沢, 2016年7月10日
 - 17) 堀一浩: 周術期口腔機能管理や摂食嚥下機能療法における顎顔面補綴的ストラテジー. 日本補綴歯科学会第125回学術大会, 金沢市, 2016年7月10日
 - 18) 小野高裕: 高齢者の食べる機能と認知症を考える. 日本台湾老年歯科医学会合同シンポジウム, 徳島, 2015年6月19日
 - 19) 堀一浩: 長期経過における機能変化への対応を考える. 第33回日本顎補綴補綴学会学術大会 第21回教育研修会, 新潟市, 2016年6月4日
- 【学会発表】**
- 1) Fujiwara S, Fujiu-Kurachi M, Hori K, Ono T: Tongue pressure production and submental surface electromyogram activities during tongue-hold swallow with different holding positions and tongue flexibility. The Dysphagia Research Society 25th Annual Meeting, Portland, Mar 3 2017
 - 2) Murakami K, Hori K, Minagi Y, Fujiwara S, Tokuda Y, Inoue M, Ono T, Maeda Y: Quantitative evaluation of hyoid-laryngo excursion during swallowing by using bend sensor system. The Dysphagia Research Society 25th Annual Meeting, Portland, Mar 2-4 2017
 - 3) Okawa J, Hori K, Fujiwara S, Uehara F, Ono T: Evaluation of pharyngeal residue after swallowing using odor sensor. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Samui, Feb 12 2017
 - 4) Magara J, Tsuji K, Watanabe M, Tsujimura T, Hori K, Inoue M: Relationship between tongue pressure and pharyngeal residues in dysphagic patients. 6th European Society for Swallowing Disorders Congress, Università degli Studi, Milano, Oct 14-15 2016
 - 5) Hori K, Murakami K, Fujiwara S, Funami T, Inoue M, Ono T: Tongue pressure and hyoid movement by tongue squeezing. 4th International Conference on Food Oral Processing, Lausanne, Jul 6, 2016
 - 6) Murakami K, Hori K, Minagi Y, Nakauma M, Ono T, Maeda Y: Effect of Initial Gel Texture on Oro-Pharyngeal Swallow, 4th International Conference on Food Oral Processing, Lausanne, Jul 6, 2016
 - 7) Shimohata T, Taniguchi H, Nakayama H, Hori K, Inoue M, Nishizawa M: Esophageal Involvement in Multiple System Atrophy. 68th Annual Meeting of American Academy of Neurology, Vancouver, Apr 15-21 2016
 - 8) 小野寺雅彦, 藤原 茂弘, 鈴木 潔, 堀 一浩, 小野高裕: 咀嚼機能を向上させるグミゼリーの特徴, 日本農芸化学会2017年度大会, 京都, 2017年3月17-20日
 - 9) 岩井 大, 有澤 英司, 渡部 加苗, 井上 恵介, 池田三知男, 堀 一浩, 小野 高裕: 生理計測によるチョコレートアイスクリームバーの評価, 日本農芸化学会2017年度大会, 京都, 2017年3月17-20日
 - 10) 佐々木慶一, 井上 恵介, 渡部 加苗, 岩井 大, 池田三知男, 堀 一浩, 小野 高裕: 冷菓の摂食・嚥下特性とおいしさに関する研究, 日本農芸化学会2017年度大会, 京都, 2017年3月17-20日
 - 11) 設樂仁子, 藤原茂弘, 兒玉匠平, 堀 一浩, 小野高裕, 前田芳信, 津賀一弘, 増田裕次: 混合歯列期における児童の咀嚼機能と身体機能. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2016年11月6日
 - 12) 藤原茂弘: 舌および口腔周囲筋に調和した可撤性補綴装置を用いて機能回復を行った無歯顎舌癌術後症例. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2016年11月6日
 - 13) 菊地さつき, 山本孝文, 金田 恒, 山鹿義郎, Simonne Salazar, 堀 一浩, 野首孝祠, 小野高裕: 側方歯群交換期前後の学童の咀嚼能力. 第27回日本咀嚼学会学術大会, 広島, 2016年11月6日
 - 14) 小野高裕, 菊井美希, 來田百代, 高阪貴之, 橋本

- 栄, 山本雅章, 藤井克則, 前田芳信, 野首孝祠: 咀嚼能力の低下とメタボリックシンドローム罹患との関係. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-22日
- 15) 藤原茂弘, 倉智雅子, 堀 一浩, 設楽仁子, 大川純平, 小野高裕: 高齢者の舌運動訓練としての前舌保持嚥下法. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-22日
- 16) 小飯塚仁美, 堀一浩, 藤原茂弘, 小野高裕: 上顎欠損患者の発音時口腔内圧. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-23日
- 17) Salazar S, Kikuchi S, Kaneda K, Yamaga Y, Hori K, Ono T: Masticatory Performance of Removable Prosthodontics Patients. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-23日
- 18) 大川純平, 堀 一浩, 藤原茂弘, 上原文子, 小野高裕: ニオイセンサによる嚥下後咽頭残留の推定. 日本顎口腔機能学会第57回学術大会, 仙台, 2016年10月2日
- 19) 村上和裕, 堀一浩, 皆木祥伴, 藤原茂弘, 徳田佳嗣, Simonne Salazar, 上原文子, 井上誠, 小野高裕, 前田芳信: ゼリーの舌押し潰し嚥下時における舌圧発現と舌骨移動. 日本顎口腔機能学会第57回学術大会, 仙台, 2016年10月2日
- 20) Fujiwara S, Fujiu-Kurachi M, Hori K, Ono T: The influence of tongue flexibility on the changes in tongue pressure production during tongue-hold swallow. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月23日
- 21) Minagi Y, Ono T, Hori K, Fujiwara S, Murakami K, Maeda Y, Yokoe M, Michizuki H: Relation between dysphagia and tongue pressure during swallowing in Parkinson's disease patients. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月23日
- 22) 佐藤直子, 昆はるか, 堀 一浩, 藤原茂弘, 大川純平, 林 豊彦, 小野高裕: コップからのとろみ溶液摂取時における頭部体幹の姿勢. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月24日
- 23) 大川純平, 堀 一浩, 藤原茂弘, 上原文子, 小野高裕: 香料を用いた嚥下後咽頭残留の定量的評価の試み, 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月23日
- 24) Salazar S, Hori K, Murakami K, Fujiwara S, Minagi Y, Nakauma M, Funami T, Ono T: Tongue pressure and hyoid movement during squeezing and swallowing. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月23日
- 25) 田中みか子, 三上絵美, 田中礼, 江尻貞一, 小野高裕: ヒト抜歯後歯槽堤における骨改造現象と骨代謝活性の抜歯後期間による違い - 骨形態計測学的・組織学的解析 -. 第43回日本口腔インプラント学会, 名古屋, 9月16-18日
- 26) 藤原茂弘, 小野高裕, 堀 一浩, 山本雅章, 田中佑人, 來田百代, 徳田佳嗣, 菊井美希, 村上和裕, 前田芳信, 津賀一弘, 増田裕次: 成長過程における児童の最大舌圧と口腔・身体機能との関連. 日本補綴歯科学会第125回学術大会, 金沢, 2016年7月9-10日
- 27) 堀川奈穂美, 堀一浩, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄仁, 船山さおり, 酒井翔悟, 小野高裕, 井上誠: 口腔ケア介入患者の肺炎発症に関係する因子. 日本老年歯科医学会学術大会, 徳島, 2016年6月18-19日
- 28) 田中みか子, 三上絵美, 田中 礼, 江尻貞一, 小野高裕: 高齢女性の下顎歯槽骨微細骨梁構造と骨代謝マーカー・アディポサイトカイン・踵骨骨密度との関連性. 第 36 回日本骨形態計測学会, 新潟市, 2016年6月24-26日
- 29) 藤原茂弘, 堀 一浩, 設楽仁子, 大川純平, 井上 誠, 小野高裕: 術前の舌圧発現様相を参考にPAP形態を付与した1症例. 日本顎顔面補綴学会 第33回学術大会, 新潟, 2016年6月3-4日
- 30) 佐藤直子, 昆はるか, 堀 一浩, 小野高裕, 中島 努, 早崎治明, 林 豊彦: 食事姿勢が捕食時の姿勢に及ぼす影響. 第27回日本老年歯科医学会学術大会, 徳島, 2016年6月19日
- 31) 真柄 仁, 辻 光順, 辻村恭憲, 堀 一浩, 井上 誠: 舌圧発現の疾患別特徴と咽頭残留との関係. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月23-24日, 日摂食嚥下リハ会抄録集:332, 2016.
- 32) 村上和裕, 堀 一浩, 小野高裕, 皆木祥伴, 藤原茂弘, 徳田佳嗣, 井上 誠: 屈曲センサを用いた液体嚥下時における舌骨移動の定量的評価. 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟市, 2016年9月23-24日, 日摂食嚥下リハ会抄録集:273, 2016.
- 33) 櫻井英樹 西垣壽人 池田三知男 堀一浩 小野高裕: 生体計測によるチルドデザート等の介護食への適性評価, 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月24日
- 34) 井上恵介 竹塚真義 池田三知男 堀一浩 小野高裕: 冷菓の摂食・嚥下特性に関する研究, 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月24日
- 35) 熊倉駿, 柴田暁秀, 東森充, 池上聡, 中馬誠, 堀

- 一浩, 小野高裕: リサーチ用図形を用いたゲル摂食舌圧の可視化と特徴量抽出, 生体医工学シンポジウム 2016, 旭川, 2016年9月17-18日
- 36) 松山信悟, 池上聡, 石原清香, 中馬誠, 船見孝博, 堀一浩, 小野高裕: ゲル嚥下時の舌圧および喉頭運動測定によるテクスチャー評価, 日本食品科学工学会第63回大会, 名古屋, 2016年8月25-27日
- 37) 堀川奈穂美, 堀一浩, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 真柄仁, 船山さおり, 酒井翔悟, 小野高裕, 井上誠: 口腔ケア介入患者の肺炎発症に関係する因子. 日本老年歯科医学会第27回総会・学術大会, 徳島, 2016年6月18-19日.
- 38) 柴田曉秀, 正東森充, 学熊倉駿, 池上聡, 中馬誠, 堀一浩, 小野高裕: 多点舌圧センシングに基づくゲル摂食挙動の時空間解析. 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016, 横浜市, 2016年6月8-11日
- 39) 昆はるか, 五十嵐直子, 堀澤貴行, 林豊彦, 中島努, 早崎治明, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝, 堀一浩, 小野高裕: 頸部屈曲が咀嚼運動に与える影響. 日本顎口腔機能学会 第56回学術大会, 川越, 2016年4月23日
- 【受賞】**
- 1) 大川純平: ニオイセンサによる嚥下後咽頭残留の推定. 日本顎口腔機能学会第57回学術大会優秀賞, 2016年10月2日
- 【その他】**
- 1) 小野高裕: 自分の「咀嚼力」に普段から関心を持つ. *Shall we Lotte*, 35:17, Mar 2017.
- 2) 小野高裕 (監修): 「咀嚼」が大事 健康生活 グミで測ろう咀嚼能力. *UHA味覚糖*, Nov 2016.
2016. DOI: 10.4236/ojst.2016.64015.
- 3) Avila-Ortiz G, Bartold PM, Giannobile W, Katagiri W, Nares S, Rios H, Spagnoli D, Wikesjö UM: *Biologics and Cell Therapy Tissue Engineering Approaches for the Management of the Edentulous Maxilla: A Systematic Review. Int J Oral Maxillofac Implants* 31 Suppl:s121-164, 2016. DOI: 10.11607/jomi.16suppl.g4.
- 4) Nomura T, Powers MP, Katz JL, Ejiri S, Kobayashi T: *Histomorphometric Comparison of Transmandibular Implant and Titanium Implant. J Long Term Eff Med Implants* 26(3):209-215, 2016. DOI: 10.1615/JLongTermEffMedImplants.2016016210.
- 5) Yoshizawa M, Niimi K, Sugai T, Aoyama S, Koyama T, Inoue M, Kobayashi T: *Invasive cervical resorption of autotransplanted tooth with complete root formation. JSM Dent* 4(3): 1066, 2016.
- 6) Kurabe K, Kojima T, Kato Y, Saito I, Kobayashi T: *Impact of orthognathic surgery on oral health-related quality of life in patients with jaw deformities. Int J Oral Maxillofac Surg* 45(12): 1513-1519, 2016. DOI: 10.1016/j.ijom.2016.07.003.
- 7) Uenoyama A, Kakizaki I, Shiomi A, Saito N, Hara Y, Saito T, Ohnuki H, Kato H, Takagi R, Maeda T, Izumi K: *Effects of C-xylopyranoside derivative on epithelial regeneration in an in vitro 3D oral mucosa model. Biosci Biotechnol Biochem* 80(7): 1344-1355, 2016.
- 8) Nishino K, Kohara A, Yakita Y, Ochi K, Hayashi T, Takagi R, Kobayashi T, Terada K, Saito I: *Three-dimensional analysis of facial changes in skeletal Class III patients following mandibular setback surgery. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 28(6): 481-487, 2016. DOI: 10.1016/j.ajoms.2016.05.006.
- 9) Katagiri W, Kawai T, Osugi M, Sugimura-Wakayama Y, Sakaguchi K, Kojima T, Kobayashi T: *Angiogenesis in newly regenerated bone by secretomes of human mesenchymal stem cells. Maxillofac Plast Reconstr Surg* 39(1):8, 2017. DOI: 10.1186/s40902-017-0106-4.
- 10) Sakaguchi K, Katagiri W, Osugi M, Kawai T, Sugimura-Wakayama Y, Hibi H: *Periodontal tissue regeneration using the cytokine cocktail mimicking secretomes in the conditioned media from human mesenchymal stem cells. Biochem Biophys Res Commun* 484(1):100-106, 2017. DOI: 10.1016/j.bbrc.2017.01.065.
- 11) Katagiri W, Sakaguchi K, Kawai T, Wakayama Y, Osugi M, Hibi H: *A defined mix of cytokines mimics conditioned medium from cultures of bone*

組織再建口腔外科学分野

【論文】

- 1) Saito D, Mikami T, Oda Y, Hasebe D, Nishiyama H, Saito I, Kobayashi T: *Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties, and bone metabolic markers in patients with jaw deformities. Int J Oral Maxillofac Surg* 45(8):985-991, 2016.
- 2) Funayama A, Mikami T, Niimi K, Kano H, Nikkuni Y, Yamazaki M, Kobayashi T: *Electron Probe Microanalysis of Exogenous Pigmentation of Oral Mucosa Originating from Dental Alloy: Two Case Reports. Open Journal of Stomatology* 6(4):120-126,

marrow-derived mesenchymal stem cells and elicits bone regeneration. *Cell Prolif*, in press, 2017. DOI: 10.1111/cpr.12333.

- 12) Ogata K, Katagiri W, Hibi H: Secretomes from mesenchymal stem cells participate in the regulation of osteoclastogenesis in vitro. *Clin Oral Investig*, in press, 2016.
- 13) 小林正治: 顎矯正手術の周術期管理. *日口腔外会誌* 62(11): 1-7 頁, 2016.
- 14) 柴田哲伸, 金丸祥平, 橋詰正夫, 細尾麻衣, 五島秀樹, 清水 武: 舌下腺腫瘍との鑑別に苦慮した口底線維脂肪腫の1例. *日口腔科会誌* 65(3): 264-269 頁, 2016.
- 15) 加藤祐介, 三上俊彦, 船山昭典, 新美奏恵, 田中礼, 林 孝文, 小林正治: 著しい開口障害をきたした両側筋突起過形成症の1例. *日顎変形会誌* 26(3): 214-219 頁, 2016.
- 16) 小島 拓, 長谷部大地, 加藤祐介, 倉部華奈, 船山昭典, 新美奏恵, 加納浩之, 齊藤力, 小林正治: 顎矯正手術後に末梢性顔面神経麻痺を生じた5例. *日顎変形会誌* 26(3): 237-242 頁, 2016.
- 17) 長谷部大地, 須田大亮, 浅井佑介, 小島 拓, 加藤祐介, 小林正治: 新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野における48年間の顎矯正手術の臨床的検討. *日顎変形会誌* 26(4): 266-274 頁, 2016.
- 18) 小島 拓, 加藤祐介, 船山昭典, 三上俊彦, 倉部華奈, 原 省司, 朝日藤寿一, 八巻正樹, 齋藤功, 小林正治: 著しい長顔を呈する顎変形症患者に対し馬蹄形骨切り併用 Le Fort I 型骨切り術を施行した1例. *新潟歯会誌* 46(1): 21-26 頁, 2016.
- 19) 小林正治: 外科的矯正治療が顎変形症患者の quality of life に及ぼす影響. *新潟歯会誌* 46(2): 57-68 頁, 2016.
- 20) 船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 小田陽平, 新美奏恵, 芳澤享子, 新垣 晋, 小林正治: 下顎歯肉扁平上皮癌の臨床的検討. *新潟歯会誌* 46(2): 77-82 頁, 2016.
- 21) 船山昭典, 三上俊彦, 長谷部大地, 芳澤享子, 小林正治: ツキノワグマによる下顎骨粉碎骨折の1例. *口腔顎顔面外傷* 15: 32-37 頁, 2016.
- 22) 中條智恵, 横林康男, 浅井佑介, 齋藤直朗, 五十嵐登: 乳児に生じた口腔内電撃傷の1例. *富山中病医誌* 39(3-4): 56-58 頁, 2016.
- 23) 横林康男, 中條智恵, 浅井佑介, 齋藤直朗: 下顎第三大臼歯埋伏歯抜歯後に生じた舌神経麻痺の1例. *富山中病医誌* 39(3-4): 59-60 頁, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 小田陽平, 藤井規孝, 小野和弘: 診療参加型歯科臨床実習における学習効果の可視化—e ポートフォリオの開発—. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 26350270, 2016.
- 2) 片桐 渉: iPS 細胞由来液性パラクライン因子による骨再生医療の開発. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 15K11213, 2016.
- 3) 小島 拓: 間葉系幹細胞の移植後動態と骨再生能の解析—骨髄と脂肪組織の比較—. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 26463060, 2016.
- 4) 長谷部大地, 小林正治, 小島 拓: 上顎骨移動術が鼻腔形態ならびに鼻腔通気度に及ぼす影響を解明する. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 15K11238, 2016.
- 5) 三上俊彦: 口腔粘膜で癌特性を司るケラチン 17 : mTOR シグナル経路を介した発癌機構の解析. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)*, 26861706, 2016.
- 6) 片桐 渉: 腫瘍切除等顎骨欠損症例に対し、予後 QOL 向上に向けた顎骨再生医療法の最適化研究. *日本医療研究開発機構, 橋渡し研究加速ネットワークプログラム*, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Kobayashi T: Japan Session: Orthognathic surgery“Risk factors for progressive condylar resorption following orthognathic surgery”. 23rd European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery Congress, London, 9/13-16, 2016.
- 2) Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on quality of life in patients with jaw deformities. 2016 Annual Congress of ROC Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Taipei Taiwan 3/4-5, 2017.
- 3) 小林正治: シンポジウム3「顎矯正手術後の骨格安定度を科学する」顎矯正手術後の顎骨安定度に影響を及ぼす要因. 第70回日本口腔科学会学術集会, 福岡, 2016年4月15-17日, 同プログラム・抄録集: 99 頁, 2016.
- 4) 小林正治: ランチョンセミナー「外科的矯正治療におけるトラブルを考える」. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2015年6月23日, *日顎変形会誌* 26(2): 191-192 頁, 2016.
- 5) 小林正治: シンポジウム「逆カントを呈する顔面非対称症例への対応」顔面非対称症例の診断と逆カント症例に対する手術計画の立案. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2015年6月23

- 日, 日顎変形会誌 26(2): 77-83 頁, 2016.
- 6) 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院の将来ビジョンと医科歯科連携. 睦水会講演会, 新潟, 2016年8月25日.
 - 7) 小林正治: 睡眠歯科研究: 最近のトピックス「睡眠呼吸障害に対する歯科的アプローチ」. 日本睡眠歯科学会第15回学術集会, 東京, 2016年11月12-13日, 睡眠口腔医学 3(1): 61 頁, 2016.
 - 8) 片桐 渉, 清水 忍, 大杉将嗣, 若山有紀子, 坂口晃平, 鶴田剛士, 渡邊純奈, 日比英晴: 再生医療等安全性確保法に基づく先進医療Bの顎骨再生医療臨床試験実施体制の構築. 公募 Workshop4 再生医療の臨床研究, 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016年11月25日. 同プログラム・抄録集: 138 頁, 2016.
 - 9) 小林正治: いびきは万病のもと? 「睡眠呼吸障害とその治療」. 南魚沼市立病院群40周年記念 市民公開講座, 南魚沼市, 2016年12月17日.
 - 10) 小林正治: 顎変形症に対する外科的矯正治療が quality of life に及ぼす影響. 六華会(新潟大学歯学部同窓会富山県支部)講演会, 富山, 2017年2月18日.
- 【学会発表】**
- 1) Yoshizawa M, Koyama T, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T: Tissue-engineered oral mucosa fabricated with oral keratinocytes-enriched population of small-sized progenitor/stem cells maintains a high potential of oral mucosal regeneration after grafting in mice. The 57th Congress of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Gunsan Korea, 4/22-24, 2016.
 - 2) Suda D, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T: The relation between bone strength and mandibular condylar resorption following mandibular distraction in a rat model. 23rd European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery Congress, London, 9/13-16, 2016.
 - 3) Katagiri W, Watanabe J, Toyama N, Sakaguchi K, Sugimura-Wakayama-Y, Osugi M, Kojima T, Kobayashi T: Translational research for bone regeneration by the conditioned medium from mesenchymal stem cells after maxillary sinus floor elevation. The 55th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Gwangju Korea, 11/4-6, 2016.
 - 4) Kojima T, Kurabe K, Kato Y, Hasebe D, Takatsuji H, Katagiri W, Saito I, Kobayashi T: A questionnaire study after orthognathic surgery in patients with jaw deformities. The 55th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Gwangju Korea, 11/4-6, 2016.
 - 5) Arai Y, Raymond S, Takashima M, Kojima T, Kobayashi T: Vertical distraction osteogenesis of reconstructed mandible for dental implant rehabilitation: A report of 5 cases. 12th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery, Manila Philippines, 11/9-12, 2016.
 - 6) Suda D, Ohazama A, Maeda T: The relationship of condylar bone resorption with bone mass and architecture after rat mandibular distraction. Collaborative Symposium Faculty of Dentistry Prince of Songkla University-Niigata University, Koh Samui Thailand, 1/11-13, 2017, program book: 17, 2017.
 - 7) 長谷部大地, 須田大亮, 原 太一, 浅井佑介, 小島 拓, 加藤祐介, 小林正治: 新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野における48年間の顎矯正手術の臨床的検討. 第70回日本口腔科学会学術集会, 福岡, 2016年4月15-17日, 同プログラム・抄録集: 199 頁, 2016.
 - 8) 深井真澄, 大湊 麗, 児玉泰光, 永田昌毅, 今井信行, 小野和宏, 小林正治, 高木律男: 口蓋裂患者における口蓋裂言語の心理的受容過程. 第70回日本口腔科学会学術集会, 福岡, 2016年4月15-17日, 同プログラム・抄録集: 224 頁, 2016.
 - 9) 長谷部大地, 須田大亮, 浅井佑介, 小島 拓, 加藤祐介, 小林正治: 新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座組織再建口腔外科学分野における48年間の顎矯正手術の臨床的検討. 第49回新潟歯学会総会, 新潟, 2016年4月23日, 新潟歯学会誌 46(1): 50 頁, 2016.
 - 10) 丹原 惇, 高橋功次朗, 市川佳弥, 朝日藤寿一, 森田修一, 児玉泰光, 高木律男, 小林正治, 齋藤功: 矯正単独で最終咬合治療を行った完全唇顎口蓋裂の第Ⅱ期治療に関する調査. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 大阪, 2016年5月26-27日, 同プログラム・抄録集: 136 頁, 2016.
 - 11) 船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 芳澤享子, 新垣 晋, 小林正治: 口腔癌患者における同時性重複癌の臨床的検討. 第40回日本頭頸部癌学会, 大宮, 2015年6月3-6日, 頭頸部癌 42(2): 252 頁, 2016.
 - 12) 大倉直人, 枝並直樹, 竹内亮祐, 遠間愛子, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 小田陽平, 興地隆史: 培養ヒト歯髓に対する prostaglandin EP2 レセプターアゴニストの影響. 第144回日本歯科保存学会2016年度春季学術大会, 宇都宮, 2016年6月9-10日.

- 13) 坂口晃平, 片桐 渉, 大杉将嗣, 酒井 陽, 若山有紀子, 鶴田剛士, 日比英晴: 幹細胞由来培養上清を模した成長因子混合剤による新たな歯周組織再生法. 第37回日本炎症・再生医学会, 京都, 2016年6月16-17日, 同プログラム・抄録集: 37頁, 2016.
- 14) 金丸祥平, 芳澤享子, 船山昭典, 池真樹子, 阿部達也, 林 孝文, 朔 敬, 小林正治: 残留した残根が顎骨内を深部へ移動した1例. 第42回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 山形, 2016年6月18-19日, 同プログラム・抄録集: 47頁, 2016.
- 15) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における脳頭蓋底の三次元形態分析. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2015年6月24-25日, 日顎変形会誌 26(2): 141頁, 2015.
- 16) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次朗, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における顎矯正手術前後の正貌硬組織変化と正貌輪郭変化の関係. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2015年6月24-25日, 日顎変形会誌 26(2): 141頁, 2015.
- 17) 小林正治, 加藤祐介, 新美奏恵, 長谷部大地, 池元太郎, 齋藤 功: 馬蹄形 Le Fort I 型骨切り術による上顎骨後方移動術. 第26回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2015年6月24-25日, 日顎変形会誌 26(2): 122頁, 2015.
- 18) 小田陽平, 小野和宏, 藤井規孝, 小林正治, 前田健康: 診療参加型歯科臨床実習におけるweb公開型eポートフォリオ第3報 記述内容の質的分析の試み一. 第35回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 大阪, 2016年7月1-2日.
- 19) 西山秀昌, 池真樹子, 小田陽平, 林 孝文: HTML5+JavaScript+CGI を利用した画像診断演習システム(HNImage2). 第35回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 大阪, 2016年7月1-2日.
- 20) 須田大亮, 大峯 淳, 前田健康, 小林正治: ラット下顎骨延長モデルにおける下顎頭吸収と骨質の関連性について. 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2016年7月9日, 新潟歯会誌 46(2): 109頁, 2016.
- 21) 深井真澄, 大湊 麗, 児玉泰光, 永田昌毅, 今井信行, 小野和宏, 小林正治, 高木律男: 口蓋裂患者における口蓋裂言語の心理的受容過程. 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2016年7月9日, 新潟歯会誌 46(2): 110頁, 2016.
- 22) 小島 拓, 加藤祐介, 長谷部大地, 三上俊彦, 芳澤享子, 小林正治: 顎骨区域切除術における三次元立体モデルを用いて作製したサージカルガイドの有用性. 日本形成外科学会関東支部第100回新潟地方会, 新潟, 2016年7月9日.
- 23) 加藤祐介, 林 孝文, 三上俊彦, 高辻・紘之, 新美奏恵, 小林正治: 顎関節症状を初発とした乾癆性顎関節炎の1例. 第29回日本顎関節学会総会・学術大会, 神奈川, 2016年7月17-18日, 日顎関節会誌 28(Suppl): 140頁, 2016.
- 24) 新美奏恵, 長谷部大地, 船山昭典, 三上俊彦, 小林正治: 顎顔面に多発開放骨折を伴った交通外傷の1例. 第18回日本口腔顔面外傷学会総会・学術大会, 東京, 2016年7月31日, 同プログラム・抄録集: 79頁, 2016.
- 25) 魚島勝美, 星名秀行, 山田一穂, 小川 信, 清水太郎, 上松晃也, 荒井良明, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部開設後の治療実績:10年間の外来および入院患者. 第46回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2016年9月16-18日.
- 26) 新美奏恵, 芳澤享子, 林 孝文, 小林正治: 関節リウマチ患者に発症した舌難治性潰瘍の一例. 第26回日本口腔内科学会学術大会 第29回日本口腔診断学会 合同学術大会, 岡山, 2016年9月23-24日. 日口腔内科学誌 22(2): 152頁, 2016
- 27) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 小田陽平, 興地隆史: 培養ヒト歯髓に対する prostaglandin EP4 レセプターアゴニストの影響. 第23回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016年10月21-23日.
- 28) 浅井佑介, 長谷部大地, 小島 拓, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が鼻腔咽頭気道に及ぼす影響について. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, 新潟歯会誌 46(2): 119頁, 2016.
- 29) 齋藤直朗, 横林康男, 中條智恵: 用水路転落により受傷した顔面多発骨折の一例. 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2016年11月5日, 新潟歯会誌 46(2): 120頁, 2016.
- 30) 新島綾子, 森田修一, 高橋功次朗, 丹原 惇, 池田順行, 小林正治, 齋藤 功: クラスタ分析による骨格性下顎前突症例における正貌パターンの分類. 第75回日本矯正歯科学会学術大会, 徳島, 2016年11月7-9日.
- 31) 高辻紘之, 長谷部大地, 三上俊彦, 高橋哲哉, 下畑享良, 小林正治: 喉頭軟化症を伴う多系統萎縮症患者の睡眠呼吸障害に対する口腔内装置治療. 日本睡眠歯科学会第15回学術集会, 東京, 2016年11月12-13日, 睡眠口腔医学 3(1): 74頁, 2016.

- 32) 須田大亮, 齋藤直朗, 小林正治: 下顎骨延長モデルラットを用いた下顎骨吸収と骨質の関連性の検討. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 62(Suppl): 162 頁, 2016.
- 33) 横林康男, 中條智恵, 齋藤直朗: 下顎第三大臼歯埋伏歯抜歯後に生じた舌神経麻痺の 1 例. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 62(Suppl): 170 頁, 2016.
- 34) 鶴田剛士, 片桐 渉, 大杉将嗣, 酒井 陽, 若山有紀子, 坂口晃平, 渡邊純奈, 日比英晴: ラット末梢生嚙下障害モデルにおける乳歯歯髓幹細胞由来成長因子による治療効果の検討. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 62(Suppl): 191 頁, 2016.
- 35) 坂口晃平, 片桐 渉, 大杉将嗣, 酒井 陽, 若山有紀子, 鶴田剛士, 渡邊純奈, 日比英晴: 骨髄由来間葉系幹細胞由来培養上清を模倣した成長因子混合剤による歯周組織再生. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 62(Suppl): 248 頁, 2016.
- 36) 三上俊彦, 船山昭典, 金丸祥平, 小田陽平, 新美奏恵, 小林正治: 当科における舌扁平上皮癌 Stage I-II 症例の臨床病理学的検討. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 62(Suppl): 284 頁, 2016.
- 37) 新美奏恵, 小島 拓, 長谷部大地, 小林正治: 顎矯正手術に使用した吸収性プレートに遅延性の炎症反応を認めた 2 例. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 62(Suppl): 353 頁, 2016.
- 38) 齋藤直朗, 小島 拓, 須田大亮, 原 夕子, 芳澤亨子, 小林正治: 骨分化誘導と低酸素処理併用によるラット間葉系細胞の多面的骨誘導能促進効果の検討. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 幕張, 2016 年 11 月 25-27 日, 日口腔外会誌 290(Suppl): 162 頁, 2016.
- 39) 高田寛子, 小田陽平, 三上俊彦, 金丸祥平, 船山昭典, 小林正治: 下顎骨関節突起骨折～当科における 10 年間の臨床統計. 日本形成地方会関東支部第 101 回新潟地方会, 新潟, 2016 年 12 月 2 日.
- 40) 長谷部大地, 小島 拓, 荒井良明, 小林正治: 顎顔面変治骨折に対して顎矯正手術とインプラント治療により咬合と審美性を回復した 1 例. 第 20 回顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 12 月 3-4 日, Jpn J Maxillo Facial Implants 15(3): 220 頁, 2016.
- 41) 上松晃也, 星名秀行, 山田一穂, 小川 信, 永田昌毅, 長谷部大地, 荒井良明, 高木律男, 小林正治, 魚島勝美: 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部における骨造成の臨床的検討. 第 20 回顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 12 月 3-4 日, Jpn J Maxillo Facial Implants 15(3): 224 頁, 2016.
- 42) 三上俊彦, 船山昭典, 金丸祥平, 小田陽平, 山崎学, 丸山 智, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治: 前舌腺に発生した腺癌 NOS の 1 例. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡, 2017 年 1 月 26-27 日, 同学術集会プログラム集: 174 頁, 2017.
- 43) 船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 新美奏恵, 小田陽平, 小林正治: 当科における口腔癌 T4 症例の臨床的検討. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡, 2017 年 1 月 26-27 日, 同学術集会プログラム集: 184 頁, 2017.
- 44) 竹内涼子, 長谷部大地, 荒井良明, 小林正治: 顎顔面変治骨折症例に対する外科的矯正治療. 日本形成地方会関東支部第 102 回新潟地方会, 新潟, 2017 年 2 月 3 日.
- 45) 鶴田剛士, 片桐 渉, 大杉将嗣, 酒井 陽, 若山有紀子, 坂口晃平, 渡邊純奈, 日比英晴: ラット末梢生嚙下障害モデルにおける乳歯歯髓幹細胞由来成長因子による治療効果の検討. 第 16 回日本再生医療学会総会, 宮城, 2017 年 3 月 7 日.

【研究会発表】

- 1) 原 太一: 顎下部腫脹を契機に悪性リンパ腫が判明した 1 症例. 第 78 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2016 年 5 月 12 日.
- 2) 小田陽平, 三上俊彦, 金丸祥平, 船山昭典, 小林正治: 悪性リンパ腫と口底上皮内癌の同時性重複の 1 例. 第 76 回新潟癌治療研究会, 新潟, 2016 年 7 月 23 日.
- 3) 内川恵里: 顎矯正手術の周術期管理に苦慮した Treacher-Collins 症候群患者の一例. 第 79 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2016 年 11 月 17 日.
- 4) 片桐 渉: 腫瘍切除等顎骨欠損症例に対し、予後 QOL 向上に向けた顎骨再生医療法の最適化研究. 革新的医療技術創出拠点プロジェクト 平成 28 年度成果報告会, 東京, 2017 年 3 月 3 日.

【受賞】

- 1) Kojima T: A questionnaire study after orthognathic surgery in patients with jaw deformities. The 55th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons Outstanding poster,

11/4-6, 2016.

- 2) 小島 拓: 熱可塑性吸収性プレートと β -TCPによる骨再生の評価. 第16回日本口腔外科学会学術奨励賞, 2016年11月25日.

【その他】

- 1) 片桐 渉: 骨再生医療の基礎と臨床～トランスレーショナル・リサーチの到達点～. 大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第二教室同窓会, 大阪, 2016年4月16日.
- 2) 片桐 渉: 薬剤関連顎骨壊死とその実態～留意すべき薬剤とそのメカニズム～. 名古屋市昭和区医師会学術講演会, 名古屋, 2016年5月14日.
- 3) 小田陽平: 抗がん剤治療における口腔ケア 第2回「がん手術と口腔ケア」. 平成28年度新潟大学ラジオ公開講座, 新潟, 2017年2月26日.
- 4) 加藤祐介: 抗がん剤治療における口腔ケア 第3回「抗がん剤治療における口腔ケア」. 平成28年度新潟大学ラジオ公開講座, 新潟, 2017年3月5日.

顎顔面放射線学分野

【論文】

- 1) Katsura K, Soga M, Abe E, Matsuyama H, Aoyama H, Hayashi T: Effects of casein phosphopeptide-amorphous calcium phosphate with sodium fluoride on root surface conditions in head and neck radiotherapy patients. *Oral Radiol.*, 32:105-110, 2016.
- 2) Nishino K, Kohara A, Yakita A, Ochi K, Hayashi T, Takagi R, Kobayashi T, Terada K, Saito I: Three-dimensional analysis of facial changes in skeletal Class III patients following mandibular setback surgery. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol.*, 28(6):481-487, 2016.
- 3) Katsura K, Utsunomiya S, Abe E, Sakai H, Kushima N, Tanabe S, Yamada T, Hayakawa T, Yamanoi Y, Kimura S, Wada S, Aoyama H, Hayashi T: A study on a dental device for the prevention of mucosal dose enhancement caused by backscatter radiation from dental alloy during external beam radiotherapy. *J Radiat Res.*, 57(6):709-713, 2016.
- 4) Saito D, Mikami T, Oda Y, Hasebe D, Nishiyama H, Saito I, Kobayashi T: Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties, and bone metabolic markers in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg.*, 45(8):985-91, 2016.
- 5) Singaki M, Nikkuni Y, Katsura K, Ikeda N, Maruyama S, Takagi R, Hayashi T: Clinical significance of intraoral strain elastography for diagnosing early-stage tongue carcinoma: a preliminary study. *Oral Radiol.*, 2016, in press.
- 6) Kasahara N, Tanaka R, Hayashi T, Kenmotsu S, Ohshima H: The relationship between a maxillary sinus and superior alveolar nerves and vessels demonstrated by cone-beam CT combined with m-CT and histological analyses. *Anat Rec (Hoboken).*, 299(5):669-678, 2016.
- 7) Hayashi-Sakai S, Hayashi T, Sakamoto M, Sakai J, Shimomura-Kuroki J, Nishiyama H, Katsura K, Ike M, Nikkuni Y, Nakayama M, Soga M, Kobayashi T: Nondestructive microcomputed tomography evaluation of mineral density in exfoliated teeth with hypophosphatasia. *Case Reports in Dentistry.*, 2016, in press.
- 8) Ike M, Hayashi T: An urgent need for radiation protection education and dose assessment in the dental field. *Radiation Environment and Medicine*, 2017, in press.
- 9) 坂井幸子, 坂本 信, 林 孝文, 坂井 淳, 下村-黒木淳子, 梨田智子: マイクロCTによる脱落歯のミネラル密度評価-低フォスファターゼ症例への応用-. *実験力学* 16(2), 2016.
- 10) 曾我麻里恵, 後藤早苗, 田中恵子, 中井恵美, 千葉 香, 勝良剛詞: 造血幹細胞移植治療に伴う口腔粘膜炎に対する Systematic Oral Management の有効性の後ろ向き研究. *日本口腔ケア学会雑誌* 11:8-11, 2016.
- 11) 堀内 悟, 小林太一, 池 真樹子, 田中 礼, 林 孝文: 超音波による舌骨の下顎頭との同時動態評価法の試み-睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の効果判定を目指して-. *歯科放射線* 56(2), 2016.
- 12) 星名由紀子, 林 孝文: ステロイド性骨粗鬆症に投与されたデノスマブの関与が考えられた顎骨骨髄炎の1例. *日本口腔診断学会雑誌* 30(2), 2017.
- 13) 林 孝文: 浸潤と転移の早期画像診断-超音波口腔内走査における舌癌の浸潤先端と頸部リンパ節転移へのCT灌流画像の応用について-. *日口外誌* 63(2):58-61, 2017.

【商業誌】

- 1) 勝良剛詞: がんと口腔ケア Q19 頭頸部がんの放射線治療を行うにあたって, 放射線治療前から治療中,

治療後の一連における口腔ケアについて教えてください。続5疾病の口腔ケア プロフェッショナルな実践のための Q&A55 pp.73-76, 2016.

- 2) 勝良剛詞, 本間俊子, 河野美奈子, 中村早苗: 頭頸部放射線療法を受ける患者へのオーラルマネジメント. 岸本裕充編, がん患者のオーラルマネジメントー「きれい」だけではなく「食べる」も目指してー. がん看護 21(3):336-342, 2016.
- 3) 林 孝文: 歯科におけるエラストグラフィの臨床応用. 坂本 信編, 特集・歯科バイオメカニクス. 非破壊検査 65(4):158-162, 2016.
- 4) 坂本 信, 小林公一, 坂井幸子, 遠藤英昭: 三次元歯軸の自動決定法. 坂本 信編, 特集・歯科バイオメカニクス. 非破壊検査 65(4):163-168, 2016.
- 5) 勝良剛詞: 頭頸部放射線治療の歯科支持療法. がん患者の口腔マネジメントテキストー看護師がお口のことで困ったらー pp.138-150, 2016.
- 6) 林 孝文: 歯科医学生への放射線学教育と防護. 第37回「医療放射線の安全利用」フォーラム: 歯科領域の医療放射線の利用と防護. 第II部 パネルディスカッション. 医療放射線防護 75:22-24, 2016.
- 7) 林 孝文: [超音波診断各論] 顎関節. 特集・超音波検査ハンドブック. JOHNS (Journal of Otolaryngology, Head and Neck Surgery) 32(10):1469-1472, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 勝良剛詞: 3次元線量分布解析システムを用いた金属修復物とスパーサーの線量分布への影響の解明. 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)), 24592830, 2016.
- 2) 坂井幸子(林 幸子): μ CTによるエナメル質・象牙質 MD 定量解析シズとなる新規ファントムの開発. 学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)), 26462835, 2016.
- 3) 林 孝文: 舌エコーで舌初期癌の治療戦略を変える. 学術研究助成基金助成金(挑戦的萌芽研究), 15K15692, 2017.
- 4) 林 孝文: ADCT 灌流画像による頸部転移リンパ節の早期診断. 平成 28 年度新潟大学歯学総合病院臨床研究サポート事業経費, 2017.
- 5) 池 真樹子: 摂食嚥下障害の評価へ向けた超音波検査による顎口腔領域サルコペニア指標の確立. 学術研究助成基金助成金(若手(B)), 15K20383, 2017.
- 6) 勝良剛詞: がん患者が均質で高い質の口腔支持療法を受けることが可能になる均てん化支援ツールの開発. 公益財団法人 がん研究復興財団 がんサバイバーシップ研究助成金(一般研究課題), 2017.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 林 孝文: 舌癌原発巣の画像診断. 悪性腫瘍セッション「舌癌原発切除を考える」, 第2回冬期口腔外科臨床研究会・東北, 山形, 2017年3月3日.

【学会発表】

- 1) Utsunomiya S, Kushima N, Katsura K, Tanabe S, Hayakawa T, Yamada K, Sakai H, Takahashi H, Abe E, Wada S, Aoyama H: Monte Carlo calculations to establish a simple relation of backscatter dose enhancement around high-Z dental alloy to its atomic number. 58th AAPM Annual Meeting & Exhibition, Washington DC, USA, July 31-August 4, 2016.
- 2) Nakayama M, Kobayashi T, Soga M, Ike M, Hayashi T: The detectability of the anterior disc displacement in the temporomandibular joint on CT. The 11th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology, Chiang Mai, Thailand, November 10-12, 2016.
- 3) Kobayashi T, Katsura K, Nakayama M, Nikkuni Y, Ito K, Hayashi T: A study on ultrasonographic diagnosis criteria for Sjögren's syndrome. The 11th Asian Congress of Oral and Maxillofacial Radiology, Chiang Mai, Thailand, November 10-12, 2016.
- 4) 大貫尚志, 児玉泰光, 勝見祐二, 西川 敦, 黒川 亮, 木口哲, 阿部 達也, 程 珺, 林 孝文, 高木律男: Le Fort I型骨切り術後に生じた正中上顎骨嚢胞の1例. 第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 福岡, 2016年4月16-17日.
- 5) 小林太一, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 坂井幸子, 中山美和, 池 真樹子, 新國 農, 西山秀昌, 伊藤加代子, 林 孝文: シェーグレン症候群の超音波診断基準に関する検討. NPO法人日本歯科放射線学会第57回学術大会・第13回定例総会, 大阪, 2016年6月18-19日.
- 6) 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における脳頭蓋底の三次元形態分析. 第26回NPO法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016年6月24-25日.
- 7) 阿部 遼, 福井忠雄, 坂上 馨, 林 孝文, 齋藤 功: 嚥下時舌機能評価における超音波断層法の有用性. 第26回NPO法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016年6月24-25日.
- 8) 西山秀昌, 池 真樹子, 小田陽平, 林 孝文:

HTML5 + JavaScript + CGI を利用した画像診断演習システム (HNImage2). 第 35 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 吹田, 2016 年 7 月 1-2 日.

- 9) 新國 農, 大貫尚志, 池真樹子, 西山秀昌, 林 孝文: 歯周炎が原因と示唆され、外側翼突筋に膿瘍形成みられた 1 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 223 回関東地方会・第 36 回北日本地方会第 24 回合同地方会, 札幌, 2016 年 7 月 2 日.
- 10) 新美奏恵, 芳澤享子, 林 孝文, 小林正治: 関節リウマチ患者に発症した舌難治性潰瘍の 1 例. 第 26 回日本口腔内科学会・第 29 回日本口腔診断学会合同学術大会, 岡山, 2016 年 9 月 22-24 日.
- 11) 林 孝文, 小林太一, 新垣元基, 中山美和, 新國農, 勝良剛詞: 口腔粘膜早期癌の診断 T1・T2 早期舌癌の超音波診断. 第 23 回日本歯科医学会総会分科会プログラム, 福岡, 2016 年 10 月 21-23 日.
- 12) 西山秀昌, 小林太一, 坂井幸子, 中山美和, 新國農, 池 真樹子, 林 孝文: デンタルエックス線画像と比較した歯科用コーンビーム CT での根管内容物の描出能について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 21 回臨床画像大会, 東京, 2016 年 10 月 28-30 日.
- 13) 池 真樹子, 小林太一, 黒川 亮, 坂井幸子, 中山美和, 新國 農, 西山秀昌, 高木律男, 林 孝文: 単純 CT において脳底動脈の圧迫による三叉神経痛が疑われた 1 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 21 回臨床画像大会, 東京, 2016 年 10 月 28-30 日.
- 14) 中山美和, 小林太一, 曾我麻里恵, 坂井幸子, 新國 農, 池 真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林 孝文: 顎関節円板前方転位の CT 診断. NPO 法人日本歯科放射線学会第 21 回臨床画像大会, 東京, 2016 年 10 月 28-30 日.
- 15) 勝見祐二, 児玉泰光, 結城龍太郎, 西川 敦, 新垣元基, 林 孝文, 高木律男: 下顎埋伏智歯周囲の骨質と骨密度が抜歯術後の知覚異常に及ぼす影響, 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2016 年 11 月 25-27 日.
- 16) 武石越郎, 齋藤大輔, 本間克彦, 林 孝文: 舌下腺に発生した多形腺腫の 1 例. 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2016 年 11 月 25-27 日.
- 17) 林 孝文: 頭頸部の超音波診断法 頸部リンパ節・舌粘膜, NPO 法人日本歯科放射線学会教育研修会第 27 回実技研修会, 東京, 2016 年 11 月 27 日.
- 18) 西山秀昌, 小林太一, 坂井幸子, 中山美和, 新國農, 池 真樹子, 林 孝文: 歯科用コーンビーム CT にて太く描出される根管充填剤について. 第

119 回新潟臨床放射線学会, 新潟, 2016 年 12 月 10 日.

- 19) 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 中山美和, 松山 洋, 中井恵美, 田中恵子, 塚田しげみ, 林 孝文: 頭頸部放射線治療後の味覚異常と口腔乾燥症の経過に関する研究. 日本がん口腔支持療法学会第 2 回学術大会, 静岡県駿東郡, 2016 年 12 月 17-18 日.
- 20) 林 孝文: 口腔癌取扱い規約の改訂における画像診断. ワークショップ「口腔癌取扱い規約」改訂についてのコンセンサスミーティング. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡, 2017 年 1 月 26-27 日.
- 21) 小玉直樹, 永田昌毅, 池田順行, 小山貴寛, 勝見祐二, 新垣元基, 原 夕子, 丸山 智, 山崎 学, 程 琺, 西山秀昌, 林 孝文, 星名秀行, 高木律男: 舌下腺に生じ予後不良の転帰を辿った唾液腺悪性腫瘍の 1 例. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡, 2017 年 1 月 26-27 日.
- 22) 三上俊彦, 船山昭典, 金丸祥平, 小田陽平, 山崎学, 丸山 智, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治: 前舌腺に発生した腺癌 NOS の 1 例. 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 福岡, 2017 年 1 月 26-27 日.

【受賞】

- 1) 小林太一, 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 坂井幸子, 中山美和, 池 真樹子, 新國 農, 西山秀昌, 伊藤加代子, 林 孝文: シェーグレン症候群の超音波診断基準に関する検討. NPO 法人日本歯科放射線学会優秀ポスター賞, NPO 法人日本歯科放射線学会第 57 回学術大会・第 13 回定例総会, 仙台, 2016 年 6 月 18 日.
- 2) 日本顎変形症学会優秀ポスター賞. 村上智子, 福井忠雄, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治, 高木律男, 齋藤 功: 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における脳頭蓋底の三次元形態分析. 第 26 回 NPO 法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2016 年 6 月 24-25 日.

歯科麻酔学分野

【著書】

- 1) 瀬尾憲司: AHA ガイドライン 2015 に沿った BLS の理解のために (単著), 1-67 頁, 医歯薬出版, 東京, 2016.
- 2) 瀬尾憲司: 様々な状況での鎮静・鎮痛 7 歯科, 216-226 頁 あらゆる場面で使える鎮静・鎮痛 Q&A, (安宅一晃 編) 羊土社, 東京, 2016
- 3) 瀬尾憲司: 痛みの測定・評価、口腔減免痛の診断と治療

ガイドブック 74-78 頁、(日本口腔顔面痛学会 編) 医歯薬出版、東京、2016

【研究費】

- 1) 瀬尾憲司: ヘッジホッグシグナル伝達系は末梢神経再生を誘導する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 15H05041, 2015-18.
- 2) 照光 真: 科学研究費 基盤研究(C) 15K11308 三叉神経障害性疼痛におけるマクロファージサブタイプ in vivo イメージング(2015~)
- 3) 倉田行伸: 科学研究費 基盤研究(C), 平成 28 年度~30 年度, 課題番号 16K11745, 研究代表者 倉田行伸, 下歯槽神経の神経障害性疼痛における神経虚血の関与 □MRA と NIRS での血流検索□.
- 4) 吉川博之: 科学研究費基盤研究(C), 平成 25 年度~平成 29 年度, 課題番号 25463132, 研究代表者 吉川博之, 舌神経断裂後の味覚受容機構の回復過程の解析
- 5) 佐藤由美子: 科学研究費基盤研究(C), 平成 28 年度 ~平成 30 年度, 課題番号 16K11746, 研究代表者 佐藤由美子, 口の痛みと意欲低下の関連 — 動物実験系の確立とエピジェネティクス修飾の可能性 —
- 6) 金丸博子: 科学研究費 若手研究(B) 平成 28 年度~平成 31 年度, 課題番号 15K20509, 研究代表者 金丸博子, 血管内皮増殖因子は末梢神経損傷後の神経再生に関与するか

【論文】

- 1) Seo K, Terumitsu M, Inada Y, Nakamura T, Shigeno K, Tanaka Y.: Prognosis After Surgical Treatment of Trigeminal Neuropathy with a PGA-c Tube: Report of 10 Cases. *Pain Med.* 2016 (12):2360-2368.
- 2) Terumitsu M, Matsuzawa H, Seo K, Watanabe M, Kurata S, Suda, A, Nakada T.: High-contrast-resolution Imaging of Posttraumatic Mandibular Nerve by 3DAC-PROPELLER MRI: Correlation with the Severity of Sensory Disturbance. *Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology and Oral Radiology*, 2017 (2017/2/25 Accepted, in press)
- 3) Terumitsu M, Hirahara M, Seo K.: Dissection of retropharyngeal tissue by Parker Flex-Tip? nasotracheal tube. *Anesthesia Progress* 2017 (2017/2/13 Accepted, in press)
- 4) Yoshikawa H, Yamada Y, Kurose M, Yamamura K, Maeda T, Seo K.: Peripheral Brain-Derived Neurotrophic Factor Modulates Regeneration Following Inferior Alveolar Nerve Injury in Rats. *J Oral Facial Pain Headache.* 2016 Fall;30(4):346-354, 2016.
- 5) Ida-Yonemochi H, Yamada Y, Yoshikawa H, Seo K.: Locally Produced BDNF Promotes Sclerotic Change in

Alveolar Bone after Nerve Injury., *PLoS One.* 2017 ;12(1):e0169201.

- 6) 倉田行伸, 田中 裕, 弦巻 立, 金丸博子, 瀬尾憲司: 当院における障害者(児)の歯科治療に対する静脈内鎮静法と日帰り全身麻酔の選択の傾向. *日本障害者歯科学会雑誌*, 38(1):74-79, 2017.
- 7) 池田順行, 小原彰浩, 弦巻立, 瀬尾憲司, 齋藤功, 高木律男: 顎矯正手術を行った筋緊張性ジストロフィーに伴う顎変形症の 1 例, *日本口腔外科学会雑誌*, 62(12): 612-617, 2016.

【講演会・シンポジウム】

- 1) 瀬尾憲司: 歯学教育における漢方医学習得の必要性和その諸問題. 第 35 回日本歯科医学教育学会、ランチョンセミナー, 大阪, 2016 年 7 月 1 日

【学会発表】

- 1) Yurie Yamada, Takeyasu Maeda, Atsushi Ohazama, Kenji Seo : Axonal regeneration requires activation of Sonic hedgehog signaling pathway in peripheral nerve injury, Annual meeting of society for neuroscience 2016 Nov.12-16 San Diego, US
- 2) Akiko Suda, Hitoshi Matsuzawa, Kiyotaka Suzuki, Kenji Seo, Makoto Terumitsu. Segregation of Fractions in the Peripheral Nerve from Diffusion Weighted Magnetic Resonance Imaging Data, Utilizing Two Multivariate Analyses. 16th World Congress on Pain of the International Association for the Study of Pain, Yokohama, Japan, September 26-30, 2016.
- 3) Akiko Suda, Makoto Terumitsu, Hitoshi Matsuzawa, Kiyotaka Suzuki, Kenji Seo. Detection of Peripheral Nerve Fractions from Diffusion Weighted Image Series Using Two Multivariate Analyses. 46th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, San Diego, U.S.A, November 12-16, 2016.
- 4) Yurie Yamada, Atsushi Ohazama, Takeyasu Maeda, Kenji Seo : Activation of Shh signal in Schwann cells regulates inferior alveolar nerve regeneration, International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Feb. 11-12 2017 Koh Samui, Thailand
- 5) 清野 洋, 布施克也, 穂坂路男, 清水夏恵, 吉峰文俊, 真島一郎, 田中 裕, 村松公美子, 村松芳幸, 成田一衛: うつ症状と糖尿病関連感情負担尺度 血糖コントロールの関係について, 第 57 回日本心身医学会総会, 2016 年 6 月 4-5 日, 仙台市, 心身医学, 56(6), 658, 2016.
- 6) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉峰文俊, 櫻井浩治: Pain

- DETECTによる口腔顔面痛患者の調査(第二報), 第57回日本心身医学会総会, 2016年6月4-5日, 仙台市, 心身医学, 56(6), 660, 2016.
- 7) 清水夏恵, 清野 洋, 真島一郎, 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 菊地利明: 女性労働者のバーンアウトと睡眠障害, 第57回日本心身医学会総会, 2016年6月4-5日, 仙台市, 心身医学, 56(6), 674, 2016.
- 8) 佐藤由美子, 照光 真, 瀬尾憲司, 園部里美, 渋沢幸子, 生駒美穂: 緩和ケアチームへの歯科麻酔医の参加とその効果について ~ 新潟大学医歯学総合病院での1年間の活動を通して ~, 第21回日本緩和医療学会学術大会, 京都, 2016年6月17日~6月18日, 第21回緩和医療学会学術大会抄録集: S374, 2016.
- 9) 平原三貴子, 田中裕, 倉田伸行, 照光真, 弦巻立, 吉川博之, 金丸博子, 佐藤由美子, 山田友里恵, 須田有紀子, 瀬尾憲司: 慢性炎症性脱髄性多発神経炎患者の上下顎骨形成術に対する全身麻酔経験. 第33回関東臨床歯科麻酔懇話会, 2016年6月25日, 東京都.
- 10) 須田有紀子, 照光真, 松澤等, 鈴木清隆, 瀬尾憲司: 2つの多変量解析を用いた下歯槽神経拡散強調画像の分画化, 新潟歯学会第一回例会, 2016年7月9日, 新潟市.
- 11) 平原三貴子, 瀬尾憲司: 延髄スライス標本における三叉神経脊髄路核尾側亜核内興奮伝達の光学的解析~カルシウムイメージングを用いて~. 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 2016年7月9日, 新潟市
- 12) 山田友里恵, 大峽淳, 前田健康, 瀬尾憲司: 下歯槽神経再生における Sonic Hedgehog シグナルの機能に関する検討, 平成28年度新潟歯学会第1回例会, 2016年7月9日, 新潟市.
- 13) 平原三貴子, 山田友里恵, 瀬尾憲司: 延髄スライス標本における三叉神経脊髄路核尾側亜核内興奮伝達の光学的解析~AMPA/kinate型グルタミン酸受容体とNMDA受容体の比較~. 第44回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2016年10月29-30日, 札幌市, 日本歯科麻酔学会誌, 44(4): 506, 2016.
- 14) 照光真, 吉川博之, 倉田行伸, 佐藤由美子, 山崎麻衣子, 須田有紀子, 瀬尾憲司: オペラント条件付けによる自発行動下ラットの疼痛関連行動の計測, 44回日本歯科麻酔学会学術集会, 2016年10月28-30日, 札幌, 日本歯科麻酔学会誌, 44(4), 507, 2016.
- 15) 倉田行伸, 照光 真, 須田有紀子, 田中 裕, 弦巻 立, 金丸博子, 吉川博之, 佐藤由美子, 平原三貴子, 山田友里恵, 瀬尾憲司: 頸部郭清術後に生じた舌の慢性疼痛に対して生体内神経再生治療の適応を検討した1症例. 第44回日本歯科麻酔学会, 2016年10月28日□10月30日, 札幌市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44(4), 516, 2016.
- 16) 田中 裕, 瀬尾憲司: Pain DETECTによる口腔顔面痛患者の特徴についての検討, 第44回日本歯科麻酔学会, 2016年10月28日□10月30日, 札幌市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44(4), 516, 2016.
- 17) 吉川博之, 弦巻 立, 倉田行伸, 照光 真, 田中 裕, 佐藤由美子, 金丸博子, 平原三貴子, 山田友里恵, 須田有紀子, 瀬尾憲司: 他院入院中の長期抗精神病薬服用患者の当院での全身麻酔下歯科治療経験, 第44回日本歯科麻酔学会総会, 2016年10月28-30日, 札幌市, 日本歯科麻酔学会誌 44(4): 528, 2016.
- 18) 金丸博子, 照光真, 田中裕, 弦巻立, 倉田行伸, 吉川博之, 佐藤由美子, 小玉由記, 山崎麻衣子, 須田有紀子, 平原三貴子, 山田友里恵, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院における歯科外来手術室新設後の全身管理症例の状況, 第44回日本歯科麻酔学会学術集会, 2016年10月28~30日, 札幌市, 日本歯科麻酔学会誌, 44(4): 557, 2016.
- 19) 佐藤由美子, 照光 真, 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 吉川博之, 須田有紀子, 平原三貴子, 山田友里恵: 新潟大学医歯学総合病院における口腔癌患者への歯科麻酔科医師の緩和ケア介入経験, 第44回日本歯科麻酔学会学術集会, 札幌, 2016年10月28日~10月30日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 44(4): 589, 2016.
- 20) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉峰文俊, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔顔面領域の疼痛評価に関する検討(第二報), 第21回日本心療内科学会総会, 2016年12月3~4日, 奈良市, 日本心療内科学会雑誌, 20, 別冊, 98, 2016.

【研究会発表】

- 1) 弦巻 立: 笑気吸入鎮静時に痙攣と意識消失発作を起こした一例, 第78回新潟口腔外科歯科麻酔科集談会, 2016年5月12日, 新潟市.
- 2) 照光 真: 神経障害性疼痛に対する外科的治療、適応は? 頸部郭清術後に生じた舌の慢性疼痛に生体内神経再生治療の適応を検討した1症例, 新潟疼痛懇話会症例検討会, 2017年3月2日, 新潟市.
- 3) 西田洋平: 障害者への経鼻挿管で Parker Flex-Tip® が咽頭粘膜に迷入した1症例, 第79回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2016年11月17日, 新潟市.

【社会貢献、教育、など】

- 1) 瀬尾憲司: 新潟リハビリテーション大学講義(学外講義), 「医療安全学」, 2016年9月~12月
- 2) 瀬尾憲司, 照光 真: 平成27年度新潟大学歯学部海外医療支援事業(ミャンマー, ヤンゴン歯科大学), 2016年12月19~23日.
- 3) 照光 真: 平成28年度第2回共用試験歯学系 OSCE 外

部評価者養成ワークショップ(ワークショップ□)外科系課題新潟大学歯学部開催 実務責任者 2016年 7月 23～24日, 2016.

- 4) 田中 裕:新潟リハビリテーション大学大学院講義(学外講義),「リスク管理学」,2016年5月～7月.
- 5) 弦巻 立:佐渡看護専門学校講義(学外講義),「麻酔学」「薬理学」,2016年5月～10月.
- 6) 弦巻 立:国際メディカル専門学校講義(学外講義),「麻酔学」「薬理学」,2016年4月～11月.
- 7) 佐藤由美子:平成 28 年度 新潟大学歯学部総合病院緩和ケア研修会 ファシリテーター,2017年3月12日,新潟市.

【資格取得 など】

- 1) 照光 真:日本口腔顔面痛学会主催 口腔顔面痛ベータセミナー修了,日本口腔顔面痛学会,東京都,2016年月25日.
- 2) 照光 真:日本口腔顔面痛学会主催 口腔顔面痛診断実習セミナー修了,日本口腔顔面痛学会,東京都,2016年7月6日
- 3) 田中 裕:日本シミュレーション学会主催第146回CVC実施セミナー修了(CVC146-007),2017年2月11日,新潟市.
- 4) 弦巻 立:日本歯科麻酔学会歯科麻酔専門医取得(第349号),2016年7月1日.
- 5) 倉田行伸:日本歯科麻酔学会歯科麻酔専門医取得(第357号),2016年7月1日.
- 6) 平原三貴子:平成28年度日本歯科麻酔学会デンツブライシロナ賞受賞,第42回日本歯科麻酔学会総会,2016年10月10-12日,2016.

高度口腔機能教育研究センター

【著書】

- 1) Kawasaki M, Kawasaki K, Blackburn J, Ohazama A: Molecular mechanisms regulating tooth number. Innovative Research on Biosis-Abiosis Intelligent Interface (Eds by Sasaki K, Suzuki O, Takahashi N), Springer, Singapore, 2017 in press.
- 2) 前田健康:感覚器学総論. 口腔解剖学第2版, 医歯薬出版, 東京, 2017年 印刷中.
- 3) 前田健康:脈管学総論 心臓. 口腔解剖学第2版, 医歯薬出版, 東京, 2017年 印刷中.
- 4) 前田健康:末梢神経学. 口腔解剖学第2版, 医歯薬出版, 東京, 2017年 印刷中.
- 5) 前田健康:生命現象の基本を学ぶ. 歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2017, 5 頁, 医歯薬出版, 東京, 2017年.

6) 前田健康:[食べるため]の構造と仕組みを学ぶ. 歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2017, 6 頁, 医歯薬出版, 東京, 2017年.

【論文】

- 1) Maekawa T, Kulwattanaporn P, Hosur K, Domon H, Oda M, Terao Y, Maeda T, Hajishengallis G: Differential expression and roles of secreted frizzled-related protein 5 (Sfrp5) and the wingless homolog Wnt5a in periodontitis. J. Dent. Res., 2017 in press.
- 2) Tanasubsinn N, Sittiwangkul R, Pongprot Y, Kawasaki K, Ohazama A, Sastraruji T, Kaewgahya M, Kantaputra PN: TFAP2B mutation and dental anomalies. J. Hum. Genet., 2017 in press.
- 3) Domon H, Oda M, Maekawa T, Nagai K, Takeda W, Terao Y: Streptococcus pneumoniae disrupts pulmonary immune defence via elastase release following pneumolysin-dependent neutrophil lysis. Sci. Rep., 6, Article number: 38013, 2016.
- 4) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, de Jong PR, Bertin S, Tabeta K, Yamazaki K: Neuronal TRPV1 activation regulates alveolar bone resorption by suppressing osteoclastogenesis via CGRP. Sci. Rep., 6: 29294, 2016.
- 5) de Jong PR, Taniguchi K, Harris AR, Bertin S, Takahashi N, Duong J, Campos AD, Powis G, Corr M, Karin M, Raz E: ERK5 signalling rescues intestinal epithelial turnover and tumour cell proliferation upon ERK1/2 abrogation. Nat. Commun., 17; 7:11551, 2016.
- 6) Bertin S, Aoki-Nonaka Y, Lee J, de Jong PR, Kim P, Han T, Yu T, To K, Takahashi N, Boland BS, Chang JT, Ho SB, Herdman S, Corr M, Franco A, Sharma S, Dong H, Akopian AN, Raz E: The TRPA1 ion channel is expressed in CD4+ T cells and restrains T-cell-mediated colitis through inhibition of TRPV1. Gut, gutjnl-2015-310710, 2016.
- 7) Matsuda Y, Kato T, Takahashi N, Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Sato K, Ohno H, Yamazaki K: Ligature-induced periodontitis in mice induces elevated levels of circulating IL-6 but shows only weak effects on adipose and liver tissues. J. Periodont. Res., 51(5): 639-46, 2016.
- 8) Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Matsuda Y, Sato K, Takahashi N, Nakajima T, Yamazaki K: Brazilian propolis mitigates impaired glucose and lipid metabolism in experimental periodontitis in mice. BMC Complement. Altern. Med., 16: 329, 2016.
- 9) Kawasaki M, Kawasaki K, Oommen S, Blackburn J, Watanabe M, Nagai T, Kitamura A, Maeda T, Liu B,

Schmidt-Ullrich R, Akiyama T, Inoue J, Hammond NL, Sharpe PT, Ohazama A: Regional regulation of Filiform tongue papillae development by *Ikkα/Irf6*. *Dev. Dyn.*, 245(9): 937-946, 2016.

- 10) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Portaveetus T, Oommen S, Blackburn J, Nagai T, Kitamura A, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe PT, Ohazama A: Spatio-temporal expression of Sox genes in murine palatogenesis. *Gene Expr. Patterns*, 21(2): 111-118, 2016.
- 11) Uenoyama A, Kakizaki I, Shiomi A, Saito N, Hara Y, Saito T, Ohnuki H, Kato H, Takagi R, Maeda T, Izumi K: Effects of C-xylopyranoside derivative on epithelial regeneration in an in vitro 3D oral mucosa model. *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, 80(7): 1344-1355, 2016.
- 12) 藤井規孝, 竹中彰治, 多部田康一, 佐藤直子, 秋葉奈美, 小田陽平, 勝美祐二, 小野和宏, 前田健康: 新潟大学歯学部臨床実習における臨床能力評価. 日歯教誌 2017 印刷中.

【商業誌】

- 1) 前川知樹: 非ヒト霊長類で DEL-1 は破骨細胞形成を阻止し, 炎症性骨喪失を抑制する. *Japanese Scientists in Science Translational Medicine* 2015, 14-15 頁, 株式会社アスカコーポレーション / American Association for the Advancement of Science (AAAS), NY, USA, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 前田健康 (研究代表者): 歯の再生療法に向けた幹細胞分化制御機構の解明〜毛との相同性, 異同性に着目して〜. 平成 28 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B) 「一般」, 16H05532, 2016.
- 2) 前田健康 (研究代表者): 分子解析による赤唇発生機構の解明〜再生に向けた展開研究〜. 平成 28 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽, 16K15773, 2016.
- 3) 前田健康 (研究代表者): 形態系基礎歯科学分野に関する学術研究動向 ―再生歯科学の潮流―. 平成 28 年度 日本学術振興会受託研究, J16J0036, 2016.
- 4) 前川知樹 (研究代表者): 内因性 Del-1 分子に着目した炎症制御のメカニズム解析と応用研究. 平成 28 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 若手 (A), 16H06272, 2016.
- 5) 川崎勝盛 (研究代表者): エナメル質における primary cilia の役割. 平成 28 年度 (新規) 日本

学術振興会科学研究費補助金 若手 (B), 16K20641, 2016.

- 6) 加藤寛子 (研究代表者): HIF-1 α 発現による口腔粘膜上皮細胞の低酸素応答解析と再生医療応用への基盤構築. 平成 28 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 15K20476, 2016.
- 7) 高橋直紀 (研究代表者): 歯周炎病態形成における TRP チャンネルを介した神経-骨代謝ネットワークの解明. 平成 28 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (C), 16K11827, 2016.
- 8) 井上佳世子 (研究代表者): ヒト顎関節オルガノイド作製への挑戦. 平成 28 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽, 15K15674, 2016.
- 9) 原田史子 (研究代表者): 遺伝子改変マウスを用いた歯誘導メカニズムの網羅的解析. 平成 28 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (C), 16K11783, 2016.
- 10) 前田健康 (研究分担者): 低酸素発光プローブを利用した培養口腔粘膜作成過程に最適な低酸素ニッチ環境の確立. 平成 28 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B) 「一般」, (研究代表者: 泉 健次), 26293420, 2016.
- 11) 前田健康, 井上佳世子 (研究分担者): 幹細胞の分化制御機構の解明の基盤研究〜NF- κ B からの解析〜. 平成 28 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B) 「一般」, (研究代表者: 大塚 淳), 26293421, 2016.
- 12) 前田健康 (研究分担者): ヘッジホッグシグナル伝達系は末梢神経再生を誘導する. 平成 28 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B) 「一般」, (研究代表者: 瀬尾 憲司), 15H05041, 2016.
- 13) 前川知樹 (研究分担者): コメ由来プロテアーゼ阻害剤を用いた誤嚥性肺炎重症化制御法の検索. 平成 28 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽, (研究代表者: 寺尾 豊), 16K15785, 2016.
- 14) 高橋直紀 (研究分担者): 高付加価値型歯周炎ワクチン-DNA オリガミとイミダゾキノリンによる IgA 誘導. 平成 28 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤 (B) 「一般」, (研究代表者: 多部田康一), 15H05052, 2016.
- 15) 前川知樹 (研究代表者): Del-1 の分子メカニズム解析に基づく Keystone 細菌制御の研究. 平成 28 年度 (継続) 公益財団法人 武田学術振興財団・医学奨励研究助成金, J15G0116, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Suda D, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T: The relationship of condylar bone resorption with bone mass and architecture after rat mandibular distraction. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017. 2. 11-13, Abstracts & Program book: 17, 2017.
- 2) Yamada Y, Ohazama A, Maeda T, Seo K: Activation of Shh signaling in Schwann cells regulates inferior alveolar nerve regeneration. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017. 2. 11-13, Abstracts & Program book: 18, 2017.
- 3) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T, Kitamura A, Nishikawa A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Ohazama A: *Ift88* is essential molecule for palate development. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017. 2. 11-13, Abstracts & Program book: 19, 2017.
- 4) Kitamura A, Nagai T, Watanabe M, Maeda T, Takagi R, Ohazama A: The role of the primary cilia in mandibular development. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017. 2. 11-13, Abstracts & Program book: 20, 2017.
- 5) 前田健康：科研費改革～新しい科研費審査システム～，北海道大学歯学部，札幌，2017. 2. 17.
- 6) 前田健康：連携機能を活用した 歯学教育高度化プログラム ～事業目的および成果概要説明～. 大学間共同教育連携推進事業最終成果公開シンポジウム，オークラホテル新潟，新潟，2016. 12. 2.
- 7) 前田健康，岩瀬陽子：新潟大学の取組. 課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム」共同 FD，東京医科歯科大学，東京，2016. 11. 29.
- 8) 前川知樹：若手新鋭研究者シンポジウム「内因性 De1-1 分子による炎症性骨吸収の制御メカニズム解析とサルへの応用研究. 第 19 回骨代謝研究会，慶應義塾大学，東京，2016. 11. 26.
- 9) 前川知樹：若手研究者シンポジウム「Keystone 細菌と生体の相互作用」 第 69 回日本細菌学会関西支部総会，大阪市立大学，大阪，2016. 11. 19.
- 10) 前田健康：科研費改革，大学院改革の動き. 九州歯科大学 FD，九州歯科大学，北九州，2016. 11. 7.
- 11) 前田健康：科学研究費の採択に向けて. 神奈川歯科大学 FD，神奈川歯科大学，横須賀，2016. 9. 16.
- 12) 前田健康：科学研究費の採択に向けて. 新潟大学歯学部 FD，新潟大学歯学部，新潟，2016. 9. 11.
- 13) 前田健康：日本の歯学教育はどこに向かうのか. 新潟大学歯学部同窓会群馬県支部，伊香保温泉，2016. 9. 3.
- 14) 前田健康：新しい科研費システム 改革の方向性. 長崎大学歯学部 FD，長崎大学歯学部，長崎，2016. 8. 22.
- 15) 前田健康：分野別認証評価制度の現状と今後. 朝日大学歯学部 FD，朝日大学歯学部，穂積，2016. 6. 28.

【学会発表】

- 1) Matsuda Y, Okui T, Minagawa T, Tabeta K, Takahashi N, Sato K, Yamada M, Yokoji M, Nakajima T, Yamazaki K: Effect of resveratrol on occlusal trauma-induced bone loss in mice. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25. Abstracts & Program book: no1580, 2017.
- 2) Yamada M, Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, Yokoji M, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: A bacterial metabolite ameliorates *P. gingivalis*-induced gingival epithelial barrier disruption. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25. Abstracts & Program book: no1587, 2017.
- 3) Haga-Tsujimura M, Nakahara K, Sawada K, Maeda T: Different bone formation after tooth extraction with and without implantation. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25. Abstracts & Program book: no2040, 2017.
- 4) Maekawa T, Kulwattanaporn P, Hosur K, Domon H, Terao Y, Maeda T, Hajishengallis G: Differential expression and roles of *sfrp5* and *Wnt5a* in periodontitis. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25. Abstracts & Program book: no2228, 2017.
- 5) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, Tabeta K, Yamazaki K, Maeda T: Neuronal TRPV1 activation inhibits alveolar bone resorption via neuropeptide release. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25. Abstracts & Program book: no2229, 2017.
- 6) Sato K, Takahashi N, Matsuda Y, Yamada M, Yokoji M, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K: A novel mechanism linking periodontitis and rheumatoid arthritis. 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25. Abstracts & Program book: no2707, 2017.
- 7) Takahashi N: Neuronal TRPV1 activation regulates

- alveolar bone resorption by suppressing osteoclastogenesis via CGRP. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Koh Samui, Thailand, 2017. 2. 11-13, Abstracts & Program book: 40, 2017.
- 8) Hara Y, Shiomi A, Kato H, Izumi K: Hypoxic response of oral mucosa fibroblasts in a 3D collagen lattice. 2016 TERMIS – Americas Conference & Exhibition, San Diego, CA, 2016. 12. 11-14, Tissue Eng. Part A 22: S-14, 2016.
 - 9) Yamada Y, Maeda T, Ohazama A, Seo K: Axonal regeneration requires activation of Sonic hedgehog signaling pathway in peripheral nerve injury. 46th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, San Diego, CA, 2016. 11. 12-16. Program No. 675.19, 2016.
 - 10) Suda D, Ohazama A, Maeda T, Kobayashi T: The relation between bone strength and mandibular condylar resorption following mandibular distraction in a rat model. 23rd Congress of the European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery, London, UK, 2016. 9. 13-16. EACMFS 2016 App: 16a-14, 2016.
 - 11) Kato H, Sugimoto M, Hara Y, Saito N, Shiomi A, Izumi K: Metabolomic profile of human oral keratinocytes under hypoxic culture condition. Tissue Niches & Resident Stem Cells in Adult Epithelia, Gordon Research Conference, The Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong, China, 2016. 8. 7-12, Program Book: 10, 2016.
 - 12) Nagai T, Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Kitamura A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P, Hindges R, Ohazama A: Mesenchymal microRNA are involved in the expression of Dkk2 to control eyelid development. Society for Developmental Biology 75th Annual Meeting/International Society of Differentiation 19th International Conference, Boston, MA. 2016. 8. 4-8, 2016, Program Book: 36, 2016.
 - 13) Watanabe M, Kawasaki K, Kawasaki M, Nagai T, Kitamura A, Kodama Y, Takagi R, Maeda T, Sharpe P, Ohazama A: “Ift88” is essential for downregulation of the palatal shelf through Shh signaling. Society for Developmental Biology 75th Annual Meeting/International Society of Differentiation 19th International Conference, Boston, MA. 2016. 8. 4-8, 2016, Program Book: 37, 2016.
 - 14) Maekawa T, Maeda T, Hajishengallis E: Inhibition of periodontitis in non-human primates by a locally administered complement C3 inhibitor. 94th General Session & Exhibition of the IADR, Seoul, Korea, 2016. 6. 22-25. Abstracts & Program book: no2019, 2016.
 - 15) 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 富士岳志, 三村純代, 首藤崇裕, 石田陽子, 秋葉奈美, 魚島勝美, 小野和宏, 高橋信博, 二川浩樹, 加藤功一, 佐々木啓一, 前田健康: 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム. 大学間連携共同教育推進事業シンポジウム in 金沢~その成果と今後~, 金沢, 2017. 2. 28.
 - 16) 原 タ子, 加藤寛子, 塩見 晶, 高木律男, 泉 健次: コラーゲンゲル内で3次元培養したヒト口腔粘膜線維芽細胞の低酸素応答. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016. 11. 5, 新潟歯学会雑誌, 46(2):114, 2016.
 - 17) 永井孝宏, 渡部桃子, 川崎真依子, 川崎勝盛, 北村厚, 児玉泰光, 高木律男, 前田健康, 大峽 淳: 間葉の MicroRNA は眼瞼発生を制御する. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016. 11. 5, 新潟歯学会雑誌, 46(2): 114-115, 2016.
 - 18) 佐藤圭祐, 高橋直紀, 中島麻由佳, 松田由美, 山田実生, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: Porphyromonas gingivalis 口腔投与のコラーゲン誘導性関節炎増悪メカニズムの解析. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016. 11. 5, 新潟歯学会雑誌, 46(2): 116, 2016.
 - 19) 横地麻衣, 多部田康一, 宮澤春菜, 野中由香莉, 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 山田実生, 伊藤晴江, 中島貴子, 山崎和久: 細菌抗原による PCSK9 産生の誘導機構. 第 145 回 日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会, 松本, 2016. 10. 27-28, 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび抄録集 145 回: 145, 2016.
 - 20) 高橋直紀, 松田由美, 佐藤圭祐, 多部田康一, 前田健康, 山崎和久: 実験的歯周炎モデルマウスの歯槽骨吸収における TRPV1 チャネルタンパクの関与. 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016. 10. 21-23, 日歯医師会誌, 69(5): 487, 2016.
 - 21) 山田実生, 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: 口腔細菌脂質代謝に由来する機能性脂肪酸 HYA は歯肉上皮バリア機能の低下を抑制する. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016. 10. 6-8, 日歯周誌 58 秋季特別: 112, 2016.
 - 22) 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 多部田康一, 山崎和久, 前田健康: カプサイシン受容体 TRPV1 の活性化が歯槽骨吸収におよぼす影響. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016. 10. 6-8, 日歯周誌 58 秋季特別: 124, 2016.
 - 23) 前川知樹, 前田健康, 寺尾 豊: Porphyromonas gingivalis は補体 C5a と TLR を利用して免疫系から

- 回避する. 第 58 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 札幌, 2016. 8. 24-26, J. Oral Biosci. Suppl.: 364, 2016.
- 24) 山田友里恵, 大峽 淳, 前田健康, 瀬尾憲司: 下歯槽神経再生における Sonic Hedgehog シグナルの機能に関する検討. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2): 108, 2016.
- 25) 渡部桃子, 川崎勝盛, 川崎真依子, 永井孝宏, 北村厚, 児玉泰光, 前田健康, 高木律男, 大峽 淳: Ofd1 は口蓋突起の下方伸長に必須である. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2): 108-109, 2016.
- 26) 須田大亮, 大峽 淳, 前田健康: ラット下顎骨延長モデルにおける下顎頭吸収と骨質の関連性について. 平成 28 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016. 7. 9, 新潟歯学会雑誌, 46(2): 109, 2016.
- 27) 田地 豪, 天雲太一, 竹内裕尚, 秋葉奈美, 三村純代, 首藤崇裕, 二川浩樹, 津賀一弘, 小野和宏, 吉羽邦彦, 魚島勝美, 前田健康, 佐々木啓一, 菅井基行: 標準化された病態顎模型を用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発—第 3 報—. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 82, 2016.
- 28) 小田陽平, 小野和宏, 藤井規孝, 小林正治, 前田健康: 診療参加型歯科臨床実習における web 公開型 e ポートフォリオ—第 3 報 記述内容の質的分析の試み—. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 88, 2016.
- 29) 濱 洋平, 水口俊介, 佐々木啓一, 前田健康, 羽村章, 一戸達也, 森山啓司: 健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム—第 2 報—2 年次を終えての課題. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 90, 2016.
- 30) 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 三村純代, 首藤崇裕, 石田陽子, 秋葉奈美, 魚島勝美, 小野和宏, 高橋信博, 二川浩樹, 佐々木啓一, 菅井基行, 前田健康: 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム—平成 26~27 年度の実績—. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 99, 2016.
- 31) 加来咲子, 石田陽子, 竹石龍右, 天雲太一, 竹内裕尚, 三村純代, 首藤崇裕, 小野和宏, 佐々木啓一, 菅井基行, 前田健康: 大学間連携機能を利用した相互乗り入れ講義の取り組み. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 100, 2016.
- 32) 金子友厚, 庭野和明, 野杵由一郎, 前田健康, 興地隆史: Ni-Ti ローターファイルの歯内療法学基礎実習への導入: R 相 Ni-Ti ローターファイルによる根管形成. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 102, 2016.
- 33) 首藤崇裕, 二川浩樹, 三村純代, 田地 豪, 石田陽子, 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携機能を活用したバイオデンタル教育の標準化 1. 細胞培養基礎. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 102, 2016.
- 34) 首藤崇裕, 二川浩樹, 三村純代, 田地 豪, 石田陽子, 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携機能を活用したバイオデンタル教育の標準化 2. ME 機器学. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 103, 2016.
- 35) 三村純代, 二川浩樹, 首藤崇裕, 田地 豪, 石田陽子, 竹石龍右, 加来咲子, 天雲太一, 竹内裕尚, 佐々木啓一, 前田健康, 菅井基行: 大学間連携機能を活用したバイオデンタル教育の標準化 3. デジタルデンティストリー. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 103, 2016.
- 36) 秋葉奈美, 小野和宏, 吉羽邦彦, 加来咲子, 竹石龍右, 魚島勝美, 前田健康: 疾患統合模型を用いた卒業時歯科臨床技能評価方法の開発. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 135, 2016.
- 37) 新井萌生, 小海由佳, 滋野翔太, 渡邊陽輝, 渡辺昌崇, 奥山道代, 松田きよら, 佐原真理子, 趙 継美, 初田星菜, 大内 学, 佐藤友美, 石田陽子, 竹石龍右, 岡 広子, 洪 光, 前田健康: タイ・チェンマイでの地域口腔保健推進活動から学んだこと. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 大阪, 2016. 7. 1-2, プログラム・抄録集: 161, 2016.
- 38) 松田由実, 皆川高嘉, 高橋直紀, 佐藤圭祐, 横地麻衣, 山田実生, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: 外傷性咬合により誘導される歯槽骨吸収に対する Resveratrol の影響. 第 144 回日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会, 栃木, 2016. 6. 9-10, プログラムおよび講演抄録集: 27, 2016.
- 39) 高橋直紀, 松田由実, 佐藤圭祐, 多部田康一, 吉江弘正, 山崎和久: TRPV1 受容体の活性化は神経ペプチド産生を介して歯槽骨吸収を抑制する. 第 144 回日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会, 栃木, 2016. 6. 9-10, プログラムおよび講演抄録集: 65,

2016.

- 40) 前川知樹, 前田健康: サル自然発症歯周炎に対する補体 C3 インヒビターの治療効果について. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016. 5. 19-21, 日歯周誌, 58 春季特別: 135, 2016.
- 41) 佐藤圭祐, 高橋直紀, 中島麻由佳, 松田由実, 山田実生, 横地麻衣, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: Porphyromonas gingivalis 口腔投与のコラーゲン誘導性関節炎増悪メカニズムの解析. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016. 5. 19-21, 日歯周誌, 58 春季特別: 116, 2016.
- 42) 松田由実, 高橋直紀, 中島麻由佳, 佐藤圭祐, 多部田康一, 中島貴子, 山崎和久: 結紮誘導歯周炎モデルマウスにおける全身への影響とそのメカニズムの解析. 平成 28 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2016. 4. 23, 新潟歯学会雑誌, 46(1): 48, 2016.

【研究会発表】

- 1) Izumi K, Kato H, Kawakami T, Hori A, Itagaki K: Development of a tissue-engineered oral mucosa equivalent using a scaffold manufactured from fish collagen. The 27th CDN Meeting, Body Surface Tactics, Kobe, 2016. 11. 14-15, Program book: 64, 2016.
- 2) 前田健康: 研究発表. 医歯薬研究会会議. 日本学術振興会学術システムセンター. 東京, 2017. 1. 27, 2017.
- 3) 高橋直紀: 歯周病罹患率 80% 国民病への挑戦/神経系をターゲットとしたトランスレーショナルリサーチの実践. 第 1 回 D³ 研究交流会. 新潟, 2017. 1. 24, 2017.
- 4) 前川知樹: 血管が作り出す生体由来の分子による歯周病マーカーの開発と応用研究. 第 1 回 D³ 研究交流会. 新潟, 2017. 1. 24, 2017.
- 5) 加藤寛子: 微小環境・代謝リプログラミングを標的とした抗がん治療法開発. 第 1 回 D³ 研究交流会. 新潟, 2017. 1. 24, 2017.
- 6) 前川知樹: Porphyromonas gingivalis は補体 C5a と TLR を利用して免疫系から回避する. 4 大学研究会, 千歳市, 2016. 8. 26, 4 大学研究会抄録集, 7, 2016.
- 7) 原 夕子, 加藤寛子, 塩見 晶, 高木律男, 泉 健次: 異なる培養環境において低酸素が口腔粘膜線維芽細胞の増殖活性に及ぼす影響の検討. 第 4 回低酸素研究会, 東京, 2016. 7. 23, P-10, 2016.

【受賞】

- 1) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, Tabeta K, Yamazaki K, Maeda T: Neuronal TRPV1 activation inhibits alveolar bone resorption via neuropeptide release. 2017 IADR

Johnson & Johnson Joseph Lister Award Regional Finalist, 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25.

- 2) 前川知樹: 平成 28 年度 岩垂育英会賞, 一般財団法人岩垂育英会, 授与式 2017. 3. 18.
- 3) 新井萌生, 小海由佳, 滋野翔太, 渡邊陽輝, 渡辺昌崇, 奥山道代, 松田きよら, 佐原真理子, 趙 継美, 初田星菜, 大内 学, 佐藤友美, 石田陽子, 竹石龍右, 岡 広子, 洪 光, 前田健康: タイ・チェンマイでの地域口腔保健推進活動から学んだこと. 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会優秀賞, 吹田, 2016. 7. 1-2.
- 4) 佐藤友美, 大内 学, 竹内裕尚, 天雲太一, 斎藤恵一, 洪 光, 岡 広子, 竹石龍右, 石田陽子, 佐々木啓一: 海外短期派遣プログラムに参加した学生として東北被災地のために我々ができること, 第 35 日本歯科医学教育学会学術大会優秀賞, 吹田, 2016. 7. 1-2.
- 5) 前川知樹: Antagonistic effects of IL-17 and D-resolvins on endothelial Del-1 expression through a GSK-3 β -C/EBP β pathway. 日本歯周病学会奨励賞, 第 59 回春季日本歯周病学会, 2016. 5. 20.

【特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次, 加藤寛子, 前田 竜, 河上貴宏, 山口 勇: 培養口腔粘膜作成に最適な魚コラーゲン製材のトポロジー開発. 国内特許出願中 (出願人: 新潟大学, 多木化学株式会社), 2016. 2. 23 出願.

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) Kazuhisa Yamazaki. Chapter 15 New paradigm in the relationship between periodontal disease and systemic diseases: effects of oral bacteria on the gut microbiota and metabolism. 243-261 In: Eds; Luigi Nibali and Brian Henderson. John Wiley & Sons, Inc. Oxford, UK; 2016.
- 2) 葭原明弘: デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学, 学校保健, 医歯薬出版, 東京, p142-154, 2016.
- 3) 福島正義: 松井恭平, 森崎市治郎, 白鳥たかみ, 船奥律子編: 歯科衛生士のための歯科臨床概論, 医歯薬出版, P54~63, 2016.3.25.
- 4) 福島正義: 日本老年歯科医学会編: 老年歯科医学用語辞典 第 2 版, 分担執筆, 医歯薬出版, 2016 年 3.25.
- 5) 福島正義: 松村英雄, 二階堂徹 編著: 接着の論点

- 臨床の疑問に答える／CQ21 フッ化水素酸エッチングはどの材料に使えるか?、日本歯科評論増刊、P90～93、2016年10月12日。
- 6) 福島正義:監修 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史:第五版 保存修復学 21 分担執筆 P287～296 永末書店 東京 2017年3月7日。
 - 7) 小野和宏:第2章-2 顎顔面の損傷. 古森孝英編著:口腔外科学 第2版, 76-86 頁, 永末書店, 京都市, 2017年1月28日。
 - 8) 小野和宏:第3章-14 歯の脱臼および歯槽骨骨折の処置. 古森孝英編著:口腔外科学 第2版, 248-250 頁, 永末書店, 京都市, 2017年1月28日。
 - 9) 小野和宏:第3章-15 顎骨骨折の処置. 古森孝英編著:口腔外科学 第2版, 251-254 頁, 永末書店, 京都市, 2017年1月28日。
 - 10) 小野和宏:第4章-8 骨折観血的整復固定術. 古森孝英編著:口腔外科学 第2版, 281-282 頁, 永末書店, 京都市, 2017年1月28日。
 - 11) 山崎和久:ヒトマイクロバイオーム研究最前線(服部正平監修) 第5編腸管以外のマイクロバイオームの生態と機能 第1章口腔マイクロバイオームの生態と機能 第2節口腔細菌が及ぼす腸内細菌叢への影響—歯周病と全身疾患の関連・腸内細菌叢 dysbiosis からの視点— 331-342 頁, 株式会社エヌ・ティー・エス 2016年3月10日
 - 12) 山崎和久,高橋直紀,五味一博:日本歯周病学会編「歯周病と全身の健康」 第1部臨床研究からのエビデンス 1) 歯周病と血管障害. 10-16 頁,日本歯周病学会 2016年3月25日
 - 13) 山崎和久・梅田 誠・吉成伸夫. 日本歯周病学会編「歯周病と全身の健康」 第2部細胞・分子レベルのメカニズム 2) 歯周炎と動脈硬化症の関連メカニズム. 92-95 頁,日本歯周病学会 2016年3月25日
 - 14) 柴田佐都子, 柏 豪洋他: 歯科衛生士のためのポケット版最新歯科用語辞典, 1 (1):クインテッセンス出版株式会社, 2016.12.10
- 【論文】**
- 1) Iwasaki M, Taylor GW, Sato M, Nakamura K, Yoshihara A, Miyazaki H Cystatin C-based estimated glomerular filtration rate and periodontitis, Gerodontology, 33(3):328-334, 2016.
 - 2) Iwasaki M, Minagawa K, Sato M, Kaneko N, Imai S, Yoshihara A, Miyazaki H. Serum antibody to Porphyromonas gingivalis in metabolic syndrome among an older Japanese population, Gerodontology, 33(2):193-200, 2016.
 - 3) Iwasaki M, Yoshihara A, Ito K, Sato M, Minagawa K, Muramatsu K, Watanabe R, Ansa i T, Miyazaki H: Hyposalivation and dietary nutrient intake among community-based older Japanese, the Geriatrics & Gerontology International,16(4):500-57, 2016.
 - 4) Senpuku H, Miyazaki H, Yoshihara A, Yoneda S, Narisawa N, Kawarai T, Nakagawa N, Miyachi M, Tada A, Yoshida G, Shimada M, Ohashi M, Nishimuta M, Kimura Y, Yoshitake Y: CD56dimCD16high and CD56brightCD16- cell percentages associated with maximum knee extensor strength and incidence of death in elderly, Springer Plus, 1;5:244, 2016.
 - 5) Sato M, Iwasaki M, Akihiro Yoshihara, Hideo Miyazaki: Association between periodontitis and medical expenditure in elderly people: a 33-month follow-up study, Geriatrics & Gerontology International, 16(7):856-864, 2016.
 - 6) Sato N, Ono T, Kon H, Sakurai N, Kohno S, Yoshihara A, Miyazaki H: Ten-year longitudinal study on the state of dentition and subjective masticatory ability in community-dwelling elderly people. J Prosthodontic Res, 60(3):177-184, 2016.
 - 7) Iwasaki M, Yoshihara A, Sato N, Sato M, Taylor GW, Ansai T, Ono T, Miyazaki H: Maximum bite force at age 70 years predicts all-cause mortality during the following 13 years in Japanese men. J Oral Rehabil. 43(8):565-574, 2016.
 - 8) Iwasaki M, Yoshihara A, Kimura Y, Wada T, Sakamoto, Ishimoto T, Fukutomi E, Chen W, Imai L, Fuzisawa M, Okumiya K, Taylor GW, Ansai T, Miyazaki H: Longitudinal relationship of severe periodontitis with cognitive decline in older Japanese. J Periodontol Res 51(5):681-688, 2016.
 - 9) Yoshihara A, Sugita N, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K. Bidirectional relationship between renal function and periodontal disease in older Japanese women. J Clin Periodontol, 43(9):720-726, 2016.
 - 10) Iwasaki M, Yoshihara A, Ogawa H, Sato M, Muta matsu K, Watanabe R, Ansai T, Miyazaki H: Longitudinal association of dentition status with dietary intake in Japanese adults aged 75 to 80 years. J Oral Rehabil, 43(10):737-44, 2016.
 - 11) Iwasaki M, Sato M, Yoshihara A, Ansai T, Miyazaki H: Association between tooth loss and medical costs related to stroke in healthy elderly aged over 75 years in Japan. The Geriatrics & Gerontology International, 17(2):202-210, 2017.

- 12) Takiguchi T, Yoshihara A, Takano N, Miyazaki H. Oral Health and Depression in older Japanese people, *Gerodontology*, 33(4):439-446, 2016.
- 13) Hirata H, Kitamura K, Saito T, Kobayashi R, Iwasaki M, Yoshihara A, Watanabe Y, Oshiki R, Nishiwaki T, Nakamura K: Association between Dietary Intake and Bone Mineral Density in Japanese Postmenopausal Women: the Yokogoshi Cohort Study, *The Tohoku Journal of Experimental Medicine (TJEM)*, 239(2):95-101, 2016.
- 14) Iwasaki M, Kimura Y, Yoshihara A, Ogawa H, Yamaga T, Sato M, Wada T, Sakamoto R, Ishimoto Y, Fukutomi E, Chen W, Imai H, Fujisawa H, Okumiya K, Taylor GW, Ansai T, Miyazaki H, Matsubayashi K: Oral health status in relation to cognitive function among older Japanese. *Clinical and Experimental Dental Research*, in press.
- 15) Iwasaki M, Kimura Y, Yoshihara A, Ogawa H, Yamaga T, Taizo Wada, Sakamoto R, Ishimoto Y, Fukutomi E, Chen W, Imai H, Fujisawa M, Okumiya K, Manz MC, Ansai T, Miyazaki H, Matsubayashi K: Low dietary diversity among older Japanese adults with impaired dentition, *Journal of Dentistry and Oral Hygiene*, in press
- 16) Yoshihara A, Sugita N, Iwasaki M, Wang Y, Miyazaki H, Yoshie H, Nakamura K: Relationship between renal function and periodontal disease in community-dwelling elderly women with different genotypes, *J Clin Periodontol*, in press.
- 17) Iwasaki M, Sato M, Yoshihara A, Miyazaki H: Malnutrition and oral disease in the elderly: Does a bidirectional relationship exist?. *Current Oral Health Reports (review)*, in press.
- 18) Momoi Y, Shimizu A, Hayashi M, Imazato S, Unemori M, Kitasako Y, Kubo S, Takahashi R, Nakashima S, Nikaido T, Fukushima M, Fujitani M, Yamaki C, Sugai K: Root caries management: evidence and consensus based report. *Curr Oral Health Rep* 3, 117-123, 2016.
- 19) Madachi K, Takagi R, Asahito T, Kodama Y, Oominato R, Iida A, Ono K, Saito I: Cephalometric evaluation after two-Stage palatoplasty combined with Hotz plate: A comparative study between the modified Furlow and Widmaier-Perko method. *Int J Oral Maxillofac Surg*, 46: 539-547, 2017.
- 20) Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Matsuda Y, Sato K, Takahashi N, Nakajima T, Yamazaki K. Brazilian propolis mitigates impaired glucose and lipid metabolism in experimental periodontitis in mice. *BMC Complement Altern Med* 16:329, 2016.
- 21) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, de Jong PR, Bertin S, Tabeta K, Yamazaki K. Neuronal TRPV1 activation regulates alveolar bone resorption by suppressing osteoclastogenesis via CGRP. *Sci Rep*.2016; 6:29294. doi: 10.1038/srep29294.
- 22) Nakajima T, Okui T, Ito H, Nakajima M, Honda T, Shimada Y, Tabeta K, Akazawa K, Yamazaki K. Microbiological and clinical effects of sitafloxacin and azithromycin in periodontitis patients receiving supportive periodontal therapy. *Antimicrob Agents Chemother*. 60(3): 1779-1787, 2016.
- 23) Kitamura M, Akamatsu M, Kawanami M, Furuichi Y, Fujii T, Mori M, Kunimatsu K, Shimauchi H, Ogata Y, Yamamoto M, Nakagawa T, Sato S, Ito K, Ogasawara T, Izumi Y, Gomi K, Yamazaki K, Yoshie H, Fukuda M, Noguchi T, Takashiba S, Kurihara H, Nagata T, Hamachi T, Maeda K, Yokota M, Sakagami R, Hara Y, Noguchi K, Furuuchi T, Sasano T, Imai E, Ohmae M, Koizumi H, Watanuki M, Murakami S. Randomized placebo-controlled and controlled non-inferiority phase III trials comparing trafermin, a recombinant human fibroblast growth factor 2, and enamel matrix derivative in periodontal regeneration in intrabony defects. *J Bone Miner Res*. 31(4): 806-14, 2016.
- 24) Matsuda Y, Kato T, Takahashi N, Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Sato K, Ohno H, Yamazaki K. Ligature-induced periodontitis in mice induces elevated levels of circulating IL-6 but shows only weak effects on adipose and liver tissues. *J Periodont Res*. 51(5):639-46, 2016.
- 25) Tsukada S, Ito K, Stegaroiu R, Shibata S, Ohuchi A. (2017). An oral health and function screening tool for nursing personnel of long-term care facilities to identify the need for dentist referral without preliminary training. *Gerodontology (in press)*, 00, 1-8, doi: 10.1111/ger.12255
- 26) 石川裕子, 米澤大輔, 葭原明弘, 齊藤一誠, 早崎治明: 知的障害者施設入所者における在所期間と口腔内状態 および口腔に関連する支援状態の関連, *口腔衛生会誌* 66: 338-343, 2016
- 27) 韓 臨麟, 福島正義: フッ化物と fTCP 配合歯磨剤による歯質に与える影響-エナメル質耐酸性、象牙細管封鎖性および元素の取り込みについて一、*日歯保存誌* 59 (2) : 228-235, 2016.
- 28) 横塚あゆ子, 隅田好美, 福島正義: 要介護高齢者の

口腔清掃にかかる時間の分析と清掃効果—高齢者介護施設職員と歯科衛生士ボランティアの比較—、老年歯学、31(1):28~37, 2016.

- 29) 隅田好美、頭山高子、前岨亜優子、梶 貢三子、小出 武、末瀬一彦、福島正義:臨床実習における歯科衛生士学生の不安(第1報)、日衛教育誌、7(2)、162~167、2016.
- 30) 福島正義:臼歯部における金属修復からメタルフリー修復への道のり、Journal of Innovative Zahnmedizin、2、12~23、2016.
- 31) 大湊麗、小林孝憲、児玉泰光、小山貴寛、五十嵐友樹、飯田明彦、小野和宏、永田昌毅、高木律男:粘膜下口蓋裂の臨床統計的検討—第1報:診断と病態—、日口蓋誌、41: 24-30、2016.
- 32) 大湊麗、小林孝憲、児玉泰光、小山貴寛、五十嵐友樹、飯田明彦、小野和宏、永田昌毅、高木律男:粘膜下口蓋裂の臨床統計的検討—第2報:言語成績—、日口蓋誌、41: 173-180、2016.
- 33) 小野和宏:能力を把握して学びを促す—歯科臨床能力の直接評価を中心に—、日歯教誌、32: 135-136、2016.
- 34) 斎藤有吾・小野和宏・松下佳代:パフォーマンス評価における教員の評価と学生の自己評価・学生調査との関連。日本教育工学会論文誌、40 (Suppl.): 157-160、2016.
- 35) 山崎和久:歯周病と全身疾患の関連—口腔細菌による腸内細菌叢への影響—化学と生物54巻9号633-639、2016.
- 36) 相田 潤、小林清吾、荒川浩久、八木 稔、磯崎篤則、井下英二、晴佐久 悟、川村和章、眞木吉信:フッ化物配合歯磨剤はチタン製インプラント利用者のインプラント周囲炎のリスクとなるか:文献レビュー、口腔衛生会誌、66: 308-315、2016.
- 37) 諏訪 加奈:権利擁護と制度・事業および法律.障歯誌 37(2): 192-194、2016.
- 38) 米澤 大輔、石川 裕子、葭原 明弘:知的障害者における歯の喪失状況および義歯使用と日常生活動作との関連.日歯衛会誌. 11 巻 2 号: 32-39、2017.

【商業誌】

- 1) 福島正義:特集/根面齲蝕から歯を守るのはなぜ難しいの?!、デンタルハイジーン 36(2)、136~148、2016.
- 2) 新井祐貴、風間龍之輔、若林則幸、福島正義:フルジルコニアによるクラウン・ブリッジの即日補綴、歯界展望、129(2)、342-352、2017.
- 3) 升井一朗、福島正義:臨床歯科医学/歯科衛生士になるためのオリエンテーション2017、P10~11、医

歯薬出版、2017.

- 4) 高橋英樹:生活困窮者自立支援の取り組みと地域づくり.社会福祉法人恩賜財団済生会第二次なでしこプラン(済生会生活困窮者支援事業)、129-136、社会福祉法人恩賜財団済生会、2016年
- 5) 山崎和久:口腔細菌と腸内細菌の関係—歯周病が全身に及ぼすメカニズム・腸内細菌叢 dysbiosis からの視点—歯界展望 127 巻 1 号 6-15、2016.

【研究費獲得】

- 1) 葭原明弘、宮崎秀夫、中村和利:肥満・糖尿病・歯周疾患への遺伝的背景と環境・代謝要因の相互作用に対する包括的解析:文部科学省研究基盤研究(B)、課題番号:15H050560001
- 2) 伊藤博夫、佐野茂樹、安細敏弘、葭原明弘:生体反応の化学的測定に基づく客観的な新規歯周病診断システムの開発:文部科学省研究基盤研究(B)、課題番号 26293442
- 3) 宮崎秀夫、葭原明弘:口腔機能改善と平衡機能を含む運動器機能改善に関する無作為化比較試験:文部科学省研究基盤研究(C)
- 4) 小田陽平、小野和宏(分担)、藤井規孝:診療参加型歯科臨床実習における学習成果の可視化—eポートフォリオの開発—.日本学術振興会科学研究補助金基盤研究(C)、26350270、2014~2016.
- 5) 松下佳代、小野和宏(分担)、平山朋子:能力形成を促すパフォーマンス評価の開発と発展.日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究(B)、15H03473、2015~2017.
- 6) 山崎和久:口腔-腸管連関を基盤としたペリオドンタルメディスン病因論の統合的解明.日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)、15H02578、2015~2018.
- 7) 山崎和久:病態可視化マウスを用いた新規歯周病病因論の探索.日本学術振興会科学研究費補助金挑戦的萌芽研究、15K15763、2015~2016.
- 8) 大内章嗣:介護保険施設における口腔機能維持管理と栄養管理との連携による社会経済効果分析、日本学術振興会科学研究費補助金研究、挑戦的萌芽研究、課題番号 15K15772、2015.
- 9) 中川兼人、八木 稔:「新潟県子どもの貧困実態調査の分析」/平成28年度新潟県受託研究費、2017年1月~3月
- 10) Stegaroiu Roxana、荒井良明、田中茂雄、山田一穂、黒川孝一:インプラント検討症例の残存歯咬合力を用いたヒト生体骨梁モデルの3次元有限要素解析、日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究(C)、課題番号 16K11588、2016.

- 11) 田中みか子、Stegaroiu Roxana、小野高裕、江尻貞一:歯科用 CBCT 像上の顎骨と頸椎の骨梁構造変化を指標とした新規骨粗鬆症診断法の開発, 日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究 (C)、課題番号 15K11154, 2016.
 - 12) 柴田佐都子, ステガロコ・ロクサーナ, 大内章嗣: 介護保険施設における経口摂取・口腔衛生管理の実態と歯科との連携による経済面を含めた効果に関する研究, (公財) 8020 推進財団, 16-2-06, 2016.
 - 13) 米澤大輔: 初期成年期及び成年期の歯の喪失に影響を与える要因の解析と歯科保健プログラムの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 26861828, 2016.
- 【招待講演・シンポジウム】**
- 1) Yamazaki K. The Link Between Periodontitis and Systemic Diseases-Current Situation and Prospect for The Future-. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. January 8, 2016, The Santosa Villas & Resort, LOMBOK, INDONESIA
 - 2) Yamazaki K. A novel mechanism linking periodontal disease and systemic diseases. 2nd International Forum on Periodontal disease in Asia. January 16, 2016, Singapore.
 - 3) Yamazaki K. Connection between periodontal disease and systemic diseases: A novel mechanism conceived from clinical findings and experimental studies. IDEM Singapore. April 10, 2016, Singapore.
 - 4) Yamazaki K. New Paradigm Linking Periodontal Disease and Systemic Diseases. Lunch & Learning, 94th General session of the IADR, Seoul, Korea, June 23, 2016.
 - 5) 福島正義: シンポジウムⅢ ホワイトニング Up to date 口腔ケアに貢献する歯のホワイトニング治療「高齢者の審美歯科 (Geresthetics) としてのホワイトニング」、日本歯科審美学会第 27 回学術大会、2016.8.28 (日)、札幌、京王プラザホテル札幌.
 - 6) 福島正義: 臼歯部における金属修復から歯冠色修復への道のり、千葉市歯科医師会学術講演会、平成 28 年 9 月 28 日 (水)、千葉市、千葉市総合保健医療センター 5 階大会議室.
 - 7) 福島正義: 患者の QOL を高める歯科医療 第 1 部 変色歯治療とくにポーセレンラミネートベニアの長期臨床経過と術式のポイント、第 2 部 高齢者の根面う蝕の予防と治療、村上市岩船郡歯科医師会学術講演会、平成 28 年 11 月 26 日、村上市、石田屋旅館.
 - 8) 福島正義: ランチョンセミナーⅢ/根面う蝕から歯を守るのは難しい? ~トリートメントの一提案~、日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会 (第 145 回)、平成 28 年 10 月 28 日、松本市、キッセイ文化ホール.
 - 9) 小野和宏: 能力を把握して学びを促すー歯科臨床能力の直接評価を中心にー. 第 35 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会・シンポジウム「学習履歴を教育に活かす」、大阪大学・大阪府吹田市、2016 年 7 月 2 日、同プログラム・抄録集: 66 頁, 2016.
 - 10) 小野和宏: 学習成果の直接評価と教育の質保証ー問題発見解決型歯科医療人の育成を目指してー. 第 1 回日本薬学教育学会大会・シンポジウム「教育学・学習科学の現状と展望」、京都薬科大学・京都市、2016 年 8 月 28 日、同講演要旨集: 71 頁, 2016.
 - 11) 高橋英樹: 社会福祉の理念と動向. 平成 28 年度社会福祉施設指導的職員研修, 新潟, 2016 年 6 月 20 日・6 月 27 日・7 月 21 日, 同研修資料集
 - 12) 高橋英樹: 社会福祉行政, 平成 28 年度福祉行政新任職員研修, 新潟, 2016 年 5 月 18, 同研修資料集
 - 13) 高橋英樹: スーパービジョン論・スーパービジョン演習. 平成 28 年度実習指導者講習会, 新潟, 2016 年 7 月 29 日, 同講習会資料集
 - 14) 高橋英樹: 社会福祉援助技術論・社会福祉援助技術演習, 平成 28 年度児童家庭相談業務研修会, 新潟, 2016 年 8 月 23 日, 同研修資料集
 - 15) 山崎和久: 歯周病と全身疾患の新たな関連メカニズム. シンポジウム 23 口腔内と腸内細菌から全身の健康を考える. 第 16 回日本抗加齢医学会総会, 横浜市パシフィコ横浜会議センター, 2016 年 6 月 12 日
 - 16) 山崎和久: 歯周病原細菌の腸内細菌叢に及ぼす影響: 動脈硬化性疾患との関連. シンポジウム 2 歯周炎と動脈硬化性血管疾患の関連. 第 48 回日本動脈硬化学会総会・学術集会. 京王プラザホテル, 2016 年 7 月 14 日.
 - 17) 山崎和久: 歯周病と糖尿病の相互作用. 第 2 回糖尿病と合併症研究会. 万代シルバーホテル, 新潟, 2016 年 7 月 2 日.
 - 18) 山崎和久: 歯周病と糖尿病の相互作用. 上越地区学術講演会. 糖尿病の治療戦略~合併症を含めたトータルケア~, 2016 年 7 月 21 日.
 - 19) 山崎和久: 歯周疾患が及ぼす全身への影響. 会津方部歯学研究会特別講演. 2016 年 9 月 20 日, 会津若松ワシントンホテル
 - 20) 山崎和久: 歯周病学研究における今後の展望を探る. 第 302 回東京歯科大学学会シンポジウム「学内外の動向から探る今後の口腔科学研究の潮流」. 東京歯科大学水道橋校舎. 東京, 2016 年 10 月 15 日.

- 21) 山崎和久: 歯周病と全身疾患の関連メカニズムー腸内細菌叢攪乱からの視点ー, シンポジウム⑦もっと知りたい全身と歯周病の関係ー歯周医学の最前線ー, 第16回日本歯科医学会総会. 福岡. 平成28年10月22日
- 22) 山崎和久: 歯周病菌の全身への影響. 第53回日本細菌学会中部支部総会特別講演. 日本歯科大学新潟生命歯学部. 2016年10月29日.
- 23) 山崎和久: 歯周病と糖尿病の相互作用. 平成28年度魚沼地域歯科保健研修会特別講演. 十日町市役所. 十日町. 平成28年11月10日.
- 24) 山崎和久: ペリオドンタルメディスン研究の新展開. 大阪大学大学院歯学研究科セミナー, 大阪大学, 吹田市, 2016年11月24日
- 25) 山崎和久: 歯周疾患が及ぼす全身への影響. 平成28年度二季会特別講演. 新潟県歯科医師会館. 新潟. 平成28年12月1日.
- 26) 山崎和久: 歯周病と全身疾患の新たな関連メカニズム. 歯学研究に於ける重要な発見とその可能性. 日本歯科医学会・国際歯科研究学会日本部会(JADR), 日本歯科医師会館, 2016年12月17日
- 27) 山崎和久: 歯周病をとりまく課題を再考する. 福島県歯科医師会会津支部会新年学会特別講演. 会津若松ワシントンホテル, 2017年1月15日
- 28) 山崎和久: ペリオドンタルメディスン研究の新展開. 広島大学大学院医歯薬保健学研究科セミナー, 広島大学, 広島市, 2017年1月17日
- 29) 山崎和久: 歯周病と非感染性疾患・慢性疾患との関連, シンポジウム腸内フローラの最新の話, 第27回生物試料分析科学会. 新潟. 平成29年2月12日
- 30) 山崎和久: 歯周病学の立場からみた口腔・腸内相関. 神奈川歯科大学第7回第8回合同開催研究談話会. 横須賀市, 平成29年2月23日
- 31) 山崎和久: 歯周疾患治療における課題(検査)を再考する. 第2回歯科臨床研究推進会議, 広島大学, 広島市, 2017年3月3日
- 32) 中川兼人: 「公的扶助論(スーパーバイザーのために)」/平成28年度新潟県新任生活保護査察指導員研修. 新潟. 2016年4月18日, 同資料集1—26頁, 2016.
- 33) 中川兼人: 「これからの地域福祉」/平成28年度新潟県福祉行政新任職員研修. 新潟. 2016年5月19日, 同資料集41—56頁, 2016.
- 34) 中川兼人: 「生活困窮者自立支援事業とは?」/五泉市・五泉市社会福祉協議会, 2016年度生活困窮者自立支援事業連絡会, 五泉市, 2016年5月20日, 同資料集3—13頁, 2016.
- 35) 中川兼人: 「福祉人材育成のためのスーパービジョン」/新潟県社会福祉士会, 2016年度全体研修会, 新潟, 2016年6月5日, 同資料集1—17頁, 2016.
- 36) 中川兼人: 「ソーシャルワーカーにいがた2016」シンポジウム「生活困窮者自立支援からみる、ソーシャルワークの可能性」のコーディネーター/新潟県社会福祉士会, 新潟, 2016年7月24日
- 37) 中川兼人: 「これからの地域福祉〜子供から高齢者まで〜」/新潟市民生委員児童委員協議会連合会, 新潟, 2016年10月7日 同資料集1—25頁, 2016.

【学会発表】

- 1) Yagi M, Yonezawa D, Suwama K, Yoshihara A: Study of sociodemographic inequalities and the prevalence of dental caries in permanent teeth, The 12th International Conference of Asian Academy of Preventive Dentistry, Tokyo Medical and Dental University, May27-29, 2016.
- 2) Che Y, Sugita N, Takahashi N, Yoshihara A, Hanai Y, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K, Yoshie H: Macrophage erythroblast attachment gene polymorphism and periodontitis in postmenopausal women, 94th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition – Seoul, Korea. June 22-25, 2016.
- 3) Yoshihara A, Iwasaki M, Miyazaki H, Nakamura K: Bidirectional relationship between renal function and periodontal disease in older Japanese women, 94th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition – Seoul, Korea. June 22-25, 2016.
- 4) Hamasaki T, Sakai R, Iwasaki M, Kakuta S, Soh A, Yoshihara A, Ansai H, Miyazaki H: Nutritional status changes in elderly: results of a 2-year study, 94th IADR/AADR/CADR General Session & Exhibition – Seoul, Korea. June 22-25, 2016.
- 5) Sato K, Takahashi N, Nakajima M, Kato T, Matsuda Y, Yokoji M, Yamada M, Ohno H, Yamazaki K. Periodontopathic bacteria increases the risk of rheumatoid arthritis by affecting gut immune system. International Congress of Immunology 2016, Melbourne, Australia, August 24, 2016.
- 6) Sato K, Takahashi N, Matsuda Y, Yamada M, Yokoji M, Tabeta K, Nakajima M, Yamazaki K. A novel mechanism linking periodontitis and rheumatoid arthritis. 95th General session of the IADR, San Francisco, March 24, 2017.
- 7) Yamada M, Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, Yokoji M, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K. A bacterial metabolite ameliorates P. gingivalis-induced gingival epithelial barrier disruption. 95th General session of the IADR, San Francisco, March 24, 2017.

- 8) Matsuda Y, Minagawa T, Okui T, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K. Effect of resveratrol on alveolar bone loss induced by the experimental occlusal trauma in mice. 95th General session of the IADR, San Francisco, March 24, 2017.
- 9) Yokoji M, Tabeta K, Miyazawa H, Matsuda Y, Sato K, Yamada M, Yamazaki K. PCSK9 induction by *P. gingivalis* independent of inflammatory response. 95th General session of the IADR, San Francisco, March 24, 2017.
- 10) Roxana Stegaroiu, Kouichi Kurokawa, Kazuho Yamada, Yoshiaki Arai, Hideyoshi Nishiyama, Shigeo Tanaka: Finite Element Analysis of Implant-embedded Mandibular Model from Patient Data. The 95th General Session of IADR, San Francisco, USA, 2017.3.25, Journal of Dental Research, Vol. 96, Special Issue A: 3903, 2017 (www.iadr.org).
- 11) Natsuki Kishimoto, Hiromi Otsuka, Roxana Stegaroiu, Satoko Shibata, Akitsugu Ohuchi: Japanese Long-term Care Benefits for Nutrition and Oral Management. The 95th General Session of IADR, San Francisco, USA, 2017.3.25, Journal of Dental Research, Vol. 96, Special Issue A: 3336, 2017 (www.iadr.org).
- 12) Satoko Shibata, Hiromi Otsuka, Natsuki Kishimoto, Roxana Stegaroiu, Akitsugu Ohuchi: Oral Health Professional Involvement in Japanese Long-term Care Benefit Claims. The 95th General Session of IADR, San Francisco, USA, 2017.3.25, Journal of Dental Research, Vol. 96, Special Issue A: 3337, 2017 (www.iadr.org).
- 13) 黒木歩, 杉田典子, 葭原明弘, 小林哲夫, 吉江弘正: 佐渡在住の成人における歯槽骨吸収度と血液肝機能マーカーとの関連性について, 第59回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市, 平成28年5月20日(金), 5月21日(土)
- 14) 車 玉蘭, 杉田典子, 葭原明弘, 花井悠貴, 岩崎正則, 吉江弘正: The relationship between macrophage erythroblast attacher (MAEA) gene polymorphism and periodontitis in postmenopausal Japanese women, 第59回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島市, 平成28年5月20日(金), 5月21日(土)
- 15) 秋山理加, 濱寄朋子, 酒井理恵, 岩崎正則, 角田聡子, 邵 仁浩, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 安細敏弘: 在宅高齢者における簡易嚥下状態評価 (EAT-10) と2年後の健康状態との関連, 第65回日本口腔衛生学会・総会, 平成28年5月27日(金)～5月29日(日)
- 16) 濱寄朋子, 酒井理恵, 岩崎正則, 角田聡子, 邵 仁浩, 葭原明弘, 宮崎秀夫, 安細敏弘: 在宅高齢者における体重変化と歯数および栄養素摂取量との関係簡易嚥下状態評価 (EAT-10) と2年後の健康状態との関連, 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 平成28年5月27日(金)～5月29日(日)
- 17) 金子 昇, 濃野 要, 山賀孝之, 葭原明弘, 花田信弘, 宮崎秀夫: *Streptococcus sobrinus* 臨床分離株の *gtfI* 遺伝子における多様性の検討, 第65回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 平成28年5月27日(金)～5月29日(日)
- 18) 笹嶋真嵩, 葭原明弘, 宮崎秀夫: 職域における歯科疾患と従業務内容との関連について, 平成28年度第27回甲信越北陸口腔保健研究会総会, 富山県歯科医師会館, 2016年6月13日
- 19) 高橋明恵, 葭原明弘, 中島俊一, 諏訪間加奈, 宮崎晶子: 小学校における昼休みを活用した歯みがき指導の効果, 平成28年度日本歯科衛生学会第11回学術大会, 広島国際会議場, 広島市, 平成28年9月17日～9月19日
- 20) 近藤淳子, 野上有紀子, 葭原明弘: 新潟県における新たな住民参加型歯科保健活動 ―は～もに～プロジェクトの取り組み―, 平成28年度日本歯科衛生学会第11回学術大会, 広島国際会議場, 広島市, 平成28年9月17日～9月19日
- 21) 野上有紀子, 岩瀬陽子, 葭原明弘, 大内章嗣, 高橋英樹, 中川兼人, 早崎治明: 一時保護児童のう蝕状況に関する実態調査, 平成28年度新潟歯学会第2回例会, 新潟大学歯学部, 2016年11月4日
- 22) 小粥照子, 福島正義: 緩和ケアが行われたがん死亡例の看護必要度からみた口腔保健管理の介入時期の検討, 日本老年歯科医学会第27回総会・学術大会, 2016.6.18 (土)、徳島市、アスティとくしま
- 23) 前唄亜優子, 隅田好美, 頭山高子, 大西 愛, 末瀬一彦, 小出 武, 田中昭男, 福島正義: 歯科衛生士臨床実習における学生の不安の変化と性格特性、ストレスコーピングおよび学業成績との関係, 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、2016.7.1 (金)、大阪、大阪大学コンベンションセンター。
- 24) 隅田好美, 福島正義: 歯の変色が患者の心理に与える影響―変色歯外来問診票における自由記述の質的分析―, 日本歯科審美学会第27回学術大会、2016.8.27 (土)、札幌、京王プラザホテル札幌。
- 25) 木村有子, 柴田由美, 小田島あゆ子, 渡辺仁資, 福島正義: 病院歯科衛生士の医科歯科連携に関する研修とその効果―悩み・不安の明確化と自己評価の変化―, 日本歯科衛生学会第11回学術大会、2016.9.18～19、広島市、広島国際会議場、日本歯科衛生学会雑誌、11巻1号、P123、2016。
- 26) 米澤大輔, 八木 稔、葭原明弘, 福島正義: 齶蝕

- 予防のためのフッ化物洗口プログラム経験に対する青年期における評価、日本歯科衛生学会第11回学術大会、2016.9.18~19、広島市、広島国際会議場、日本歯科衛生学会雑誌、11巻1号、P77、2016.
- 27) 石井拓男、福島正義、大川由一、鳥山佳則：研究討論会／「多職種連携」に関する研究討論会、助言、日本歯科衛生学会第11回学術大会、2016.9.19、広島市、広島国際会議場、日本歯科衛生学会雑誌、11巻1号、P65、2016.
- 28) 小野和宏、齋藤有吾、松下佳代：一貫性・体系性をもったプログラムレベルの評価のデザイナー－初年次教育から臨床実習まで－. 大学教育学会第38回大会、立命館大学・大阪府茨木市、2016年6月12日、同発表要旨集録：86-87頁、2016.
- 29) 齋藤有吾、小野和宏、松下佳代：パフォーマンス評価における教員の評価と学生の自己評価、および間接評価との関連. 大学教育学会第38回大会、立命館大学・大阪府茨木市、2016年6月12日、同発表要旨集録：234-235頁、2016.
- 30) 小田陽平、小野和宏、藤井規孝、小林正治、前田健康：診療参加型歯科臨床実習におけるweb公開型eポートフォリオ第3報 記述内容の質的分析の試み－. 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、大阪大学・大阪府吹田市、2016年7月1日、同プログラム・抄録集：88頁、2016.
- 31) 秋葉奈美、小野和宏、吉羽邦彦、加来咲子、竹石龍右、魚島勝美、前田健康：疾患統合モデルを用いた卒業時歯科臨床技能評価方法の開発. 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、大阪大学・大阪府吹田市、2016年7月1-2日、同プログラム・抄録集：135頁、2016.
- 32) 田地豪、天雲太一、竹内裕尚、秋葉奈美、三村純代、首藤崇裕、二川浩樹、津賀一弘、小野和宏、吉羽邦彦、魚島勝美、前田健康、佐々木啓一、菅井基行：標準化された病態顎モデルを用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発－第3報－. 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、大阪大学・大阪府吹田市、2016年7月2日、同プログラム・抄録集：82頁、2016.
- 33) 武石龍右、加来咲子、天雲太一、竹内裕尚、三村純代、首藤崇裕、石田陽子、秋葉奈美、魚島勝美、小野和宏、高橋信博、二川浩樹、佐々木啓一、菅井基行、前田健康：連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム－平成26~27年度の実績－. 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、大阪大学・大阪府吹田市、2016年7月1-2日、同プログラム・抄録集：99頁、2016.
- 34) 加来咲子、石田陽子、武石龍右、天雲太一、竹内裕尚、三村純代、首藤崇裕、小野和宏、佐々木啓一、菅井基行、前田健康：大学間連携機能を利用した相互乗り入れ講義の取り組み. 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会、大阪大学・大阪府吹田市、2016年7月1-2日、同プログラム・抄録集：100頁、2016.
- 35) 大湊麗、小野和宏、児玉泰光、小山貴寛、五十嵐友樹、小林孝憲、飯田明彦、永田昌毅、高木律男：二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討－言語機能による分析－. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会、ナレッジキャピタルコングレンションセンター・大阪府大阪市、2016年5月27日、日口蓋誌、41：116、2016.
- 36) 児玉泰光、大湊麗、深井真澄、渡部桃子、永井孝宏、小山貴寛、永田昌毅、小野和宏、高木律男：粘膜下口蓋裂を伴う Noonan 症候群の1例. 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会、ナレッジキャピタルコングレンションセンター・大阪府大阪市、2016年5月26-27日、日口蓋誌、41：141、2016.
- 37) 小山貴寛、児玉泰光、永田昌毅、池田順行、小野和宏、丹原惇、齋藤功、飯田明彦、高木律男：顎裂部骨移植時における裂部側切歯の状態と咬合への関与. 第61回日本口腔外科学会総会・学術集会、幕張メッセ・千葉県千葉市、11月25-27日、同プログラム・抄録集：264頁、2016.
- 38) 齋藤有吾、小野和宏、松下佳代：ルーブリックを活用したワークシートによる振り返りが学生の自己評価能力に与える影響－新潟大学歯学部におけるPBLの実践を事例として－. 第23回大学教育研究フォーラム、京都大学・京都府京都市、2017年3月19日、同発表論文集：96-97頁、2017.
- 39) 松田由実、高橋直紀、中島麻由佳、佐藤圭祐、多部田康一、中島貴子、山崎和久. 結紮誘導歯周炎モデルマウスにおける全身への影響とそのメカニズムの解析. 第49回新潟歯学会総会、2016年4月23日
- 40) 佐藤圭祐、高橋直紀、中島麻由佳、松田由実、山田実生、横地麻衣、多部田康一、中島貴子、山崎和久. *Porphyromonas gingivalis* 口腔投与のコラーゲン誘導性関節炎増悪メカニズムの解析. 日歯周誌 58巻 春季特別号 116ページ. 第59回春季日本歯周病学会学術大会、鹿児島、2016年5月20日
- 41) 伊藤晴江、中島貴子、奥井隆文、中島麻由佳、本田朋之、島田靖子、多部田康一、山崎和久. 歯周病安定期治療中の活動性歯周ポケットに対する経口抗菌療法の影響の細菌学的、臨床的効果 (第3報). 日歯周誌 58巻 春季特別号 129ページ. 第59回春季日本歯周病学会学術大会、鹿児島、2016年5月20日

- 42) 松田由実、皆川高嘉、高橋直紀、佐藤圭祐、横地麻衣、山田実生、多部田康一、中島貴子、山崎和久. 外傷性咬合により誘導される歯槽骨吸収に対する Resveratrol の影響. 日本歯科保存学会第 2016 年度春季学術大会プログラムおよび講演抄録集 p27, 第 144 回日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会, 宇都宮, 2016 年 6 月 10 日
- 43) 高橋直紀、松田由実、佐藤圭祐、多部田康一、吉江弘正、山崎和久. TRPV1 受容体の活性化は神経ペプチド産生を介して歯槽骨吸収を抑制する. 日本歯科保存学会第 2016 年度春季学術大会プログラムおよび講演抄録集 p65, 第 144 回日本歯科保存学会 2016 年度春季学術大会, 宇都宮, 2016 年 6 月 10 日
- 44) 山田実生、高橋直紀、松田由実、佐藤圭祐、横地麻衣、多部田康一、中島貴子、山崎和久. 口腔細菌脂質代謝に由来する機能性脂肪酸 HYA は歯肉上皮バリア機能の低下を抑制する. 日歯周誌 58 巻 秋季特別号 112 ページ. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7 日
- 45) 野中由香利、横地麻衣、多部田康一、中島貴子、山崎和久. コメ由来抗菌ペプチドの抗炎症作用と創傷治癒作用の解析. 日歯周誌 58 巻 秋季特別号 121 ページ. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7 日
- 46) 高橋直紀、松田由実、佐藤圭祐、多部田康一、山崎和久、前田健康. カプサイシン受容体 TRPV1 の活性化が歯槽骨吸収におよぼす影響. 日歯周誌 58 巻 秋季特別号 124 ページ. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7 日
- 47) 北村信隆、山崎和久. 咬合性外傷を伴う広汎型重度慢性歯周炎に対して包括的歯周治療を行った一症例. 日歯周誌 58 巻 秋季特別号 150 ページ. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 8 日
- 48) 佐藤圭祐、高橋直紀、中島麻由佳、松田由実、山田実生、横地麻衣、多部田康一、中島貴子、山崎和久. *Porphyromonas gingivalis* 口腔投与のコラーゲン誘導性関節炎増悪メカニズムの解析. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2016 年 11 月 5 日
- 49) 高橋直紀、松田由実、佐藤圭祐、多部田康一、前田健康、山崎和久. 実験的歯周炎モデルマウスの歯槽骨吸収における TRPV1 チャネルタンパクの関与. 第 23 回日本歯科医学会総会プログラム・抄録集 P127, 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡, 2016 年 10 月 21 日-23 日
- 50) 横地麻衣、多部田康一、宮沢春菜、野中由香利、高橋直紀、松田由実、佐藤圭祐、山田実生、伊藤晴江、中島貴子、山崎和久. 細菌抗原による PCSK9 産生の誘導機構. 第 145 回日本歯科保存学会 2016 年度秋季学術大会、松本市キッセイ文化ホール、2016 年 10 月 28 日
- 51) 中川兼人: 「在宅高齢者に対する口腔ケア支援事業制度の設計」、第 64 回秋季大会/日本社会福祉学会、京都、佛教大学、2016 年 9 月 10 日~11 日、開催校企画資料 34 頁、2016.
- 52) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 山田一穂, 荒井 良明, 西山秀昌. インプラント臨床例と並行して行った咬合力荷重ヒト生体骨梁モデルの 3 次元有限要素解析. 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会、名古屋市、2016 年 9 月 16~18 日, Program and Proceedings: 270, 2016 年.
- 53) 岸本奈月, 大塚紘未, ステガロユ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 大内章嗣. 介護保険施設における栄養管理・口腔機能維持管理に関する介護報酬の算定状況とその要因. 新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2016 年 7 月 9 日. 新潟歯学会誌, 46(2): 50-51 頁, 2016 年.
- 54) 岸本奈月, 大塚紘未, ステガロユ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 大内章嗣. 介護保険施設における栄養管理、経口移行(維持)および口腔衛生管理の実態に関する調査. 日本歯科衛生学会雑誌 11 巻 1 号: 92 頁, 2016 年.
- 55) 大塚紘未, 岸本奈月, ステガロユ・ロクサーナ, 柴田佐都子, 大内章嗣. 介護保険施設における経口移行(維持)・口腔衛生管理の実態と歯科専門職との関わり. 日本歯科衛生学会雑誌 11 巻 1 号: 159 頁, 2016 年.
- 56) 佐藤夏奈, 黒川孝一, ステガロユ・ロクサーナ, 石川裕子, 柴田佐都子, 高橋堅護, 新澤秀樹. 新潟県柏崎市における施設入所要介護高齢者の咬合支持と全身状態の関連. 日本歯科衛生学会雑誌 11 巻 1 号: 80 頁, 2016 年.
- 57) 八木 稔, 田浦勝彦, 田口千恵子, 山本武夫: フッ化物応用に対しての新聞および歯科業界誌に関するケース・スタディ, 第 65 回日本口腔衛生学会・総会, 東京都, 2016 年 5 月 27-29 日, 口腔衛生会誌, 66(2): 211, 2016.
- 58) 小松崎 明, 有松美紀子, 荒井節男, 山田智子, 八木 稔, 小野幸絵, 鴨田剛司, 杉本智子, 林 悠子: 新潟県関川村と連携した住民健診, 職域健診での「生活歯援プログラム」の活用事例, 第 27 回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 金沢市, 2016 年 7 月 30 日, 口腔衛生会誌, 67(2): 130, 2017.
- 59) 瀧 節子, 小久保俊一, 武藤利子, 八木 稔: 会津坂下町におけるフッ化物歯面塗布を用いた乳歯う蝕予防事業の成果, 平成 28 年度福島県保健衛生学会(第 45 回), 福島市, 2016 年 9 月 2 日, 福島県保

健衛生雑誌, 28 (抄録集) :35, 2016.

- 60) 晴佐久 悟, 荒川浩久, 相田 潤, 眞木吉信, 磯崎篤則, 井下英二, 川村和章, 八木 稔, 小林清吾: フッ化物局所応用の新しい考え方と術式, 第 23 回日本歯科医学会総会, 福岡市, 2016 年 10 月 21-23 日, プログラム・抄録集, 82, 2016.
- 61) 米澤 大輔, 小出 浩貴, 有賀 彩乃, 高橋 駿介, 堤武志, 熊谷 信平, 中島 貴子, 山崎 和久: 成人健診データにおける歯槽骨吸収量と動脈硬化症リスクの関連解析. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7 日, 日本歯周病学会誌 58: 133 頁, 2016.

【研究会発表】

- 1) 福島正義: 査読のあり方、査読の課題について、日本歯科衛生学会編集委員会研修会、2016.7.30 (日)、東京、ステーションコンファレンス 6 東京 05-A.

【受賞】

- 1) Yamazaki K. 2016 IADR Distinguished Scientist Award (Basic Research in Periodontal Disease Award) 94th General Session & Exhibition of the IADR, Seoul, Korea, 2016. 6. 21.
- 2) Takahashi N, Matsuda Y, Sato K, Tabeta K, Yamazaki K, Maeda T: Neuronal TRPV1 activation inhibits alveolar bone resorption via neuropeptide release. 2017 IADR Johnson & Johnson Joseph Lister Award Regional Finalist, 95th General Session & Exhibition of the IADR, San Francisco, CA, 2017. 3. 22-25.

【その他】

- 1) 福島正義: 巻頭言 教育問題検討委員会の活動報告、老年歯学、31 (3)、329、2016.
- 2) 小野和宏: 問題解決型学習の実践と学習成果の直接評価. 新潟薬科大学 FD (2016 年 8 月 30 日 新潟薬科大学・新潟県新潟市)
- 3) 高橋英樹: 新潟市社会福祉審議会委員, 任期 2014 年 7 月 1 日~2017 年 6 月 30 日
- 4) 高橋英樹: 新潟市成年後見支援センター運営委員会委員長, 任期 2015 年 4 月 1 日~2017 年 3 月 31 日
- 5) 高橋英樹: 新潟市社会福祉協議会法人後見運営審査会委員長, 任期 2015 年 8 月 1 日~2017 年 7 月 31 日
- 6) 高橋英樹: 燕市社会福祉協議会福祉後見・権利擁護センター運営委員会委員, 任期 2015 年 4 月 1 日~2017 年 3 月 31 日
- 7) 高橋英樹: 新潟しなの福祉会福祉サービスに関する苦情解決第三者委員, 任期 2016 年 6 月 1 日~2017 年 5 月 31 日

- 8) 高橋英樹: 新潟市中央区自立支援協議会委員, 任期 2015 年 4 月 1 日~2017 年 3 月 31 日
- 9) 中川兼人: NHK スタジオインタビュー出演「子どもの貧困」8分30秒/「NHKにいがた610」、新潟、2017 年 2 月 27 日.
- 10) 中川兼人: 「生活弱者支援団体との意見交換会」/新潟市歯科医師会、新潟、2017 年 3 月 17 日
- 11) 中川兼人: 「新潟市民生委員推薦会」委員: 任期 平成 28 年 10 月 1 日~平成 31 年 9 月 30 日
- 12) 中川兼人: 「新潟市入札等評価委員会」委員長: 任期 平成 27 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日
- 13) 中川兼人: 「新潟市水道局入札等評価委員会」委員長: 任期 平成 27 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日
- 14) 中川兼人: 「新潟県社会福祉士会」理事: 任期 平成 27 年 6 月~平成 29 年 6 月
- 15) 中川兼人: 「新潟県子どもの貧困対策推進計画検討委員会」委員: 任期 平成 28 年 7 月 7 日~平成 29 年 3 月 31 日
- 16) 中川兼人: 「新潟市老人憩の家指定管理者申請者評価及び指定管理者候補者選定会議」委員長: 任期 2016 年 7 月 12 日~2016 年 10 月 18 日
- 17) 中川兼人: 新潟市教育委員会生涯学習センター幹部職員に「子ども学習支援」を講義、2016 年 8 月 26 日
- 18) 中川兼人: 「新潟しなの福祉会」評議委員: 任期 平成 27 年 8 月 29 日~平成 29 年 8 月 28 日
- 19) 中川兼人: 「新潟市中央福祉会」理事: 任期 平成 27 年 10 月 25 日~平成 29 年 10 月 24 日
- 20) 中川兼人: 「社会福祉士養成校協会関東ブロック新潟県支部」副代表: 任期 平成 26 年度~平成 29 年 3 月
- 21) 中川兼人, 八木 稔: 新潟県子どもの貧困実態調査の分析、新潟県若年層の雇用と生活の実態調査の分析の冊子完成、2017 年 3 月
- 22) Roxana Stegaroiu: EURAXESS and European Programmes for Mobility and Research Cooperation – Feedback session – EURAXESS Share Tohoku 2016, Tohoku Forum for Creativity, Tohoku University, Sendai, Japan, 2016 April 25.
- 23) 八木 稔: フッ化物応用とう蝕予防, 平成 28 年度愛媛県歯科保健担当者研修会, 松山市, 2016 年 8 月 3 日.
- 24) 八木 稔: 子どものむし歯予防について, 平成 28 年度子どものむし歯緊急対策事業「フッ化物応用推進研修会」, 白河市, 2016 年 8 月 8 日.
- 25) 八木 稔: 高齢者と口腔ケア, 朝霞歯科医師会研修会, 新座市, 2 月 18 日.
- 26) 八木 稔: 高齢者と口腔ケア, 埼玉県摂食・嚥下研

- 研究会第26回講演会, さいたま市, 2月19日.
- 27) 柴田佐都子, ステガロユ ロクサーナ, 大内章嗣: 介護施設における口腔衛生管理と栄養管理(経口維持等)の連携の実態と効果, (公財)8020 推進財団平成27年度8020 公募研究事業研究報告書: 51-59頁, 2016.
- 28) 小田島あゆ子, 柴田佐都子: 周術期口腔機能管理の実態および今後の課題, 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科, 新潟市. 11月25日

歯科総合診療部

【論文】

- 1) Kurose M, Imbe H, Nakatani Y, Hasegawa M, Fujii N, Takagi R, Yamamura K, Senba E, Okamoto K: Bilateral increases in ERK activation at the spinomedullary junction region by acute masseter muscle injury during temporomandibular joint inflammation in the rats. *Exp Brain res* 235(3): 913-921, 2017.
- 2) Nakajima T, Okui T, Ito H, Nakajima M, Honda T, Shimada Y, Tabeta K, Akazawa K, Yamazaki K: Microbiological and clinical effects of sitafloxacin and azithromycin in periodontitis patients receiving supportive periodontal therapy. *Antimicrob Agents Chemother* 60(3): 1779-1787, 2016.
- 3) Nakajima M, Arimatsu K, Minagawa T, Matsuda Y, Sato K, Takahashi N, Nakajima T, Yamazaki K: Brazilian propolis mitigates impaired glucose and lipid metabolism in experimental periodontitis in mice. *BMC Complement Altern Med*, 2016. in press.
- 4) 中村太, 佐藤拓実, 塩見晶, 奥村暢旦, 石崎裕子, 伊藤晴江, 中島貴子, 藤井規孝: 高頻度歯科治療における処置時の力のコントロールに関する研究. *日本歯科医学教育学会雑誌* 32(1): 22-28 頁, 2016.
- 5) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 小林哲夫, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 藤井規孝: 歯科医師臨床研修に関するインシデントレポートの分析と対策. *日本歯科医学教育学会雑誌* 32(1): 29-36 頁, 2016.
- 6) 奥村暢旦, 塩見晶, 伊藤晴江, 石崎裕子, 中島貴子, 長谷川真奈, 中村太, 藤井規孝: 歯科衛生士による研修歯科医の態度評価. *日本総合歯科学会雑誌* 8(1): 4-8 頁, 2016.
- 7) 伊藤晴江, 後藤夕貴, 中島貴子, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤山友紀, 藤井規孝: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における保健所プログラムの紹介. *日本総合歯科学会雑誌* 8(1): 42-47 頁, 2016.
- 8) 佐藤拓実, 中村太, 塩見晶, 石崎裕子, 奥村暢旦, 伊藤晴江, 中島貴子, 藤井規孝: 研修歯科医の臨床技術修得における力のコントロールに関する研究. *日本歯科医学教育学会雑誌* 32(3): 48-54 頁, 2016.

【総説】

- 1) 中島貴子: T細胞免疫応答解析を基盤とした歯周炎と全身応答の関連解明. *日本歯周病学会誌* 58(2): 51-57 頁, 2016

【研究費獲得】

- 1) 中島貴子: 歯周炎患者口腔細菌叢-腸内細菌叢連関を基盤とした全身疾患リスク因子の同定. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)*, 16H05554, 2016
- 2) 中島貴子: 常在乳酸菌由来機能性脂質を応用した新規歯周病予防戦略. *新潟大学科学研究費助成事業応募支援プログラム 惜敗応援プログラム (挑戦的萌芽研究惜敗)*, 2016.
- 3) 長谷川真奈: ストレスによる内因性疼痛制御機構の変調のメカニズム. *日本学術振興会科学研究費補助金研究活動スタート支援*, 16H06817E, 2016.
- 4) 藤井規孝, 奥村暢旦: 歯科治療「力」体感システムの開発. *科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 15K1058, 2015.
- 5) 石崎裕子, 福島正義, 児玉臨麟: 高齢者における非生理的咬耗の治療基準策定のための象牙質損耗量の測定と治療予後評価. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 15K11109, 2015.
- 6) 塩見晶: 3次元口腔粘膜モデルを用いた分子・細胞レベルでの義歯床下骨吸収メカニズムの検証. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B)*, 15K20432, 2015.
- 7) 伊藤晴江, 中島貴子: 新規サイトカイン IL-17 から歯周炎病態形成メカニズムを探る. *科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 15K11383, 2015.
- 8) 小田陽平, 小野和宏, 藤井規孝: 診療参加型歯科臨床実習における学習効果の可視化—e ポートフォリオの開発—. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 26350270, 2014.

【講演・シンポジウム】

- 1) 中島貴子: T細胞免疫応答解析を基盤とした歯周炎と全身応答の関連解明 *日本歯周病学会学会学術賞受賞記念講演. 第59回春季日本歯周病学会学術大会*, 鹿児島市, 2016年5月20日, *日本歯周病学会会誌* 58 春季特別号: 88 頁, 2016.

【学会発表】

- 1) Yosuke Nakatani, Keiichiro Okamoto, Masayuki Kurose, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Ritsuo Takagi, Kensuke Yamamura: Effect of repeated and acute psychophysical stress on masseter muscle nociception in the trigeminal subnucleus caudalis region of the rats. 第94回日本生理学会大会, 浜松, 2017年3月28-30日.
- 2) 原さやか, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 旧義歯を治療用義歯として使用し顎位を検討した症例. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.
- 3) 山本大輔, 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 移植歯を利用したブリッジ治療の経験. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.
- 4) 七里侑香, 伊藤晴江, 中島貴子, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 多数歯欠損患者に初めての部分床義歯を装着した経験. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.
- 5) 小松万記, 奥村暢旦, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 藤井規孝: 全顎的長期安定のために犬歯の外科的挺出を行った症例. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.
- 6) 目黒史也, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 重度歯周炎患者への歯周基本治療の実践—患者教育のための文書作成—. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.
- 7) 服部陽一, 関根彩央里, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 新潟大学歯学総合病院歯科における初診患者の有病率調査. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.
- 8) 長谷川真奈, 山田好秋, 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 山村健介: 大気圧センサを用いた健常者の嚥下時咽頭内圧変化の測定. 日本咀嚼学会第27回学術大会, 広島, 2016年11月4-6日.
- 9) Mana Hasegawa, Keiichiro Okamoto, Masayuki Kurose, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue, Noritaka Fujii, Yoshiaki Yamada, Kensuke Yamamura: Measurements of Pharyngeal Barometric Pressure During Swallowing in the Healthy Subjects: 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 新潟, 2016年9月23-24日.
- 10) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, 黒瀬雅之, 山田好秋, 藤井規孝, 山村健介: 大気圧センサを用いた咽頭内圧測定システムによる嚥下機能の評価. 第58回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016年8月24-26日.
- 11) 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 長谷川真奈, 中谷暢佑, 藤井規孝, 山田好秋, 佐藤義英, 山村健介, 増田裕次: 口唇随意運動時の脳活動の変化 fNIRS による分析. 第58回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016年8月24-26日.
- 12) 岡本圭一郎, 黒瀬雅之, 中谷暢佑, 長谷川真奈, 藤井規孝, 高木律夫, 山村健介: 持続性の顎関節炎が両側性の咬筋に痛覚過敏を引き起こす中枢メカニズム. 第58回歯科基礎医学会学術大会, 札幌, 2016年8月24-26日.
- 13) 八田あずさ, 藤井規孝: 乾燥症モデルにおける一次求心性線維の TRPV1 を介した応答性変化. 第125回日本補綴歯科学会学術大会, 石川, 2016年7月9日.
- 14) 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 研修歯科医による臨床指導評価が指導歯科医の教育能力・意欲向上に及ぼす影響. 第35回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月2日.
- 15) 奥村暢旦, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 研修歯科医の処置時の力のコントロール習得に関する研究. 第35回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月2日.
- 16) 中村太, 佐藤拓実, 林豊彦, 中島努, 早崎治明, 佐藤直子, 昆はるか, 奥村暢旦, 藤井規孝: 光学式三次元動作解析装置を用いた浸潤麻酔の挙動評価. 第35回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月2日.
- 17) 佐藤拓実, 中村太, 林豊彦, 中島努, 早崎治明, 佐藤直子, 昆はるか, 奥村暢旦, 藤井規孝: VICON システムを用いた歯科診療動作解析および実験環境の構築. 第35回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月2日.
- 18) 昆はるか, 五十嵐直子, 堀澤貴行, 林豊彦, 中島努, 早崎治明, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝, 堀一浩, 小野高裕: 頸部屈曲が咀嚼運動に与える影響. 日本顎口腔機能学会第56回学術大会, 埼玉, 2016年4月23-24日, 同大会プログラム・抄録集 16-17頁, 2016.
- 19) 長谷川真奈, 山田好秋, 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 藤井規孝, 山村健介: 大気圧センサを用いた嚥下時咽頭内圧変化の測定. 第49回新潟歯学会総会, 新潟, 2016年4月23日.

【受賞】

- 1) 小松万記, 奥村暢旦, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 藤井規孝: 全顎的長期安定のために犬歯の外科的挺出を行った症例. 若手ポスター発表優秀賞. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日.

- 2) 奥村暢旦, 石崎裕子, 伊藤晴江, 中村太, 塩見晶, 中島貴子, 藤井規孝: 歯科臨床技術教育における動画教材の効果, 平成28年度日本歯科医学教育学会優秀論文賞. 第35回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016年7月1日.

【その他】

- 1) 藤井規孝: 新潟大学歯学部臨床実習について. 徳島大学歯学部FD講演会, 徳島, 2017年3月2日.
- 2) 中島貴子: 歯周炎のT細胞応答一局所から全身へのコントローラー. サンスター社内講演会, 高槻, 2016年12月8日.
- 3) 藤井規孝: 本学臨床実習の取り組みと展望. 新潟大学歯学部FD講演会, 新潟, 2016年6月15日.

インプラント治療部

【著書】

- 1) 魚島勝美他: 冠橋義歯補綴学テキスト第2版, 11-24, 225-232. 2017年3月16日
- 2) 魚島勝美他: よくわかる口腔インプラント学第3版, 173-174, 2017年2月10日

【論文】

- 1) Kaku M, Kitami M, Rosales Rocabado JM, Ida T, Akiba Y, Uoshima K: Recruitment of bone marrow-derived cells to the periodontal ligament via the stromal cell-derived factor-1/C-X-C chemokine receptor type 4 axis. *J Periodontol Res* 2017 in press.
- 2) Kitami M, Kaku M, Rocabado JM, Ida T, Akiba N, Uoshima K: Prolonged Survival of Transplanted Osteoblastic Cells Does Not Directly Accelerate the Healing of Calvarial Bone Defects. *J Cell Physiol* Sep;231(9):1974-82, 2016.
- 3) Kaku M, Rosales Rocabado JM, Kitami M, Ida T, Akiba Y, Yamauchi M, Uoshima K: Mechanical Loading Stimulates Expression of Collagen Cross-Linking Associated Enzymes in Periodontal Ligament. *J Cell Physiol* Apr;231(4):926-33, 2016.
- 4) Takano R, Nagasawa M, Kitami M, Rosales Rocabado JM, Kaku M, Stegaroiu R, Uoshima K: Correlation Between Stress Distributions and Biological Reactions in Bone Surrounding Implants That Support Cantilevers in Supraocclusal Contact in Rats. *Implant Dent* Apr;25(2):204-13, 2016.

- 5) Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K.: Biological Evaluation of Implant Drill Made from Zirconium Dioxide. *Clinical Implant Dentistry and Related Research*. 2016 in press
- 6) Masuki H, Okudera T, Watanebe T, Suzuki M, Nishiyama K, Okudera H, Nakata K, Uematsu K, Su CY, Kawase T. Growth factor and pro-inflammatory cytokine contents in platelet-rich plasma (PRP), plasma rich in growth factors (PRGF), advanced platelet-rich fibrin (A-PRF), and concentrated growth factors (CGF). *Int J Implant Dent*. 2016 Dec;2(1):19. Epub 2016 Aug 22
- 7) Daisuke Saito, Toshihiko Mikami, Yohei Oda, Daichi Hasebe, Hideyoshi Nishiyama, Isao Saito, Tadaharu Kobayashi: Relationships among maxillofacial morphologies, bone properties and bone metabolic markers in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 2016 Aug;45(8):985-91. doi:10.1016/j.ijom.2016.02.003. Epub 2016 Mar 11. 査読有
- 8) Kazuomi Nishino, Akihiro Kohara, Yuri Yakitaa, Kanako Ochia, Takafumi Hayashib, Ritsuo Takagic, Tadaharu Kobayashid, Kazuto Teradae, Isao Saito: Three-dimensional analysis of facial changes in skeletal Class III patients following mandibular setback surgery. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*. 28(6), November 2016, Pages 481-487, <http://dx.doi.org/10.1016/j.ajoms.2016.05.006>
- 9) Kurabe K, Kojima T, Kato Y, Saito I, Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on oral health-related quality of life in patients with jaw deformities. *Int J Oral Maxillofac Surg*. 2016 Dec;45(12):1513-1519. doi: 10.1016/j.ijom.2016.07.003. Epub 2016 Aug 3.
- 10) Yoshizawa M, Niimi K, Sugai T, Aoyama S, Koyama T, Inoue M, Kobayashi T: Invasive cervical resorption of autotransplanted tooth with complete root formation; *JSM Dent* 4(3): 1066, July 2016.
- 11) Tsutomu Nomura, Michael P. Powers, J. Lawrence Katz, Sadakazu Ejiri, Tadaharu Kobayashi: Histomorphometric Comparison of Transmandibular Implant and Titanium Implant. *Journal of Long-Term Effects of Medical Implants*, 26(3): 209-215 (2016).

- 12) Katagiri W, Kawai T, Osugi M, Sugimura-Wakayama Y, Sakaguchi K, Kojima T, Kobayashi T. Angiogenesis in newly regenerated bone by secretomes of human mesenchymal stem cells. *Maxillofac Plast Reconstr Surg*.39:8, 2017
- 13) Katagiri W, Sakaguchi K, Kawai T, Wakayama Y, Osugi M, Hibi H. A defined mix of cytokines mimics conditioned medium from cultures of bone marrow-derived mesenchymal stem cells and elicits bone regeneration. *Cell Prolif.* in press, 2017.
- 14) Sakaguchi K, Katagiri W, Osugi M, Kawai T, Sugimura-Wakayama Y, Hibi H. Periodontal tissue regeneration using the cytokine cocktail mimicking secretomes in the conditioned media from human mesenchymal stem cells. *Biochem Biophys Res Commun.* Feb 26;484(1):100-106, 2017.
- 15) Ogata K, Katagiri W, Hibi H. Secretomes from mesenchymal stem cells participate in the regulation of osteoclastogenesis in vitro. *Clin Oral Investig.* in press, 2016.
- 16) Avila-Ortiz G, Bartold PM, Giannobile W, Katagiri W, Nares S, Rios H, Spagnoli D, Wikesjö UM. Biologics and Cell Therapy Tissue Engineering Approaches for the Management of the Edentulous Maxilla: A Systematic Review. *Int J Oral Maxillofac Implants.* 31 Suppl: s121-64,2016.
- 17) Shimizu T, Kubota T, Iwasaki M, Morozumi T, Yoshie H: Changes in biomarkers after initial periodontal treatment in gingival crevicular fluid from patients with chronic periodontitis presenting with drug-induced gingival overgrowth. *Open Journal of Stomatology* 6: 64-72, 2016.
- 18) Ogata Y, Nakayama Y, Tatsumi J, Kubota T, Sato S, Nishida T, Takeuchi Y, Onitsuka T, Sakagami R, Nozaki T, Murakami S, Matsubara N, Tanaka M, Yoshino T, Ota J, Nakagawa T, Ishihara Y, Ito T, Saito A, Yamaki K, Matsuzaki E, Hidaka T, Sasaki D, Yaegashi T, Yasuda T, Shibutani T, Noguchi K, Araki H, Ikumi N, Aoyama Y, Kogai H, Nemoto K, Degichi S, Takiguchi T, Yamamoto M, Inokuchi K, Ito T, Kado T, Furuichi Y, Kanazashi M, Gomi K, Takagi Y, Kubokawa K, Yoshinari N, Hasegawa Y, Hirose T, Sase T, Arita H, Kodama T, Shin K, Izumi Y, Yoshie H: Prevalence and risk factors for peri-implant diseases in Japanese adult patients. *J Oral Sci*, Article ID: 16-0027, 2016.
- 19) Nezu A, Kubota T, Maruyama S, Nagata M, Nohno K, Morozumi T, Yoshie H. Expression of neprilysin in periodontitis-affected gingival tissues. *Arch Oral Biol* 79 (2017): 35-41, 2017. DOI:10.1016/j.archoralbio.2017.03.003
- 20) 魚島勝美、玉井克人、秋山謙太郎、西村正宏：幹細胞研究の現状と将来展望。日補綴会誌。8(4)：340-355, 2016.
- 21) 上松 晃也, 鶴巻 浩:新潟中央病院歯科口腔外科における80歳以上の高齢患者に対する臨床統計的検討 新潟歯学会雑誌 46(1):15-20, 2016
- 22) 小島 拓, 長谷部 大地, 加藤 祐介, 倉部 華奈, 船山 昭典, 新美 奏恵, 加納 浩之, 齊藤 力, 小林 正治: 顎矯正手術後に末梢性顔面神経麻痺を生じた5例. 日本顎変形症学会雑誌 Vol. 26(2016) No. 3: .237-242.
- 23) 加藤 祐介, 三上 俊彦, 船山 昭典, 新美 奏恵, 田中 礼, 林 孝文, 小林 正治: 著しい開口障害をきたした両側筋突起過形成症の1例. 日本顎変形症学会雑誌 Vol. 26(2016) No. 3: 214-219.
- 24) 船山昭典、三上俊彦、長谷部大地、芳澤享子、小林正治: ツキノワグマによる下顎骨粉碎骨折の1例. 日口外傷誌, 15:32-37, 2016.
- 25) 船山昭典, 三上俊彦, 金丸祥平, 小田陽平, 新美奏恵, 芳澤享子, 新垣晋, 小林正治: 下顎歯肉癌の臨床的検討. 新潟歯学会雑誌、新潟歯学会雑誌, 46(2);77-82, 2016.
- 26) 新潟大学大学院医歯学総合研究科組織再建口腔外科学分野において過去48年間に施行された顎矯正手術の臨床的検討. 長谷部大地、須田大亮、浅井祐介、小島 拓、加藤祐介、小林正治, 日本顎変形症学会雑誌 26 巻 4 号 266-274, 2016. 12
- 27) 中村太, 佐藤拓実, 塩見晶, 奥村暢旦, 石崎裕子, 伊藤晴江, 中島貴子, 藤井規孝: 高頻度歯科治療における処置時の力のコントロールに関する研究. 日本歯科医学教育学会雑誌 32 巻 1 号: 22-28 頁, 2016.
- 28) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 小林哲夫, 魚島勝美, 高木律男, 興地隆史, 藤井規孝: 歯科医師臨床研修に関するインシデントレポートの分析と対策. 日本歯科医学教育学会雑誌 32 巻 1 号: 29-36 頁, 2016.
- 29) 奥村暢旦, 塩見晶, 伊藤晴江, 石崎裕子, 中島貴子, 長谷川真奈, 中村太, 藤井規孝: 歯科衛

- 生士による研修歯科医の態度評価. 日本総合歯科学会雑誌 8 巻 1 号 : 4-8 頁, 2016.
- 30) 伊藤晴江, 後藤夕貴, 中島貴子, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤山友紀, 藤井規孝: 新潟大学医歯学総合病院歯科医師臨床研修における保健所プログラムの紹介. 日本総合歯科学会雑誌 8 巻 1 号 : 42-47 頁, 2016.
- 31) 佐藤拓実, 中村太, 塩見晶, 石崎裕子, 奥村暢旦, 伊藤晴江, 中島貴子, 藤井規孝: 研修歯科医の臨床技術修得における力のコントロールに関する研究. 日本歯科医学教育学会雑誌 32 巻 3 号 : 48-54 頁, 2016.
- 32) 荒井良明: 下顎臼歯部 2 歯中間欠損に対してインプラント補綴治療を行った症例. 日本口腔インプラント学会誌 29(4) E337, 2016.
- 33) 稲野辺紫巳, 荒井良明, 高嶋真樹子, 河村篤志, 永井康介, 山崎裕太, 高木律男: 歯科衛生士による咀嚼筋痛障害患者に対する行動変容法の効果. 日本顎関節学会雑誌第 28 (2) : 25-33 項, 2016.

【研究費獲得】

- 1) 魚島 勝美: 骨質 (コラーゲン) が骨代謝に及ぼす影響とそのメカニズムを探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 26293408, 2016
- 2) 星名秀行: 培養骨膜細胞が再生骨にもたらす骨代謝促進の 3D-CT 精密画像解析による質的検出 . 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C) , 26462967, 2014-2016
- 3) 上松晃也: 培養骨膜シートの新規骨再生経路の分子基盤の解明 科学研究費補助金 若手 (B), 16K20534
- 4) 片桐 渉: iPS 細胞由来液性パラクライン因子による骨再生医療の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K11213, 2015-2017.
- 5) 藤井規孝, 奥村暢旦: 歯科治療「力」体感システムの開発. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 15K1058, 2015.
- 6) 小田陽平, 小野和宏, 藤井規孝: 診療参加型歯科臨床実習における学習効果の可視化—e ポートフォリオの開発—. 科学研究費補助金基盤研究 (C) , 26350270, 2014.
- 7) 片桐 渉: 腫瘍切除等顎骨欠損症例に対し、予後 QOL 向上に向けた顎骨再生医療法の最適化研究. 日本医療研究開発機構, 橋渡し研究加速ネットワークプログラム, 2014-2016.

- 8) 河村篤志: 加熱による非侵襲的なデンタルインプラント除去法の確立. 平成 27-28 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B) , 課題番号 15K20433, 2016.
- 9) 荒井良明: 顎関節治療に関する研究助成. サンメディカル (株) 寄付金 2016 年 5 月.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Nagasawa M, Uoshima K, Suliman M, Mizushima K, Cooper LF: Bone marrow cells are mediating osteoclast differentiation around dental implant in vivo. The International Collaborative Symposium 2017 (Niigata University, Japan – Prince of Songkla University, Thailand, February 11, 2017, Program book: 44, 2017.
- 2) Mizushima K, Nagasawa M, Uoshima K, Suliman M, Farah Al Omari: Collagen Cross-link deficiency might influence osseointegration of the implant in rat. The International Collaborative Symposium 2017 (Niigata University, Japan – Prince of Songkla University, Thailand, February 11, 2017, Program book: 43, 2017.
- 3) Takaoka Y, Akiba Y, Nagasawa M, Aoyagi Y, Uoshima K: Analysis of metal allergy patients visited Niigata University Medical and Dental Hospital. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Samui, Thailand, Feb 12, 2017.
- 4) 23rd European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery Congress Japan Session: Orthognathic surgery “Risk factors for progressive condylar resorption following orthognathic surgery” Sep. 13-16, 2016, The Queen Elizabeth II Conference Centre, London.
- 5) 2016 年台湾口腔顎顔面外科学会年次総会・学術大会 Annual Congress of ROC Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, Taiwan “Impact of orthognathic surgery on quality of life in patients with jaw deformities” 2017 年 3 月 4 日 (土), 3 月 5 日 (日) 台北
- 6) 魚島 勝美: 日本歯科医学教育学会の国際化について. 第 35 回日本歯科医学教育学会シンポジウム, 大阪, 2016 年 7 月 2 日
- 7) 魚島 勝美: 補綴歯科専門医研修プログラムはどうあるべきか—欧米のプログラムに学ぶ— 第 125 回日本補綴歯科学会学術大会委員会セミナー, 金沢, 2016 年 7 月 8 日

- 8) 魚島 勝美:補綴治療のコンセプトー天然歯とインプラントー. 矯正歯科医セミナー例会, 東京, 2016年4月11日
- 9) 片桐 渉, 清水 忍, 大杉将嗣, 若山有紀子, 坂口晃平, 鶴田剛士, 渡邊純奈, 日比英晴:再生医療等安全性確保法に基づく先進医療Bの顎骨再生医療臨床試験実施体制の構築, 第61回日本口腔外科学会総会・学術大会ワークショップ, 千葉, 2016年11月25日. 138ページ
- 10) 小林正治:睦水会講演会「新潟大学医歯学総合病院の将来ビジョンと医科歯科連携」ホテルイタリヤ軒、新潟 2016年8月25日
- 11) 小林正治:南魚沼市立病院群40周年記念 市民公開講座 いびきは万病のもと? 「睡眠呼吸障害とその治療」 南魚沼市コミュニティホール「さわらび」2016年12月17日
- 12) 小林正治:六華会(新潟大学歯学部同窓会富山県支部)講演会「顎変形症に対する外科的矯正治療が quality of life に及ぼす影響」ANAクラウンプラザホテル富山、富山 2017年2月18日
- 13) 小林正治:第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会
- 14) シンポジウム3「顎矯正手術後の骨格安定度を科学する」顎矯正手術後の顎骨安定度に影響を及ぼす要因 福岡国際会議場 2016年4月16-17日
- 15) 小林正治:第32回NPO法人日本顎変形症学会学術集会 シンポジウム「逆カントを呈する顔面非対称症例への対応」顔面非対称症例の診断と逆カント症例に対する手術計画の立案 学術総合センター(一橋講堂) 2016年6月23日
- 16) 小林正治:第32回NPO法人日本顎変形症学会学術集会 ランチョンセミナー外科的矯正治療におけるトラブルを考える 学術総合センター(一橋講堂) 2016年6月23日
- 17) 小林正治:第15回日本睡眠歯科学会総会・学術集会 シンポジウム: 睡眠歯科研究:最近のトピックス 「睡眠呼吸障害に対する歯科的アプローチ」2016年11月12日(土)~13日(日) 日本大学会館大講堂
- assessment of dental students in Japan. ADEE2016, Barcelona, 2016.8.26
- 2) Kaori Eguchi, Yosuke Akiba, Nami Akiba, Masako Nagasawa, Lyndon F. Cooper, Katsumi Uoshima: IGFBP-3 Suppresses Osteoblast Differentiation Through BMP-2 Signaling. 94th General Session & Exhibition of the IADR. Seoul, Korea, June 22-25, 2016.
- 3) Katagiri W, Watanabe J, Toyama N, Sakaguchi K, Sugimura-Wakayama-Y, Osugi M, Kojima T, Kobayashi T: Translational research for bone regeneration by the conditioned medium from mesenchymal stem cells after maxillary sinus floor elevation. The 55th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Gwangju, Korea, Nov 4-6, 2016.
- 4) Michiko YOSHIZAWA, Takahiro KOYAMA, Akinori FUNAYAMA, Toshihiko MIKAMI, Tadaharu KOBAYASHI: Tissue-engineered oral mucosa fabricated with oral keratinocytes-enriched population of small-sized progenitor/stem cells maintains a high potential of oral mucosal regeneration after grafting in mice The 57th Congress of the Korean Association of Oral and Maxillofacial Surgeons Date | April 22 (Fri) ~ April 24 (Sun), 2016 Venue | Gunsan Exhibition & Convention Center (GSCO)
- 5) Daisuke Suda, Atsushi Ohazama, Takeyasu Maeda, Tadaharu Kobayashi: The relation between bone strength and mandibular condylar resorption following mandibular distraction in a rat model. 23rd European Association for Cranio Maxillo-Facial Surgery Congress, Sep. 13-16, 2016, The Queen Elizabeth II Conference Centre, London.
- 6) Taku KOJIMA, Kana KURABE, Yusuke KATO, Daichi HASEBE, Hiroyuki TAKATSUJI, Wataru KATAGIRI, Isao SAITO, Tadaharu KOBAYASHI A questionnaire study after orthognathic surgery in patients with jaw deformities The 55th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons November 4(Fri) - 6(Sun), 2016 KDJ Center, Gwangju, Korea
- 7) Yoshiaki Arai, Salazar Raymond, Makiko Takashima, Taku Kojima, Tadaharu Kobayashi Vertical distraction osteogenesis of reconstructed mandible for dental implant rehabilitation: A report

【学会発表】

- 1) Katsumi Uoshima, Nami Akiba, Kazuhiro Ono, Takeyasu Maeda, Yasuhisa Tekachi, Taichi Tenkumo, Keiichi Sasaki, Kazuhiro Tsuga, Motoyuki Sugai: A newly developed technical

- of 5 cases 12th Asian Congress on Oral and Maxillofacial Surgery 09-12 Nov 2016 Manila Hotel
- 8) Kubota T, Nemoto Y, Nohno K, Morozumi T, Nezu A, Yoshie H: Clinical outcomes following combination of periodontal regenerative therapy using a deproteinised bovine bone mineral, enamel matrix derivative with or without collagen membrane – A split mouth study –. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
 - 9) Nemoto Y, Kubota T, Nohno K, Nezu A, Morozumi T, Yoshie H: Effectiveness of collagen membrane in periodontal regenerative therapy using enamel matrix derivative with deproteinized bovine bone mineral. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
 - 10) Nezu A, Kubota T, Maruyama S, Nagata M, Horimizu M, Nohno K, Hokari T, Morozumi T, Saku T, Yoshie H: Expression of neprilysin in periodontitis-affected gingival tissue. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
 - 11) Hokari T, Morozumi T, Komatsu Y, Yoshino T, Shimizu T, Tanaka M, Tanaka Y, Kubota T, Yoshie H: Biological effects of a-PDT and LDDS in chronic periodontitis. 102th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology, San Diego, September 10-13, 2016.
 - 12) 魚島勝美, 星名秀行, 山田一穂, 小川信, 清水太郎, 上松晃也, 荒井良明, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部開設後の治療実績: 10年間の外来および入院患者. 第46回日本口腔インプラント学会, 名古屋, 2016年9月18日.
 - 13) 上松 晃也, 星名 秀行, 山田 一穂, 小川 信, 永田 昌毅, 長谷部 大地, 荒井 良明, 高木 律男, 小林 正治, 魚島 勝美 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部における骨増生の臨床的検討 第20回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2016年12月3日-4日 東京医科歯科大学 M&Dタワー
 - 14) 河村篤志, 秋葉陽介, 長澤麻沙子, 高嶋真樹子, 永井康介, 山崎裕太, 荒井良明, 魚島勝美: 加熱によるデンタルインプラント除去の有効性検証. 第46回日本口腔インプラント学会, 名古屋, 2016年9月18日.
 - 15) JM Rosales Rocabado, 加来 賢, 野崎浩佑, 井田貴子, 魚島勝美: Fracture Strength of Femoral Bone Increased by Gain of Cortical Bone Volume on Ovariectomized Rats, 第125回日本補綴歯科学会学術大会, 金沢, 2016年7月8日, 同学術大会プログラム・抄録集: 262頁, 2016.
 - 16) 浜谷桂佑, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 新潟大学医歯学総合病院冠ブリッジ診療科における歯根破折治療の報告. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会, 新潟, 2016年11月6日
 - 17) 青柳裕仁, 高 昇将, 中野将人, 木村龍弥, 魚島勝美: SiC繊維の含有量がSiC繊維強化型コンポジットレジンの機械的強度に及ぼす影響. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部総会・学術大会, 2016年11月6日, プログラム・抄録集: 15頁, 2016.
 - 18) 高 昇将, 青柳裕仁, 木村龍弥, 中野将人, 魚島勝美: SiC繊維のシラン処理濃度が機械的強度に及ぼす影響. 平成28年度日本補綴歯科学会関越支部総会・学術大会, 2016年11月6日, プログラム・抄録集: 14頁, 2016.
 - 19) 江口香里, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 長澤麻沙子, リンドン F. クーパー, 魚島勝美: IGFBP-3はBMP-2シグナルを介してIGF非依存的に骨形成を抑制する, 日本補綴歯科学会第125回学術大会, 2016年7月8日~10日, 石川, 同学術大会プログラム・抄録集: 259頁, 2016.
 - 20) Suliman M, Nagasawa M, Mizushima K, Uoshima K: The influences of collagen crosslink in bone matrix on adjacent tissue reactions. 第46回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2016年9月18日, 同学術集会プログラム: 56頁, 2016.
 - 21) 秋葉陽介, 江口香里, 秋葉奈美, 魚島勝美: 機能特化プライミング細胞カクテル移植による骨再生法, 日本補綴歯科学会第125回学術大会, 2016年7月8日~10日, 石川, 同学術大会プログラム・抄録集: 321頁, 2016.
 - 22) 秋葉 奈美, 小野 和宏, 吉羽 邦彦, 加来 咲子, 竹石 龍右, 魚島 勝美, 前田 健康: 疾患統合モデルを用いた卒業時歯科臨床技能評価方法の開発. 第35回日本歯科医学教育学会学術大会, 2016年7月2日, 同学術大会プログラム・抄録集: 135頁, 2016

- 23) 田地 豪、天雲太一、竹内裕尚、秋葉奈美、三村純代、首藤崇裕、二川浩樹、津賀一弘、小野和宏、吉羽邦彦、魚島勝美、前田健康、佐々木啓一、菅井基行：標準化された病態顎模型を用いた客観的歯科臨床技能評価方法の開発—第3報—第35回日本歯科医学教育学会学術大会、2016年7月2日、同学術大会プログラム・抄録集：82頁、2016
- 24) 竹石龍右、加来咲子、天雲太一、竹内裕尚、三村純代、首藤崇裕、石田陽子、秋葉奈美、魚島勝美、小野和宏、佐々木啓一、菅井基行、前田健康：連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム—平成26～27年度の実績—2016年7月2、3日、同学術大会プログラム・抄録集：99頁、2016
- 25) 深井真澄、大湊 麗、児玉泰光、永田昌毅、今井信行、小野和宏、小林正治、高木律男 口蓋裂患者における口蓋裂言語の心理的受容過程 第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会、2016年4月16日、17日福岡国際会議場
- 26) 長谷部大地 浅井佑介 須田大亮 小島拓加藤祐介 小林正治 新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科における48年間の顎矯正手術の臨床的検討第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会、2016年4月16日、17日福岡国際会議場
- 27) 丹原 惇、高橋 功次朗、市川 佳弥、朝日藤 寿一、森田 修一、児玉 泰光、高木 律男、小林 正治、齋藤 功： 矯正単独で最終咬合治療を行った完全唇顎口蓋裂の第Ⅱ期治療に関する調査 第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会2016年(平成28年)5月26日、27日 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター
- 28) 船山昭典 三上俊彦 金丸祥平 新美奏恵 小田陽平 芳澤享子 新垣 晋 小林正治
- 29) 口腔癌患者における同時性重複癌の臨床的検討
- 30) 第40回日本頭頸部癌学会 2016年6月9日・10日
- 31) 金丸祥平、芳澤享子、船山昭典、池真樹子、阿部達也、林孝文、朔敬、小林正治 長期間下顎骨内移動した埋伏残根の1例 第42回(公社)日本口腔外科学会北日本支部学術集会 2016年6月18日・19日：山形テルサ 3階 アプローチ
- 32) 小田陽平、小野和宏、藤井規孝、小林正治、前田健康 診療参加型歯科臨床実習におけるweb公開型eポートフォリオ 第3報 記述内容の質的分析の試み 第35回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 2016年7月1日・2日 大阪大学コンベンションセンター
- 33) 小林正治、加藤祐介、新美奏恵、長谷部大地、池元太郎、齋藤 功 馬蹄形 Le Fort I型骨切り術による上顎骨後方移動術 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会2016年6月24日25日 学術総合センター(一橋講堂) (東京都千代田区)
- 34) 新島 綾子、森田 修一、高橋 功次朗、丹原 惇、池田順行、小林 正治、齋藤 功： 偏位を伴う骨格性下顎前突症例における顎矯正手術前後の正貌硬組織変化と正貌輪郭変化の関係 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会2016年6月24日25日 学術総合センター(一橋講堂) (東京都千代田区)
- 35) 村上 智子、福井 忠雄、西山 秀昌、林孝文、小林 正治、高木 律男、齋藤 功 顔面非対称を伴う骨格性下顎前突症例における脳頭蓋底の三次元形態分析 第26回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会2016年6月24日25日 学術総合センター(一橋講堂) (東京都千代田区)
- 36) 学術総合センター(一橋講堂) (東京都千代田区)
- 37) 小島 拓、加藤祐介、三上俊彦、芳澤享子、小林正治 下顎骨区域切除術における三次元立体モデルを用いて作製したリポジショニングデバイスの有用性 関東形成外科学会第100回新潟地方会、2016年7月9日、新潟
- 38) 加藤祐介、三上俊彦、高辻紘之、小林正治、顎関節症状を初発とした乾癬性関節炎の1例 第29回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 会期：2016年7月17日～18日会場：湯本富士屋ホテル。
- 39) 須田大亮、大峯 淳、前田健康、小林正治 ラット下顎骨延長モデルにおける下顎頭吸収と骨質の関連性について 新潟歯学会平成28年度第1回例会7月9日
- 40) 新美奏恵、長谷部大地、三上俊彦、船山昭典、小林正治顎顔面に多発開放骨折を伴った交通外傷の1例 第18回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会 会期：2016年7月31日 会場：東京歯科大学水道橋校舎
- 41) 新美奏恵、小林正治、林 孝文 関節リウマチ患者に発症した舌難治性潰瘍の一例 第26回日本口腔内科学会 2016年9月23日・24日 会場：さん太ホール・さん太ギャラリー・山陽

- 新聞本社ビル 9 階大会
- 42) 新島 綾子、森田 修一、高橋 功次朗、丹原 惇、池田順行、小林 正治、齋藤 功 クラスター分析による骨格性下顎前突症例における正貌パターンの分類 第 75 回日本矯正歯科学会大会 2016 年 11 月 7 日～9 日、アスティとくしま。
 - 43) 浅井佑介、長谷部大地、小島 拓、齋藤 功、小林正治 顎矯正手術が鼻咽腔に及ぼす影響について新潟歯学会平成 28 年度第 2 回例会 1 月 5 日
 - 44) 高辻紘之、長谷部大地、三上俊彦、高橋哲哉、下畑享良、小林 正治 睡眠呼吸障害を認める多系統萎縮症患者に対して口腔内装置を使用した症例 第 15 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会 日、時:2016 年 11 月 12 日～13 日、日本大学会館大講堂
 - 45) 新美奏恵、小林正治 顎矯正手術に使用した吸収性プレートに遅発性の炎症反応を認めた 2 例 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術総会 会期: 2016 年 11 月 25 日～27 日、会場: 千葉 幕張メッセ。
 - 46) 三上俊彦 船山昭典 金丸祥平 小田陽平 新美奏恵 小林正治 当科における舌扁平上皮癌 Stage I-II 症例の臨床統計的検討 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術総会 会期: 2016 年 11 月 25 日～27 日、会場: 千葉 幕張メッセ。
 - 47) 須田大亮、小林正治 下顎骨延長モデルラットを用いた下顎頭吸収と骨質の関連性の検討 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術総会 会期: 2016 年 11 月 25 日～27 日、会場: 千葉 幕張メッセ。
 - 48) 齋藤直朗、小島拓、須田大亮、原夕子、芳澤享子、小林正治 骨分化誘導と低酸素処理併用によるラット間葉系細胞の多面的骨誘導能促進効果の検討 第 61 回日本口腔外科学会総会・学術総会 会期: 2016 年 11 月 25 日～27 日、会場: 千葉 幕張メッセ。
 - 49) 高田寛子、小田陽平、小林正治 下顎骨関節突起骨折—当科における 10 年間の臨床統計— 関東形成外科学会第 101 回新潟地方会、2016 年 12 月 2 日、新潟
 - 50) 長谷部 大地 小島 拓 荒井 良明 小林正治 交通外傷後に顎矯正手術とインプラント治療により咬合と審美面の回復を行った 1 例 第 20 回 公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 期日: 2016 年 12 月 3 日、4 日東京医科歯科大学
 - 51) 船山昭典、三上俊彦、金丸祥平、新美奏恵、小田陽平、小林正治 当科における口腔癌 T4 症例の臨床的検討 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会
 - 52) 2017 年 1 月 26 日・27 日福岡国際会議場
 - 53) 三上俊彦 船山昭典 金丸祥平 小田陽平 山崎 学 丸山 智 西山秀昌 林 孝文 小林正治 前舌腺に発生した腺癌 NOS の 1 例 第 35 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2017 年 1 月 26 日・27 日福岡国際会議場
 - 54) 顎顔面変治骨折症例に対する外科的矯正治療 竹内涼子 長谷部大地 荒井良明 小林正治 関東形成外科学会第 102 回新潟地方会、2017 年 2 月 3 日、新潟
 - 55) 坂口晃平、片桐 渉、大杉将嗣、酒井 陽、若山有紀子、鶴田剛士、日比英晴: 幹細胞由来培養上清を模した成長因子混合剤による新たな歯周組織再生法、第 37 回日本炎症・再生医学会、京都、2016 年 6 月 16 日。同プログラム・抄録集: 37 頁、2016。
 - 56) 坂口晃平、片桐 渉、大杉将嗣、酒井 陽、若山有紀子、鶴田剛士、渡邊純奈、日比英晴: 骨髄由来間葉系幹細胞由来培養上清を模倣した成長因子混合剤による歯周組織再生、第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会、千葉、2016 年 11 月 25 日、
 - 57) 同プログラム・抄録集: 248 頁、2016。
 - 58) 鶴田剛士、片桐 渉、大杉将嗣、酒井 陽、若山有紀子、坂口晃平、渡邊純奈、日比英晴: ラット末梢生嚙下障害モデルにおける乳歯歯髓幹細胞由来成長因子による治療効果の検討。第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会、千葉、2016 年 11 月 26 日、同プログラム・抄録集: 191 頁、2016。
 - 59) 鶴田剛士、片桐 渉、大杉将嗣、酒井 陽、若山有紀子、坂口晃平、渡邊純奈、日比英晴: ラット末梢生嚙下障害モデルにおける乳歯歯髓幹細胞由来成長因子による治療効果の検討。第 16 回日本再生医療学会総会、宮城、2017 年 3 月 7 日。
 - 60) 根本康子、久保田健彦、両角俊哉、濃野 要、根津 新、吉江弘正: エナメル基質タンパク、脱タンパクウシ骨基質を用いた歯周組織再生療法におけるコラーゲン膜の有効性の検討。第 59 回春季日本歯周病学会学術大会、鹿児島、2016 年 5 月 20-21 日、日本歯周病学会会誌 第 58 巻 春季特別号: 139 頁、2016。
 - 61) 保莉崇大、両角俊哉、小松康高、清水太郎、

- 吉野敏明, 田中真喜, 田中良枝, 久保田健彦, 吉江弘正: 慢性歯周炎に対する抗菌的光線力学療法と局所薬物配送システムの生物学的効果. 第 59 回春季日本歯周病学会学術大会, 鹿児島, 2016 年 5 月 20-21 日, 日本歯周病学会会誌 第 58 巻 春季特別号: 122 頁, 鹿児島, 2016.
- 62) 両角俊哉, 久保田健彦, 保苺宗大, 奥田一博, 吉江弘正: 広汎型重度慢性歯周炎患者において One-stage Full-mouth SRP と歯周組織再生療法により改善を認めた一症例. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7-8 日, 日本歯周病学会会誌 第 58 巻秋季特別号: 141 頁, 2016.
- 63) 両角俊哉, 久保田健彦, 保苺崇大, 奥田一博, 吉江弘正: 広汎型重度慢性歯周炎患者において One-stage Full-mouth SRP と歯周組織再生療法により改善を認めた一症例. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7-8 日, 日本歯周病学会会誌 第 58 巻秋季特別号: 141 頁, 2016.
- 64) 清水太郎, 久保田健彦, 奥田一博, 吉江弘正: 広汎型重度慢性歯周炎に歯根膜を応用して包括的治療を行った一症例. 第 59 回秋季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2016 年 10 月 7-8 日, 日本歯周病学会会誌 第 58 巻秋季特別号: 151 頁, 2016.
- 65) 根本康子, 久保田健彦, 濃野 要, 根津 新, 両角俊哉, 吉江弘正: エナメル基質タンパク、脱タンパクウシ骨基質を用いた歯周組織再生療法におけるコラーゲン膜の有効性の検討. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会 新潟, 2016 年 11 月 5 日, プログラム・抄録集: 13 頁, 2016.
- 66) 根津 新, 久保田健彦, 丸山 智, 永田昌毅, 堀水 慎, 濃野 要, 保苺崇大, 両角俊哉, 朔敬, 吉江弘正: 歯周炎罹患歯肉組織におけるネプリライシンの遺伝子発現レベルと免疫組織局在の解析. 平成 28 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2016 年 11 月 5 日, プログラム・抄録集: 12 頁, 2016.
- 67) 長谷川真奈, 山田好秋, 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 藤井規孝, 山村健介: 大気圧センサを用いた嚥下時咽頭の威圧変化の測定. 第 49 回新潟歯学会, 新潟, 2016 年 4 月 23 日
- 68) 中村太, 佐藤拓実, 林豊彦, 中島努, 早崎治明, 佐藤直子, 昆はるか, 奥村暢旦, 藤井規孝: 光学式三次元動作解析装置を用いた浸潤麻酔の挙動評価. 第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016 年 7 月 2 日
- 69) 奥村暢旦, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 研修歯科医の処置時の力のコントロール習得に関する研究. 第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016 年 7 月 2 日
- 70) 佐藤拓実, 中村太, 林豊彦, 中島努, 早崎治明, 佐藤直子, 昆はるか, 奥村暢旦, 藤井規孝: VICON システムを用いた歯科診療動作解析および実験環境の構築. 第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016 年 7 月 2 日
- 71) 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 中村太, 佐藤拓実, 藤井規孝: 研修歯科医による臨床指導評価が指導歯科医の教育能力・意欲向上に及ぼす影響. 第 35 回日本歯科医学教育学会学術大会, 大阪, 2016 年 7 月 2 日
- 72) 八田あずさ, 藤井規孝: 乾燥症モデルにおける一次求心性線維の TRPV1 を介した応答性変化. 第 125 回日本補綴歯科学会学術大会, 石川, 2016 年 7 月 9 日
- 73) 原さやか, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 旧義歯を治療用義歯として使用し顎位を検討した症例. 第 9 回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016 年 11 月 19 日
- 74) 山本大輔, 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 移植歯を利用したブリッジ治療の経験. 第 9 回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016 年 11 月 19 日
- 75) 七里侑香, 伊藤晴江, 中島貴子, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 多数歯欠損患者に初めての部分床義歯を装着した経験. 第 9 回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016 年 11 月 19 日
- 76) 小松万記, 奥村暢旦, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 塩見晶, 藤井規孝: 全顎的長期安定のために犬歯の外科的挺出を行った症例. 第 9 回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016 年 11 月 19 日
- 77) 目黒史也, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 重度歯周炎患者への歯周基本治療の実践—患者教育のための文書作成—. 第 9 回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016 年 11 月 19 日
- 78) 服部陽一, 関根彩央里, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 新潟

大学医歯学総合病院歯科における初診患者の
有病率調査. 第9回日本総合歯科学会学術大会,
岡山, 2016年11月19日

【研究会発表】

- 1) 加来 賢, 井田貴子, 魚島勝美: カラーゲン架橋による骨関連細胞の分化制御, 第5回あしなが予防医学研究会, 新潟, 2017年2月18日.
- 2) 井田貴子, 加来 賢, 水越 優, 魚島勝美: 歯根膜の部位特異的な細胞増殖活性の解析, 第6回補綴若手研究会, 山口, 2017年3月11日, 同研究会プログラム: 6頁, 2016.
- 3) 江口香里, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 魚島勝美: IGFBP-3による骨芽細胞分化制御機構の解析. 第6回補綴若手研究会, 山口, 2017年3月11日, 同研究会プログラム: 8頁, 2017
- 4) 片桐 渉: 腫瘍切除等顎骨欠損症例に対し、予後 QOL 向上に向けた顎骨再生医療法の最適化研究. 革新的医療技術創出拠点プロジェクト平成28年度成果報告会, 東京, 2017年3月3日.
- 5) 小田 陽平, 三上俊彦, 金丸祥平, 船山昭, 小林正治 悪性リンパ腫と口底上皮内癌の同時性重複の1例 第76回新潟癌治療研究会 2016年7月23日 ホテルラングウィッド新潟4階「佐渡の間」

【受賞】

- 1) 久保田健彦: ホエイペプチド配合免疫調整流動食経口摂取が歯周炎患者における歯肉溝渗出液の炎症性サイトカインに与える影響. 日本歯科保存学会歯周病学分野最優秀論文賞, 第144回日本歯科保存学会春季学術大会, 2016年6月9-10日.
- 2) 久保田健彦: SPT 期におけるテトラサイクリン・エピジヒドロコレステリン含有軟膏の塗布塗擦の有効性評価—予備的検討. 日本歯周病学会2015年度最優秀論文賞, 第59回日本歯周病学会秋季学術大会, 2016年10月7-8日.
- 3) 七里侑香, 伊藤晴江, 中島貴子, 石崎裕子, 奥村暢旦, 塩見晶, 藤井規孝: 多数歯欠損患者に初めての部分床義歯を装着した経験. 若手ポスター発表優秀賞. 第9回日本総合歯科学会学術大会, 岡山, 2016年11月19日

【その他】

- 1) 藤井規孝: 本学臨床実習の取り組みと展望. 新潟大学歯学部FD講演会, 新潟, 2016年6月15

日

- 2) 藤井規孝: 新潟大学歯学部臨床実習について. 徳島大学歯学部FD講演会, 徳島, 2016年3月2日
- 3) 片桐 渉: 骨再生医療の基礎と臨床—トランスレーショナル・リサーチの到達点—. 大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第二教室同窓会, 大阪, 2016年4月16日.
- 4) 片桐 渉: 薬剤関連顎骨壊死とその実態—留意すべき薬剤とそのメカニズム—. 名古屋市昭和区医師会学術講演会, 名古屋市, 2016年5月14日.
- 5) 久保田健彦: お口の健康について. 新潟県中途視覚障害者連絡会主催健康講演会, 新潟, 2016年7月18日.

【その他】

魚島 勝美: 日本学術振興会科学研究費補助金審査委員

魚島 勝美: 医療系大学間共用試験実施評価機構臨床実習後 OSCE 準備検討委員会歯学系WG委員

魚島 勝美: 日本補綴歯科学会教育問題検討委員会委員

魚島 勝美: 日本補綴歯科学会評議員

魚島 勝美: 日本歯科医学教育学会評議員

魚島 勝美: 日本歯科医学教育学会国際化推進委員会委員

魚島 勝美: 新潟歯学会評議員

魚島 勝美: 口腔病学会評議員

魚島 勝美: 歯科技工士試験委員

顎関節治療部

【著書】

- 1) 高木律男: 顎関節強直症 言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学 第2版 7. 顎関節疾患, 医学書院, 東京, 2016.

【論文】

- 1) Domon H, Oda M, Maekawa T, Nagai K, Takeda W, Terao Y: Streptococcus pneumoniae disrupts pulmonary immune defence via elastase release following pneumolysin-dependent neutrophil lysis. Scientific Reports, 6: 38013, 2016.
- 2) 荒井良明: 下顎臼歯部 2 歯中間欠損に対してインプラント補綴治療を行った症例. 日本口腔インプラント学会誌 29(4) E337, 2016.

- 3) 稲野辺紫巳, 荒井良明, 高嶋真樹子, 河村篤志, 永井康介, 山崎裕太, 高木律男: 歯科衛生士による咀嚼筋痛障害患者に対する行動変容法の効果. 日本顎関節学会雑誌第 28 (2) : 25-33 項, 2016.
- 4) 渡部桃子, 池田順行, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男: 側頭部蜂窩織炎後の癒痕形成により開口障害が持続した 1 例. 新潟歯学会誌 46(2): 33-38, 2016.
- 6) 加藤 祐介, 林 孝文, 三上俊彦, 高辻□紘之, 新美奏恵, 小林正治: 顎関節症状を初発とした乾癬性顎関節炎の 1 例. 第 29 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 神奈川, 2016 年 7 月 17 日, 日本顎関節学会雑誌 Vol.28 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集:140 項, 2016.
- 7) 山崎裕太, 荒井良明, 河村篤志, 高嶋真樹子, 永井康介, 高木律男: 日本顎関節学会の顎関節症病態分類を用いた臨床統計学的検討. 第 29 回日本顎関節学会学術大会, 箱根町, 2016 年 7 月 17 日, 日本顎関節学会雑誌 Vol.28 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集: 141 頁, 2016.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 高木律男: 教育セミナー「顎関節キャダヴァークワークショップによる顎関節手術手技研修」 Cadaver を用いた顎関節腔穿刺. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会, 箱根町, 2016 年 7 月 17-18 日.

【学会発表】

- 1) A. Kawamura, Y. Akiba, M. Nagasawa, M. Takashima, K. Nagai, Y. Yamazaki, Y. Arai, K. Uoshima: Validation of an Implant Removal Method by Local Heating. 26th ANNUAL SCIENTIFIC MEETING OF THE EUROPIAN ASSOCIATION FOR OSSEOINTEGRATION, Paris, October 5th-7th, 2016, CLINICAL ORAL IMPLANT RESEARCH 27(Suppl.):35, 2016.
- 2) Y. Arai, R. Salazar, M. Takashima, A. Kawamura, T. Kojima, T. Kobayashi: Vertical Distraction Osteogenesis of Reconstructed Mandible for Dental Implant Rehabilitation: A report of 4 cases. 12th Asian Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Manila, 11. Nov.9-12, 2016, ABSTRACT BOOK 102-103, 2016.
- 3) 小山貴寛, 清水志保, 池田順行, 小玉直樹, 西山秀昌, 林 孝文, 高木律男: 筋突起部に著明な骨膜反応を呈した慢性下顎骨髄炎の 1 例. 第 54 回日本口腔科学会北日本地方部会, 山形市, 2016 年 6 月 18-19 日. 第 54 回日本口腔科学会北日本地方部会プログラム・抄録集 29 頁, 2016.
- 4) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男. 片側性の下顎頭吸収による開咬に対し顎間牽引を行った 1 例. 第 100 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2016 年 7 月 9 日.
- 5) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村 厚, 中谷暢佑, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った 1 例. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会, 箱根町, 2016 年 7 月 17-18 日. 第 29 回日本顎関節学会総会・学術大会プログラム・抄録集 136 頁, 2016.
- 8) 河村篤志, 秋葉陽介, 長澤麻沙子, 高嶋真樹子, 永井康介, 山崎裕太, 荒井良明, 魚島勝美: 加熱によるデンタルインプラント除去法の有効性検証. 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋市, 2016 年 9 月 16-18 日. 日本口腔インプラント学会誌第 29 巻特別号: 44 頁, 2016.
- 9) Stegaroiu Roxana, 黒川 孝一, 山田 一穂, 荒井良明, 西山 秀昌: インプラント臨床例と並行して行った咬合力荷重ヒト生体骨梁モデルの 3 次元有限要素解析. 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋市, 2016 年 9 月 16-18 日. 日本口腔インプラント学会誌第 29 巻特別号:59 頁, P-1-34, 2016.
- 10) 田中みか子, 三上絵美, 櫻井直樹, 芳澤享子, 荒井良明, 山田一穂, 江尻貞一, 小野高裕: ヒト抜歯後歯槽堤における骨改造現象と骨代謝活性の抜歯後期間による違い—骨形態計測学的・組織学的解析—. 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋市, 2016 年 9 月 16-18 日. 日本口腔インプラント学会誌第 29 巻特別号: 60 頁, P-2-4, 2016.
- 11) 魚島 勝美, 星名 秀行, 山田 一穂, 小川 信, 清水太郎, 上松 晃也, 荒井 良明, 小林 正治: インプラント治療部開設後の治療実績 10 年間の外来および入院患者第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋市, 2016 年 9 月 16-18 日. 日本口腔インプラント学会誌第 29 巻特別号:64 頁, P-2-39, 2016.
- 12) 大貫尚志, 児玉泰光, 池田順行, 小玉直樹, 西川 敦, 永井孝宏, 北村 厚, 高木律男: 当科における小児顎顔面口腔外傷の臨床的検討. 第 28 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 広島市, 2016 年 10 月 28-29 日. 第 28 回日本小児口腔外科学会総会・学術大会抄録集 97 頁, 2016.
- 13) 長谷部大地, 小島 拓, 荒井良明, 小林正治: 顎顔面変治骨折に対して顎矯正手術とインプラント治療により咬合と審美性を回復した 1 例. 顎顔面イン

プラント学会, 2016年12月3-4日, 東京. 2016.

- 14) 上松晃也, 星名秀行, 山田一穂, 小川信, 永田昌毅, 荒井良明, 高木律男, 小林正治, 魚島勝美: 新潟大学医歯学総合病院インプラント治療部における骨造成の臨床的検討. 顎顔面インプラント学会, 2016年12月3-4日, 東京. 2016.
- 15) 竹内涼子, 長谷部大地, 荒井良明, 小林正治: 顎顔面変治骨折症例に対する外科的矯正治療. 関東形成外科学会新潟地方会, 2017年2月3日.
- 16) 中谷暢佑, 岡本圭一郎, 黒瀬雅之, 長谷川真奈, 藤井規孝, 高木律男, 山村健介: 急性および慢性情動ストレスが咬筋の侵害受容に及ぼす影響. 第94回日本生理学会大会, 浜松市, 2017年3月28-30日.
- 17) 土門久哲, 前川知樹, 永井康介, 寺尾豊: 肺炎球菌感染時における好中球エラストラーゼの*in vitro*機能解析. 第90回日本細菌学会総会, 仙台, 2017年3月.

【研究会発表】

- 1) 永井康介, 土門久哲, 小田真隆, 寺尾豊: 自己溶菌に漏出する *Streptococcus pneumoniae* 染色体DNAの病原性解析. 第4回四大学・口腔微生物研究会, 北海道, 2016年8月.
- 2) 荒井良明: S-PRG フィラーのマウスガードへの応用, 第2回生体機能性材料“S-PRG フィラー”研究会. 京都, 2016年12月9日.

【その他】

- 1) 荒井良明: 歯科衛生士の新しい役割“覚醒時ブラキシズムの是正指導による力のコントロール” 群馬県歯科医学会学術大会「コ・デンタルセミナーII」前橋市, 2017年1月22日.

【研究費獲得】

- 1) 池田順行: 顎関節滑膜組織内での疼痛伝達機序の解明・滑膜表層細胞と神経ペプチドに着目して. 平成28-30年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 計 3,200千円. 課題番号 16K11680.
- 2) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 荒井良明(研究分担者), 山田一穂, 田中茂雄: インプラント検討症例の残存歯咬合力を用いたヒト生体骨梁モデルの3次元有限要素解析, 日本学術振興会科学研究費補助金研究・基盤研究(C), 平成28-30, 計 4680千円. 課題番号 16K11588.
- 3) 河村篤志: 加熱による非侵襲的なデンタルインプラント除去法の確立. 平成27-28年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 課題番号 15K20433, 2016.
- 4) 荒井良明: 顎関節治療に関する研究助成. サンメ

ディカル(株) 寄付金 2016年5月.

【受賞】

- 1) 池田順行, 福井忠雄, 大貫尚志, 齋藤太郎, 北村 厚, 中谷暢佑, 西山秀昌, 荒井良明, 齋藤 功, 高木律男: 歯科矯正治療後に生じた片側性下顎頭吸収による開咬に対し歯科矯正用インプラントを併用して顎間牽引を行った1例. 第29回日本顎関節学会総会・学術大会優秀ポスター賞, 箱根町, 2016年7月17-18日.

【役員】

- 1) 高木律男
・ 学会関係
日本顎関節学会 理事代議員, 認定医制度委員会委員長, 専門医制度資格認定委員会委員長, 会則検討委員会委員, 顎関節デバイス開発・技術評価委員会委員 任期 2014年7月18日・2016年度定時社員総会終結時. 2015-2016.